

令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査
(令和5年度調査)

(3) 個室ユニット型施設の整備・運営状況に関する調査研究事業
報 告 書

個室ユニット型施設の整備・運営状況に関する調査研究事業
報告書

■ 目次 ■

調査検討組織設置要綱	1
調査概要	3
1. 調査目的	3
2. 調査客体	3
3. 調査項目	3
第1部 事業実施概要	5
1. 調査の目的	5
2. 事業実施方法	5
第2部 アンケート調査	10
第1章 回収状況	10
第2章 施設票の結果	11
第1節 施設の基本情報	11
1. 所在地	11
2. 開設年	12
3. 施設種別	12
4. 運営主体	13
5. 居室タイプ別定員数及び入居者数	13
6. ユニット型を整備した時期	15
第2節 施設における勤務体制や業務の状況	16
1. 人員体制	16
2. シフトの調整方法	18
3. 1日の勤務形態	18
4. 職員配置や役割分担を検討する際に配慮していること	19
5. 定員数11人以上のユニット設置	19
6. 入居者へのケアの質向上に向けて意識している点	24
7. 施設における介護職員・看護職員の離職、年次有給休暇の付与・取得の状況、 休憩時間及び時間外労働時間の実態	31
第3節 各ユニットの運用状況や今後の設置意向	35
1. ユニットの定員数及びユニット数の状況	35
2. 施設の一般的な入居者と職員配置の状況、業務負担	37
3. 入居者の調整に当たり配慮している内容とユニット数	85
4. ユニット型個室への転換意向	87

第4節. 令和3年度報酬改定による影響等.....	89
1. 同一法人の運営するサービス種別.....	89
2. 従来型とユニット型を併設する場合の介護職員・看護職員の兼務.....	90
第5節. ユニットケア研修の受講状況等について.....	95
1. ユニットケア研修の受講状況.....	95
2. ユニットケア研修における施設の立場.....	95
3. ユニットケア研修の受講方法と効果.....	95
4. ユニットリーダー研修受講者に期待する役割、受講後の研修効果.....	101
5. ユニットケア研修受講における課題.....	106
第6節. 施設における感染対策について.....	107
1. 施設の新型コロナウイルス感染症感染者の発生状況.....	107
2. 施設における感染対策の実態.....	109
3. 感染対策に当たり、活用した補助金・支援策.....	115
4. 個室ユニット整備・推進において自治体に求める支援内容.....	115
第3章. 自治体票の結果.....	116
第1節. 自治体の概要.....	116
1. 指定・許可している施設数及び床数.....	116
第2節. 基準の内容.....	118
1. 1ユニットの定員に関する基準の有無.....	118
2. 厚生労働省令と比較した場合の自治体の基準内容.....	119
3. 条例等で定める個室ユニット型施設の1ユニットあたりの最大の定員数.....	120
4. 運営指導の実施状況.....	122
第3節. ユニット型施設の整備に向けた支援.....	125
1. 自治体で実施している施設整備費補助事業（介護療養型医療施設からの転換や設備に関する補助を除く）.....	125
2. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（ユニット型）に対する施設整備費補助事業の財源.....	126
3. 整備目標.....	126
4. 公募状況および実績.....	129
5. 令和3年度以降のユニット型施設の整備情報.....	132
6. 個室ユニットの「ユニット定員の増加」に関する施設との協議状況.....	138
第4節. ユニット型施設の整備促進に向けた取組.....	140
1. ユニット型施設の整備促進に関する制度上・運用上の課題.....	140
第5節. ユニットケア研修の実施状況.....	141
1. 「ユニットリーダー研修」及び「ユニットケア施設管理者研修」の実施状況.....	

2. ユニットケア研修の受講を促進するために実施していること	143
3. ユニットケア研修の受講促進にあたっての課題	143
第3部 ヒアリング調査	145
第1章 研修受託団体ヒアリング調査結果	145
第2章 施設ヒアリング調査結果	147
第4部 本事業のまとめ	151

別添. 調査票

調査検討組織設置要綱

個室ユニット型施設の整備・運営状況に関する調査研究事業 の調査検討組織 設置要綱

1. 設置目的

(株)日本総合研究所は個室ユニット型施設の整備・運営状況に関する調査研究事業の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり個室ユニット型施設の整備・運営状況に関する調査研究事業の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置する。

2. 実施体制

- (1) 本調査検討組織は、田宮 菜奈子を委員長とし、その他の委員は以下のとおりとする。
- (2) 委員長が必要があると認めるときは、本調査検討組織において、関係者から意見を聴くことができる。

3. 調査検討組織の運営

- (1) 調査検討組織の運営は、株式会社日本総合研究所が行う。
- (2) 前号に定めるもののほか、本調査検討組織の運営に関する事項その他必要な事項については、本調査検討組織が定める。

個室ユニット型施設の整備・運営状況に関する調査研究事業 委員等

委員長	田宮 菜奈子（筑波大学 医学医療系 教授）
副委員長	福井 小紀子（東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 研究科長 在宅・緩和ケア看護学分野 教授）
委員	江澤 和彦（公益社団法人 全国老人保健施設協会 副会長）
委員	小野 晋和（宮崎市 福祉部 介護保険課 事業所支援係 主査）
委員	鳥海 房枝（NPO 法人メイアイヘルプユー 事務局長）
委員	早坂 聡久（東洋大学 福祉社会デザイン学部 社会福祉学科 教授）
委員	柘田 和平（公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 介護保険事業等経営委員会 委員長）
委員	山口 健太郎（近畿大学 建築学部 建築学科 教授）

（敬称略、50音順）

【オブザーバー】

- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 鈴木 晴香
- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 今村 仁美
- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 八田 亜以子
- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 大村 美穂

調査概要

個室ユニット型施設の整備・運営状況に関する調査研究事業一式

1. 調査目的

令和3年度介護報酬改定では、短期入所系サービスおよび施設系サービスに位置付けられる個室ユニット型施設について、ケアの質を維持しつつ、人材確保や職員定着を目指し、ユニットケアを推進する観点から、1ユニットの定員を、実態を勘案した職員配置に努めることを求めつつ、「原則として概ね10人以下とし15人を超えないもの」とした。また、従来型とユニット型を併設する場合において、入所者の処遇に支障がない場合、介護・看護職員の兼務を可能としている。

なお、新たなユニットを整備する施設において、ケアの質が維持され、職員の過度な負担につながらぬよう、当該ユニットの整備・運営状況を定期的に把握しつつ、適切な運営や指導が行われているか検証し、必要な見直しなどの対応を検討すべきとしている。

本調査は、1ユニットの定員が10人を超えるものも含めたユニット型施設について、地域における整備状況やケアの提供体制を含めた運営状況、従来型施設と併設する場合の職員の兼務の活用状況、ユニットケア研修等に関する実態把握を行う。また、上記の令和3年度介護報酬改定がこれらの状況に与えた影響の分析を踏まえて、次期介護報酬改定や人員基準の見直し等に関する検討に資する基礎資料を作成することを目的とする。

2. 調査客体

(ア) アンケート調査

【施設調査】

- ・ 介護老人福祉施設 ユニット型施設（悉皆） 従来型多床室施設（無作為抽出）
- ・ 介護老人保健施設 ユニット型施設（悉皆）
- ・ 介護医療院 ユニット型施設（悉皆）

【自治体調査】

- ・ 都道府県・市区町村 悉皆

(イ) ヒアリング調査

- ・ ユニットケア研修受託団体
- ・ アンケート調査回答施設のうち、ユニット型施設（抽出）

3. 調査項目

(ア) アンケート調査

【施設調査】

- ・ 施設概要
- ・ 個室ユニットの整備状況や設置の意向等
- ・ 個室ユニット（10名定員、11名以上定員）における勤務体制・人員配置

- ・ 個室ユニットに関連する令和3年度報酬改定による影響
- ・ ユニットケア研修の受講状況
- ・ 個室ユニットにおける感染対策
- ・ 個室ユニット整備に関する国・自治体に対しての要望 等

【自治体調査】

- ・ 自治体概要
- ・ 個室ユニット型施設に関連する基準の制定状況
- ・ ユニット型施設の整備に向けた支援の状況
- ・ ユニット型施設の整備促進に向けた取組の状況
- ・ ユニットケア研修の実施状況(都道府県、指定都市のみ) 等

(イ) ヒアリング調査

【ユニットケア研修受託団体】

- ・ ユニットケア研修の実施状況
- ・ ユニットケア研修の受講促進に向けた取組

【ユニット型施設】

- ・ 施設概要
- ・ ユニット定員の違いによるケアの質や業務負担
- ・ ユニット定員の違いによるマネジメントの工夫

第1部 事業実施概要

1. 調査の目的

令和3年度介護報酬改定では、短期入所系サービスおよび施設系サービスに位置付けられる個室ユニット型施設について、ケアの質を維持しつつ、人材確保や職員定着を目指し、ユニットケアを推進する観点から、1ユニットの定員を、実態を勘案した職員配置に努めることを求めつつ、「原則として概ね10人以下とし15人を超えないもの」とした。また、従来型とユニット型を併設する場合において、入所者の処遇に支障がない場合、介護・看護職員の兼務を可能としている。

なお、新たなユニットを整備する施設において、ケアの質が維持され、職員の過度な負担にならぬよう、当該ユニットの整備・運営状況を定期的に把握しつつ、適切な運営や指導が行われているか検証し、必要な見直しなどの対応を検討すべきとしている。

本調査は、1ユニットの定員が10人を超えるものも含めたユニット型施設について、地域における整備状況やケアの提供体制を含めた運営状況、従来型施設と併設する場合の職員の兼務の活用状況、ユニットケア研修等に関する実態把握を行う。また、上記の令和3年度介護報酬改定がこれらの状況に与えた影響の分析を踏まえて、次期介護報酬改定や人員基準の見直し等に関する検討に資する基礎資料を作成することを目的とする。

2. 事業実施方法

(1) 調査検討組織の設置と開催状況

個室ユニット型施設の整備・運営状況に関する調査研究事業を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり、個室ユニット型施設の整備・運営状況に関する調査研究事業の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置した。

調査検討組織の運営は、株式会社日本総合研究所が行った。

①構成委員

委員長	筑波大学 医学医療系 教授 田宮 菜奈子
副委員長	東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 研究科長 在宅・緩和ケア看護学分野 教授 福井 小紀子
委員	公益社団法人 全国老人保健施設協会 副会長 江澤 和彦
委員	宮崎市 福祉部 介護保険課 事業所支援係 主査 小野 晋和
委員	NPO 法人メイアイヘルプユー 事務局長 烏海 房枝
委員	東洋大学 福祉社会デザイン学部 社会福祉学科 教授 早坂 聡久
委員	公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 介護保険事業等経営委員会 委員長 樹田 和平
委員	近畿大学 建築学部 建築学科 教授 山口 健太郎

(敬称略、50音順)

【オブザーバー】

- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 鈴木 晴香
- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 今村 仁美
- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 八田 亜以子
- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 大村 美穂

②開催状況

<第1回>

○日時：令和5年5月31日（水）11時～13時

○場所：オンラインミーティング

（議題）

議事①本事業概要のご説明

議事②施設および自治体向けアンケート調査に向けた検討

<第2回>

○日時：令和5年9月5日（火）15時～17時

○場所：オンラインミーティング

（議題）

議事①アンケート結果の報告・議論

<第3回>

○日時：令和5年12月13日（水）13時～15時

○場所：オンラインミーティング

（議題）

議事①アンケート再集計結果およびヒアリング結果の報告・議論

(2) 調査実施概要

(ア) アンケート調査

① 調査対象

i) 施設票

施設票は、以下の3サービスを調査対象とした。

各サービスのユニット型施設は悉皆調査とした。加えて、従来型多床室の介護老人福祉施設は標本調査とし、それぞれ割り当てた抽出率によって無作為に調査対象施設を選定した。ただし、災害救助法の適用地域に所在する施設は調査対象から除外した。

調査対象	類型	母集団	標本・悉皆	調査対象数
介護老人福祉施設	ユニット型施設	3,589 施設	悉皆	3,589 施設
	従来型多床室	4,820 施設	標本	3,500 施設
介護老人保健施設	ユニット型施設	488 施設	悉皆	486 施設
介護医療院	ユニット型施設	11 施設	悉皆	11 施設

ii) 自治体票

市区町村票および都道府県票は悉皆調査とし、全国の市区町村約 1,741 か所および都道府県 47 か所を対象とした。

②調査実施方法

i) 施設票

郵送配付、郵送回収または Web 回答

ii) 市区町村票、都道府県票

郵送配付、郵送回収または Web 回答

③調査期間

令和 5 年 7 月 12 日～令和 5 年 10 月 2 日

④主な調査項目

【施設調査】

- ・ 施設概要
- ・ 個室ユニットの整備状況や設置の意向等
- ・ 個室ユニット（10 名定員、11 名以上定員）における勤務体制・人員配置
- ・ 個室ユニットに関連する令和 3 年度報酬改定による影響
- ・ ユニットケア研修の受講状況
- ・ 個室ユニットにおける感染対策
- ・ 個室ユニット整備に関する国・自治体に対しての要望 等

【自治体調査】

- ・ 自治体概要
- ・ 個室ユニット型施設に関連する基準の制定状況
- ・ ユニット型施設の整備に向けた支援の状況
- ・ ユニット型施設の整備促進に向けた取組の状況

- ・ ユニットケア研修の実施状況(都道府県、指定都市のみ) 等

(イ)ヒアリング調査

【ユニットケア研修受託団体】

ユニットケア研修の実施状況や実施にあたっての課題を把握するため、ユニットケア研修受託団体へのヒアリング調査を実施した。

1)調査対象

以下の研修受託団体の役職者および研修実施責任者に対して実施した。

- ・ 一般社団法人日本ユニットケア推進センター
- ・ 一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会
- ・ 一般社団法人千葉県高齢者福祉施設協会
- ・ 北海道社会福祉協議会

2)調査方法

オンラインでの半構造化インタビュー調査

3)調査項目

- ・ ユニットケア研修の実状況
- ・ ユニットケア研修の受講促進に向けた取組

【ユニット型施設】

ユニット定員数の違いによるケア内容やユニット運営・職員配置等の違いや工夫を把握するため、ユニット型施設に対してヒアリング調査を実施した。

1) 調査対象

アンケート調査に回答した施設のうち、以下の施設に対して実施した。

- ・ 11人以上のユニットと10人ユニットが混在している施設
- ・ 9人以下のユニットと10人ユニットが混在している施設

2) 調査方法

オンラインでの半構造化インタビュー調査

3) 調査項目

- ・ 施設概要
- ・ ユニット定員の違いによる業務負担
- ・ ユニット定員の違いによるマネジメントの工夫

第2部 アンケート調査

第1章 回収状況

特養調査票の回収数はユニット型で1,843件（回収率51.4%）、従来型多床室で1,418件（回収率40.5%）、老健調査票の回収数は160件（回収率32.9%）、介護医療院調査票の回収数は5件（回収率45.5%）であった。

都道府県票の回収数は47件（回収率100.0%）、市区町村票の回収数は1,049件（回収率60.3%）であった。

調査対象	類型	母集団	発出数	回収数	回収率 (%)	有効回収率 (%)
特養	ユニット 型施設	3,589	3,585	1,843	51.4	51.4
	従来型 多床室	4,820	3,500	1,418	40.5	40.5
老健	ユニット 型施設	488	486	160	32.9	32.9
介護医療院	ユニット 型施設	11	11	5	45.5	45.5
都道府県	-	47	47	47	100.0	100.0
市区町村	-	1,741	1,741	1,049	60.3	60.3

第2章. 施設票の結果

第1節. 施設の基本情報

1. 所在地

都道府県別の回収数と施設種別の構成割合は下表のとおりであった。

図表 1-1-1 都道府県別回収数

都道府県名	特養		老健		介護医療院	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
北海道	161	4.9%	10	6.3%	0	0.0%
青森県	52	1.6%	2	1.3%	0	0.0%
岩手県	53	1.6%	3	1.9%	0	0.0%
宮城県	88	2.7%	8	5.0%	0	0.0%
秋田県	47	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
山形県	43	1.3%	2	1.3%	0	0.0%
福島県	81	2.5%	4	2.5%	0	0.0%
茨城県	93	2.9%	5	3.1%	0	0.0%
栃木県	64	2.0%	1	0.6%	0	0.0%
群馬県	60	1.8%	5	3.1%	0	0.0%
埼玉県	164	5.0%	6	3.8%	0	0.0%
千葉県	160	4.9%	6	3.8%	0	0.0%
東京都	211	6.5%	7	4.4%	1	20.0%
神奈川県	166	5.1%	7	4.4%	0	0.0%
新潟県	92	2.8%	3	1.9%	0	0.0%
富山県	38	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
石川県	38	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
福井県	18	0.6%	2	1.3%	0	0.0%
山梨県	26	0.8%	1	0.6%	0	0.0%
長野県	75	2.3%	2	1.3%	0	0.0%
岐阜県	57	1.7%	5	3.1%	0	0.0%
静岡県	102	3.1%	2	1.3%	0	0.0%
愛知県	115	3.5%	4	2.5%	0	0.0%
三重県	64	2.0%	12	7.5%	0	0.0%
滋賀県	44	1.3%	1	0.6%	0	0.0%
京都府	71	2.2%	3	1.9%	0	0.0%
大阪府	128	3.9%	7	4.4%	1	20.0%
兵庫県	139	4.3%	7	4.4%	0	0.0%
奈良県	33	1.0%	8	5.0%	0	0.0%
和歌山県	36	1.1%	1	0.6%	0	0.0%
鳥取県	18	0.6%	5	3.1%	1	20.0%
島根県	38	1.2%	1	0.6%	0	0.0%
岡山県	57	1.7%	5	3.1%	1	20.0%
広島県	68	2.1%	4	2.5%	0	0.0%
山口県	37	1.1%	2	1.3%	0	0.0%
徳島県	22	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
香川県	33	1.0%	1	0.6%	0	0.0%
愛媛県	40	1.2%	2	1.3%	0	0.0%
高知県	26	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
福岡県	131	4.0%	3	1.9%	1	20.0%
佐賀県	21	0.6%	2	1.3%	0	0.0%
長崎県	43	1.3%	2	1.3%	0	0.0%
熊本県	57	1.7%	4	2.5%	0	0.0%
大分県	22	0.7%	3	1.9%	0	0.0%
宮崎県	36	1.1%	1	0.6%	0	0.0%
鹿児島県	68	2.1%	1	0.6%	0	0.0%
沖縄県	23	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
全体	3,261	100.0%	160	100.0%	5	100.0%

2. 開設年

開設年は、全体で、「1990年以前」が21.6%、「1990～1999年」が19.0%、「2000～2009年」が27.1%、「2010～2019年」が27.1%、「2020年以降」が3.9%であった。

図表 1-1-2 開設年

		合計	1990年以前	1990～1999年	2000～2009年	2010～2019年	2020年以降	無回答
種別全体		3,426	740 21.6%	650 19.0%	927 27.1%	928 27.1%	135 3.9%	46 1.3%
施設種別	特養（全体）	3,261	737 22.6%	636 19.5%	853 26.2%	864 26.5%	127 3.9%	44 1.3%
	（ユニット型のみ）	1,599	150 9.4%	44 2.8%	554 34.6%	734 45.9%	100 6.3%	17 1.1%
	（混合型）	244	65 26.6%	57 23.4%	31 12.7%	73 29.9%	12 4.9%	6 2.5%
	（従来型のみ）	1,418	522 36.8%	535 37.7%	268 18.9%	57 4.0%	15 1.1%	21 1.5%
	老健（全体）	160	3 1.9%	14 8.8%	74 46.3%	63 39.4%	4 2.5%	2 1.3%
	（ユニット型のみ）	114	2 1.8%	4 3.5%	48 42.1%	54 47.4%	4 3.5%	2 1.8%
	（混合型）	46	1 2.2%	10 21.7%	26 56.5%	9 19.6%	0 0.0%	0 0.0%
	介護医療院（全体）	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%

3. 施設種別

特養の施設種別は、全体で、「広域型特別養護老人ホーム」が91.5%、「地域密着型特別養護老人ホーム（サテライト型を除く）」が4.8%、「サテライト型特別養護老人ホーム」が0.3%であった。

図表 1-1-3 施設種別（特養）

	合計	広域型特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム（サテライト型を除く）	サテライト型特別養護老人ホーム	無回答
特養（全体）	3,261	2,983 91.5%	156 4.8%	9 0.3%	113 3.5%
（ユニット型のみ）	1,599	1,448 90.6%	99 6.2%	8 0.5%	44 2.8%
（混合型）	244	215 88.1%	18 7.4%	0 0.0%	11 4.5%
（従来型のみ）	1,418	1,320 93.1%	39 2.8%	1 0.1%	58 4.1%

老健の施設種別は、全体で、「超強化型」が30.0%、「在宅強化型」が10.6%、「加算型」が26.9%、「基本型」が25.0%、「その他」が1.9%、「療養型」が1.9%であった。

図表 1-1-4 施設種別（老健）

	合計	超強化型	在宅強化型	加算型	基本型	その他	療養型	無回答
老健（全体）	160	48 30.0%	17 10.6%	43 26.9%	40 25.0%	3 1.9%	3 1.9%	6 3.8%
（ユニット型のみ）	114	35 30.7%	11 9.6%	27 23.7%	30 26.3%	3 2.6%	3 2.6%	5 4.4%
（混合型）	46	13 28.3%	6 13.0%	16 34.8%	10 21.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%

介護医療院の施設種別は、全体で、「Ⅰ型」が40.0%、「Ⅱ型」が60.0%であった。

図表 1-1-5 施設種別（介護医療院）

	合計	Ⅰ型	Ⅱ型	無回答
介護医療院（全体）	5	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%

4. 運営主体

運営主体は、全体で、「社会福祉法人」が94.2%、「医療法人」が3.4%、「自治体」が1.1%であった。

図表 1-1-6 運営主体

	合計	社会福祉法人	医療法人	自治体	その他	無回答
種別全体	3,426	3,228 94.2%	118 3.4%	39 1.1%	33 1.0%	8 0.2%
特養（全体）	3,261	3,197 98.0%		38 1.2%	19 0.6%	7 0.2%
（ユニット型のみ）	1,599	1,585 99.1%		6 0.4%	5 0.3%	3 0.2%
（混合型）	244	242 99.2%		0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%
（従来型のみ）	1,418	1,370 96.6%		32 2.3%	13 0.9%	3 0.2%
老健（全体）	160	30 18.8%	115 71.9%	1 0.6%	13 8.1%	1 0.6%
（ユニット型のみ）	114	21 18.4%	81 71.1%	1 0.9%	10 8.8%	1 0.9%
（混合型）	46	9 19.6%	34 73.9%	0 0.0%	3 6.5%	0 0.0%
介護医療院（全体）	5	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%

5. 居室タイプ別定員数及び入居者数

(3) 居室タイプ別居室の有無

居室タイプ別居室は、全体で、「従来型個室」が33.9%、「従来型多床室」が48.3%、「ユニット型個室」が58.3%、「ユニット型個室的多床室」が0.9%であった。

図表 1-1-7 居室タイプ別居室の有無

	合計	従来型個室	従来型多床室	ユニット型個室	ユニット型個室的多床室	無回答
種別全体	3,426	1,160 33.9%	1,656 48.3%	1,996 58.3%	31 0.9%	25 0.7%
特養（全体）	3,261	1,128 34.6%	1,615 49.5%	1,834 56.2%	28 0.9%	24 0.7%
（ユニット型のみ）	1,599			1,594 99.7%	21 1.3%	2 0.1%
（混合型）	244	114 46.7%	234 95.9%	240 98.4%	7 2.9%	1 0.4%
（従来型のみ）	1,418	1,014 71.5%	1,381 97.4%			21 1.5%
老健（全体）	160	32 20.0%	41 25.6%	157 98.1%	3 1.9%	1 0.6%
（ユニット型のみ）	114			113 99.1%	1 0.9%	0 0.0%
（混合型）	46	32 69.6%	41 89.1%	44 95.7%	2 4.3%	1 2.2%
介護医療院（全体）	5	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

(4) 居室タイプ別入所定員数及び入居者数

居室タイプ別入所定員数及び入居者数の平均は、特養全体では、「従来型個室」の定員数 16.7 人・入居者数 15.3 人、「従来型多床室」の定員数 57.3 人・入居者数 56.9 人、「ユニット型個室」の定員数 70.2 人・入居者数 66.9 人、「ユニット型個室的多床室」の定員数 29.7 人・入居者数 29.4 人であった。老健全体では、「従来型個室」の定員数 19.7 人・入居者数 16.2 人、「従来型多床室」の定員数 57.5 人・入居者数 51.5 人、「ユニット型個室」の定員数 58.3 人・入居者数 53.0 人、「ユニット型個室的多床室」の定員数 41.3 人・入居者数 31.3 人であった。介護医療院全体では、「ユニット型個室」の定員数 62.6 人・入居者数 60.6 人であった。

図表 1-1-8 居室タイプ別定員数及び入居者数

平均値		特養				老健			介護医療院
		全体 (n=3,111)	ユニット型のみ (n=1,582)	混合型 (n=237)	従来型 (n=1,292)	全体 (n=156)	ユニット型のみ (n=112)	混合型 (n=44)	全体 (n=5)
従来型個室	入所定員	16.7		13.6	17.1	19.7		19.7	0.0
	入居者数	15.3		13.4	15.5	16.2		16.2	0.0
	入居率	91.4%		98.1%	90.8%	82.6%		82.6%	-
従来型多床室	入所定員	57.3		44.9	59.4	57.5		57.5	0.0
	入居者数	56.9		43.5	59.2	51.5		51.5	0.0
	入居率	99.3%		96.8%	99.7%	89.6%		89.6%	-
ユニット型個室	入所定員	70.2	73.7	46.9		58.3	67.2	35.6	62.6
	入居者数	66.9	70.3	43.7		53.0	61.3	31.7	60.6
	入居率	95.2%	95.4%	93.2%		91.0%	91.2%	88.9%	96.8%
ユニット型個室的多床室	入所定員	29.7	30.8	30.8		41.3	44.0	40.0	0.0
	入居者数	29.4	30.3	25.3		31.3	40.0	27.0	0.0
	入居率	99.0%	98.5%	82.1%		75.8%	90.9%	67.5%	-

6. ユニット型を整備した時期

ユニット型を整備した時期は、全体で、「～平成 14 年度」が 2.4%、「平成 15 年度～平成 2 年度」が 44.2% 「平成 23 年度～令和 2 年度」が 49.3%、「令和 3 年度以降」が 4.2% であった。

図表 1-1-9 ユニット型を整備した時期

		合計	～平成14年度	平成15年度～ 平成22年度	平成23年度～ 令和2年度	令和3年度 以降
種別全体		335	8 2.4%	148 44.2%	165 49.3%	14 4.2%
施設種別	特養(全体)	309	8 2.6%	140 45.3%	147 47.6%	14 4.5%
	老健(全体)	26	0 0.0%	8 30.8%	18 69.2%	0 0.0%

第2節. 施設における勤務体制や業務の状況

1. 人員体制

(1) 施設全体の職員数

施設全体の職員数の平均は、特養全体では、介護職員は実人数 40.5 人・常勤換算 35.5 人・深夜間（24 時台）の実人数 5.6 人、看護職員は実人数 5.6 人・常勤換算 4.8 人・深夜間（24 時台）の実人数 0.1 人であった。老健全体では、介護職員は実人数 35.6 人・常勤換算 32.1 人・深夜間（24 時台）の実人数 4.4 人、看護職員は実人数 11.1 人・常勤換算 9.3 人・深夜間（24 時台）の実人数 1.1 人であった。介護医療院全体では、介護職員は実人数 23.2 人・常勤換算 21.8 人・深夜間（24 時台）の実人数 3.2 人、看護職員は実人数 16.4 人・常勤換算 14.0 人・深夜間（24 時台）の実人数 2.0 人であった。

図表 2-1-10 施設全体の職員数

単位：人

平均値		施設全体の実人数	常勤換算人数	深夜（24時台）の職員数（実人数）	
特養	全体 (n=2,500)	介護職員	40.5	35.5	5.6
	ユニットのみ (n=1,551)		42.9	37.4	6.0
	混合型 (n=237)		48.4	42.0	6.9
	従来型のみ (n=712)		32.5	29.3	4.4
	全体 (n=2,507)	看護職員	5.6	4.8	0.1
	ユニットのみ (n=1,550)		5.6	4.7	0.1
	混合型 (n=235)		6.7	5.6	0.1
	従来型のみ (n=722)		5.3	4.7	0.1
老健	全体 (n=156)	介護職員	35.6	32.1	4.4
	ユニットのみ (n=111)		32.1	29.2	4.1
	混合型 (n=45)		44.2	39.1	5.3
	全体 (n=156)	看護職員	11.1	9.3	1.1
	ユニットのみ (n=111)		9.7	8.1	1.0
	混合型 (n=45)		14.7	12.3	1.3
介護医療院 (n=5)	介護職員	23.2	21.8	3.2	
	看護職員	16.4	14.0	2.0	

(2) 夜勤職員配置加算の算定状況

夜勤職員配置加算の算定状況は、特養全体では、「算定なし」が 11.7%、「(I) (イ)」が 6.6%、「(I) (ロ)」が 7.8%、「(II) (イ)」が 7.7%、「(II) (ロ)」が 22.7%、「(III) (イ)」が 2.1%、「(III) (ロ)」が 4.3%、「(IV) (イ)」が 2.8%、「(IV) (ロ)」が 7.2% であった。老健全体では、「算定あり」が 15.0%、「算定なし」が 62.5%であった。

図表 2-1-11 夜勤職員配置加算の算定状況（特養）

	合計	算定なし	(Ⅰ) (イ)	(Ⅰ) (ロ)	(Ⅱ) (イ)	(Ⅱ) (ロ)	(Ⅲ) (イ)	(Ⅲ) (ロ)	(Ⅳ) (イ)	(Ⅳ) (ロ)	無回答
特養（全体）	3,261	382 11.7%	214 6.6%	254 7.8%	250 7.7%	741 22.7%	69 2.1%	140 4.3%	91 2.8%	235 7.2%	885 27.1%
（ユニット型のみ）	1,599	215 13.4%	41 2.6%	22 1.4%	218 13.6%	695 43.5%	7 0.4%	4 0.3%	74 4.6%	216 13.5%	107 6.7%
（混合型）	244	43 17.6%	37 15.2%	21 8.6%	26 10.7%	42 17.2%	4 1.6%	7 2.9%	16 6.6%	19 7.8%	29 11.9%
（従来型のみ）	1,418	124 8.7%	136 9.6%	211 14.9%	6 0.4%	4 0.3%	58 4.1%	129 9.1%	1 0.1%	0 0.0%	749 52.8%

図表 2-1-12 夜勤職員配置加算の算定状況（老健）

	合計	算定あり	算定なし	無回答
老健（全体）	160	24 15.0%	100 62.5%	36 22.5%
（ユニット型のみ）	114	18 15.8%	68 59.6%	28 24.6%
（混合型）	46	6 13.0%	32 69.6%	8 17.4%

概要					
夜間の人員基準よりも多くの介護職員等を配置し、安心して生活できる環境を構築する施設を評価する加算					
サービス種別	加算種別	単位数		加算要件	
介護老人福祉施設	Ⅰ	(イ)	広域型：22単位/日	地域密着型：41単位/日	<ul style="list-style-type: none"> 介護老人福祉施設サービス費を算定していること 人員基準+1名以上の介護職員、看護職員を夜間に配置すること。または、見守りセンサーを入居者の15%以上に設置し、センサーの安全有効活用を目的とした委員会の設置と検討会の実施がある場合には、人員基準+0.9名以上の配置とすること
		(ロ)	広域型：13単位/日	地域密着型：13単位/日	
	Ⅱ	(イ)	広域型：27単位/日	地域密着型：46単位/日	
		(ロ)	広域型：18単位/日	地域密着型：18単位/日	
	Ⅲ	(イ)	広域型：28単位/日	地域密着型：56単位/日	
		(ロ)	広域型：16単位/日	地域密着型：16単位/日	
	Ⅳ	(イ)	広域型：33単位/日	地域密着型：61単位/日	
		(ロ)	広域型：21単位/日	地域密着型：21単位/日	
介護老人保健施設	-	24単位/日		<ul style="list-style-type: none"> 利用者数が41名以上の事業所 利用者数20名ごとに職員を1人以上を配置する。かつ1事業所につき、職員は2人以上にならなければならない 利用者数が40名以下の事業所 利用者数20名ごとに職員を1人以上を配置する。かつ1事業所につき、職員は1人以上にならなければならない 	

2. シフトの調整方法

シフトの調整方法は、種別全体で、「施設全体で調整」が19.4%、「フロア単位で調整」が24.6%、「複数のユニットで調整」が21.7%、「1ユニットごとに調整」が13.2%、「その他」が1.1%であった。

図表 2-1-13 シフトの調整方法

		合計	施設全体で調整	フロア単位で調整	複数のユニットで調整	1ユニットごとに調整	その他	無回答
施設種別	種別全体	3,426	663 19.4%	843 24.6%	745 21.7%	452 13.2%	36 1.1%	687 20.1%
	特養(全体)	3,261	627 19.2%	783 24.0%	699 21.4%	434 13.3%	33 1.0%	685 21.0%
	(ユニット型のみ)	1,599	203 12.7%	405 25.3%	614 38.4%	358 22.4%	11 0.7%	8 0.5%
	(混合型)	244	22 9.0%	94 38.5%	72 29.5%	54 22.1%	1 0.4%	1 0.4%
	(従来型のみ)	1,418	402 28.3%	284 20.0%			21 1.5%	676 47.7%
	老健(全体)	160	34 21.3%	59 36.9%	44 27.5%	18 11.3%	3 1.9%	2 1.3%
	(ユニット型のみ)	114	30 26.3%	32 28.1%	38 33.3%	11 9.6%	2 1.8%	1 0.9%
	(混合型)	46	4 8.7%	27 58.7%	6 13.0%	7 15.2%	1 2.2%	1 2.2%
	介護医療院(全体)	5	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

3. 1日の勤務形態

1日の勤務形態は、種別全体で、「2交代制」が22.1%、「3交代制」が29.2%、「その他」が26.3%であった。

図表 2-1-14 1日の勤務形態

		合計	2交代制	3交代制	その他	無回答
施設種別	種別全体	3,426	756 22.1%	1002 29.2%	902 26.3%	766 22.4%
	特養(全体)	3,261	682 20.9%	955 29.3%	862 26.4%	762 23.4%
	(ユニット型のみ)	1,599	330 20.6%	686 42.9%	543 34.0%	40 2.5%
	(混合型)	244	56 23.0%	100 41.0%	84 34.4%	4 1.6%
	(従来型のみ)	1,418	296 20.9%	169 11.9%	235 16.6%	718 50.6%
	老健(全体)	160	71 44.4%	46 28.8%	39 24.4%	4 2.5%
	(ユニット型のみ)	114	50 43.9%	34 29.8%	29 25.4%	1 0.9%
	(混合型)	46	21 45.7%	12 26.1%	10 21.7%	3 6.5%
	介護医療院(全体)	5	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%

4. 職員配置や役割分担を検討する際に配慮していること

職員配置や役割分担を検討する際に配慮していることは、種別全体で、「介護職員が直接介助に注力できるよう、間接業務を主で対応する職員を配置している」が49.5%、「入浴等の負担が大きい業務への対応のため一時的に配置が手厚くなる時間帯を設定している」が39.6%、「ユニット間の支援等を行うことを見据えてユニットに紐づかないフリーな職員を配置している」が18.4%、「各時間帯においてメインで対応する業務について事前に役割分担を決めている」が51.7%、「その他」が1.9%、「特に配慮していることはない」が2.0%であった。

図表 2-1-15 職員配置や役割分担を検討する際に配慮していること

	施設種別								
	種別全体	特養				老健			介護医療院
		全体	ユニット型のみ	混合型	従来型のみ	全体	ユニット型のみ	混合型	
合計	3,426	3,261	1,599	244	1,418	160	114	46	5
介護職員が直接介助に注力できるよう、間接業務を主で対応する職員を配置している	1695 49.5%	1610 49.4%	939 58.7%	179 73.4%	492 34.7%	82 51.3%	60 52.6%	22 47.8%	3 60.0%
入浴等の負担が大きい業務への対応のため一時的に配置が手厚くなる時間帯を設定している	1358 39.6%	1273 39.0%	802 50.2%	119 48.8%	352 24.8%	83 51.9%	61 53.5%	22 47.8%	2 40.0%
ユニット間の支援等を行うことを見据えてユニットに紐づかないフリーな職員を配置している	630 18.4%	577 17.7%	458 28.6%	71 29.1%	48 3.4%	53 33.1%	42 36.8%	11 23.9%	0 0.0%
各時間帯においてメインで対応する業務について事前に役割分担を決めている	1770 51.7%	1659 50.9%	999 62.5%	162 66.4%	498 35.1%	106 66.3%	75 65.8%	31 67.4%	5 100.0%
その他	65 1.9%	58 1.8%	40 2.5%	7 2.9%	11 0.8%	7 4.4%	6 5.3%	1 2.2%	0 0.0%
特に配慮していることはない	67 2.0%	64 2.0%	41 2.6%	8 3.3%	15 1.1%	3 1.9%	2 1.8%	1 2.2%	0 0.0%
無回答	709 20.7%	706 21.6%	19 1.2%	1 0.4%	686 48.4%	3 1.9%	2 1.8%	1 2.2%	0 0.0%

5. 定員数11人以上のユニット設置

(1) 定員数11人以上のユニット設置有無

定員数11人以上のユニット設置有無は、種別全体で、「はい」が11.4%、「いいえ」が87.4%であった。

図表 2-1-16 定員数 11 人以上のユニット設置有無

		合計	はい	いいえ	無回答
種別全体		2,008	228 11.4%	1,754 87.4%	26 1.3%
施設種別	特養（全体）	1,843	202 11.0%	1,619 87.8%	22 1.2%
	（ユニット型のみ）	1,599	165 10.3%	1,418 88.7%	16 1.0%
	（混合型）	244	37 15.2%	201 82.4%	6 2.5%
	老健（全体）	160	24 15.0%	132 82.5%	4 2.5%
	（ユニット型のみ）	114	12 10.5%	99 86.8%	3 2.6%
	（混合型）	46	12 26.1%	33 71.7%	1 2.2%
	介護医療院（全体）	5	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%

- (2) 定員数 11 人以上のユニット設置は、令和 3 年度の報酬改定を踏まえたものか
 定員数 11 人以上のユニット設置は、令和 3 年度の報酬改定を踏まえたものであるかについては、種別全体で、「はい」が 16.7%、「いいえ」が 81.6%であった。

図表 2-1-17 定員数 11 人以上のユニット設置は、
令和 3 年度の報酬改定を踏まえたものか

		合計	はい	いいえ	無回答
種別全体		228	38 16.7%	186 81.6%	4 1.8%
施設種別	特養（全体）	202	36 17.8%	162 80.2%	4 2.0%
	（ユニット型のみ）	165	28 17.0%	135 81.8%	2 1.2%
	（混合型）	37	8 21.6%	27 73.0%	2 5.4%
	老健（全体）	24	2 8.3%	22 91.7%	0 0.0%
	（ユニット型のみ）	12	1 8.3%	11 91.7%	0 0.0%
	（混合型）	12	1 8.3%	11 91.7%	0 0.0%
	介護医療院（全体）	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%

- (3) 定員数を 11 人以上とした理由

定員数を 11 人以上とした理由は、種別全体で、「経営の観点から入居者数を増加させるため」が 29.8%、「入居者数増加に対する地域のニーズが大きかったため」が 27.6%、「施設内の余剰スペースを有効利用したいと考えたため」が 10.5%、「開設時や改築時等の施設構造上やむを得なかったため」が 41.7%であった。

図表 2-1-18 定員数を11人以上とした理由

	施設種別							
	種別全体	特養			老健			介護医療院 全体
		全体	ユニットのみ	混合型	全体	ユニットのみ	混合型	
合計	228	202	165	37	24	12	12	2
経営の観点から入居者数を増加させるため	68 29.8%	65 32.2%	51 30.9%	14 37.8%	3 12.5%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%
入居者数増加に対する地域のニーズが大きかったため	63 27.6%	60 29.7%	48 29.1%	12 32.4%	3 12.5%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%
施設内の余剰スペースを有効利用したいと考えたため	24 10.5%	24 11.9%	19 11.5%	5 13.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
開設時や改築時等の施設構造上やむを得なかったため	95 41.7%	81 40.1%	69 41.8%	12 32.4%	13 54.2%	6 50.0%	7 58.3%	1 50.0%
その他	19 8.3%	19 9.4%	14 8.5%	5 13.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	36 15.8%	28 13.9%	20 12.1%	8 21.6%	7 29.2%	4 33.3%	3 25.0%	1 50.0%

(4) 11人以上ユニットの業務実態

11人以上ユニットの業務実態について、定員数10人以下のユニットとケアの内容、職員間の連携、教育等を比較した場合、種別全体で、全ての項目について「変わらない」とする割合が最も高かった。

図表 2-1-19 11人以上ユニットの業務実態（種別全体）

	種別全体					
	多い/ 大きい	やや多い/ やや大きい	変わらない	やや少ない/ やや小さい	少ない/ 小さい	わからない
合計	209	209	209	209	209	209
入居者1人当たりにかかる情報収集やコミュニケーションの時間	17 8.1%	45 21.5%	85 40.7%	36 17.2%	17 8.1%	8 3.8%
入居者の生活リズムに沿ったケア提供を行うことができる場面の頻度	15 7.2%	41 19.6%	86 41.1%	45 21.5%	15 7.2%	7 3.3%
入浴、排泄等人手がかかる介助をスムーズに行うことができる場面の頻度	16 7.7%	49 23.4%	82 39.2%	39 18.7%	13 6.2%	10 4.8%
見守りや急変が生じた場合に他の職員に助けを求める際の負担	18 8.6%	65 31.1%	104 49.8%	11 5.3%	3 1.4%	7 3.3%
ユニットリーダーにおけるユニット職員に対する教育・管理の負担	19 9.1%	57 27.3%	119 56.9%	4 1.9%	2 1.0%	8 3.8%
ユニットにおける職員の勤務シフト作成に関する負担	15 7.2%	47 22.5%	133 63.6%	6 2.9%	1 0.5%	7 3.3%
入居者の相性を踏まえたユニット間や居室の調整に関する負担	17 8.1%	49 23.4%	119 56.9%	12 5.7%	3 1.4%	9 4.3%
職員1人当たりの業務時間（時間外労働の時間も含む）	19 9.1%	65 31.1%	109 52.2%	8 3.8%	1 0.5%	7 3.3%
事故予防に関する職員における緊張感や不安感	33 15.8%	80 38.3%	83 39.7%	5 2.4%	1 0.5%	7 3.3%

図表 2-1-20 11人以上ユニットの業務実態（特養）

	特養					
	多い/ 大きい	やや多い/ やや大きい	変わらない	やや少ない/ やや小さい	少ない/ 小さい	わからない
合計	187	187	187	187	187	187
入居者1人当たりにかかる情報収集やコミュニケーションの時間	16 8.6%	41 21.9%	77 41.2%	33 17.6%	14 7.5%	5 2.7%
入居者の生活リズムに沿ったケア提供を行うことができる場面の頻度	15 8.0%	36 19.3%	77 41.2%	41 21.9%	13 7.0%	5 2.7%
入浴、排泄等人手がかかる介助をスムーズに行うことができる場面の頻度	16 8.6%	47 25.1%	69 36.9%	37 19.8%	10 5.3%	8 4.3%
見守りや急変が生じた場合に他の職員に助けを求める際の負担	17 9.1%	58 31.0%	92 49.2%	11 5.9%	3 1.6%	5 2.7%
ユニットリーダーにおけるユニット職員に対する教育・管理の負担	18 9.6%	52 27.8%	107 57.2%	2 1.1%	2 1.1%	6 3.2%
ユニットにおける職員の勤務シフト作成に関する負担	14 7.5%	43 23.0%	118 63.1%	6 3.2%	1 0.5%	5 2.7%
入居者の相性を踏まえたユニット間や居室の調整に関する負担	17 9.1%	42 22.5%	108 57.8%	10 5.3%	3 1.6%	7 3.7%
職員1人当たりの業務時間（時間外労働の時間も含む）	18 9.6%	60 32.1%	95 50.8%	8 4.3%	1 0.5%	5 2.7%
事故予防に関する職員における緊張感や不安感	31 16.6%	73 39.0%	72 38.5%	5 2.7%	1 0.5%	5 2.7%

図表 2-1-21 11人以上ユニットの業務実態（老健）

	老健					
	多い/ 大きい	やや多い/ やや大きい	変わらない	やや少ない/ やや小さい	少ない/ 小さい	わからない
合計	21	21	21	21	21	21
入居者1人当たりにかかる情報収集やコミュニケーションの時間	1 4.8%	4 19.0%	7 33.3%	3 14.3%	3 14.3%	3 14.3%
入居者の生活リズムに沿ったケア提供を行うことができる場面の頻度	0 0.0%	5 23.8%	8 38.1%	4 19.0%	2 9.5%	2 9.5%
入浴、排泄等人手がかかる介助をスムーズに行うことができる場面の頻度	0 0.0%	2 9.5%	12 57.1%	2 9.5%	3 14.3%	2 9.5%
見守りや急変が生じた場合に他の職員に助けを求める際の負担	1 4.8%	7 33.3%	11 52.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%
ユニットリーダーにおけるユニット職員に対する教育・管理の負担	1 4.8%	5 23.8%	11 52.4%	2 9.5%	0 0.0%	2 9.5%
ユニットにおける職員の勤務シフト作成に関する負担	1 4.8%	4 19.0%	14 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%
入居者の相性を踏まえたユニット間や居室の調整に関する負担	0 0.0%	7 33.3%	10 47.6%	2 9.5%	0 0.0%	2 9.5%
職員1人当たりの業務時間（時間外労働の時間も含む）	1 4.8%	5 23.8%	13 61.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%
事故予防に関する職員における緊張感や不安感	2 9.5%	7 33.3%	10 47.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%

図表 2-1-22 11人以上ユニットの業務実態（介護医療院）

	介護医療院					
	多い/ 大きい	やや多い/ やや大きい	変わらない	やや少ない/ やや小さい	少ない/ 小さい	わからない
合計	1	1	1	1	1	1
入居者1人当たりにかかる情報収集やコミュニケーションの時間	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
入居者の生活リズムに沿ったケア提供を行うことができる場面の頻度	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
入浴、排泄等人手がかかる介助をスムーズに行うことができる場面の頻度	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
見守りや急変が生じた場合に他の職員に助けを求める際の負担	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ユニットリーダーにおけるユニット職員に対する教育・管理の負担	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ユニットにおける職員の勤務シフト作成に関する負担	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
入居者の相性を踏まえたユニット間や居室の調整に関する負担	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
職員1人当たりの業務時間（時間外労働の時間も含む）	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
事故予防に関する職員における緊張感や不安感	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

6. 入居者へのケアの質向上に向けて意識している点

入居者へのケアの質向上に向けて意識している点として「そう思う」と回答した割合は、ユニット型の種別全体で、「入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している」が61.7%、「入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている」が60.7%、「経口での食事が困難になっても、食べる楽しみを得られるよう、多職種で協力して支援している」が58.2%であった。

図表 2-1-23 入居者へのケアの質向上に向けて意識している点 ユニット型（全体）

	種別全体				
	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
合計	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950
入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている	1183 60.7%	645 33.1%	105 5.4%	12 0.6%	2 0.1%
入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している	1203 61.7%	631 32.4%	96 4.9%	17 0.9%	1 0.1%
入居者の状態像に応じた起床介助や、着替えて居室以外の場所で過ごすための支援等を行っている	948 48.6%	741 38.0%	216 11.1%	39 2.0%	4 0.2%
経口での食事が困難になっても、食べる楽しみを得られるよう、多職種で協力して支援している	1134 58.2%	615 31.5%	161 8.3%	28 1.4%	8 0.4%
入居者の食器や補食の持ち込みを認めるなど食事に関する意向を実現できている	1005 51.5%	680 34.9%	167 8.6%	78 4.0%	16 0.8%
所定の日数以外にも入浴・清拭のニーズがある場合は、対応できる体制をとっている	349 17.9%	581 29.8%	579 29.7%	318 16.3%	119 6.1%
入居者がゆったりできる入浴方法（入浴時間やマンツーマン方法等）に取り組んでいる	783 40.2%	684 35.1%	348 17.8%	101 5.2%	32 1.6%
24時間を通した排泄のアセスメントを踏まえ、入居者の生活の質を維持しながら排泄を支援している	634 32.5%	884 45.3%	342 17.5%	81 4.2%	7 0.4%
入居者の意向を踏まえたレクリエーションやアクティビティ、個別的な外出支援等を行っている	329 16.9%	691 35.4%	605 31.0%	263 13.5%	57 2.9%
入居者の施設内の生活ぶりや施設の取組等に関する情報を家族に定期的に共有している	747 38.3%	904 46.4%	225 11.5%	63 3.2%	9 0.5%
職員のベースでのケア提供や日課の消化にならないよう、その方の生活習慣等に沿った支援をしている	293 15.0%	833 42.7%	653 33.5%	155 7.9%	14 0.7%
入浴・排泄等の際、入居者の気持ちを尊重し、同性介助等に配慮している	265 13.6%	620 31.8%	700 35.9%	271 13.9%	94 4.8%
日頃の介護を通して入居者のわずかな変調等にも気づき、多職種に情報連携する体制を構築できている	792 40.6%	943 48.4%	172 8.8%	35 1.8%	4 0.2%
日常的な介護事故の発生を防ぐために十分な体制をとっている	493 25.3%	1033 53.0%	364 18.7%	49 2.5%	4 0.2%
ユニット・フロア内の職員間において業務上円滑なコミュニケーションを取ることができている	543 27.8%	1007 51.6%	345 17.7%	45 2.3%	6 0.3%
支援する全職員が入居者に関する計画や記録を共有できるようにしている	926 47.5%	743 38.1%	233 11.9%	38 1.9%	5 0.3%
入居者の生活の質確保と介護職員の負担軽減とともに図れるよう介護ロボット・ICTを活用している	416 21.3%	605 31.0%	396 20.3%	234 12.0%	287 14.7%
入居者・家族の意向を踏まえ必要に応じて喀痰吸引や点滴などを実施している	860 44.1%	558 28.6%	273 14.0%	116 5.9%	136 7.0%
事前にターミナル期を迎えたときにどうケアをしてほしいかを入居者や家族と話し合っている	1121 57.5%	546 28.0%	165 8.5%	57 2.9%	55 2.8%
看取りケアに力を入れている	848 43.5%	625 32.1%	248 12.7%	71 3.6%	148 7.6%

図表 2-1-24 入居者へのケアの質向上に向けて意識している点 ユニット型（特養）

	特養				
	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
合計	1,788	1,788	1,788	1,788	1,788
入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている	1077 60.2%	599 33.5%	96 5.4%	12 0.7%	2 0.1%
入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している	1100 61.5%	587 32.8%	84 4.7%	15 0.8%	1 0.1%
入居者の状態像に応じた起床介助や、着替えて居室以外の場所で過ごすための支援等を行っている	873 48.8%	673 37.6%	199 11.1%	38 2.1%	3 0.2%
経口での食事が困難になっても、食べる楽しみを得られるよう、多職種で協力して支援している	1032 57.7%	575 32.2%	146 8.2%	27 1.5%	7 0.4%
入居者の食器や補食の持ち込みを認めるなど食事に関する意向を実現できている	948 53.0%	622 34.8%	140 7.8%	63 3.5%	12 0.7%
所定の日数以外にも入浴・清拭のニーズがある場合は、対応できる体制をとっている	316 17.7%	531 29.7%	536 30.0%	299 16.7%	102 5.7%
入居者がゆったりできる入浴方法（入浴時間やマンツーマン方法等）に取り組んでいる	734 41.1%	630 35.2%	309 17.3%	87 4.9%	26 1.5%
24時間を通じた排泄のアセスメントを踏まえ、入居者の生活の質を維持しながら排泄を支援している	581 32.5%	807 45.1%	316 17.7%	76 4.3%	6 0.3%
入居者の意向を踏まえたレクリエーションやアクティビティ、個別的な外出支援等を行っている	254 14.2%	630 35.2%	585 32.7%	261 14.6%	56 3.1%
入居者の施設内の生活ぶりや施設の取組等に関する情報を家族に定期的に共有している	685 38.3%	835 46.7%	199 11.1%	59 3.3%	9 0.5%
職員のペースでのケア提供や日課の消化にならないよう、その方の生活習慣等に沿った支援をしている	268 15.0%	765 42.8%	595 33.3%	146 8.2%	13 0.7%
入浴・排泄等の際、入居者の気持ちを尊重し、同性介助等に配慮している	237 13.3%	561 31.4%	647 36.2%	261 14.6%	82 4.6%
日頃の介護を通して入居者のわずかな変調等にも気づき、多職種に情報連携する体制を構築できている	719 40.2%	875 48.9%	154 8.6%	33 1.8%	4 0.2%
日常的な介護事故の発生を防ぐために十分な体制をとっている	445 24.9%	956 53.5%	331 18.5%	45 2.5%	4 0.2%
ユニット・フロア内の職員間において業務上円滑なコミュニケーションを取ることができている	491 27.5%	925 51.7%	321 18.0%	42 2.3%	5 0.3%
支援する全職員が入居者に関する計画や記録を共有できるようにしている	848 47.4%	684 38.3%	213 11.9%	33 1.8%	5 0.3%
入居者の生活の質確保と介護職員の負担軽減とをともに図れるよう介護ロボット・ICTを活用している	387 21.6%	573 32.0%	366 20.5%	208 11.6%	242 13.5%
入居者・家族の意向を踏まえ必要に応じて喀痰吸引や点滴などを実施している	756 42.3%	519 29.0%	259 14.5%	113 6.3%	134 7.5%
事前にターミナル期を迎えたときにどうケアをしてほしいかを入居者や家族と話し合っている	1026 57.4%	503 28.1%	152 8.5%	53 3.0%	48 2.7%
看取りケアに力を入れている	790 44.2%	569 31.8%	225 12.6%	64 3.6%	130 7.3%

図表 2-1-25 入居者へのケアの質向上に向けて意識している点 ユニット型（老健）

	老健				
	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
合計	157	157	157	157	157
入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている	102 65.0%	45 28.7%	9 5.7%	0 0.0%	0 0.0%
入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している	99 63.1%	43 27.4%	12 7.6%	2 1.3%	0 0.0%
入居者の状態像に応じた起床介助や、着替えて居室以外の場所で過ごすための支援等を行っている	75 47.8%	64 40.8%	16 10.2%	1 0.6%	1 0.6%
経口での食事が困難になっても、食べる楽しみを得られるよう、多職種で協力して支援している	97 61.8%	40 25.5%	15 9.6%	1 0.6%	1 0.6%
入居者の食器や補食の持ち込みを認めるなど食事に関する意向を実現できている	55 35.0%	56 35.7%	26 16.6%	15 9.6%	4 2.5%
所定の日数以外にも入浴・清拭のニーズがある場合は、対応できる体制をとっている	33 21.0%	47 29.9%	42 26.8%	18 11.5%	17 10.8%
入居者がゆったりできる入浴方法（入浴時間やマンツーマン方法等）に取り組んでいる	46 29.3%	54 34.4%	38 24.2%	13 8.3%	6 3.8%
24時間を通した排泄のアセスメントを踏まえ、入居者の生活の質を維持しながら排泄を支援している	52 33.1%	76 48.4%	23 14.6%	5 3.2%	1 0.6%
入居者の意向を踏まえたレクリエーションやアクティビティ、個別的な外出支援等を行っている	75 47.8%	58 36.9%	18 11.5%	2 1.3%	1 0.6%
入居者の施設内の生活ぶりや施設の取組等に関する情報を家族に定期的に共有している	59 37.6%	68 43.3%	25 15.9%	4 2.5%	0 0.0%
職員のペースでのケア提供や日課の消化にならないよう、その方の生活習慣等に沿った支援をしている	25 15.9%	65 41.4%	56 35.7%	9 5.7%	1 0.6%
入浴・排泄等の際、入居者の気持ちを尊重し、同性介助等に配慮している	28 17.8%	57 36.3%	51 32.5%	9 5.7%	12 7.6%
日頃の介護を通して入居者のわずかな変調等にも気づき、多職種に情報連携する体制を構築できている	71 45.2%	67 42.7%	16 10.2%	2 1.3%	0 0.0%
日常的な介護事故の発生を防ぐために十分な体制をとっている	46 29.3%	75 47.8%	32 20.4%	4 2.5%	0 0.0%
ユニット・フロア内の職員間において業務上円滑なコミュニケーションを取ることができている	50 31.8%	80 51.0%	23 14.6%	3 1.9%	1 0.6%
支援する全職員が入居者に関する計画や記録を共有できるようにしている	75 47.8%	57 36.3%	20 12.7%	5 3.2%	0 0.0%
入居者の生活の質確保と介護職員の負担軽減とをともに図れるよう介護ロボット・ICTを活用している	27 17.2%	30 19.1%	30 19.1%	25 15.9%	45 28.7%
入居者・家族の意向を踏まえ必要に応じて喀痰吸引や点滴などを実施している	99 63.1%	39 24.8%	14 8.9%	3 1.9%	2 1.3%
事前にターミナル期を迎えたときにどうケアをしてほしいかを入居者や家族と話し合っている	91 58.0%	43 27.4%	12 7.6%	4 2.5%	7 4.5%
看取りケアに力を入れている	55 35.0%	54 34.4%	23 14.6%	7 4.5%	18 11.5%

図表 2-1-26 入居者へのケアの質向上に向けて
意識している点 ユニット型（介護医療院）

	介護医療院				
	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
合計	5	5	5	5	5
入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
入居者の状態像に応じた起床介助や、着替えて居室以外の場所で過ごすための支援等を行っている	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
経口での食事が困難になっても、食べる楽しみを得られるよう、多職種で協力して支援している	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
入居者の食器や補食の持ち込みを認めるなど食事に関する意向を実現できている	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
所定の日数以外にも入浴・清拭のニーズがある場合は、対応できる体制をとっている	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%
入居者がゆったりできる入浴方法（入浴時間やマンツーマン方法等）に取り組んでいる	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%
24時間を通した排泄のアセスメントを踏まえ、入居者の生活の質を維持しながら排泄を支援している	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%
入居者の意向を踏まえたレクリエーションやアクティビティ、個別的な外出支援等を行っている	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
入居者の施設内の生活ぶりや施設の取組等に関する情報を家族に定期的に共有している	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
職員のペースでのケア提供や日課の消化にならないよう、その方の生活習慣等に沿った支援をしている	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
入浴・排泄等の際、入居者の気持ちを尊重し、同性介助等に配慮している	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%
日頃の介護を通して入居者のわずかな変調等にも気づき、多職種に情報連携する体制を構築できている	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
日常的な介護事故の発生を防ぐために十分な体制をとっている	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
ユニット・フロア内の職員間において業務上円滑なコミュニケーションを取ることができている	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
支援する全職員が入居者に関する計画や記録を共有できるようにしている	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
入居者の生活の質確保と介護職員の負担軽減とをともに図れるよう介護ロボット・ICTを活用している	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%
入居者・家族の意向を踏まえ必要に応じて喀痰吸引や点滴などを実施している	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
事前にターミナル期を迎えたときにどうケアをしてほしいかを入居者や家族と話し合っている	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
看取りケアに力を入れている	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

入居者へのケアの質向上に向けて意識している点として「そう思う」と回答した割合は、従来型の種別全体で、「入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している」が61.9%、「入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている」が59.3%、「事前にターミナル期を迎えたときにどうい
うケアをしてほしいかを入居者や家族と話し合っている」が54.8%であった。

図表 2-1-27 入居者へのケアの質向上に向けて意識している点 従来型（全体）

	種別全体				
	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
合計	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660
入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている	985 59.3%	569 34.3%	86 5.2%	15 0.9%	0 0.0%
入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している	1028 61.9%	536 32.3%	82 4.9%	10 0.6%	0 0.0%
入居者の状態像に応じた起床介助や、着替えて居室以外の場所で過ごすための支援等を行っている	671 40.4%	650 39.2%	240 14.5%	87 5.2%	12 0.7%
経口での食事が困難になっても、食べる楽しみを得られるよう、多職種で協力して支援している	895 53.9%	571 34.4%	149 9.0%	36 2.2%	7 0.4%
入居者の食器や補食の持ち込みを認めるなど食事に関する意向を実現できている	630 38.0%	611 36.8%	239 14.4%	118 7.1%	59 3.6%
所定の日数以外にも入浴・清拭のニーズがある場合は、対応できる体制をとっている	298 18.0%	463 27.9%	463 27.9%	299 18.0%	136 8.2%
入居者がゆったりできる入浴方法（入浴時間やマンツーマン方法等）に取り組んでいる	296 17.8%	502 30.2%	525 31.6%	240 14.5%	92 5.5%
24時間を通した排泄のアセスメントを踏まえ、入居者の生活の質を維持しながら排泄を支援している	436 26.3%	691 41.6%	377 22.7%	132 8.0%	23 1.4%
入居者の意向を踏まえたレクリエーションやアクティビティ、個別的な外出支援等を行っている	202 12.2%	550 33.1%	572 34.5%	264 15.9%	68 4.1%
入居者の施設内の生活ぶりや施設の取組等に関する情報を家族に定期的に共有している	606 36.5%	741 44.6%	249 15.0%	51 3.1%	7 0.4%
職員のベースでのケア提供や日課の消化にならないよう、その方の生活習慣等に合った支援をしている	184 11.1%	591 35.6%	653 39.3%	205 12.3%	25 1.5%
入浴・排泄等の際、入居者の気持ちを尊重し、同性介助等に配慮している	176 10.6%	435 26.2%	608 36.6%	310 18.7%	129 7.8%
日頃の介護を通して入居者のわずかな変調等にも気づき、多職種に情報連携する体制を構築できている	678 40.8%	804 48.4%	151 9.1%	26 1.6%	0 0.0%
日常的な介護事故の発生を防ぐために十分な体制をとっている	450 27.1%	853 51.4%	299 18.0%	45 2.7%	9 0.5%
ユニット・フロア内の職員間において業務上円滑なコミュニケーションを取ることができている	453 27.3%	865 52.1%	288 17.3%	40 2.4%	6 0.4%
支援する全職員が入居者に関する計画や記録を共有できるようにしている	729 43.9%	681 41.0%	199 12.0%	42 2.5%	5 0.3%
入居者の生活の質確保と介護職員の負担軽減とをともに図れるよう介護ロボット・ICTを活用している	297 17.9%	553 33.3%	351 21.1%	224 13.5%	228 13.7%
入居者・家族の意向を踏まえ必要に応じて喀痰吸引や点滴などを実施している	757 45.6%	494 29.8%	219 13.2%	95 5.7%	89 5.4%
事前にターミナル期を迎えたときにどうい うケアをしてほしいかを入居者や家族と話し合っている	910 54.8%	484 29.2%	157 9.5%	57 3.4%	50 3.0%
看取りケアに力を入れている	691 41.6%	530 31.9%	229 13.8%	65 3.9%	141 8.5%

図表 2-1-28 入居者へのケアの質向上に向けて意識している点 従来型（特養）

	特養				
	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
合計	1614	1614	1614	1614	1614
入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている	961 59.5%	552 34.2%	82 5.1%	15 0.9%	0 0.0%
入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している	1005 62.3%	519 32.2%	78 4.8%	9 0.6%	0 0.0%
入居者の状態像に応じた起床介助や、着替えて居室以外の場所で過ごすための支援等を行っている	657 40.7%	628 38.9%	233 14.4%	86 5.3%	10 0.6%
経口での食事が困難になっても、食べる楽しみを得られるよう、多職種で協力して支援している	873 54.1%	559 34.6%	142 8.8%	33 2.0%	6 0.4%
入居者の食器や補食の持ち込みを認めるなど食事に関する意向を実現できている	619 38.4%	594 36.8%	231 14.3%	114 7.1%	54 3.3%
所定の日数以外にも入浴・清拭のニーズがある場合は、対応できる体制をとっている	288 17.8%	449 27.8%	456 28.3%	291 18.0%	129 8.0%
入居者がゆったりできる入浴方法（入浴時間やマンツーマン方法等）に取り組んでいる	288 17.8%	487 30.2%	512 31.7%	238 14.7%	85 5.3%
24時間を通した排泄のアセスメントを踏まえ、入居者の生活の質を維持しながら排泄を支援している	422 26.1%	668 41.4%	373 23.1%	130 8.1%	20 1.2%
入居者の意向を踏まえたレクリエーションやアクティビティ、個別的な外出支援等を行っている	183 11.3%	532 33.0%	566 35.1%	263 16.3%	67 4.2%
入居者の施設内の生活ぶりや施設の取組等に関する情報を家族に定期的に共有している	592 36.7%	719 44.5%	242 15.0%	49 3.0%	7 0.4%
職員のペースでのケア提供や日課の消化にならないよう、その方の生活習慣等に沿った支援をしている	176 10.9%	574 35.6%	636 39.4%	203 12.6%	23 1.4%
入浴・排泄等の際、入居者の気持ちを尊重し、同性介助等に配慮している	172 10.7%	419 26.0%	591 36.6%	308 19.1%	122 7.6%
日頃の介護を通して入居者のわずかな変調等にも気づき、多職種に情報連携する体制を構築できている	658 40.8%	781 48.4%	148 9.2%	26 1.6%	0 0.0%
日常的な介護事故の発生を防ぐために十分な体制をとっている	439 27.2%	828 51.3%	289 17.9%	45 2.8%	9 0.6%
ユニット・フロア内の職員間において業務上円滑なコミュニケーションを取ることができている	437 27.1%	842 52.2%	281 17.4%	40 2.5%	6 0.4%
支援する全職員が入居者に関する計画や記録を共有できるようにしている	710 44.0%	666 41.3%	188 11.6%	42 2.6%	4 0.2%
入居者の生活の質確保と介護職員の負担軽減とをともに図れるよう介護ロボット・ICTを活用している	292 18.1%	537 33.3%	343 21.3%	219 13.6%	216 13.4%
入居者・家族の意向を踏まえ必要に応じて喀痰吸引や点滴などを実施している	733 45.4%	475 29.4%	216 13.4%	95 5.9%	89 5.5%
事前にターミナル期を迎えたときにどうケアをしてほしいかを入居者や家族と話し合っている	887 55.0%	470 29.1%	152 9.4%	57 3.5%	46 2.9%
看取りケアに力を入れている	674 41.8%	516 32.0%	221 13.7%	64 4.0%	135 8.4%

図表 2-1-29 入居者へのケアの質向上に向けて
意識している点 従来型（老健）

	老健				
	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
合計	46	46	46	46	46
入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている	24 52.2%	17 37.0%	4 8.7%	0 0.0%	0 0.0%
入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している	23 50.0%	17 37.0%	4 8.7%	1 2.2%	0 0.0%
入居者の状態像に応じた起床介助や、着替えて居室以外の場所で過ごすための支援等を行っている	14 30.4%	22 47.8%	7 15.2%	1 2.2%	2 4.3%
経口での食事が困難になっても、食べる楽しみを得られるよう、多職種で協力して支援している	22 47.8%	12 26.1%	7 15.2%	3 6.5%	1 2.2%
入居者の食器や補食の持ち込みを認めるなど食事に関する意向を実現できている	11 23.9%	17 37.0%	8 17.4%	4 8.7%	5 10.9%
所定の日数以外にも入浴・清拭のニーズがある場合は、対応できる体制をとっている	10 21.7%	14 30.4%	7 15.2%	8 17.4%	7 15.2%
入居者がゆったりできる入浴方法（入浴時間やマンツーマン方法等）に取り組んでいる	8 17.4%	15 32.6%	13 28.3%	2 4.3%	7 15.2%
24時間を通した排泄のアセスメントを踏まえ、入居者の生活の質を維持しながら排泄を支援している	14 30.4%	23 50.0%	4 8.7%	2 4.3%	3 6.5%
入居者の意向を踏まえたレクリエーションやアクティビティ、個別的な外出支援等を行っている	19 41.3%	18 39.1%	6 13.0%	1 2.2%	1 2.2%
入居者の施設内の生活ぶりや施設の取組等に関する情報を家族に定期的に共有している	14 30.4%	22 47.8%	7 15.2%	2 4.3%	0 0.0%
職員のペースでのケア提供や日課の消化にならないよう、その方の生活習慣等に沿った支援をしている	8 17.4%	17 37.0%	17 37.0%	2 4.3%	2 4.3%
入浴・排泄等の際、入居者の気持ちを尊重し、同性介助等に配慮している	4 8.7%	16 34.8%	17 37.0%	2 4.3%	7 15.2%
日頃の介護を通して入居者のわずかな変調等にも気づき、多職種に情報連携する体制を構築できている	20 43.5%	23 50.0%	3 6.5%	0 0.0%	0 0.0%
日常的な介護事故の発生を防ぐために十分な体制をとっている	11 23.9%	25 54.3%	10 21.7%	0 0.0%	0 0.0%
ユニット・フロア内の職員間において業務上円滑なコミュニケーションを取ることができている	16 34.8%	23 50.0%	7 15.2%	0 0.0%	0 0.0%
支援する全職員が入居者に関する計画や記録を共有できるようにしている	19 41.3%	15 32.6%	11 23.9%	0 0.0%	1 2.2%
入居者の生活の質確保と介護職員の負担軽減とをともに図れるよう介護ロボット・ICTを活用している	5 10.9%	16 34.8%	8 17.4%	5 10.9%	12 26.1%
入居者・家族の意向を踏まえ必要に応じて喀痰吸引や点滴などを実施している	24 52.2%	19 41.3%	3 6.5%	0 0.0%	0 0.0%
事前にターミナル期を迎えたときにどうケアをしてほしいかを入居者や家族と話し合っている	23 50.0%	14 30.4%	5 10.9%	0 0.0%	4 8.7%
看取りケアに力を入れている	17 37.0%	14 30.4%	8 17.4%	1 2.2%	6 13.0%

7. 施設における介護職員・看護職員の離職、年次有給休暇の付与・取得の状況、休憩時間及び時間外労働時間の実態

(1) 離職の状況

介護職員の離職率は、特養全体で 15.0%、老健全体で 15.9%、介護医療院全体で 25.5%であった。看護職員の離職率は、特養全体で 19.6%、老健全体で 15.6%、介護医療院全体で 10.5%であった。

図表 2-1-30 離職の状況

単位：人（1施設あたり平均）

介護職員		回答数	離職者数	在籍者数	離職率
施設種別	特養（全体）	3,032	5.8	38.7	15.0%
	（ユニット型のみ）	1,460	7.3	42.7	17.1%
	（混合型）	229	6.4	47.2	13.6%
	（従来型のみ）	1,343	4.1	32.8	12.5%
	老健（全体）	147	5.8	36.4	15.9%
	（ユニット型のみ）	104	5.5	32.7	16.8%
	（混合型）	43	6.7	45.3	14.8%
	介護医療院（全体）	2	6.5	25.5	25.5%

単位：人（1施設あたり平均）

看護職員		回答数	離職者数	在籍者数	離職率
施設種別	特養（全体）	3,027	1.1	5.6	19.6%
	（ユニット型のみ）	1,460	1.2	5.6	21.4%
	（混合型）	229	1.3	6.7	19.4%
	（従来型のみ）	1,338	0.9	5.4	16.7%
	老健（全体）	148	1.7	10.9	15.6%
	（ユニット型のみ）	105	1.5	9.5	15.8%
	（混合型）	43	2.3	14.2	16.2%
	介護医療院（全体）	2	2.0	19.0	10.5%

(2) 年次有給休暇の付与・取得の状況

年次有給休暇の取得率について、介護職員は、特養全体で 56.0%、老健全体で 66.8%、介護医療院全体で 63.9%であった。看護職員は、年次有給休暇の取得率は、特養全体で 63.6%、老健全体で 70.6%、介護医療院全体で 49.4%であった。

図表 2-1-31 年次有給休暇の付与・取得の状況

単位：人

介護職員		回答数	(1人あたり) 平均付与日数	(1人あたり) 平均取得日数	(1人あたり) 取得率
施設種別	特養 (全体)	2,552	18.8	10.5	56.0%
	(ユニット型のみ)	1,200	17.4	10.4	59.8%
	(混合型)	188	17.1	9.8	57.4%
	(従来型のみ)	1,164	21.2	10.9	51.6%
	老健 (全体)	113	16.2	10.8	66.8%
	(ユニット型のみ)	78	17.0	11.7	68.6%
	(混合型)	35	14.6	9.3	63.8%
介護医療院 (全体)	1	13.5	8.6	63.9%	

単位：人

看護職員		回答数	(1人あたり) 平均付与日数	(1人あたり) 平均取得日数	(1人あたり) 取得率
施設種別	特養 (全体)	2,539	18.7	11.9	63.6%
	(ユニット型のみ)	1,192	17.8	11.9	66.8%
	(混合型)	189	16.6	10.0	60.6%
	(従来型のみ)	1,158	20.2	12.4	61.3%
	老健 (全体)	113	14.7	10.4	70.6%
	(ユニット型のみ)	78	16.2	10.7	65.8%
	(混合型)	35	12.2	9.9	80.9%
介護医療院 (全体)	1	13.2	6.5	49.4%	

(3) 日勤の休憩時間

日勤の休憩時間について、種別全体で、介護職員は、「60分以上70分未満」が54.3%、「50分以上60分未満」が32.0%、「70分以上」が6.2%であった。看護職員は、「60分以上70分未満」が54.1%、「50分以上60分未満」が32.0%、「70分以上」が5.2%であった。

図表 2-1-32 日勤の休憩時間（介護職員）

		合計	30分未満	30分以上40分未満	40分以上50分未満	50分以上60分未満	60分以上70分未満	70分以上	無回答
施設種別	種別全体	3,426	2 0.1%	14 0.4%	130 3.8%	1096 32.0%	1859 54.3%	211 6.2%	114 3.3%
	特養（全体）	3,261	2 0.1%	14 0.4%	121 3.7%	1036 31.8%	1773 54.4%	208 6.4%	107 3.3%
	（ユニット型のみ）	1,599	2 0.1%	8 0.5%	49 3.1%	522 32.6%	902 56.4%	60 3.8%	56 3.5%
	（混合型）	244	0 0.0%	0 0.0%	9 3.7%	87 35.7%	124 50.8%	18 7.4%	6 2.5%
	（従来型のみ）	1,418	0 0.0%	6 0.4%	63 4.4%	427 30.1%	747 52.7%	130 9.2%	45 3.2%
	老健（全体）	160	0 0.0%	0 0.0%	9 5.6%	56 35.0%	85 53.1%	3 1.9%	7 4.4%
	（ユニット型のみ）	114	0 0.0%	0 0.0%	7 6.1%	42 36.8%	57 50.0%	2 1.8%	6 5.3%
	（混合型）	46	0 0.0%	0 0.0%	2 4.3%	14 30.4%	28 60.9%	1 2.2%	1 2.2%
	介護医療院（全体）	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 2-1-33 日勤の休憩時間（看護職員）

		合計	30分未満	30分以上40分未満	40分以上50分未満	50分以上60分未満	60分以上70分未満	70分以上	無回答
施設種別	種別全体	3,426	4 0.1%	13 0.4%	143 4.2%	1095 32.0%	1853 54.1%	178 5.2%	140 4.1%
	特養（全体）	3,261	4 0.1%	12 0.4%	134 4.1%	1037 31.8%	1767 54.2%	175 5.4%	132 4.0%
	（ユニット型のみ）	1,599	3 0.2%	8 0.5%	53 3.3%	517 32.3%	896 56.0%	54 3.4%	68 4.3%
	（混合型）	244	0 0.0%	0 0.0%	8 3.3%	85 34.8%	128 52.5%	16 6.6%	7 2.9%
	（従来型のみ）	1,418	1 0.1%	4 0.3%	73 5.1%	435 30.7%	743 52.4%	105 7.4%	57 4.0%
	老健（全体）	160	0 0.0%	1 0.6%	9 5.6%	54 33.8%	85 53.1%	3 1.9%	8 5.0%
	（ユニット型のみ）	114	0 0.0%	0 0.0%	8 7.0%	40 35.1%	57 50.0%	2 1.8%	7 6.1%
	（混合型）	46	0 0.0%	1 2.2%	1 2.2%	14 30.4%	28 60.9%	1 2.2%	1 2.2%
	介護医療院（全体）	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%

(4) 時間外労働時間

1 週間あたりの時間外労働時間について、種別全体で、介護職員は、「5 時間未満」が 68.1%、「5 時間以上 10 時間未満」が 13.3%、「10 時間以上 15 時間未満」が 3.4%であった。看護職員は、「5 時間未満」が 68.6%、「5 時間以上 10 時間未満」が 9.4%、「10 時間以上 15 時間未満」が 2.3%であった。

図表 2-1-34 時間外労働時間（介護職員）

		合計	残業なし	5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 15時間未満	15時間以上 20時間未満	20時間以上	無回答
施設種別	種別全体	3,426	307 9.0%	2334 68.1%	454 13.3%	115 3.4%	42 1.2%	23 0.7%	151 4.4%
	特養（全体）	3,261	290 8.9%	2218 68.0%	431 13.2%	112 3.4%	40 1.2%	23 0.7%	147 4.5%
	（ユニット型のみ）	1,599	105 6.6%	1056 66.0%	245 15.3%	69 4.3%	24 1.5%	14 0.9%	86 5.4%
	（混合型）	244	20 8.2%	164 67.2%	35 14.3%	10 4.1%	5 2.0%	1 0.4%	9 3.7%
	（従来型のみ）	1,418	165 11.6%	998 70.4%	151 10.6%	33 2.3%	11 0.8%	8 0.6%	52 3.7%
	老健（全体）	160	17 10.6%	113 70.6%	21 13.1%	3 1.9%	2 1.3%	0 0.0%	4 2.5%
	（ユニット型のみ）	114	14 12.3%	77 67.5%	15 13.2%	2 1.8%	2 1.8%	0 0.0%	4 3.5%
	（混合型）	46	3 6.5%	36 78.3%	6 13.0%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	介護医療院（全体）	5	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 2-1-35 時間外労働時間（看護職員）

		合計	残業なし	5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 15時間未満	15時間以上 20時間未満	20時間以上	無回答
施設種別	種別全体	3,426	474 13.8%	2351 68.6%	323 9.4%	80 2.3%	27 0.8%	15 0.4%	156 4.6%
	特養（全体）	3,261	450 13.8%	2232 68.4%	312 9.6%	75 2.3%	26 0.8%	15 0.5%	151 4.6%
	（ユニット型のみ）	1,599	220 13.8%	1079 67.5%	150 9.4%	40 2.5%	13 0.8%	9 0.6%	88 5.5%
	（混合型）	244	32 13.1%	164 67.2%	27 11.1%	5 2.0%	3 1.2%	2 0.8%	11 4.5%
	（従来型のみ）	1,418	198 14.0%	989 69.7%	135 9.5%	30 2.1%	10 0.7%	4 0.3%	52 3.7%
	老健（全体）	160	24 15.0%	115 71.9%	10 6.3%	5 3.1%	1 0.6%	0 0.0%	5 3.1%
	（ユニット型のみ）	114	20 17.5%	80 70.2%	4 3.5%	4 3.5%	1 0.9%	0 0.0%	5 4.4%
	（混合型）	46	4 8.7%	35 76.1%	6 13.0%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	介護医療院（全体）	5	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

第3節. 各ユニットの運用状況や今後の設置意向

1. ユニットの定員数及びユニット数の状況

(1) ユニットの定員数ごとのユニット数

定員数ごとのユニット数の割合について、種別全体で、「8人」が3.0%、「9人」が5.1%、「10人」が82.7%、「11人」が2.3%、「12人」が4.7%、「13人」が0.2%、「14人」が0.1%、「15人」が0.2%、「その他」が1.6%であった。

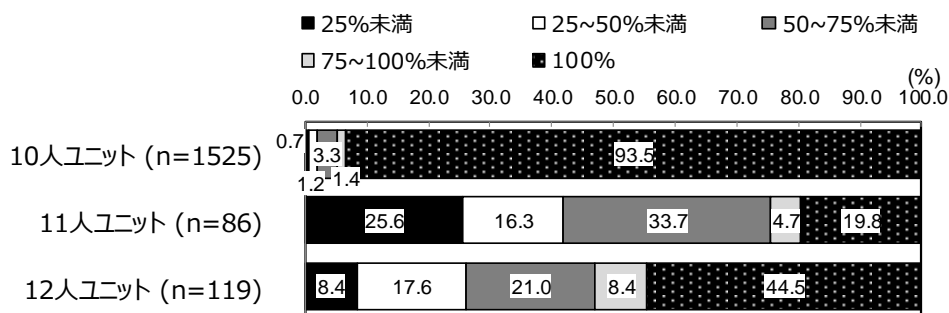
図表 3-1-36 各ユニットの定員数ごとのユニット数

定員数	全体 (n=1,753)		特養 (n=1,604)		老健 (n=145)		介護医療院 (n=4)	
	ユニット数	%	ユニット数	%	ユニット数	%	ユニット数	%
8人	408	3.0	402	3.2	6	0.7	0	0.0
9人	681	5.1	655	5.3	26	2.9	0	0.0
10人	11,066	82.7	10,233	82.2	808	88.3	25	83.3
11人	307	2.3	297	2.4	7	0.8	3	10.0
12人	627	4.7	588	4.7	39	4.3	0	0.0
13人	32	0.2	28	0.2	4	0.4	0	0.0
14人	18	0.1	18	0.1	0	0.0	0	0.0
15人	33	0.2	30	0.2	1	0.1	2	6.7
その他	211	1.6	192	1.5	19	2.1	0	0.0
合計	13,383	100.0	12,443	100.0	910	100.0	30	100.0

(2) X人ユニットを有する特養における全ユニットに占めるX人ユニットの割合（定員数別）

特養において、定員数10人ユニットを有する施設における定員数10人ユニットが占める構成比が「100%」の割合は93.5%、定員数11人ユニットを有する施設における定員数11人ユニットが占める構成比が「100%」の割合は19.8%、定員数12人ユニットを有する施設における定員数12人ユニットが占める構成比が「100%」の割合は44.5%であった。

図表 3-1-37 各ユニットの定員数ごとのユニット数

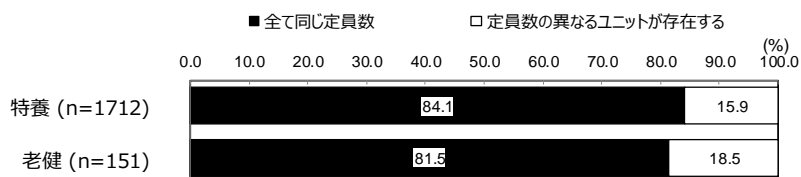


(3) ユニット定員数の分布

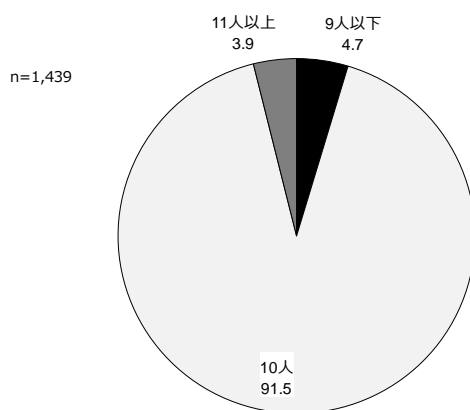
ユニット定員数の分布について、「全て同じ定員数」と回答した割合は特養が84.1%、老

健が 81.5%であった。また、「全て同じ定員数」と回答した特養（n=1,439）のうち、ユニット定員数が「10人」である割合は 91.5%であり、「定員数の異なるユニットが存在する」と回答した特養（n=338）のうち「8～10人ユニットが混在」である割合は 47.9%であった。

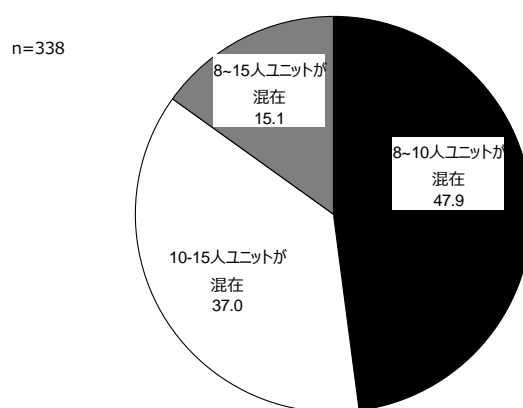
図表 3-1-38 各ユニットの定員数ごとのユニット数



図表 3-1-39 「全て同じ定員数」と回答した特養におけるユニット定員数の分布



図表 3-1-40 「定員数の異なるユニットが存在する」と回答した特養におけるユニット定員数の分布



2. 施設の一般的な入居者と職員配置の状況、業務負担

(1) 時間帯別の職員の配置状況と負担に感じる業務（10人ユニット、9人以下ユニット、11人以上ユニットとの比較）

朝から昼までのいずれの時間帯においても、介護職員数は、ユニット定員数が10人の場合に最も多い。また、午後から夜間までのいずれの時間帯においても、介護職員数は、ユニット定員数が10人、9人以下、11人以上の順に多くなっている。

図表 3-1-41 時間帯別の職員の配置状況
(10人ユニット、9人以下ユニット、11人以上ユニットとの比較)

単位：人

時間帯	職種	時点	ユニット定員数			
			全体	9人以下	10人	11人以上
朝 (6時台 ～ 8時台)	介護職員	最も多い	2.2	1.9	2.3	2.0
		最も少ない	1.2	1.1	1.2	1.1
	看護職員	最も多い	0.9	0.9	1.0	0.8
		最も少ない	0.4	0.4	0.4	0.4
午前 (9時台 ～ 11時台)	介護職員	最も多い	3.2	2.8	3.3	2.8
		最も少ない	1.8	1.6	1.8	1.5
	看護職員	最も多い	2.4	2.1	2.5	2.1
		最も少ない	1.2	1.1	1.3	1.1
昼 (12時台 ～ 13時台)	介護職員	最も多い	3.4	3.1	3.5	3.0
		最も少ない	2.0	1.9	2.1	1.7
	看護職員	最も多い	2.3	2.1	2.4	2.1
		最も少ない	1.2	1.0	1.2	1.1
午後 (14時台 ～ 16時台)	介護職員	最も多い	3.5	3.1	3.7	3.1
		最も少ない	2.1	1.9	2.1	1.7
	看護職員	最も多い	2.3	2.1	2.4	2.1
		最も少ない	1.2	1.1	1.3	1.1
夜間 (17時台 ～ 21時台)	介護職員	最も多い	2.4	2.2	2.5	2.1
		最も少ない	1.3	1.2	1.3	1.1
	看護職員	最も多い	1.4	1.3	1.4	1.2
		最も少ない	0.5	0.4	0.5	0.5

n=1,976 n=292 n=1,459 n=225

朝から昼までの時間帯において、全体と比較して定員数 11 人以上のユニットの方が負担に感じる割合が 3pt 以上高い業務は「朝の間接業務」（全体：45.3%、11 人以上：48.6%）、「午前の食事介助」（全体：24.9%、11 人以上：29.1%）、「昼の間接業務」（全体：37.1%、11 人以上：40.9%）、3pt 以上低い業務は「朝の医療的ケア」（全体：42.8%、11 人以上：38.6%）、「午前の身の回りの世話」（全体：39.9%、11 人以上：35.9%）、「昼の食事介助」（全体：59.0%、11 人以上：54.5%）である。

また、午後から夜間までの時間帯において、全体と比較して定員数 11 人以上のユニットの方が負担に感じる割合が 3pt 以上高い業務は「午後の食事介助」（全体：19.5%、11 人以上：22.7%）、「午後の食事介助」（全体：49.8%、11 人以上：56.4%）、3pt 以上低い業務は「午後の入浴介助」（全体：67.3%、11 人以上：64.1%）、「午後の身の回りの世話」（全体：36.4%、11 人以上：33.2%）、「夜間の医療的ケア」（全体：44.2%、11 人以上：40.9%）である。

図表 3-1-42 時間帯別の負担に感じる業務

単位：%

時間帯	業務内容	ユニット定員数			
		全体	9人以下	10人	11人以上
朝 (6時台 ～ 8時台)	入浴介助	5.6	4.5	5.5	8.2
	排泄介助	75.2	74.8	75.8	74.5
	食事介助	74.1	71.7	74.6	74.5
	医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養、点滴等）	42.8	44.4	43.1	38.6
	身の回りの世話	64.3	66.8	63.8	64.5
	事務作業（介護記録等の書類作成を含む）	61.6	54.5	62.8	62.7
午前 (9時台 ～ 11時台)	間接業務（掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）	45.3	46.2	44.6	48.6
	入浴介助	68.5	59.1	70.5	67.7
	排泄介助	55.3	50.7	56.5	53.2
	食事介助	24.9	28.3	23.6	29.1
	医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養、点滴等）	33.2	29.7	34.2	31.4
	身の回りの世話	39.9	36.4	41.2	35.9
昼 (12時台 ～ 13時台)	事務作業（介護記録等の書類作成を含む）	48.5	42.0	49.8	49.1
	間接業務（掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）	42.5	37.4	43.8	40.9
	入浴介助	23.3	22.0	23.5	23.6
	排泄介助	49.4	46.9	49.8	50.0
	食事介助	59.0	58.0	59.9	54.5
	医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養、点滴等）	32.6	30.4	33.4	30.5
午後 (14時台 ～ 16時台)	身の回りの世話	37.9	36.0	38.4	36.8
	事務作業（介護記録等の書類作成を含む）	44.4	38.5	45.7	43.6
	間接業務（掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）	37.1	32.9	37.4	40.9
	入浴介助	67.3	64.0	68.4	64.1
	排泄介助	49.1	46.5	50.0	46.4
	食事介助	19.5	19.6	19.0	22.7
夜間 (17時台 ～ 21時台)	医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養、点滴等）	32.0	31.1	31.9	33.2
	身の回りの世話	36.4	42.7	35.7	33.2
	事務作業（介護記録等の書類作成を含む）	49.8	44.1	50.0	56.4
	間接業務（掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）	39.0	35.3	39.6	39.5
	入浴介助	61.2	58.0	61.8	60.9
	排泄介助	71.9	68.2	72.7	71.4
夜間 (17時台 ～ 21時台)	食事介助	74.4	74.5	74.7	72.7
	医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養、点滴等）	44.2	45.1	44.5	40.9
	身の回りの世話	61.2	58.0	61.8	60.9
	事務作業（介護記録等の書類作成を含む）	58.6	59.4	58.8	55.9
	間接業務（掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）	48.3	47.6	48.0	50.9
			n=1,949	n=286	n=1,443

(2) 8人ユニット

① 職員の配置状況

8人ユニットにおける時間帯別の人数の平均について、最も多い多時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員 1.8人・看護職員 0.9人、午前（9時台～11時台）が介護職員 2.9人・看護職員 2.2人、昼（12時台～13時台）が介護職員 3.1人・看護職員 2.2人、午後（14時台～16時台）が介護職員 3.2人・看護職員 2.2人、夜間（17時台～21時台）が介護職員 2.3人・看護職員 1.4人であった。

最も少ない時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員 1.1人・看護職員 0.4人、午前（9時台～11時台）が介護職員 1.7人・看護職員 1.1人、昼（12時台～13時台）が介護職員 2.0人・看護職員 1.0人、午後（14時台～16時台）が介護職員 2.0人・看護職員 1.1人、夜間（17時台～21時台）が介護職員 1.1人・看護職員 0.4人であった。

※老健については、回答数が僅少のため説明省略

図表 3-1-43 職員の配置状況（8人ユニット）

平均値			単位：人	
			施設種別	
時間帯	職種	時点	特養 (n=118)	老健 (n=2)
朝（6時台～8時台）	介護職員	最も多い時点	1.8	3.0
		最も少ない時点	1.1	2.0
	看護職員	最も多い時点	0.9	1.0
		最も少ない時点	0.4	0.5
午前（9時台～11時台）	介護職員	最も多い時点	2.9	3.5
		最も少ない時点	1.7	2.0
	看護職員	最も多い時点	2.2	2.0
		最も少ない時点	1.1	1.5
昼（12時台～13時台）	介護職員	最も多い時点	3.1	1.5
		最も少ない時点	2.0	1.5
	看護職員	最も多い時点	2.2	1.0
		最も少ない時点	1.1	0.5
午後（14時台～16時台）	介護職員	最も多い時点	3.2	1.5
		最も少ない時点	2.0	1.5
	看護職員	最も多い時点	2.2	2.0
		最も少ない時点	1.1	1.5
夜間（17時台～21時台）	介護職員	最も多い時点	2.3	2.5
		最も少ない時点	1.1	2.0
	看護職員	最も多い時点	1.4	1.0
		最も少ない時点	0.4	0.5

② 入居者の要介護度

8人ユニットにおける入居者の要介護度について、要介護1が1.2%、要介護2が1.8%、要介護3が22.1%、要介護4が43.4%、要介護5が31.4%であった。

※老健については、回答数が僅少のため説明省略

図表 3-1-44 入居者の要介護度 (8人ユニット)

ユニットあたりの平均人数および割合 (%)

	回答数 (n)	ユニット 定員数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
特養	47	8人	0.1	0.1	1.8	3.5	2.5
			1.2	1.8	22.1	43.4	31.4
老健	1	8人	1.0	0.0	3.0	3.0	1.0
			12.5	0.0	37.5	37.5	12.5

③ 負担に感じる業務

8人ユニットにおける負担に感じる業務について「とても負担に感じる」と回答した割合は、種別全体で、「朝の排泄介助」が28.0%、「朝の食事介助」が25.4%、「夜間の食事介助」が24.6%であった。

図表 3-1-45 負担に感じる業務 (8人ユニット/全体)

時間帯	業務内容	全体 (n=118)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	5	0	3	1	107
		4.2	0.0	2.5	0.8	90.7
	排泄介助	33	56	27	0	1
		28.0	47.5	22.9	0.0	0.8
	食事介助	30	50	33	1	5
		25.4	42.4	28.0	0.8	4.2
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	2
		0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	18	34	25	0	39
		15.3	28.8	21.2	0.0	33.1
身の回りの世話	20	57	36	3	2	
	16.9	48.3	30.5	2.5	1.7	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	10	45	55	5	2	
	8.5	38.1	46.6	4.2	1.7	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	11	42	38	5	21	
	9.3	35.6	32.2	4.2	17.8	
午前 (9時台~11時台)	入浴介助	19	52	31	2	12
		16.1	44.1	26.3	1.7	10.2
	排泄介助	4	60	49	3	1
		3.4	50.8	41.5	2.5	0.8
	食事介助	2	27	39	4	44
		1.7	22.9	33.1	3.4	37.3
	リハビリテーション関連業務	0	0	1	0	1
		0.0	0.0	0.8	0.0	0.8
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	5	31	53	4	23
		4.2	26.3	44.9	3.4	19.5
身の回りの世話	2	42	64	8	0	
	1.7	35.6	54.2	6.8	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	7	44	49	7	9	
	5.9	37.3	41.5	5.9	7.6	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	6	37	63	10	1	
	5.1	31.4	53.4	8.5	0.8	
昼 (12時台~13時台)	入浴介助	20	54	35	4	5
		16.9	45.8	29.7	3.4	4.2
	排泄介助	4	50	59	3	1
		3.4	42.4	50.0	2.5	0.8
	食事介助	2	21	42	6	45
		1.7	17.8	35.6	5.1	38.1
	リハビリテーション関連業務	0	0	1	0	1
		0.0	0.0	0.8	0.0	0.8
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	3	32	51	4	25
		2.5	27.1	43.2	3.4	21.2
身の回りの世話	4	38	66	6	2	
	3.4	32.2	55.9	5.1	1.7	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1	39	68	8	0	
	0.8	33.1	57.6	6.8	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	4	33	61	11	7	
	3.4	28.0	51.7	9.3	5.9	
午後 (14時台~16時台)	入浴介助	21	55	35	4	3
		17.8	46.6	29.7	3.4	2.5
	排泄介助	4	52	58	3	0
		3.4	44.1	49.2	2.5	0.0
	食事介助	2	21	42	6	45
		1.7	17.8	35.6	5.1	38.1
	リハビリテーション関連業務	0	0	1	0	1
		0.0	0.0	0.8	0.0	0.8
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	4	35	50	4	23
		3.4	29.7	42.4	3.4	19.5
身の回りの世話	18	54	42	2	2	
	15.3	45.8	35.6	1.7	1.7	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	11	41	54	11	1	
	9.3	34.7	45.8	9.3	0.8	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	4	36	65	11	1	
	3.4	30.5	55.1	9.3	0.8	
夜間 (17時台~21時台)	入浴介助	6	0	5	1	104
		5.1	0.0	4.2	0.8	88.1
	排泄介助	21	61	34	1	0
		17.8	51.7	28.8	0.8	0.0
	食事介助	29	55	29	3	3
		24.6	46.6	24.6	2.5	2.5
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	2
		0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	15	39	26	3	33
		12.7	33.1	22.0	2.5	28.0
身の回りの世話	18	45	43	1	10	
	15.3	38.1	36.4	0.8	8.5	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	17	48	47	5	0	
	14.4	40.7	39.8	4.2	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	8	44	50	6	9	
	6.8	37.3	42.4	5.1	7.6	

図表 3-1-46 負担に感じる業務 (8人ユニット/特養)

時間帯	業務内容	特養 (n=116)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	5 4.3	0 0.0	3 2.6	1 0.9	105 90.5
	排泄介助	32 27.6	55 47.4	27 23.3	0 0.0	1 0.9
	食事介助	30 25.9	48 41.4	33 28.4	1 0.9	5 4.3
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	18 15.5	33 28.4	24 20.7	0 0.0	39 33.6
	身の回りの世話	20 17.2	55 47.4	36 31.0	3 2.6	2 1.7
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	10 8.6	43 37.1	55 47.4	5 4.3	2 1.7
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	11 9.5	41 35.3	37 31.9	5 4.3	21 18.1
	午前 (9時台~11時台)	入浴介助	18 15.5	51 44.0	31 26.7	2 1.7
排泄介助		4 3.4	58 50.0	49 42.2	3 2.6	1 0.9
食事介助		2 1.7	26 22.4	39 33.6	4 3.4	43 37.1
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		5 4.3	30 25.9	52 44.8	4 3.4	23 19.8
身の回りの世話		2 1.7	41 35.3	63 54.3	8 6.9	0 0.0
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		7 6.0	42 36.2	49 42.2	7 6.0	9 7.8
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		6 5.2	36 31.0	62 53.4	10 8.6	1 0.9
昼 (12時台~13時台)		入浴介助	9 7.8	18 15.5	16 13.8	3 2.6
	排泄介助	7 6.0	44 37.9	53 45.7	4 3.4	7 6.0
	食事介助	15 12.9	47 40.5	47 40.5	7 6.0	1 0.9
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	3 2.6	31 26.7	50 43.1	4 3.4	25 21.6
	身の回りの世話	4 3.4	37 31.9	65 56.0	6 5.2	2 1.7
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1 0.9	38 32.8	67 57.8	8 6.9	0 0.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	4 3.4	32 27.6	60 51.7	11 9.5	7 6.0
	午後 (14時台~16時台)	入浴介助	20 17.2	54 46.6	35 30.2	4 3.4
排泄介助		4 3.4	50 43.1	58 50.0	3 2.6	0 0.0
食事介助		2 1.7	20 17.2	41 35.3	6 5.2	45 38.8
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		4 3.4	34 29.3	49 42.2	4 3.4	23 19.8
身の回りの世話		18 15.5	53 45.7	41 35.3	2 1.7	2 1.7
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		11 9.5	40 34.5	53 45.7	11 9.5	1 0.9
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		4 3.4	35 30.2	64 55.2	11 9.5	1 0.9
夜間 (17時台~21時台)		入浴介助	6 5.2	0 0.0	5 4.3	1 0.9
	排泄介助	21 18.1	59 50.9	34 29.3	1 0.9	0 0.0
	食事介助	29 25.0	54 46.6	29 25.0	3 2.6	2 1.7
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	15 12.9	38 32.8	25 21.6	3 2.6	33 28.4
	身の回りの世話	18 15.5	43 37.1	43 37.1	1 0.9	10 8.6
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	16 13.8	47 40.5	47 40.5	5 4.3	0 0.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	8 6.9	43 37.1	49 42.2	6 5.2	9 7.8

図表 3-1-47 負担に感じる業務 (8人ユニット/老健)

時間帯	業務内容	老健 (n=2)				実施していない
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	0	0	0	0	2
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	排泄介助	1	1	0	0	0
		50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	食事介助	0	2	0	0	0
		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	2
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	1	1	0	0
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
身の回りの世話	0	2	0	0	0	
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	2	0	0	0	
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	1	1	0	0	
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
午前 (9時台~11時台)	入浴介助	1	1	0	0	0
		50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	排泄介助	0	2	0	0	0
		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	食事介助	0	1	0	0	1
		0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	1	0	1
		0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	1	1	0	0
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
身の回りの世話	0	1	1	0	0	
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	2	0	0	0	
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	1	1	0	0	
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
昼 (12時台~13時台)	入浴介助	0	0	0	0	2
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	排泄介助	0	0	1	0	1
		0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	食事介助	0	1	1	0	0
		0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	1	0	1
		0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	1	1	0	0
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
身の回りの世話	0	1	1	0	0	
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	1	1	0	0	
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	1	1	0	0	
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
午後 (14時台~16時台)	入浴介助	1	1	0	0	0
		50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	排泄介助	0	2	0	0	0
		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	食事介助	0	1	1	0	0
		0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	1	0	1
		0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	1	1	0	0
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
身の回りの世話	0	1	1	0	0	
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	1	1	0	0	
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	1	1	0	0	
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
夜間 (17時台~21時台)	入浴介助	0	0	0	0	2
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	排泄介助	0	2	0	0	0
		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	食事介助	0	1	0	0	1
		0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	2
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	1	1	0	0
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
身の回りの世話	0	2	0	0	0	
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1	1	0	0	0	
	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	1	1	0	0	
	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	

(3) 9人ユニット

① 職員の配置状況

9人ユニットにおける時間帯別の人数の平均について、特養では、最も多い多時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員2.0人・看護職員0.8人、午前（9時台～11時台）が介護職員2.7人・看護職員2.0人、昼（12時台～13時台）が介護職員3.0人・看護職員2.0人、午後（14時台～16時台）が介護職員3.0人・看護職員2.0人、夜間（17時台～21時台）が介護職員2.1人・看護職員1.2人であった。

最も少ない時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員1.1人・看護職員0.4人、午前（9時台～11時台）が介護職員1.5人・看護職員1.0人、昼（12時台～13時台）が介護職員1.8人・看護職員1.0人、午後（14時台～16時台）が介護職員1.8人・看護職員1.1人、夜間（17時台～21時台）が介護職員1.2人・看護職員0.5人であった。

また、老健では、最も多い多時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員1.6人・看護職員0.7人、午前（9時台～11時台）が介護職員1.9人・看護職員1.3人、昼（12時台～13時台）が介護職員1.9人・看護職員1.2人、午後（14時台～16時台）が介護職員2.0人・看護職員1.2人、夜間（17時台～21時台）が介護職員1.6人・看護職員0.9人であった。

最も少ない時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員1.1人・看護職員0.3人、午前（9時台～11時台）が介護職員1.2人・看護職員0.7人、昼（12時台～13時台）が介護職員1.3人・看護職員0.6人、午後（14時台～16時台）が介護職員1.4人・看護職員0.7人、夜間（17時台～21時台）が介護職員1.2人・看護職員0.3人であった。

図表 3-1-48 職員の配置状況（9人ユニット）

単位：人

時間帯	職種	時点	施設種別	
			特養 (n=174)	老健 (n=19)
朝（6時台～8時台）	介護職員	最も多い時点	2.0	1.6
		最も少ない時点	1.1	1.1
	看護職員	最も多い時点	0.8	0.7
		最も少ない時点	0.4	0.3
午前（9時台～11時台）	介護職員	最も多い時点	2.7	1.9
		最も少ない時点	1.5	1.2
	看護職員	最も多い時点	2.0	1.3
		最も少ない時点	1.0	0.7
昼（12時台～13時台）	介護職員	最も多い時点	3.0	1.9
		最も少ない時点	1.8	1.3
	看護職員	最も多い時点	2.0	1.2
		最も少ない時点	1.0	0.6
午後（14時台～16時台）	介護職員	最も多い時点	3.0	2.0
		最も少ない時点	1.8	1.4
	看護職員	最も多い時点	2.0	1.2
		最も少ない時点	1.1	0.7
夜間（17時台～21時台）	介護職員	最も多い時点	2.1	1.6
		最も少ない時点	1.2	1.2
	看護職員	最も多い時点	1.2	0.9
		最も少ない時点	0.5	0.3

② 入居者の要介護度

9人ユニットにおける入居者の要介護度について、要介護1が1.0%、要介護2が2.0%、要介護3が24.9%、要介護4が41.9%、要介護5が30.2%であった。

※老健については、回答数が僅少のため説明省略

図表 3-1-49 入居者の要介護度（9人ユニット）

ユニットあたりの平均人数および割合（%）

	回答数 (n)	ユニット 定員数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
特養	131	9人	0.1	0.2	2.2	3.8	2.7
			1.0	2.0	24.9	41.9	30.2
老健	7	9人	1.7	1.6	2.0	2.6	1.1
			19.0	17.5	22.2	28.6	12.7

③ 負担に感じる業務

9人ユニットにおける負担に感じる業務について「とても負担に感じる」と回答した割合は、種別全体で、「朝の食事介助」が23.3%、「朝の排泄介助」が22.2%、「夜間の食事介助」が21.2%であった。

図表 3-1-50 負担に感じる業務 (9人ユニット/全体)

時間帯	業務内容	全体 (n=189)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台～8時台)	入浴介助	7	1	1	0	173
		3.7	0.5	0.5	0.0	91.5
	排泄介助	42	100	37	4	5
		22.2	52.9	19.6	2.1	2.6
	食事介助	44	94	39	5	7
		23.3	49.7	20.6	2.6	3.7
	リハビリテーション関連業務	0	1	0	1	16
		0.0	0.5	0.0	0.5	8.5
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	28	55	35	5	58
		14.8	29.1	18.5	2.6	30.7
身の回りの世話	27	104	51	4	2	
	14.3	55.0	27.0	2.1	1.1	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	26	87	59	4	11	
	13.8	46.0	31.2	2.1	5.8	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	24	64	57	6	32	
	12.7	33.9	30.2	3.2	16.9	
午前 (9時台～11時台)	入浴介助	28	84	53	9	12
		14.8	44.4	28.0	4.8	6.3
	排泄介助	14	74	91	7	0
		7.4	39.2	48.1	3.7	0.0
	食事介助	3	54	57	4	64
		1.6	28.6	30.2	2.1	33.9
	リハビリテーション関連業務	0	4	7	5	3
		0.0	2.1	3.7	2.6	1.6
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	8	49	70	14	41
		4.2	25.9	37.0	7.4	21.7
身の回りの世話	3	66	107	9	1	
	1.6	34.9	56.6	4.8	0.5	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	14	65	98	6	4	
	7.4	34.4	51.9	3.2	2.1	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	10	62	98	12	5	
	5.3	32.8	51.9	6.3	2.6	
昼 (12時台～13時台)	入浴介助	28	85	51	9	15
		14.8	45.0	27.0	4.8	7.9
	排泄介助	13	74	93	6	0
		6.9	39.2	49.2	3.2	0.0
	食事介助	4	38	66	7	67
		2.1	20.1	34.9	3.7	35.4
	リハビリテーション関連業務	0	4	3	3	9
		0.0	2.1	1.6	1.6	4.8
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	6	52	76	13	33
		3.2	27.5	40.2	6.9	17.5
身の回りの世話	5	65	107	7	1	
	2.6	34.4	56.6	3.7	0.5	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	11	66	89	6	13	
	5.8	34.9	47.1	3.2	6.9	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	6	56	97	10	16	
	3.2	29.6	51.3	5.3	8.5	
午後 (14時台～16時台)	入浴介助	30	89	54	11	5
		15.9	47.1	28.6	5.8	2.6
	排泄介助	13	70	97	6	0
		6.9	37.0	51.3	3.2	0.0
	食事介助	3	34	64	7	73
		1.6	18.0	33.9	3.7	38.6
	リハビリテーション関連業務	0	3	7	5	4
		0.0	1.6	3.7	2.6	2.1
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	7	49	77	12	38
		3.7	25.9	40.7	6.3	20.1
身の回りの世話	3	55	117	9	1	
	1.6	29.1	61.9	4.8	0.5	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	17	66	97	7	1	
	9.0	34.9	51.3	3.7	0.5	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	6	60	104	12	5	
	3.2	31.7	55.0	6.3	2.6	
夜間 (17時台～21時台)	入浴介助	8	2	4	0	167
		4.2	1.1	2.1	0.0	88.4
	排泄介助	36	95	50	5	0
		19.0	50.3	26.5	2.6	0.0
	食事介助	40	102	38	6	2
		21.2	54.0	20.1	3.2	1.1
	リハビリテーション関連業務	0	1	0	1	16
		0.0	0.5	0.0	0.5	8.5
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	28	55	43	6	46
		14.8	29.1	22.8	3.2	24.3
身の回りの世話	18	101	63	5	1	
	9.5	53.4	33.3	2.6	0.5	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	21	97	60	4	4	
	11.1	51.3	31.7	2.1	2.1	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	17	75	69	8	15	
	9.0	39.7	36.5	4.2	7.9	

図表 3-1-51 負担に感じる業務 (9人ユニット/特養)

時間帯	業務内容	特養 (n=170)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	7 4.1	1 0.6	1 0.6	0 0.0	155 91.2
	排泄介助	38 22.4	89 52.4	33 19.4	4 2.4	5 2.9
	食事介助	41 24.1	86 50.6	33 19.4	3 1.8	7 4.1
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	26 15.3	50 29.4	32 18.8	3 1.8	52 30.6
	身の回りの世話	26 15.3	90 52.9	48 28.2	3 1.8	2 1.2
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	24 14.1	79 46.5	52 30.6	3 1.8	10 5.9
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	21 12.4	59 34.7	50 29.4	6 3.5	29 17.1
	午前 (9時台~11時台)	入浴介助	24 14.1	76 44.7	47 27.6	8 4.7
排泄介助		14 8.2	69 40.6	77 45.3	7 4.1	0 0.0
食事介助		3 1.8	50 29.4	50 29.4	3 1.8	58 34.1
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		8 4.7	42 24.7	64 37.6	13 7.6	37 21.8
身の回りの世話		3 1.8	58 34.1	98 57.6	7 4.1	1 0.6
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		14 8.2	57 33.5	88 51.8	5 2.9	4 2.4
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		10 5.9	55 32.4	86 50.6	12 7.1	5 2.9
昼 (12時台~13時台)		入浴介助	10 5.9	26 15.3	21 12.4	2 1.2
	排泄介助	15 8.8	68 40.0	71 41.8	4 2.4	8 4.7
	食事介助	28 16.5	76 44.7	60 35.3	5 2.9	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	6 3.5	47 27.6	68 40.0	11 6.5	30 17.6
	身の回りの世話	5 2.9	57 33.5	97 57.1	6 3.5	1 0.6
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	11 6.5	60 35.3	78 45.9	5 2.9	12 7.1
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	6 3.5	52 30.6	83 48.8	10 5.9	15 8.8
	午後 (14時台~16時台)	入浴介助	28 16.5	81 47.6	49 28.8	9 5.3
排泄介助		13 7.6	66 38.8	82 48.2	6 3.5	0 0.0
食事介助		3 1.8	31 18.2	57 33.5	5 2.9	67 39.4
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		7 4.1	44 25.9	69 40.6	11 6.5	34 20.0
身の回りの世話		3 1.8	48 28.2	107 62.9	7 4.1	1 0.6
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		17 10.0	58 34.1	88 51.8	5 2.9	1 0.6
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		6 3.5	56 32.9	90 52.9	11 6.5	5 2.9
夜間 (17時台~21時台)		入浴介助	8 4.7	2 1.2	3 1.8	0 0.0
	排泄介助	31 18.2	84 49.4	47 27.6	5 2.9	0 0.0
	食事介助	38 22.4	92 54.1	32 18.8	5 2.9	2 1.2
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	28 16.5	48 28.2	39 22.9	5 2.9	41 24.1
	身の回りの世話	16 9.4	89 52.4	59 34.7	4 2.4	1 0.6
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	18 10.6	89 52.4	53 31.2	3 1.8	4 2.4
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	15 8.8	70 41.2	61 35.9	7 4.1	13 7.6

図表 3-1-52 負担に感じる業務 (9人ユニット/老健)

時間帯	業務内容	老健 (n=19)				実施していない
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	
朝 (6時台～8時台)	入浴介助	0	0	0	0	18
		0.0	0.0	0.0	0.0	94.7
	排泄介助	4	11	4	0	0
		21.1	57.9	21.1	0.0	0.0
	食事介助	3	8	6	2	0
		15.8	42.1	31.6	10.5	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	1	0	1	16
		0.0	5.3	0.0	5.3	84.2
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	2	5	3	2	6
	10.5	26.3	15.8	10.5	31.6	
身の回りの世話	1	14	3	1	0	
	5.3	73.7	15.8	5.3	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	2	8	7	1	1	
	10.5	42.1	36.8	5.3	5.3	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	3	5	7	0	3	
	15.8	26.3	36.8	0.0	15.8	
午前 (9時台～11時台)	入浴介助	4	8	6	1	0
		21.1	42.1	31.6	5.3	0.0
	排泄介助	0	5	14	0	0
		0.0	26.3	73.7	0.0	0.0
	食事介助	0	4	7	1	6
		0.0	21.1	36.8	5.3	31.6
	リハビリテーション関連業務	0	4	7	5	3
		0.0	21.1	36.8	26.3	15.8
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	7	6	1	4
	0.0	36.8	31.6	5.3	21.1	
身の回りの世話	0	8	9	2	0	
	0.0	42.1	47.4	10.5	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	8	10	1	0	
	0.0	42.1	52.6	5.3	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	7	12	0	0	
	0.0	36.8	63.2	0.0	0.0	
昼 (12時台～13時台)	入浴介助	0	4	2	0	12
		0.0	21.1	10.5	0.0	63.2
	排泄介助	0	8	11	0	0
		0.0	42.1	57.9	0.0	0.0
	食事介助	1	7	9	2	0
		5.3	36.8	47.4	10.5	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	4	3	3	9
		0.0	21.1	15.8	15.8	47.4
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	5	8	2	3
	0.0	26.3	42.1	10.5	15.8	
身の回りの世話	0	8	10	1	0	
	0.0	42.1	52.6	5.3	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	6	11	1	1	
	0.0	31.6	57.9	5.3	5.3	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	4	14	0	1	
	0.0	21.1	73.7	0.0	5.3	
午後 (14時台～16時台)	入浴介助	2	8	5	2	2
		10.5	42.1	26.3	10.5	10.5
	排泄介助	0	4	15	0	0
		0.0	21.1	78.9	0.0	0.0
	食事介助	0	3	7	2	6
		0.0	15.8	36.8	10.5	31.6
	リハビリテーション関連業務	0	3	7	5	4
		0.0	15.8	36.8	26.3	21.1
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	5	8	1	4
	0.0	26.3	42.1	5.3	21.1	
身の回りの世話	0	7	10	2	0	
	0.0	36.8	52.6	10.5	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	8	9	2	0	
	0.0	42.1	47.4	10.5	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	4	14	1	0	
	0.0	21.1	73.7	5.3	0.0	
夜間 (17時台～21時台)	入浴介助	0	0	1	0	17
		0.0	0.0	5.3	0.0	89.5
	排泄介助	5	11	3	0	0
		26.3	57.9	15.8	0.0	0.0
	食事介助	2	10	6	1	0
		10.5	52.6	31.6	5.3	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	1	0	1	16
		0.0	5.3	0.0	5.3	84.2
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	7	4	1	5
	0.0	36.8	21.1	5.3	26.3	
身の回りの世話	2	12	4	1	0	
	10.5	63.2	21.1	5.3	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	3	8	7	1	0	
	15.8	42.1	36.8	5.3	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	2	5	8	1	2	
	10.5	26.3	42.1	5.3	10.5	

(4) 10人ユニット

① 職員の配置状況

10人ユニットにおける時間帯別の人数の平均について、特養では、最も多い多時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員2.3人・看護職員1.0人、午前（9時台～11時台）が介護職員3.3人・看護職員2.5人、昼（12時台～13時台）が介護職員3.5人・看護職員2.4人、午後（14時台～16時台）が介護職員3.7人・看護職員2.4人、夜間（17時台～21時台）が介護職員2.5人・看護職員1.4人であった。

最も少ない時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員1.2人・看護職員0.4人、午前（9時台～11時台）が介護職員1.8人・看護職員1.3人、昼（12時台～13時台）が介護職員2.1人・看護職員1.2人、午後（14時台～16時台）が介護職員2.1人・看護職員1.3人、夜間（17時台～21時台）が介護職員1.3人・看護職員0.5人であった。

また、老健では、最も多い多時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員2.0人・看護職員0.9人、午前（9時台～11時台）が介護職員3.2人・看護職員1.9人、昼（12時台～13時台）が介護職員3.0人・看護職員1.8人、午後（14時台～16時台）が介護職員3.1人・看護職員1.8人、夜間（17時台～21時台）が介護職員2.0人・看護職員1.0人であった。

最も少ない時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員1.1人・看護職員0.4人、午前（9時台～11時台）が介護職員1.8人・看護職員0.9人、昼（12時台～13時台）が介護職員2.0人・看護職員0.8人、午後（14時台～16時台）が介護職員1.8人・看護職員0.9人、夜間（17時台～21時台）が介護職員1.2人・看護職員0.5人であった。

※介護医療院については、回答数が僅少のため説明省略

図表 3-1-53 職員の配置状況 (10人ユニット)

単位：人

平均値			施設種別		
時間帯	職種	時点	特養 (n=1,459)	老健 (n=97)	介護医療院 (n=4)
朝 (6時台~8時台)	介護職員	最も多い時点	2.3	2.0	1.8
		最も少ない時点	1.2	1.1	0.5
	看護職員	最も多い時点	1.0	0.9	0.8
		最も少ない時点	0.4	0.4	0.3
午前 (9時台~11時台)	介護職員	最も多い時点	3.3	3.2	2.3
		最も少ない時点	1.8	1.8	1.0
	看護職員	最も多い時点	2.5	1.9	1.3
		最も少ない時点	1.3	0.9	0.3
昼 (12時台~13時台)	介護職員	最も多い時点	3.5	3.0	2.3
		最も少ない時点	2.1	2.0	1.0
	看護職員	最も多い時点	2.4	1.8	1.0
		最も少ない時点	1.2	0.8	0.3
午後 (14時台~16時台)	介護職員	最も多い時点	3.7	3.1	2.5
		最も少ない時点	2.1	1.8	1.3
	看護職員	最も多い時点	2.4	1.8	1.3
		最も少ない時点	1.3	0.9	0.3
夜間 (17時台~21時台)	介護職員	最も多い時点	2.5	2.0	1.5
		最も少ない時点	1.3	1.2	0.5
	看護職員	最も多い時点	1.4	1.0	1.3
		最も少ない時点	0.5	0.5	0.3

② 入居者の要介護度

10人ユニットにおける入居者の要介護度について、特養では、要介護1が0.6%、要介護2が2.3%、要介護3が26.2%、要介護4が41.0%、要介護5が29.9%であった。

また、老健では、要介護1が11.7%、要介護2が21.7%、要介護3が25.6%、要介護4が28.5%、要介護5が12.5%であった。

※介護医療院については、回答数が僅少のため説明省略

図表 3-1-54 入居者の要介護度 (10人ユニット)

ユニットあたりの平均人数および割合 (%)

	回答数 (n)	ユニット 定員数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
特養	1,062	10人	0.1	0.2	2.6	4.1	3.0
			0.6	2.3	26.2	41.0	29.9
老健	52		1.2	2.2	2.6	2.8	1.3
			11.7	21.7	25.6	28.5	12.5
介護医療院	3		0.3	0.7	2.0	1.7	5.3
			3.3	6.7	20.0	16.7	53.3

③ 負担に感じる業務

10人ユニットにおける負担に感じる業務について「とても負担に感じる」と回答した割合は、種別全体で、「朝の排泄介助」が27.1%、「朝の食事介助」が26.8%、「夜間の食事介助」が23.3%であった。

図表 3-1-55 負担に感じる業務 (10人ユニット/全体)

時間帯	業務内容	全体 (n=1,544)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台～8時台)	入浴介助	72 4.7	16 1.0	16 1.0	2 0.1	1386 89.8
	排泄介助	419 27.1	763 49.4	278 18.0	52 3.4	22 1.4
	食事介助	414 26.8	724 46.9	303 19.6	55 3.6	47 3.0
	リハビリテーション関連業務	5 0.3	4 0.3	8 0.5	1 0.1	74 4.8
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	239 15.5	432 28.0	304 19.7	44 2.8	475 30.8
	身の回りの世話	291 18.8	696 45.1	452 29.3	75 4.9	15 1.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	259 16.8	705 45.7	424 27.5	55 3.6	76 4.9
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	178 11.5	509 33.0	465 30.1	71 4.6	292 18.9
	午前 (9時台～11時台)	入浴介助	352 22.8	729 47.2	316 20.5	61 4.0
排泄介助		148 9.6	711 46.0	588 38.1	84 5.4	3 0.2
食事介助		57 3.7	300 19.4	422 27.3	63 4.1	656 42.5
リハビリテーション関連業務		5 0.3	12 0.8	49 3.2	20 1.3	10 0.6
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		76 4.9	450 29.1	636 41.2	96 6.2	247 16.0
身の回りの世話		62 4.0	568 36.8	769 49.8	119 7.7	7 0.5
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		117 7.6	651 42.2	664 43.0	61 4.0	36 2.3
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		94 6.1	583 37.8	687 44.5	99 6.4	61 4.0
昼 (12時台～13時台)		入浴介助	297 19.2	714 46.2	350 22.7	74 4.8
	排泄介助	107 6.9	663 42.9	656 42.5	100 6.5	6 0.4
	食事介助	37 2.4	283 18.3	481 31.2	90 5.8	611 39.6
	リハビリテーション関連業務	2 0.1	12 0.8	24 1.6	10 0.6	46 3.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	74 4.8	442 28.6	623 40.3	101 6.5	252 16.3
	身の回りの世話	71 4.6	517 33.5	804 52.1	116 7.5	17 1.1
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	118 7.6	587 38.0	656 42.5	72 4.7	89 5.8
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	95 6.2	479 31.0	692 44.8	105 6.8	149 9.7
	午後 (14時台～16時台)	入浴介助	310 20.1	737 47.7	367 23.8	77 5.0
排泄介助		106 6.9	660 42.7	660 42.7	102 6.6	5 0.3
食事介助		30 1.9	262 17.0	465 30.1	89 5.8	654 42.4
リハビリテーション関連業務		3 0.2	14 0.9	51 3.3	20 1.3	8 0.5
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		71 4.6	420 27.2	653 42.3	95 6.2	262 17.0
身の回りの世話		59 3.8	484 31.3	843 54.6	132 8.5	7 0.5
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		131 8.5	641 41.5	667 43.2	82 5.3	13 0.8
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		82 5.3	527 34.1	742 48.1	123 8.0	54 3.5
夜間 (17時台～21時台)		入浴介助	64 4.1	26 1.7	21 1.4	5 0.3
	排泄介助	315 20.4	810 52.5	344 22.3	59 3.8	10 0.6
	食事介助	359 23.3	777 50.3	321 20.8	51 3.3	27 1.7
	リハビリテーション関連業務	3 0.2	4 0.3	12 0.8	2 0.1	72 4.7
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	221 14.3	474 30.7	341 22.1	55 3.6	404 26.2
	身の回りの世話	233 15.1	729 47.2	479 31.0	76 4.9	14 0.9
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	192 12.4	716 46.4	522 33.8	68 4.4	26 1.7
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	159 10.3	575 37.2	546 35.4	90 5.8	147 9.5

図表 3-1-56 負担に感じる業務 (10人ユニット/特養)

時間帯	業務内容	特養 (n=1,443)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	65 4.5	14 1.0	15 1.0	2 0.1	1299 90.0
	排泄介助	398 27.6	710 49.2	256 17.7	50 3.5	21 1.5
	食事介助	400 27.7	676 46.8	274 19.0	49 3.4	44 3.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	220 15.2	402 27.9	281 19.5	37 2.6	456 31.6
	身の回りの世話	272 18.8	648 44.9	426 29.5	68 4.7	15 1.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	241 16.7	665 46.1	391 27.1	53 3.7	71 4.9
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	167 11.6	477 33.1	440 30.5	64 4.4	269 18.6
	午前 (9時台~11時台)	入浴介助	326 22.6	692 48.0	288 20.0	57 4.0
排泄介助		140 9.7	675 46.8	537 37.2	79 5.5	3 0.2
食事介助		54 3.7	286 19.8	405 28.1	59 4.1	596 41.3
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		69 4.8	425 29.5	592 41.0	89 6.2	230 15.9
身の回りの世話		57 4.0	537 37.2	717 49.7	109 7.6	6 0.4
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		108 7.5	610 42.3	619 42.9	58 4.0	35 2.4
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		88 6.1	544 37.7	642 44.5	92 6.4	59 4.1
昼 (12時台~13時台)		入浴介助	112 7.8	227 15.7	127 8.8	17 1.2
	排泄介助	124 8.6	595 41.2	552 38.3	81 5.6	73 5.1
	食事介助	237 16.4	627 43.5	492 34.1	81 5.6	6 0.4
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	67 4.6	415 28.8	586 40.6	92 6.4	234 16.2
	身の回りの世話	66 4.6	488 33.8	750 52.0	105 7.3	16 1.1
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	111 7.7	548 38.0	612 42.4	69 4.8	84 5.8
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	91 6.3	448 31.0	645 44.7	99 6.9	139 9.6
	午後 (14時台~16時台)	入浴介助	293 20.3	694 48.1	344 23.8	73 5.1
排泄介助		100 6.9	621 43.0	612 42.4	96 6.7	4 0.3
食事介助		27 1.9	247 17.1	437 30.3	82 5.7	609 42.2
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		65 4.5	396 27.4	606 42.0	88 6.1	246 17.0
身の回りの世話		55 3.8	460 31.9	782 54.2	123 8.5	6 0.4
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		120 8.3	601 41.6	622 43.1	80 5.5	12 0.8
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		78 5.4	494 34.2	692 48.0	114 7.9	51 3.5
夜間 (17時台~21時台)		入浴介助	57 4.0	24 1.7	20 1.4	5 0.3
	排泄介助	292 20.2	757 52.5	321 22.2	57 4.0	10 0.7
	食事介助	346 24.0	732 50.7	291 20.2	43 3.0	23 1.6
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	203 14.1	439 30.4	316 21.9	50 3.5	389 27.0
	身の回りの世話	218 15.1	674 46.7	454 31.5	70 4.9	14 1.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	179 12.4	670 46.4	486 33.7	66 4.6	24 1.7
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	151 10.5	542 37.6	513 35.6	81 5.6	132 9.1

図表 3-1-57 負担に感じる業務 (10人ユニット/老健)

時間帯	業務内容	老健 (n=97)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	7	2	0	0	85
		7.2	2.1	0.0	0.0	87.6
	排泄介助	21	52	21	1	0
		21.6	53.6	21.6	1.0	0.0
	食事介助	14	46	29	5	2
		14.4	47.4	29.9	5.2	2.1
	リハビリテーション関連業務	5	4	8	1	74
		5.2	4.1	8.2	1.0	75.3
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	19	30	22	5	18
	19.6	30.9	22.7	5.2	18.6	
身の回りの世話	18	47	25	6	0	
	18.6	48.5	25.8	6.2	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	18	39	30	2	5	
	18.6	40.2	30.9	2.1	5.2	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	11	32	22	6	23	
	11.3	33.0	22.7	6.2	23.7	
午前 (9時台~11時台)	入浴介助	25	36	27	3	5
		25.8	37.1	27.8	3.1	5.2
	排泄介助	8	35	49	4	0
		8.2	36.1	50.5	4.1	0.0
	食事介助	3	13	16	3	59
		3.1	13.4	16.5	3.1	60.8
	リハビリテーション関連業務	5	12	49	20	10
		5.2	12.4	50.5	20.6	10.3
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	7	25	42	6	16
	7.2	25.8	43.3	6.2	16.5	
身の回りの世話	5	29	51	9	1	
	5.2	29.9	52.6	9.3	1.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	8	41	42	3	1	
	8.2	42.3	43.3	3.1	1.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	5	39	42	7	2	
	5.2	40.2	43.3	7.2	2.1	
昼 (12時台~13時台)	入浴介助	4	18	6	1	65
		4.1	18.6	6.2	1.0	67.0
	排泄介助	7	41	42	3	2
		7.2	42.3	43.3	3.1	2.1
	食事介助	10	34	44	6	2
		10.3	35.1	45.4	6.2	2.1
	リハビリテーション関連業務	2	12	24	10	46
		2.1	12.4	24.7	10.3	47.4
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	7	27	36	7	17
	7.2	27.8	37.1	7.2	17.5	
身の回りの世話	5	28	52	10	1	
	5.2	28.9	53.6	10.3	1.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	7	37	42	3	5	
	7.2	38.1	43.3	3.1	5.2	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	4	30	45	6	9	
	4.1	30.9	46.4	6.2	9.3	
午後 (14時台~16時台)	入浴介助	17	41	22	4	12
		17.5	42.3	22.7	4.1	12.4
	排泄介助	6	38	47	4	1
		6.2	39.2	48.5	4.1	1.0
	食事介助	3	13	27	6	45
		3.1	13.4	27.8	6.2	46.4
	リハビリテーション関連業務	3	14	51	20	8
		3.1	14.4	52.6	20.6	8.2
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	6	24	45	6	15
	6.2	24.7	46.4	6.2	15.5	
身の回りの世話	4	22	60	8	1	
	4.1	22.7	61.9	8.2	1.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	10	39	43	2	1	
	10.3	40.2	44.3	2.1	1.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	3	33	48	8	3	
	3.1	34.0	49.5	8.2	3.1	
夜間 (17時台~21時台)	入浴介助	7	2	1	0	84
		7.2	2.1	1.0	0.0	86.6
	排泄介助	22	53	21	1	0
		22.7	54.6	21.6	1.0	0.0
	食事介助	13	43	30	6	4
		13.4	44.3	30.9	6.2	4.1
	リハビリテーション関連業務	3	4	12	2	72
		3.1	4.1	12.4	2.1	74.2
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	18	35	23	4	14
	18.6	36.1	23.7	4.1	14.4	
身の回りの世話	15	53	24	5	0	
	15.5	54.6	24.7	5.2	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	13	44	34	2	2	
	13.4	45.4	35.1	2.1	2.1	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	8	33	29	9	15	
	8.2	34.0	29.9	9.3	15.5	

図表 3-1-58 負担に感じる業務 (10人ユニット/介護医療院)

時間帯	業務内容	介護医療院 (n=4)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0
	排泄介助	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0
	食事介助	0 0.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0
	身の回りの世話	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0 0.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0
	午前 (9時台~11時台)	入浴介助	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0
排泄介助		0 0.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
食事介助		0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0
身の回りの世話		0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		1 25.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		1 25.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0
昼 (12時台~13時台)		入浴介助	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
	排泄介助	0 0.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
	食事介助	0 0.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0
	身の回りの世話	0 0.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0
	午後 (14時台~16時台)	入浴介助	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
排泄介助		0 0.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0
食事介助		0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0
身の回りの世話		0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		1 25.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
夜間 (17時台~21時台)		入浴介助	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	排泄介助	1 25.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
	食事介助	0 0.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0
	身の回りの世話	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0

(5) 11人ユニット

① 職員の配置状況

11人ユニットにおける時間帯別の人数の平均について、最も多い時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員2.0人・看護職員0.8人、午前（9時台～11時台）が介護職員2.7人・看護職員1.9人、昼（12時台～13時台）が介護職員3.1人・看護職員2.0人、午後（14時台～16時台）が介護職員3.1人・看護職員2.0人、夜間（17時台～21時台）が介護職員2.0人・看護職員1.0人であった。

最も少ない時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員1.1人・看護職員0.4人、午前（9時台～11時台）が介護職員1.5人・看護職員1.0人、昼（12時台～13時台）が介護職員1.6人・看護職員1.0人、午後（14時台～16時台）が介護職員1.7人・看護職員1.0人、夜間（17時台～21時台）が介護職員1.0人・看護職員0.4人であった。

※老健・介護医療院については、回答数が僅少のため説明省略

図表 3-1-59 職員の配置状況（11人ユニット）

単位：人

平均値			施設種別		
			特養 (n=80)	老健 (n=3)	介護医療院 (n=1)
時間帯	職種	時点			
朝（6時台～8時台）	介護職員	最も多い時点	2.0	1.7	2.0
		最も少ない時点	1.1	1.0	0.0
	看護職員	最も多い時点	0.8	1.3	2.0
		最も少ない時点	0.4	0.3	1.0
午前（9時台～11時台）	介護職員	最も多い時点	2.7	2.0	2.0
		最も少ない時点	1.5	1.0	0.0
	看護職員	最も多い時点	1.9	1.3	3.0
		最も少ない時点	1.0	0.7	1.0
昼（12時台～13時台）	介護職員	最も多い時点	3.1	2.3	2.0
		最も少ない時点	1.6	1.0	0.0
	看護職員	最も多い時点	2.0	1.3	3.0
		最も少ない時点	1.0	1.0	1.0
午後（14時台～16時台）	介護職員	最も多い時点	3.1	2.3	2.0
		最も少ない時点	1.7	1.0	0.0
	看護職員	最も多い時点	2.0	1.3	4.0
		最も少ない時点	1.0	1.0	1.0
夜間（17時台～21時台）	介護職員	最も多い時点	2.0	2.0	1.0
		最も少ない時点	1.0	1.0	0.0
	看護職員	最も多い時点	1.0	1.3	1.0
		最も少ない時点	0.4	0.3	0.0

② 入居者の要介護度

11人ユニットにおける入居者の要介護度について、要介護1が0.2%、要介護2が1.8%、要介護3が28.3%、要介護4が41.3%、要介護5が28.4%であった。

※老健・介護医療院については、回答数が僅少のため説明省略

図表 3-1-60 入居者の要介護度 (11人ユニット)

ユニットあたりの平均人数および割合 (%)

	回答数 (n)	ユニット 定員数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
特養	55	11人	0.0	0.2	3.1	4.5	3.1
			0.2	1.8	28.3	41.3	28.4
老健	3		0.7	1.7	3.3	3.3	2.0
			6.1	15.2	30.3	30.3	18.2
介護医療院	1		0.0	0.0	1.0	3.0	7.0
			0.0	0.0	9.1	27.3	63.6

③ 負担に感じる業務

11人ユニットにおける負担に感じる業務について「とても負担に感じる」と回答した割合は、種別全体で、「朝の排泄介助」が23.2%、「朝の食事介助」が22.0%、「朝の事務作業」が17.1%であった。

図表 3-1-61 負担に感じる業務 (11人ユニット/全体)

時間帯	業務内容	全体 (n=82)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	5 6.1	1 1.2	2 2.4	0 0.0	71 86.6
	排泄介助	19 23.2	40 48.8	20 24.4	3 3.7	0 0.0
	食事介助	18 22.0	45 54.9	15 18.3	3 3.7	1 1.2
	リハビリテーション関連業務	0 0.0	0 0.0	1 1.2	0 0.0	2 2.4
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	6 7.3	28 34.1	14 17.1	4 4.9	28 34.1
	身の回りの世話	8 9.8	43 52.4	29 35.4	2 2.4	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	14 17.1	33 40.2	24 29.3	4 4.9	7 8.5
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	10 12.2	33 40.2	18 22.0	6 7.3	15 18.3
	午前 (9時台~11時台)	入浴介助	12 14.6	46 56.1	16 19.5	3 3.7
排泄介助		3 3.7	45 54.9	29 35.4	5 6.1	0 0.0
食事介助		1 1.2	23 28.0	25 30.5	1 1.2	31 37.8
リハビリテーション関連業務		0 0.0	0 0.0	1 1.2	0 0.0	2 2.4
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		1 1.2	25 30.5	28 34.1	4 4.9	23 28.0
身の回りの世話		1 1.2	30 36.6	47 57.3	4 4.9	0 0.0
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		4 4.9	34 41.5	38 46.3	4 4.9	2 2.4
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		4 4.9	31 37.8	33 40.2	7 8.5	7 8.5
昼 (12時台~13時台)		入浴介助	11 13.4	44 53.7	18 22.0	3 3.7
	排泄介助	5 6.1	39 47.6	32 39.0	5 6.1	1 1.2
	食事介助	2 2.4	19 23.2	24 29.3	3 3.7	31 37.8
	リハビリテーション関連業務	0 0.0	0 0.0	1 1.2	0 0.0	2 2.4
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1 1.2	25 30.5	30 36.6	4 4.9	20 24.4
	身の回りの世話	0 0.0	31 37.8	45 54.9	5 6.1	1 1.2
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	5 6.1	30 36.6	38 46.3	5 6.1	4 4.9
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	3 3.7	34 41.5	27 32.9	9 11.0	9 11.0
	午後 (14時台~16時台)	入浴介助	11 13.4	46 56.1	18 22.0	4 4.9
排泄介助		4 4.9	40 48.8	33 40.2	5 6.1	0 0.0
食事介助		1 1.2	18 22.0	23 28.0	3 3.7	34 41.5
リハビリテーション関連業務		0 0.0	1 1.2	2 2.4	0 0.0	0 0.0
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		1 1.2	23 28.0	32 39.0	4 4.9	21 25.6
身の回りの世話		1 1.2	29 35.4	47 57.3	5 6.1	0 0.0
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		8 9.8	39 47.6	30 36.6	5 6.1	0 0.0
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		4 4.9	32 39.0	33 40.2	8 9.8	5 6.1
夜間 (17時台~21時台)		入浴介助	4 4.9	5 6.1	1 1.2	1 1.2
	排泄介助	10 12.2	48 58.5	20 24.4	4 4.9	0 0.0
	食事介助	13 15.9	48 58.5	17 20.7	2 2.4	2 2.4
	リハビリテーション関連業務	0 0.0	0 0.0	1 1.2	0 0.0	2 2.4
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	6 7.3	30 36.6	14 17.1	4 4.9	26 31.7
	身の回りの世話	6 7.3	44 53.7	29 35.4	3 3.7	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	7 8.5	36 43.9	33 40.2	4 4.9	2 2.4
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	5 6.1	37 45.1	27 32.9	6 7.3	7 8.5

図表 3-1-62 負担に感じる業務 (11人ユニット/特養)

時間帯	業務内容	特養 (n=78)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	5 6.4	1 1.3	2 2.6	0 0.0	67 85.9
	排泄介助	18 23.1	38 48.7	19 24.4	3 3.8	0 0.0
	食事介助	17 21.8	43 55.1	14 17.9	3 3.8	1 1.3
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	6 7.7	26 33.3	13 16.7	4 5.1	27 34.6
	身の回りの世話	7 9.0	41 52.6	28 35.9	2 2.6	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	13 16.7	32 41.0	24 30.8	4 5.1	5 6.4
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	9 11.5	32 41.0	18 23.1	6 7.7	13 16.7
	午前 (9時台~11時台)	入浴介助	12 15.4	44 56.4	16 20.5	3 3.8
排泄介助		2 2.6	44 56.4	27 34.6	5 6.4	0 0.0
食事介助		1 1.3	22 28.2	25 32.1	1 1.3	28 35.9
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		1 1.3	25 32.1	26 33.3	4 5.1	21 26.9
身の回りの世話		1 1.3	28 35.9	45 57.7	4 5.1	0 0.0
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		4 5.1	31 39.7	38 48.7	4 5.1	1 1.3
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		4 5.1	28 35.9	33 42.3	7 9.0	6 7.7
昼 (12時台~13時台)		入浴介助	8 10.3	10 12.8	10 12.8	2 2.6
	排泄介助	5 6.4	36 46.2	28 35.9	5 6.4	3 3.8
	食事介助	9 11.5	33 42.3	30 38.5	5 6.4	1 1.3
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1 1.3	24 30.8	28 35.9	4 5.1	19 24.4
	身の回りの世話	0 0.0	29 37.2	44 56.4	5 6.4	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	5 6.4	27 34.6	37 47.4	5 6.4	4 5.1
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	3 3.8	31 39.7	27 34.6	9 11.5	8 10.3
	午後 (14時台~16時台)	入浴介助	11 14.1	43 55.1	18 23.1	3 3.8
排泄介助		4 5.1	38 48.7	31 39.7	5 6.4	0 0.0
食事介助		1 1.3	18 23.1	22 28.2	3 3.8	31 39.7
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		1 1.3	23 29.5	30 38.5	4 5.1	19 24.4
身の回りの世話		1 1.3	27 34.6	45 57.7	5 6.4	0 0.0
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		8 10.3	36 46.2	29 37.2	5 6.4	0 0.0
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		4 5.1	30 38.5	32 41.0	8 10.3	4 5.1
夜間 (17時台~21時台)		入浴介助	4 5.1	4 5.1	1 1.3	1 1.3
	排泄介助	9 11.5	46 59.0	19 24.4	4 5.1	0 0.0
	食事介助	12 15.4	47 60.3	16 20.5	2 2.6	1 1.3
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	6 7.7	28 35.9	13 16.7	4 5.1	25 32.1
	身の回りの世話	5 6.4	42 53.8	28 35.9	3 3.8	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	7 9.0	33 42.3	32 41.0	4 5.1	2 2.6
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	5 6.4	34 43.6	26 33.3	6 7.7	7 9.0

図表 3-1-63 負担に感じる業務 (11人ユニット/老健)

時間帯	業務内容	老健 (n=3)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台～8時台)	入浴介助	0	0	0	0	3
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	排泄介助	1	1	1	0	0
		33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	食事介助	1	2	0	0	0
		33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	1	0	2
		0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	1	1	0	1
	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	
身の回りの世話	0	2	1	0	0	
	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	1	0	0	2	
	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	1	0	0	2	
	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	
午前 (9時台～11時台)	入浴介助	0	1	0	0	2
		0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	排泄介助	1	1	1	0	0
		33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	食事介助	0	1	0	0	2
		0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	リハビリテーション関連業務	0	0	1	0	2
		0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	0	1	0	2
	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	
身の回りの世話	0	2	1	0	0	
	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	2	0	0	1	
	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	2	0	0	1	
	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	
昼 (12時台～13時台)	入浴介助	0	1	0	0	2
		0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	排泄介助	1	1	1	0	0
		33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	食事介助	1	1	1	0	0
		33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	1	0	2
		0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	1	1	0	1
	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	
身の回りの世話	0	2	1	0	0	
	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	3	0	0	0	
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	2	0	0	1	
	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	
午後 (14時台～16時台)	入浴介助	0	3	0	0	0
		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	排泄介助	0	2	1	0	0
		0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	食事介助	0	0	0	0	3
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	リハビリテーション関連業務	0	1	2	0	0
		0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	0	1	0	2
	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	
身の回りの世話	0	2	1	0	0	
	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	3	0	0	0	
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	2	0	0	1	
	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	
夜間 (17時台～21時台)	入浴介助	0	1	0	0	2
		0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	排泄介助	1	1	1	0	0
		33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	食事介助	1	1	0	0	1
		33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
	リハビリテーション関連業務	0	0	1	0	2
		0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	1	1	0	1
	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	
身の回りの世話	0	2	1	0	0	
	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	3	0	0	0	
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	3	0	0	0	
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	

図表 3-1-64 負担に感じる業務 (11人ユニット/介護医療院)

時間帯	業務内容	介護医療院 (n=1)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	排泄介助	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	食事介助	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身の回りの世話	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	午前 (9時台~11時台)	入浴介助	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
排泄介助		0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
食事介助		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
身の回りの世話		0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
昼 (12時台~13時台)		入浴介助	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	排泄介助	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	食事介助	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	身の回りの世話	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	午後 (14時台~16時台)	入浴介助	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 100.0
排泄介助		0 0.0	0 0.0	0 100.0	0 0.0	0 0.0
食事介助		0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
身の回りの世話		0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
夜間 (17時台~21時台)		入浴介助	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	排泄介助	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	食事介助	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身の回りの世話	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0

④ 10人のユニットと比べた際の職員数

11人ユニットを10人ユニットと比べた際の職員数は、種別全体で、「10人ユニットと変わらない」が61.5%、「10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い」が12.8%であった。

図表 3-1-65 10人のユニットと比べた際の職員数（11人ユニット）

		合計	10人ユニット よりも1ユニット 当たりの職員 数が多い	10人ユニット と変わらない	わからない	無回答
種別全体		78	10 12.8%	48 61.5%	6 7.7%	14 17.9%
施設種別	特養	74	9 12.2%	46 62.2%	6 8.1%	13 17.6%
	老健	3	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%

(6) 12人ユニット

① 職員の配置状況

12人ユニットにおける時間帯別の人数の平均について、最も多い多時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員2.1人・看護職員0.9人、午前（9時台～11時台）が介護職員2.9人・看護職員2.2人、昼（12時台～13時台）が介護職員3.0人・看護職員2.2人、午後（14時台～16時台）が介護職員3.1人・看護職員2.2人、夜間（17時台～21時台）が介護職員2.2人・看護職員1.3人であった。

最も少ない時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員1.1人・看護職員0.4人、午前（9時台～11時台）が介護職員1.6人・看護職員1.2人、昼（12時台～13時台）が介護職員1.7人・看護職員1.2人、午後（14時台～16時台）が介護職員1.8人・看護職員1.2人、夜間（17時台～21時台）が介護職員1.1人・看護職員0.5人であった。

また、老健では、最も多い多時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員2.1人・看護職員0.9人、午前（9時台～11時台）が介護職員2.7人・看護職員2.3人、昼（12時台～13時台）が介護職員2.5人・看護職員2.1人、午後（14時台～16時台）が介護職員2.8人・看護職員2.2人、夜間（17時台～21時台）が介護職員2.1人・看護職員1.1人であった。

最も少ない時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員1.1人・看護職員0.4人、午前（9時台～11時台）が介護職員1.4人・看護職員1.0人、昼（12時台～13時台）が介護職員1.6人・看護職員0.9人、午後（14時台～16時台）が介護職員1.6人・看護職員1.0人、夜間（17時台～21時台）が介護職員1.1人・看護職員0.5人であった。

図表 3-1-66 職員の配置状況 (12人ユニット)

単位：人

平均値	時間帯	職種	時点	施設種別	
				特養 (n=115)	老健 (n=14)
	朝 (6時台~8時台)	介護職員	最も多い時点	2.1	2.1
			最も少ない時点	1.1	1.1
		看護職員	最も多い時点	0.9	0.9
			最も少ない時点	0.4	0.4
	午前 (9時台~11時台)	介護職員	最も多い時点	2.9	2.7
			最も少ない時点	1.6	1.4
		看護職員	最も多い時点	2.2	2.3
			最も少ない時点	1.2	1.0
	昼 (12時台~13時台)	介護職員	最も多い時点	3.0	2.5
			最も少ない時点	1.7	1.6
		看護職員	最も多い時点	2.2	2.1
			最も少ない時点	1.2	0.9
	午後 (14時台~16時台)	介護職員	最も多い時点	3.1	2.8
			最も少ない時点	1.8	1.6
		看護職員	最も多い時点	2.2	2.2
			最も少ない時点	1.2	1.0
	夜間 (17時台~21時台)	介護職員	最も多い時点	2.2	2.1
			最も少ない時点	1.1	1.1
		看護職員	最も多い時点	1.3	1.1
			最も少ない時点	0.5	0.5

② 入居者の要介護度

12人ユニットにおける入居者の要介護度について、要介護1が0.6%、要介護2が2.8%、要介護3が27.6%、要介護4が39.4%、要介護5が29.6%であった。

※老健については、回答数が僅少のため説明省略

図表 3-1-67 入居者の要介護度 (12人ユニット)

ユニットあたりの平均人数および割合 (%)

	回答数 (n)	ユニット 定員数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
特養	71	12人	0.1	0.3	3.3	4.7	3.5
			0.6	2.8	27.6	39.4	29.6
老健	8	12人	1.8	2.5	2.3	3.4	2.1
			14.6	20.8	18.8	28.1	17.7

③ 負担に感じる業務

12人ユニットにおける負担に感じる業務について「とても負担に感じる」と回答した割合は、種別全体で、「朝の排泄介助」が24.0%、「朝の食事介助」が22.4%、「午前の入浴介助」が20.8%であった。

図表 3-1-68 負担に感じる業務 (12人ユニット/全体)

時間帯	業務内容	全体 (n=125)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	7 5.6	1 0.8	5 4.0	1 0.8	109 87.2
	排泄介助	30 24.0	66 52.8	26 20.8	2 1.6	1 0.8
	食事介助	28 22.4	61 48.8	26 20.8	4 3.2	5 4.0
	リハビリテーション関連業務	1 0.8	3 2.4	0 0.0	0 0.0	10 8.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	13 10.4	36 28.8	19 15.2	2 1.6	54 43.2
	身の回りの世話	21 16.8	65 52.0	32 25.6	6 4.8	1 0.8
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	25 20.0	59 47.2	24 19.2	6 4.8	11 8.8
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	14 11.2	47 37.6	27 21.6	7 5.6	28 22.4
	午前 (9時台~11時台)	入浴介助	26 20.8	57 45.6	32 25.6	3 2.4
排泄介助		9 7.2	54 43.2	54 43.2	7 5.6	1 0.8
食事介助		6 4.8	31 24.8	36 28.8	1 0.8	52 41.6
リハビリテーション関連業務		1 0.8	2 1.6	6 4.8	1 0.8	4 3.2
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		6 4.8	35 28.0	48 38.4	9 7.2	26 20.8
身の回りの世話		4 3.2	45 36.0	68 54.4	8 6.4	0 0.0
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		11 8.8	56 44.8	47 37.6	10 8.0	1 0.8
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		11 8.8	40 32.0	58 46.4	8 6.4	7 5.6
昼 (12時台~13時台)		入浴介助	17 13.6	58 46.4	36 28.8	2 1.6
	排泄介助	6 4.8	49 39.2	61 48.8	9 7.2	0 0.0
	食事介助	3 2.4	29 23.2	44 35.2	7 5.6	42 33.6
	リハビリテーション関連業務	0 0.0	4 3.2	4 3.2	0 0.0	6 4.8
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	5 4.0	34 27.2	45 36.0	9 7.2	30 24.0
	身の回りの世話	5 4.0	46 36.8	63 50.4	8 6.4	3 2.4
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	16 12.8	41 32.8	56 44.8	7 5.6	5 4.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	12 9.6	37 29.6	52 41.6	8 6.4	15 12.0
	午後 (14時台~16時台)	入浴介助	21 16.8	60 48.0	37 29.6	3 2.4
排泄介助		7 5.6	47 37.6	63 50.4	8 6.4	0 0.0
食事介助		3 2.4	26 20.8	42 33.6	6 4.8	48 38.4
リハビリテーション関連業務		1 0.8	2 1.6	7 5.6	1 0.8	3 2.4
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		7 5.6	37 29.6	44 35.2	9 7.2	27 21.6
身の回りの世話		4 3.2	39 31.2	72 57.6	10 8.0	0 0.0
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		13 10.4	54 43.2	51 40.8	7 5.6	0 0.0
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		10 8.0	39 31.2	60 48.0	9 7.2	6 4.8
夜間 (17時台~21時台)		入浴介助	7 5.6	4 3.2	7 5.6	2 1.6
	排泄介助	19 15.2	70 56.0	34 27.2	2 1.6	0 0.0
	食事介助	25 20.0	65 52.0	27 21.6	4 3.2	3 2.4
	リハビリテーション関連業務	1 0.8	2 1.6	2 1.6	0 0.0	9 7.2
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	11 8.8	42 33.6	28 22.4	2 1.6	39 31.2
	身の回りの世話	14 11.2	65 52.0	40 32.0	5 4.0	1 0.8
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	14 11.2	59 47.2	41 32.8	9 7.2	2 1.6
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	10 8.0	54 43.2	39 31.2	8 6.4	13 10.4

図表 3-1-69 負担に感じる業務 (12人ユニット/特養)

時間帯	業務内容	特養 (n=111)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台～8時台)	入浴介助	6	1	4	1	98
		5.4	0.9	3.6	0.9	88.3
	排泄介助	26	57	25	2	1
		23.4	51.4	22.5	1.8	0.9
	食事介助	26	55	22	3	4
		23.4	49.5	19.8	2.7	3.6
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	9	31	17	2	51
		8.1	27.9	15.3	1.8	45.9
午前 (9時台～11時台)	身の回りの世話	19	55	31	5	1
		17.1	49.5	27.9	4.5	0.9
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	22	52	21	6	10
		19.8	46.8	18.9	5.4	9.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	12	40	25	7	25
		10.8	36.0	22.5	6.3	22.5
	入浴介助	21	52	30	1	6
		18.9	46.8	27.0	0.9	5.4
昼 (12時台～13時台)	排泄介助	6	48	50	6	1
		5.4	43.2	45.0	5.4	0.9
	食事介助	4	29	32	1	46
		3.6	26.1	28.8	0.9	41.4
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	5	30	44	8	23
		4.5	27.0	39.6	7.2	20.7
	身の回りの世話	3	39	62	7	0
		2.7	35.1	55.9	6.3	0.0
午後 (14時台～16時台)	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	10	49	42	9	1
		9.0	44.1	37.8	8.1	0.9
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	10	35	51	8	6
		9.0	31.5	45.9	7.2	5.4
	入浴介助	12	14	10	3	69
		10.8	12.6	9.0	2.7	62.2
	排泄介助	5	48	43	5	10
		4.5	43.2	38.7	4.5	9.0
午後 (17時台～21時台)	食事介助	16	47	39	6	1
		14.4	42.3	35.1	5.4	0.9
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	4	28	40	9	28
		3.6	25.2	36.0	8.1	25.2
	身の回りの世話	4	38	59	7	3
		3.6	34.2	53.2	6.3	2.7
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	14	36	50	7	4
		12.6	32.4	45.0	6.3	3.6
夜間 (17時台～21時台)	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	10	34	45	8	13
		9.0	30.6	40.5	7.2	11.7
	入浴介助	16	56	35	2	2
		14.4	50.5	31.5	1.8	1.8
	排泄介助	4	41	59	7	0
		3.6	36.9	53.2	6.3	0.0
	食事介助	1	23	39	6	42
		0.9	20.7	35.1	5.4	37.8
夜間 (17時台～21時台)	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	6	32	40	8	24
		5.4	28.8	36.0	7.2	21.6
	身の回りの世話	3	33	67	8	0
		2.7	29.7	60.4	7.2	0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	11	49	45	6	0
		9.9	44.1	40.5	5.4	0.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	9	33	55	8	5
		8.1	29.7	49.5	7.2	4.5
夜間 (17時台～21時台)	入浴介助	6	4	6	2	92
		5.4	3.6	5.4	1.8	82.9
	排泄介助	17	60	32	2	0
		15.3	54.1	28.8	1.8	0.0
	食事介助	23	59	22	3	3
		20.7	53.2	19.8	2.7	2.7
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	9	35	26	2	37
		8.1	31.5	23.4	1.8	33.3
夜間 (17時台～21時台)	身の回りの世話	12	57	37	4	1
		10.8	51.4	33.3	3.6	0.9
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	13	52	36	8	2
		11.7	46.8	32.4	7.2	1.8
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	8	49	35	7	11
		7.2	44.1	31.5	6.3	9.9

図表 3-1-70 負担に感じる業務 (12人ユニット/老健)

時間帯	業務内容	老健 (n=14)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	1	0	1	0	11
		7.1	0.0	7.1	0.0	78.6
	排泄介助	4	9	1	0	0
		28.6	64.3	7.1	0.0	0.0
	食事介助	2	6	4	1	1
		14.3	42.9	28.6	7.1	7.1
	リハビリテーション関連業務	1	3	0	0	10
		7.1	21.4	0.0	0.0	71.4
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	4	5	2	0	3
	28.6	35.7	14.3	0.0	21.4	
身の回りの世話	2	10	1	1	0	
	14.3	71.4	7.1	7.1	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	3	7	3	0	1	
	21.4	50.0	21.4	0.0	7.1	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	2	7	2	0	3	
	14.3	50.0	14.3	0.0	21.4	
午前 (9時台~11時台)	入浴介助	5	5	2	2	0
		35.7	35.7	14.3	14.3	0.0
	排泄介助	3	6	4	1	0
		21.4	42.9	28.6	7.1	0.0
	食事介助	2	2	4	0	6
		14.3	14.3	28.6	0.0	42.9
	リハビリテーション関連業務	1	2	6	1	4
		7.1	14.3	42.9	7.1	28.6
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1	5	4	1	3
	7.1	35.7	28.6	7.1	21.4	
身の回りの世話	1	6	6	1	0	
	7.1	42.9	42.9	7.1	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1	7	5	1	0	
	7.1	50.0	35.7	7.1	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1	5	7	0	1	
	7.1	35.7	50.0	0.0	7.1	
昼 (12時台~13時台)	入浴介助	1	2	1	0	10
		7.1	14.3	7.1	0.0	71.4
	排泄介助	2	8	2	2	0
		14.3	57.1	14.3	14.3	0.0
	食事介助	2	6	5	1	0
		14.3	42.9	35.7	7.1	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	4	4	0	6
		0.0	28.6	28.6	0.0	42.9
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1	6	5	0	2
	7.1	42.9	35.7	0.0	14.3	
身の回りの世話	1	8	4	1	0	
	7.1	57.1	28.6	7.1	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	2	5	6	0	1	
	14.3	35.7	42.9	0.0	7.1	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	2	3	7	0	2	
	14.3	21.4	50.0	0.0	14.3	
午後 (14時台~16時台)	入浴介助	5	4	2	1	2
		35.7	28.6	14.3	7.1	14.3
	排泄介助	3	6	4	1	0
		21.4	42.9	28.6	7.1	0.0
	食事介助	2	3	3	0	6
		14.3	21.4	21.4	0.0	42.9
	リハビリテーション関連業務	1	2	7	1	3
		7.1	14.3	50.0	7.1	21.4
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1	5	4	1	3
	7.1	35.7	28.6	7.1	21.4	
身の回りの世話	1	6	5	2	0	
	7.1	42.9	35.7	14.3	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	2	5	6	1	0	
	14.3	35.7	42.9	7.1	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1	6	5	1	1	
	7.1	42.9	35.7	7.1	7.1	
夜間 (17時台~21時台)	入浴介助	1	0	1	0	11
		7.1	0.0	7.1	0.0	78.6
	排泄介助	2	10	2	0	0
		14.3	71.4	14.3	0.0	0.0
	食事介助	2	6	5	1	0
		14.3	42.9	35.7	7.1	0.0
	リハビリテーション関連業務	1	2	2	0	9
		7.1	14.3	14.3	0.0	64.3
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	2	7	2	0	2
	14.3	50.0	14.3	0.0	14.3	
身の回りの世話	2	8	3	1	0	
	14.3	57.1	21.4	7.1	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1	7	5	1	0	
	7.1	50.0	35.7	7.1	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	2	5	4	1	2	
	14.3	35.7	28.6	7.1	14.3	

④ 10人のユニットと比べた際の職員数

12人ユニットを10人ユニットと比べた際の職員数は、種別全体で、「10人ユニットと変わらない」が43.3%、「10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い」が27.6%であった。

図表 3-1-71 10人のユニットと比べた際の職員数（12人ユニット）

		合計	10人ユニット よりも1ユニット 当たりの職員 数が多い	10人ユニット と変わらない	わからない	無回答
種別全体		127	35 27.6%	55 43.3%	21 16.5%	16 12.6%
施設種別	特養	113	32 28.3%	48 42.5%	17 15.0%	16 14.2%
	老健	14	3 21.4%	7 50.0%	4 28.6%	0 0.0%

(7) 13人ユニット

① 職員の配置状況

13人ユニットにおける時間帯別の人数の平均について、最も多い多時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員2.0人・看護職員0.6人、午前（9時台～11時台）が介護職員3.3人・看護職員2.2人、昼（12時台～13時台）が介護職員3.4人・看護職員2.1人、午後（14時台～16時台）が介護職員3.6人・看護職員2.3人、夜間（17時台～21時台）が介護職員2.5人・看護職員1.6人であった。

最も少ない時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員0.8人・看護職員0.5人、午前（9時台～11時台）が介護職員1.6人・看護職員1.0人、昼（12時台～13時台）が介護職員1.7人・看護職員1.0人、午後（14時台～16時台）が介護職員1.6人・看護職員1.1人、夜間（17時台～21時台）が介護職員1.0人・看護職員0.7人であった。

※老健については、回答数が僅少のため説明省略

図表 3-1-72 職員の配置状況（13人ユニット）

平均値			単位：人	
			施設種別	
時間帯	職種	時点	特養 (n=11)	老健 (n=1)
朝（6時台～8時台）	介護職員	最も多い時点	2.0	1.0
		最も少ない時点	0.8	1.0
	看護職員	最も多い時点	0.6	1.0
		最も少ない時点	0.5	1.0
午前（9時台～11時台）	介護職員	最も多い時点	3.3	3.0
		最も少ない時点	1.6	1.0
	看護職員	最も多い時点	2.2	5.0
		最も少ない時点	1.0	3.0
昼（12時台～13時台）	介護職員	最も多い時点	3.4	3.0
		最も少ない時点	1.7	1.0
	看護職員	最も多い時点	2.1	5.0
		最も少ない時点	1.0	3.0
午後（14時台～16時台）	介護職員	最も多い時点	3.6	4.0
		最も少ない時点	1.6	2.0
	看護職員	最も多い時点	2.3	6.0
		最も少ない時点	1.1	3.0
夜間（17時台～21時台）	介護職員	最も多い時点	2.5	2.0
		最も少ない時点	1.0	0.0
	看護職員	最も多い時点	1.6	1.0
		最も少ない時点	0.7	1.0

② 入居者の要介護度

13人ユニットにおける入居者の要介護度について、要介護1が1.5%、要介護2が3.1%、要介護3が29.2%、要介護4が43.1%、要介護5が23.1%であった。

※老健については、回答数が僅少のため説明省略

図表 3-1-73 入居者の要介護度（13人ユニット）

ユニットあたりの平均人数および割合（%）

	回答数 (n)	ユニット 定員数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
特養	5	13人	0.2	0.4	3.8	5.6	3.0
			1.5	3.1	29.2	43.1	23.1
老健	1	13人	2.0	3.0	4.0	2.0	2.0
			15.4	23.1	30.8	15.4	15.4

③ 負担に感じる業務

13人ユニットにおける負担に感じる業務について「とても負担に感じる」と回答した割合は、種別全体で、「朝の排泄介助」、「朝の食事介助」、「朝の身の回りの世話」、「朝の事務作業」、「朝の間接業務」がいずれも30.8%であった。

図表 3-1-74 負担に感じる業務 (13人ユニット/全体)

時間帯	業務内容	全体 (n=13)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	2	0	1	0	10
		15.4	0.0	7.7	0.0	75.9
	排泄介助	4	7	2	0	0
		30.8	53.8	15.4	0.0	0.0
	食事介助	4	5	4	0	0
		30.8	38.5	30.8	0.0	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	3	3	3	0	4
	23.1	23.1	23.1	0.0	30.8	
身の回りの世話	4	3	5	1	0	
	30.8	23.1	38.5	7.7	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	4	5	3	0	1	
	30.8	38.5	23.1	0.0	7.7	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	4	3	3	0	3	
	30.8	23.1	23.1	0.0	23.1	
午前 (9時台~11時台)	入浴介助	3	4	6	0	0
		23.1	30.8	46.2	0.0	0.0
	排泄介助	2	4	7	0	0
		15.4	30.8	53.8	0.0	0.0
	食事介助	0	1	6	1	5
		0.0	7.7	46.2	7.7	38.5
	リハビリテーション関連業務	1	0	0	0	0
		7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1	3	5	0	4
	7.7	23.1	38.5	0.0	30.8	
身の回りの世話	2	2	8	1	0	
	15.4	15.4	61.5	7.7	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	3	3	6	1	0	
	23.1	23.1	46.2	7.7	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	2	4	6	0	1	
	15.4	30.8	46.2	0.0	7.7	
昼 (12時台~13時台)	入浴介助	1	3	7	0	2
		7.7	23.1	53.8	0.0	15.4
	排泄介助	2	4	7	0	0
		15.4	30.8	53.8	0.0	0.0
	食事介助	1	2	6	0	4
		7.7	15.4	46.2	0.0	30.8
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1	4	4	0	4
	7.7	30.8	30.8	0.0	30.8	
身の回りの世話	2	3	7	1	0	
	15.4	23.1	53.8	7.7	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	3	3	5	1	1	
	23.1	23.1	38.5	7.7	7.7	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	2	5	4	0	2	
	15.4	38.5	30.8	0.0	15.4	
午後 (14時台~16時台)	入浴介助	2	3	7	0	1
		15.4	23.1	53.8	0.0	7.7
	排泄介助	2	4	7	0	0
		15.4	30.8	53.8	0.0	0.0
	食事介助	0	2	6	0	5
		0.0	15.4	46.2	0.0	38.5
	リハビリテーション関連業務	1	0	0	0	0
		7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1	4	4	0	4
	7.7	30.8	30.8	0.0	30.8	
身の回りの世話	2	4	6	1	0	
	15.4	30.8	46.2	7.7	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	3	5	4	1	0	
	23.1	38.5	30.8	7.7	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	3	2	6	0	2	
	23.1	15.4	46.2	0.0	15.4	
夜間 (17時台~21時台)	入浴介助	1	0	0	0	12
		7.7	0.0	0.0	0.0	92.3
	排泄介助	3	6	4	0	0
		23.1	46.2	30.8	0.0	0.0
	食事介助	3	3	6	1	0
		23.1	23.1	46.2	7.7	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	3	2	4	0	4
	23.1	15.4	30.8	0.0	30.8	
身の回りの世話	3	2	8	0	0	
	23.1	15.4	61.5	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	3	4	6	0	0	
	23.1	30.8	46.2	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	3	4	3	0	3	
	23.1	30.8	23.1	0.0	23.1	

図表 3-1-75 負担に感じる業務 (13人ユニット/特養)

時間帯	業務内容	特養 (n=12)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	2 16.7	0 0.0	1 8.3	0 0.0	9 75.0
	排泄介助	3 25.0	7 58.3	2 16.7	0 0.0	0 0.0
	食事介助	3 25.0	5 41.7	4 33.3	0 0.0	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	2 16.7	3 25.0	3 25.0	0 0.0	4 33.3
	身の回りの世話	3 25.0	3 25.0	5 41.7	1 8.3	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	3 25.0	5 41.7	3 25.0	0 0.0	1 8.3
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	3 25.0	3 25.0	3 25.0	0 0.0	3 25.0
	入浴介助	2 16.7	4 33.3	6 50.0	0 0.0	0 0.0
午前 (9時台~11時台)	排泄介助	1 8.3	4 33.3	7 58.3	0 0.0	0 0.0
	食事介助	0 0.0	8 66.7	1 8.3	3 25.0	4 33.3
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	3 25.0	5 41.7	0 0.0	4 33.3
	身の回りの世話	1 8.3	2 16.7	8 66.7	1 8.3	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	2 16.7	3 25.0	6 50.0	1 8.3	0 0.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1 8.3	4 33.3	6 50.0	0 0.0	1 8.3
	入浴介助	3 25.0	1 8.3	2 16.7	0 0.0	6 50.0
	排泄介助	1 8.3	3 25.0	6 50.0	1 8.3	1 8.3
昼 (12時台~13時台)	食事介助	2 16.7	1 8.3	7 58.3	2 16.7	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	4 33.3	3 25.0	0 0.0	5 41.7
	身の回りの世話	1 8.3	3 25.0	7 58.3	1 8.3	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	2 16.7	3 25.0	5 41.7	1 8.3	1 8.3
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1 8.3	5 41.7	4 33.3	0 0.0	2 16.7
	入浴介助	1 8.3	3 25.0	7 58.3	0 0.0	1 8.3
	排泄介助	1 8.3	4 33.3	7 58.3	0 0.0	0 0.0
	食事介助	0 0.0	2 16.7	6 50.0	0 0.0	4 33.3
午後 (14時台~16時台)	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	4 33.3	4 33.3	0 0.0	4 33.3
	身の回りの世話	1 8.3	3 25.0	7 58.3	1 8.3	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	2 16.7	5 41.7	4 33.3	1 8.3	0 0.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	2 16.7	2 16.7	6 50.0	0 0.0	2 16.7
	入浴介助	1 8.3	3 25.0	7 58.3	0 0.0	1 8.3
	排泄介助	1 8.3	4 33.3	7 58.3	0 0.0	0 0.0
	食事介助	2 16.7	3 25.0	6 50.0	1 8.3	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	2 16.7	2 16.7	4 33.3	0 0.0	4 33.3
夜間 (17時台~21時台)	身の回りの世話	2 16.7	2 16.7	8 66.7	0 0.0	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	2 16.7	4 33.3	6 50.0	0 0.0	0 0.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	2 16.7	4 33.3	3 25.0	0 0.0	3 25.0
	入浴介助	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 91.7
	排泄介助	2 16.7	6 50.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0
	食事介助	2 16.7	3 25.0	6 50.0	1 8.3	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	2 16.7	2 16.7	4 33.3	0 0.0	4 33.3
	身の回りの世話	2 16.7	2 16.7	8 66.7	0 0.0	0 0.0

図表 3-1-76 負担に感じる業務 (13人ユニット/老健)

時間帯	業務内容	老健 (n=1)				実施していない
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	
朝 (6時台～8時台)	入浴介助	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	排泄介助	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	食事介助	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
身の回りの世話	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
午前 (9時台～11時台)	入浴介助	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	排泄介助	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	食事介助	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	リハビリテーション関連業務	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
身の回りの世話	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
昼 (12時台～13時台)	入浴介助	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	排泄介助	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	食事介助	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
身の回りの世話	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
午後 (14時台～16時台)	入浴介助	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	排泄介助	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	食事介助	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	リハビリテーション関連業務	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
身の回りの世話	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
夜間 (17時台～21時台)	入浴介助	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	排泄介助	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	食事介助	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
身の回りの世話	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

④ 10人のユニットと比べた際の職員数

13人ユニットを10人ユニットと比べた際の職員数は、種別全体で、「10人ユニットと変わらない」が46.2%、「10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い」が30.8%であった。

図表 3-1-77 10人のユニットと比べた際の職員数（13人ユニット）

		合計	10人ユニット よりも1ユニット 当たりの職員 数が多い	10人ユニット と変わらない	わからない	無回答
種別全体		13	4 30.8%	6 46.2%	2 15.4%	1 7.7%
施設種別	特養	12	4 33.3%	5 41.7%	2 16.7%	1 8.3%
	老健	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

(8) 14人ユニット

① 職員の配置状況

14人ユニットにおける時間帯別の人数の平均について、最も多い多時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員2.0人・看護職員0.7人、午前（9時台～11時台）が介護職員2.0人・看護職員1.8人、昼（12時台～13時台）が介護職員2.5人・看護職員1.8人、午後（14時台～16時台）が介護職員2.3人・看護職員1.8人、夜間（17時台～21時台）が介護職員1.8人・看護職員1.3人であった。

最も少ない時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員1.3人・看護職員0.5人、午前（9時台～11時台）が介護職員1.2人・看護職員1.0人、昼（12時台～13時台）が介護職員1.5人・看護職員1.0人、午後（14時台～16時台）が介護職員1.7人・看護職員1.0人、夜間（17時台～21時台）が介護職員1.2人・看護職員0.5人であった。

※回答数が僅少のため上記いずれも参考値

図表 3-1-78 職員の配置状況（14人ユニット）

単位：人

平均値			施設種別
時間帯	職種	時点	特養 (n=6)
朝（6時台～8時台）	介護職員	最も多い時点	2.0
		最も少ない時点	1.3
	看護職員	最も多い時点	0.7
		最も少ない時点	0.5
午前（9時台～11時台）	介護職員	最も多い時点	2.0
		最も少ない時点	1.2
	看護職員	最も多い時点	1.8
		最も少ない時点	1.0
昼（12時台～13時台）	介護職員	最も多い時点	2.5
		最も少ない時点	1.5
	看護職員	最も多い時点	1.8
		最も少ない時点	1.0
午後（14時台～16時台）	介護職員	最も多い時点	2.3
		最も少ない時点	1.7
	看護職員	最も多い時点	1.8
		最も少ない時点	1.0
夜間（17時台～21時台）	介護職員	最も多い時点	1.8
		最も少ない時点	1.2
	看護職員	最も多い時点	1.3
		最も少ない時点	0.5

② 入居者の要介護度

14人ユニットにおける入居者の要介護度について、要介護1が2.4%、要介護2が9.5%、要介護3が35.7%、要介護4が28.6%、要介護5が23.8%であった。

※回答数が僅少のため上記いずれも参考値

図表 3-1-79 入居者の要介護度 (14人ユニット)

ユニットあたりの平均人数および割合 (%)

	回答数 (n)	ユニット 定員数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
特養	3	14人	0.3 2.4	1.3 9.5	5.0 35.7	4.0 28.6	3.3 23.8

③ 負担を感じる業務

14人ユニットにおける負担を感じる業務について「とても負担を感じる」と回答した割合は、種別全体で、「朝の医療的ケア」、「夜間の排泄介助」、「夜間の医療的ケア」がいずれも33.3%であった。

※回答数が僅少のため上記いずれも参考値

図表 3-1-80 負担に感じる業務 (14人ユニット/全体)

時間帯	業務内容	全体 (n=6)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3
	排泄介助	1 16.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	食事介助	1 16.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	リハビリテーション関連業務	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	3 50.0
	身の回りの世話	0 0.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1 16.7	2 33.3	2 33.3	0 0.0	1 16.7
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1 16.7	3 50.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7
	午前 (9時台~11時台)	入浴介助	0 0.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0
排泄介助		0 0.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0
食事介助		0 0.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7
リハビリテーション関連業務		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		0 0.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	2 33.3
身の回りの世話		0 0.0	1 16.7	4 66.7	0 0.0	1 16.7
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		0 0.0	2 33.3	3 50.0	0 0.0	1 16.7
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		0 0.0	2 33.3	4 66.7	0 0.0	0 0.0
昼 (12時台~13時台)		入浴介助	0 0.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0
	排泄介助	0 0.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0
	食事介助	0 0.0	1 16.7	4 66.7	0 0.0	1 16.7
	リハビリテーション関連業務	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	3 50.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3
	身の回りの世話	0 0.0	1 16.7	4 66.7	0 0.0	1 16.7
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0 0.0	2 33.3	3 50.0	0 0.0	1 16.7
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0 0.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0
	午後 (14時台~16時台)	入浴介助	0 0.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0
排泄介助		0 0.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0
食事介助		0 0.0	1 16.7	4 66.7	0 0.0	1 16.7
リハビリテーション関連業務		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		0 0.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7
身の回りの世話		0 0.0	0 0.0	5 83.3	0 0.0	1 16.7
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		0 0.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		0 0.0	2 33.3	4 66.7	0 0.0	0 0.0
夜間 (17時台~21時台)		入浴介助	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	排泄介助	2 33.3	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	食事介助	1 16.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	リハビリテーション関連業務	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7
	身の回りの世話	0 0.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1 16.7	2 33.3	2 33.3	0 0.0	1 16.7
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1 16.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0

図表 3-1-81 負担に感じる業務 (14人ユニット/特養)

時間帯	業務内容	特養 (n=6)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台～8時台)	入浴介助	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3
	排泄介助	1 16.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	食事介助	1 16.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	3 50.0
	身の回りの世話	0 0.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1 16.7	2 33.3	2 33.3	0 0.0	1 16.7
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1 16.7	3 50.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7
	入浴介助	0 0.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0
午前 (9時台～11時台)	排泄介助	0 0.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0
	食事介助	0 0.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	2 33.3
	身の回りの世話	0 0.0	1 16.7	4 66.7	0 0.0	1 16.7
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0 0.0	2 33.3	3 50.0	0 0.0	1 16.7
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0 0.0	2 33.3	4 66.7	0 0.0	0 0.0
	入浴介助	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7
	排泄介助	0 0.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0
昼 (12時台～13時台)	食事介助	0 0.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	3 50.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3
	身の回りの世話	0 0.0	1 16.7	4 66.7	0 0.0	1 16.7
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0 0.0	2 33.3	3 50.0	0 0.0	1 16.7
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0 0.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0
	入浴介助	0 0.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	排泄介助	0 0.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0
	食事介助	0 0.0	1 16.7	4 66.7	0 0.0	1 16.7
午後 (14時台～16時台)	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7
	身の回りの世話	0 0.0	0 0.0	5 83.3	0 0.0	1 16.7
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0 0.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0 0.0	2 33.3	4 66.7	0 0.0	0 0.0
	入浴介助	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3
	排泄介助	2 33.3	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	食事介助	1 16.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7
夜間 (17時台～21時台)	身の回りの世話	0 0.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1 16.7	2 33.3	2 33.3	0 0.0	1 16.7
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1 16.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0

④ 10人のユニットと比べた際の職員数

14人ユニットを10人ユニットと比べた際の職員数は、種別全体で、「10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い」が33.3%、「10人ユニットと変わらない」及び「わからない」が16.7%であった。

※回答数が僅少のため上記いずれも参考値

図表 3-1-82 10人のユニットと比べた際の職員数（14人ユニット）

	合計	10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い	10人ユニットと変わらない	わからない	無回答
種別全体	6	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%
特養	6	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%

(9) 15人ユニット

① 職員の配置状況

15人ユニットにおける時間帯別の人数の平均について、最も多い多時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員2.2人・看護職員0.7人、午前（9時台～11時台）が介護職員2.8人・看護職員1.5人、昼（12時台～13時台）が介護職員3.3人・看護職員1.5人、午後（14時台～16時台）が介護職員3.0人・看護職員1.5人、夜間（17時台～21時台）が介護職員2.3人・看護職員1.5人であった。

最も少ない時点の人数は、朝（6時台～8時台）が介護職員1.2人・看護職員0.5人、午前（9時台～11時台）が介護職員2.0人・看護職員1.1人、昼（12時台～13時台）が介護職員2.3人・看護職員1.0人、午後（14時台～16時台）が介護職員2.3人・看護職員1.1人、夜間（17時台～21時台）が介護職員1.2人・看護職員0.6人であった。

※老健・介護医療院については、回答数が僅少のため説明省略

図表 3-1-83 職員の配置状況（15人ユニット）

単位：人

平均値			施設種別		
時間帯	職種	時点	特養 (n=13)	老健 (n=1)	介護医療院 (n=1)
朝（6時台～8時台）	介護職員	最も多い時点	2.2	2.0	2.0
		最も少ない時点	1.2	1.0	3.0
	看護職員	最も多い時点	0.7	1.0	2.0
		最も少ない時点	0.5	0.0	1.0
午前（9時台～11時台）	介護職員	最も多い時点	2.8	2.0	4.0
		最も少ない時点	2.0	2.0	3.0
	看護職員	最も多い時点	1.5	1.0	3.0
		最も少ない時点	1.1	0.0	3.0
昼（12時台～13時台）	介護職員	最も多い時点	3.3	2.0	4.0
		最も少ない時点	2.3	1.0	3.0
	看護職員	最も多い時点	1.5	1.0	3.0
		最も少ない時点	1.0	0.0	3.0
午後（14時台～16時台）	介護職員	最も多い時点	3.0	2.0	5.0
		最も少ない時点	2.3	1.0	1.0
	看護職員	最も多い時点	1.5	1.0	4.0
		最も少ない時点	1.1	0.0	3.0
夜間（17時台～21時台）	介護職員	最も多い時点	2.3	2.0	2.0
		最も少ない時点	1.2	1.0	1.0
	看護職員	最も多い時点	1.5	0.0	2.0
		最も少ない時点	0.6	0.0	1.0

② 入居者の要介護度

15 人ユニットにおける入居者の要介護度について、要介護 1 が 0.0%、要介護 2 が 1.7%、要介護 3 が 20.8%、要介護 4 が 45.8%、要介護 5 が 31.7%であった。

※回答数が僅少のため上記いずれも参考値

※老健については、回答数が僅少のため説明省略

図表 3-1-84 入居者の要介護度 (15 人ユニット)

ユニットあたりの平均人数および割合 (%)

	回答数 (n)	ユニット 定員数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
特養	8	15人	0.0	0.3	3.1	6.9	4.8
			0.0	1.7	20.8	45.8	31.7
老健	1	15人	3.0	1.0	4.0	6.0	1.0
			20.0	6.7	26.7	40.0	6.7

③ 負担に感じる業務

15 人ユニットにおける負担に感じる業務について「とても負担に感じる」と回答した割合は、種別全体で、「夜間の食事介助」が 35.7%、「朝の排泄介助」が 28.6%、「夜間の排泄介助」が 28.6%であった。

図表 3-1-85 負担に感じる業務 (15人ユニット/全体)

時間帯	業務内容	全体 (n=14)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	1	1	1	0	10
	排泄介助	4	7	2	0	0
	食事介助	3	8	2	0	1
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	5	3	1	4
	身の回りの世話	3	8	2	0	0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	3	5	4	0	1
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	4	6	0	3
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0.0	28.6	42.9	0.0	21.4
午前 (9時台~11時台)	入浴介助	2	8	3	0	1
	排泄介助	1	8	4	0	0
	食事介助	1	3	3	1	5
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1	2	7	2	1
	身の回りの世話	1	3	9	0	0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1	6	6	0	0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1	5	7	0	0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	7.1	35.7	50.0	0.0	0.0
昼 (12時台~13時台)	入浴介助	2	5	3	0	3
	排泄介助	1	6	6	0	0
	食事介助	0	4	3	0	6
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	3	6	2	2
	身の回りの世話	0	5	8	0	0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	2	5	4	0	2
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	3	9	0	1
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0.0	21.4	64.3	0.0	7.1
午後 (14時台~16時台)	入浴介助	2	5	3	0	3
	排泄介助	1	6	6	0	0
	食事介助	0	4	3	0	6
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	4	5	2	2
	身の回りの世話	0	4	9	0	0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	1	9	4	0	0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	1	4	8	0	0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	7.1	28.6	57.1	0.0	0.0
夜間 (17時台~21時台)	入浴介助	0	1	0	0	12
	排泄介助	4	9	1	0	0
	食事介助	5	5	2	0	1
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1	5	3	1	3
	身の回りの世話	1	10	2	0	0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	2	7	4	0	0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	6	4	1	2
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0.0	42.9	28.6	7.1	14.3

図表 3-1-86 負担に感じる業務 (15人ユニット/特養)

時間帯	業務内容	特養 (n=13)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	1 7.7	1 7.7	1 7.7	0 0.0	9 69.2
	排泄介助	4 30.8	7 53.8	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	食事介助	3 23.1	8 61.5	1 7.7	0 0.0	1 7.7
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	5 38.5	3 23.1	1 7.7	3 23.1
	身の回りの世話	3 23.1	8 61.5	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	3 23.1	5 38.5	3 23.1	0 0.0	1 7.7
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0 0.0	4 30.8	6 46.2	0 0.0	2 15.4
	午前 (9時台~11時台)	入浴介助	2 15.4	8 61.5	2 15.4	0 0.0
排泄介助		1 7.7	8 61.5	3 23.1	0 0.0	0 0.0
食事介助		1 7.7	3 23.1	2 15.4	1 7.7	5 38.5
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		1 7.7	2 15.4	6 46.2	2 15.4	1 7.7
身の回りの世話		1 7.7	3 23.1	8 61.5	0 0.0	0 0.0
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		1 7.7	6 46.2	5 38.5	0 0.0	0 0.0
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		1 7.7	5 38.5	6 46.2	0 0.0	0 0.0
昼 (12時台~13時台)		入浴介助	1 7.7	1 7.7	3 23.1	0 0.0
	排泄介助	1 7.7	8 61.5	2 15.4	1 7.7	0 0.0
	食事介助	2 15.4	7 53.8	3 23.1	1 7.7	0 0.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0 0.0	3 23.1	5 38.5	2 15.4	2 15.4
	身の回りの世話	0 0.0	5 38.5	7 53.8	0 0.0	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	2 15.4	5 38.5	3 23.1	0 0.0	2 15.4
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0 0.0	3 23.1	8 61.5	0 0.0	1 7.7
	午後 (14時台~16時台)	入浴介助	2 15.4	5 38.5	3 23.1	0 0.0
排泄介助		1 7.7	6 46.2	5 38.5	0 0.0	0 0.0
食事介助		0 0.0	4 30.8	2 15.4	0 0.0	6 46.2
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)		0 0.0	4 30.8	4 30.8	2 15.4	2 15.4
身の回りの世話		0 0.0	4 30.8	8 61.5	0 0.0	0 0.0
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)		1 7.7	8 61.5	4 30.8	0 0.0	0 0.0
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)		1 7.7	4 30.8	7 53.8	0 0.0	0 0.0
夜間 (17時台~21時台)		入浴介助	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	排泄介助	4 30.8	9 69.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	食事介助	5 38.5	5 38.5	1 7.7	0 0.0	1 7.7
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	1 7.7	5 38.5	3 23.1	1 7.7	2 15.4
	身の回りの世話	1 7.7	10 76.9	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	2 15.4	7 53.8	3 23.1	0 0.0	0 0.0
	間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0 0.0	6 46.2	4 30.8	1 7.7	1 7.7

図表 3-1-87 負担に感じる業務 (15人ユニット/老健)

時間帯	業務内容	老健 (n=1)				
		とても負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	全く負担に感じない	実施していない
朝 (6時台~8時台)	入浴介助	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	排泄介助	0	0	1	0	0
		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	食事介助	0	0	1	0	0
		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	0	0	0	1
	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
身の回りの世話	0	0	1	0	0	
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	0	1	0	0	
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	0	0	0	1	
	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
午前 (9時台~11時台)	入浴介助	0	0	1	0	0
		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	排泄介助	0	0	1	0	0
		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	食事介助	0	0	1	0	0
		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	0	1	0	0
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
身の回りの世話	0	0	1	0	0	
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	0	1	0	0	
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	0	1	0	0	
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
昼 (12時台~13時台)	入浴介助	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	排泄介助	0	0	1	0	0
		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	食事介助	0	0	1	0	0
		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	0	1	0	0
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
身の回りの世話	0	0	1	0	0	
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	0	1	0	0	
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	0	1	0	0	
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
午後 (14時台~16時台)	入浴介助	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	排泄介助	0	0	1	0	0
		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	食事介助	0	0	1	0	0
		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	0	1	0	0
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
身の回りの世話	0	0	1	0	0	
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	1	0	0	0	
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	0	1	0	0	
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
夜間 (17時台~21時台)	入浴介助	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	排泄介助	0	0	1	0	0
		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	食事介助	0	0	1	0	0
		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	リハビリテーション関連業務	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)	0	0	0	0	1
	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
身の回りの世話	0	0	1	0	0	
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)	0	0	1	0	0	
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)	0	0	0	0	1	
	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

④ 10人のユニットと比べた際の職員数

15人ユニットを10人ユニットと比べた際の職員数は、種別全体で、「10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い」が53.8%、「10人ユニットと変わらない」及び「わからない」が23.1%であった。

図表 3-1-88 10人のユニットと比べた際の職員数（15人ユニット）

		合計	10人ユニット よりも1ユニット 当たりの職員 数が多い	10人ユニット と変わらない	わからない	無回答
種別全体		13	7 53.8%	3 23.1%	3 23.1%	0 0.0%
施設種別	特養	12	7 58.3%	2 16.7%	3 25.0%	0 0.0%
	老健	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

3. 入居者の調整に当たり配慮している内容とユニット数

(1) 入居者の調整に当たり配慮している内容

入居者の調整に当たり配慮している内容は、種別全体で、「上記いずれも該当しない」が63.4%、「医療的ケアが必要な入居者の割合が高いユニットを設けている」が17.0%、「要介護度や認知症の程度を踏まえて重度の入居者（もしくは軽度の入居者）の割合が高いユニットを設けている」が13.1%、「職員の男女比を踏まえて男性入居者（もしくは女性入居者）の割合が高いユニットを設けている」が3.7%であった。

図表 3-1-89 入居者の調整に当たり配慮している内容

	種別全体	施設種別						介護医療院 全体
		特養			老健			
		全体	ユニットのみ	混合型	全体	ユニットのみ	混合型	
合計	2,008	1,843	1,599	244	160	114	46	5
職員の男女比を踏まえて男性入居者（もしくは女性入居者）の割合が高いユニットを設けている	75 3.7%	69 3.7%	57 3.6%	12 4.9%	6 3.8%	5 4.4%	1 2.2%	0 0.0%
要介護度や認知症の程度を踏まえて重度の入居者（もしくは軽度の入居者）の割合が高いユニットを設けている	264 13.1%	213 11.6%	188 11.8%	25 10.2%	49 30.6%	38 33.3%	11 23.9%	2 40.0%
医療的ケアが必要な入居者の割合が高いユニットを設けている	341 17.0%	296 16.1%	276 17.3%	20 8.2%	43 26.9%	35 30.7%	8 17.4%	2 40.0%
上記いずれも該当しない	1273 63.4%	1195 64.8%	1023 64.0%	172 70.5%	76 47.5%	46 40.4%	30 65.2%	2 40.0%
無回答	244 12.2%	225 12.2%	194 12.1%	31 12.7%	18 11.3%	16 14.0%	2 4.3%	1 20.0%

(2) 入居者の調整に配慮しているユニット数

① 職員の男女比を踏まえて男性入居者の割合が高いユニット

職員の男女比を踏まえて男性入居者（もしくは女性入居者）の割合が高いユニットを設けている施設について、そのユニット数の平均は、特養全体で1.9、老健全体で2.5、介護医療院全体で0.0であった。

図表 3-1-90 職員の男女比を踏まえて男性入居者（もしくは女性入居者）の割合が高いユニット

施設種別	1施設当たり平均値	ユニット数
特養（全体）（n=113）	特養（全体）	1.9
	ユニットのみ（n=97）	2.0
	混合型（n=16）	1.6
老健（全体）（n=14）	老健（全体）	2.5
	ユニットのみ（n=13）	2.5
	混合型（n=1）	2.0
介護医療院（全体）（n=1）	介護医療院（全体）	0.0

② 要介護度や認知症の程度を踏まえて重度の入居者の割合が高いユニット

要介護度や認知症の程度を踏まえて重度の入居者の割合が高いユニットを設けている施設について、そのユニット数の平均は、特養全体で2.4、老健全体で2.6、介護医療院全体で4.0であった。

図表 3-1-91 要介護度や認知症の程度を踏まえて重度の入居者の割合が高いユニット

1施設当たり平均値		ユニット数
施設種別	特養（全体）（n=243）	2.4
	ユニット型のみ（n=219）	2.4
	混合型（n=24）	2.0
	老健（全体）（n=56）	2.6
	ユニット型のみ（n=45）	2.8
	混合型（n=11）	1.8
	介護医療院（全体）（n=2）	4.0

③ 医療的ケアが必要な入居者の割合が高いユニットを設けている

医療的ケアが必要な入居者の割合が高いユニットを設けている施設について、そのユニット数の平均は、特養全体で1.8、老健全体で1.8、介護医療院全体で4.0であった。

図表 3-1-92 医療的ケアが必要な入居者の割合が高いユニット

1施設当たり平均値		ユニット数
施設種別	特養（全体）（n=338）	1.8
	ユニット型のみ（n=315）	1.7
	混合型（n=23）	2.0
	老健（全体）（n=50）	1.8
	ユニット型のみ（n=42）	1.8
	混合型（n=8）	1.8
	介護医療院（全体）（n=2）	4.0

4. ユニット型個室への転換意向

(1) ユニット型個室への転換意向

多床室もしくは従来型個室から個室への今後の転換意向は、「転換する意向はない」が74.5%、「多床室からユニット型個室の転換を予定している」が1.8%、「多床室から従来型個室の転換を予定している」が1.2%であった。

図表 3-1-93 ユニット型個室への転換意向

	施設種別				
	種別全体	特養			老健 全体
		全体	混合型	従来型のみ	
合計	1,708	1,662	244	1,418	46
多床室から従来型個室への転換を予定している	21 1.2%	21 1.3%	1 0.4%	20 1.4%	0 0.0%
多床室からユニット型個室の転換を予定している	31 1.8%	31 1.9%	2 0.8%	29 2.0%	0 0.0%
従来型個室からユニット型個室の転換を予定している	1 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%
転換する意向はない	1273 74.5%	1238 74.5%	192 78.7%	1046 73.8%	35 76.1%
わからない	297 17.4%	288 17.3%	39 16.0%	249 17.6%	9 19.6%
無回答	85 5.0%	83 5.0%	10 4.1%	73 5.1%	2 4.3%

(2) ユニット型個室への転換に向けた状況

ユニット型個室への転換に向けた状況は、「法人内で建替え・改修に関する方針を検討している」が46.9%、「自治体に建替え・改修に関する事前相談・手続きをしている」が28.1%、「建替え・改修工事に着手している」が18.8%であった。

図表 3-1-94 ユニット型個室への転換に向けた状況

	施設種別			
	種別全体	特養		
		全体	混合型	従来型のみ
合計	32	32	2	30
法人内で建替え・改修に関する方針を検討している	15 46.9%	15 46.9%	1 50.0%	14 46.7%
自治体に建替え・改修に関する事前相談・手続きをしている	9 28.1%	9 28.1%	1 50.0%	8 26.7%
建替え・改修工事に着手している	6 18.8%	6 18.8%	0 0.0%	6 20.0%
建替え・改修工事が完了し自治体の指定・許可を待っている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	2 6.3%	2 6.3%	0 0.0%	2 6.7%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(3) ユニット型個室への転換意向が無い理由

多床室もしくは従来型個室から個室へ転換する意向はないと回答した施設において、その理由は、「現在の施設構造上、改修等での対応が難しく、建替えや移転等が必要となるため」が56.6%、「転換に伴う工事費用の捻出が難しいため」が48.9%、「施設を運営しながらの転換工事が難しいため」が44.3%であった。

図表 3-1-95 ユニット型個室への転換意向が無い理由

	施設種別				
	種別全体	特養			老健 全体
		全体	混合型	従来型のみ	
合計	1,273	1,238	192	1,046	35
現状の施設の居室タイプで十分なケアが提供できているため	434 34.1%	420 33.9%	78 40.6%	342 32.7%	14 40.0%
ユニット型個室への転換のメリットを感じていないため	322 25.3%	316 25.5%	59 30.7%	257 24.6%	6 17.1%
入居者やその家族からユニット型個室への展開に対する要望がないため	465 36.5%	453 36.6%	85 44.3%	368 35.2%	12 34.3%
施設を運営しながらの転換工事が難しいため	564 44.3%	548 44.3%	50 26.0%	498 47.6%	16 45.7%
現在の施設構造上、改修等での対応が難しく、建替えや移転等が必要となるため	720 56.6%	703 56.8%	57 29.7%	646 61.8%	17 48.6%
転換に伴う工事費用の捻出が難しいため	622 48.9%	606 48.9%	55 28.6%	551 52.7%	16 45.7%
転換後のユニットリーダーの確保が難しいため	154 12.1%	151 12.2%	17 8.9%	134 12.8%	3 8.6%
ユニット型を運営するための職員の人材確保が難しいため	442 34.7%	437 35.3%	38 19.8%	399 38.1%	5 14.3%
その他	196 15.4%	190 15.3%	47 24.5%	143 13.7%	6 17.1%
無回答	7 0.5%	6 0.5%	1 0.5%	5 0.5%	1 2.9%

第4節. 令和3年度報酬改定による影響等

1. 同一法人の運営するサービス種別

特養（ユニット型）が特養（従来型）を併設している（同一建物もしくは近接で同一法人が運営している）割合は72.0%であり、特養（従来型のみ）が特養（ユニット型）を併設している割合は50.3%であった。

図表 4-1-96 同一法人の運営するサービス種別

特養（ユニット型あり）

単位：%

		施設との距離		
		同一建物	近接	近隣
特別養護老人ホーム	従来型 (n=544)	289 53.1	103 18.9	168 30.9
	ユニット型 (n=633)	404 63.8	69 10.9	186 29.4
特別養護老人ホーム (サテライト型)	従来型 (n=30)	5 16.7	11 36.7	14 46.7
	ユニット型 (n=145)	13 9.0	34 23.4	100 69.0
短期入所生活介護（ショートステイ） (n=1,418)		1232 86.9	117 8.3	219 15.4

特養（従来型のみ）

単位：%

		施設との距離		
		同一建物	近接	近隣
特別養護老人ホーム	従来型 (n=460)	315 68.5	38 8.3	128 27.8
	ユニット型 (n=266)	65 24.4	69 25.9	139 52.3
特別養護老人ホーム (サテライト型)	従来型 (n=24)	10 41.7	3 12.5	11 45.8
	ユニット型 (n=123)	6 4.9	30 24.4	89 72.4
短期入所生活介護（ショートステイ） (n=1,181)		1092 92.5	56 4.7	141 11.9

2. 従来型とユニット型を併設する場合の介護職員・看護職員の兼務

(1) 従来型とユニット型を併設する場合の介護職員・看護職員の兼務状況

従来型とユニット型を併設する場合の職員の兼務状況について、特養全体で、介護職員は「兼務している」が6.6%、「兼務していない」が85.5%であった。看護職員は「兼務している」が46.1%、「兼務していない」が46.1%であった。

図表 4-1-97 従来型とユニット型を併設する場合の
介護職員・看護職員の兼務状況（介護職員）

	合計	兼務している	兼務していない	無回答
特養（全体）	573	38 6.6%	490 85.5%	45 7.9%
（ユニット型のみ）	231	14 6.1%	201 87.0%	16 6.9%
（混合型）	179	15 8.4%	160 89.4%	4 2.2%
（従来型のみ）	163	9 5.5%	129 79.1%	25 15.3%

図表 4-1-98 従来型とユニット型を併設する場合の
介護職員・看護職員の兼務状況（看護職員）

	合計	兼務している	兼務していない	無回答
特養（全体）	573	264 46.1%	264 46.1%	45 7.9%
（ユニット型のみ）	231	94 40.7%	121 52.4%	16 6.9%
（混合型）	179	112 62.6%	63 35.2%	4 2.2%
（従来型のみ）	163	58 35.6%	80 49.1%	25 15.3%

(2) 介護職員を兼務とした理由

介護職員を兼務とした理由は、特養全体で、「新たな職員の確保が難しいため」が71.4%、「その他」が31.0%、「キャリアアップや人材育成の観点で施設長等から当人に対して提案があったため」が9.5%、「職員側からの希望があったため」が4.8%であった。

図表 4-1-99 介護職員を兼務とした理由

	特養			
	全体	ユニット型のみ	混合型	従来型のみ
合計	42	14	19	9
新たな職員の確保が難しいため	30 71.4%	10 71.4%	13 68.4%	7 77.8%
職員側からの希望があったため	2 4.8%	1 7.1%	0 0.0%	1 11.1%
キャリアアップや人材育成の観点で施設長等から当人に対して提案があったため	4 9.5%	0 0.0%	3 15.8%	1 11.1%
その他	13 31.0%	7 50.0%	4 21.1%	2 22.2%
わからない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 2.4%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%

(3) 介護職員の兼務による影響や課題

介護職員の兼務による影響や課題は、特養全体で、「本体事業所以外の入居者・職員とのコミュニケーションを通じて技術や知識が向上した」が33.3%、「従来型とユニット型でケアの方針等が異なり、職員において戸惑いが見られた」が33.3%、「人員確保に要する時間や費用を抑えることができた」が31.0%であった。

図表 4-1-100 介護職員の兼務による影響や課題

	特養			
	全体	ユニット型のみ	混合型	従来型のみ
合計	42	14	19	9
入居者1人当たりにかかる情報収集やコミュニケーションの時間が減少した	6 14.3%	1 7.1%	5 26.3%	0 0.0%
入居者の生活リズムに沿ったケア提供が難しくなるケースが増加した	5 11.9%	0 0.0%	5 26.3%	0 0.0%
看護職員や多職種とのコミュニケーションの機会が減少した	3 7.1%	0 0.0%	3 15.8%	0 0.0%
本体事業所以外の入居者・職員とのコミュニケーションを通じて技術や知識が向上した	14 33.3%	4 28.6%	5 26.3%	5 55.6%
人員確保に要する時間や費用を抑えることができた	13 31.0%	3 21.4%	7 36.8%	3 33.3%
従来型とユニット型でケアの方針等が異なり、職員において戸惑いが見られた	14 33.3%	4 28.6%	8 42.1%	2 22.2%
兼務職員の業務負担（時間外労働時間等）が増加した	8 19.0%	2 14.3%	5 26.3%	1 11.1%
その他	2 4.8%	0 0.0%	2 10.5%	0 0.0%
影響や課題は特にない	11 26.2%	7 50.0%	2 10.5%	2 22.2%
わからない	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
無回答	1 2.4%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%

(4) 看護職員を兼務とした理由

看護職員を兼務とした理由は、特養全体で、「新たな職員の確保が難しいため」が63.3%、「その他」が28.5%、「キャリアアップや人材育成の観点で施設長等から当人に対して提案があったため」が6.0%、「職員側からの希望があったため」が5.7%であった。

図表 4-1-101 看護職員を兼務とした理由

	特養			
	全体	ユニット型のみ	混合型	従来型のみ
合計	281	94	129	58
新たな職員の確保が難しいため	178 63.3%	62 66.0%	77 59.7%	39 67.2%
職員側からの希望があったため	16 5.7%	6 6.4%	6 4.7%	4 6.9%
キャリアアップや人材育成の観点で施設長等から当人に対して提案があったため	17 6.0%	7 7.4%	8 6.2%	2 3.4%
その他	80 28.5%	24 25.5%	38 29.5%	18 31.0%
わからない	16 5.7%	7 7.4%	8 6.2%	1 1.7%
無回答	5 1.8%	1 1.1%	4 3.1%	0 0.0%

(5) 看護職員の兼務による影響や課題

看護職員の兼務による影響や課題は、特養全体で、「健康管理上の観察等を介護職にも対応してもらうようにした」が40.2%、「影響や課題は特にない」が27.0%、「人員確保に要する時間や費用を抑えることができた」が22.1%であった。

図表 4-1-102 看護職員の兼務による影響や課題

	特養			
	全体	ユニット型のみ	混合型	従来型のみ
合計	281	94	129	58
健康管理上の観察等を介護職にも対応して もらうようにした	113 40.2%	38 40.4%	54 41.9%	21 36.2%
医療ニーズがある方へのケアや看取り時の対 応に集中できるようになった	57 20.3%	23 24.5%	22 17.1%	12 20.7%
介護職員や多職種とのコミュニケーションの機 会が減少した	10 3.6%	2 2.1%	6 4.7%	2 3.4%
本体事業所以外の入居者・職員とのコミュニ ケーションを通じて技術や知識が向上した	55 19.6%	25 26.6%	19 14.7%	11 19.0%
人員確保に要する時間や費用を抑えることが できた	62 22.1%	23 24.5%	23 17.8%	16 27.6%
従来型とユニット型でケアの方針等が異なり、 職員において戸惑いが見られた	27 9.6%	9 9.6%	13 10.1%	5 8.6%
兼務職員の業務負担（時間外労働時間 等）が増加した	32 11.4%	13 13.8%	15 11.6%	4 6.9%
その他	11 3.9%	3 3.2%	5 3.9%	3 5.2%
影響や課題は特にない	76 27.0%	28 29.8%	29 22.5%	19 32.8%
わからない	12 4.3%	5 5.3%	4 3.1%	3 5.2%
無回答	15 5.3%	3 3.2%	11 8.5%	1 1.7%

第5節. ユニットケア研修の受講状況等について

1. ユニットケア研修の受講状況

ユニットリーダー研修の受講者数は、特養（ユニット型あり）が9,499名（平均5.1人/施設）、特養（従来型のみ）が524名（平均0.8人/施設）、老健が646名（平均4.1人/施設）、介護医療院が19名（平均4.8人/施設）であった。うち実地研修の未受講者数は、特養（ユニット型あり）が2,076名（平均1.2人/施設）、特養（従来型のみ）が140名（平均0.7人/施設）、老健が104名（平均0.7人/施設）、介護医療院が3名（平均8.0人/施設）であった。

図表 5-1-103 ユニットケア研修の受講状況

	特養（ユニット型あり） (n=1,812)	特養（従来型のみ） (n=642)	老健 (n=158)	介護医療院 (n=5)
ユニット数	14,592 (7.5)		959 (6.1)	30 (6.0)
ユニットリーダー研修の受講者数	9,499 (5.1)	524 (0.8)	646 (4.1)	19 (4.8)
うち、実地研修の未受講者数	2,076 (1.2)	140 (0.3)	104 (0.7)	3 (8.0)
ユニットケア施設管理者研修の受講者数	1,254 (0.7)	100 (0.2)	63 (0.4)	4 (0.8)

単位：ユニット数はユニット、その他は人。()内は1施設あたり平均

2. ユニットケア研修における施設の立場

ユニットリーダー研修における施設の立場は、「実地研修の受け入れ施設である」が2.1%、「実地研修の受け入れ施設ではない」が80.1%であった。

図表 5-1-104 ユニットケア研修における施設の立場

		合計	実地研修の 受け入れ施 設である	実地研修の 受け入れ施 設ではない	無回答
種別全体		3,426	73 2.1%	2743 80.1%	610 17.8%
施設種別	特養（全体）	3,261	69 2.1%	2589 79.4%	603 18.5%
	（ユニット型あり）	1,843	66 3.6%	1673 90.8%	104 5.6%
	（従来型のみ）	1,418	3 0.2%	916 64.6%	499 35.2%
	老健（全体）	160	4 2.5%	150 93.8%	6 3.8%
	介護医療院（全体）	5	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%

3. ユニットケア研修の受講方法と効果

(1) ユニットケア研修の受講方法

ユニットケア研修の受講方法は、「ユニットリーダー全員がオンラインで受講している」が2.2%、「一部のユニットリーダーがオンラインで受講している」が29.7%、「ユニットリーダー全員が対面・集合形式で受講している」が24.4%であった。

図表 5-1-105 ユニットケア研修の受講方法

	施設種別					
	種別全体	特養			老健 全体	介護医療院 全体
		全体	ユニット型あり	従来型のみ		
合計	3,426	3,261	1,843	1,418	160	5
ユニットリーダー全員がオンラインで受講している	76 2.2%	74 2.3%	62 3.4%	12 0.8%	2 1.3%	0 0.0%
一部のユニットリーダーがオンラインで受講している	1016 29.7%	946 29.0%	899 48.8%	47 3.3%	67 41.9%	3 60.0%
ユニットリーダー全員が対面・集合形式で受講している	837 24.4%	768 23.6%	661 35.9%	107 7.5%	69 43.1%	0 0.0%
わからない	802 23.4%	780 23.9%	167 9.1%	613 43.2%	20 12.5%	2 40.0%
無回答	695 20.3%	693 21.3%	54 2.9%	639 45.1%	2 1.3%	0 0.0%

(2) オンラインによる研修の受講効果

オンラインによる研修の受講効果は、種別全体で、「移動が不要になり交通費・宿泊費等の出費を抑えることができた」が70.7%、「移動が不要になり施設運営への影響を最小限に抑えることができた」が61.8%、「自宅や施設の会議室等からでも問題なく受講できた（通信環境、PC操作、端末手配等）」が55.2%であった。

図表 5-1-106 オンラインによる研修の受講効果（全体）

	種別全体				
	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
合計	1,101	1,101	1,101	1,101	1,101
事前学習の動画視聴等にあたり、空き時間を効率的に活用できた	361 32.8%	423 38.4%	222 20.2%	59 5.4%	35 3.2%
受講後に講義内容を繰り返し復習できた	211 19.2%	417 37.9%	354 32.2%	92 8.4%	24 2.2%
集合形式と比べて受講時に集中して受講できた	220 20.0%	379 34.4%	406 36.9%	77 7.0%	18 1.6%
集合形式と比べて受講時に内容の理解が進んだ	164 14.9%	307 27.9%	525 47.7%	93 8.4%	10 0.9%
集合形式と同様にグループワークを進行できた	127 11.5%	317 28.8%	443 40.2%	183 16.6%	29 2.6%
チャット等の活用により講義中の講師への質問がしやすかった	95 8.6%	258 23.4%	507 46.0%	197 17.9%	42 3.8%
普段交流の機会のない遠方の施設との演習や情報交換を通じて新たな気づきを得た	244 22.2%	412 37.4%	336 30.5%	84 7.6%	24 2.2%
自宅や施設の会議室等からでも問題なく受講できた（通信環境、PC操作、端末手配等）	608 55.2%	354 32.2%	105 9.5%	20 1.8%	12 1.1%
移動が不要になり施設運営への影響を最小限に抑えることができた	680 61.8%	305 27.7%	95 8.6%	15 1.4%	5 0.5%
移動が不要になり交通費・宿泊費等の出費を抑えることができた	778 70.7%	241 21.9%	73 6.6%	5 0.5%	4 0.4%

図表 5-1-107 オンラインによる研修の受講効果 特養（ユニット型あり）

	特養（ユニット型あり）				
	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
合計	968	968	968	968	968
事前学習の動画視聴等にあたり、すき間時間を効率的に活用できた	322 33.3%	377 38.9%	190 19.6%	50 5.2%	28 2.9%
受講後に講義内容を繰り返し復習できた	181 18.7%	370 38.2%	315 32.5%	80 8.3%	19 2.0%
集合形式と比べて受講時に集中して受講できた	193 19.9%	329 34.0%	362 37.4%	67 6.9%	16 1.7%
集合形式と比べて受講時に内容の理解が進んだ	145 15.0%	265 27.4%	468 48.3%	81 8.4%	7 0.7%
集合形式と同様にグループワークを進行できた	112 11.6%	269 27.8%	396 40.9%	163 16.8%	26 2.7%
チャット等の活用により講義中の講師への質問がしやすかった	83 8.6%	225 23.2%	449 46.4%	172 17.8%	38 3.9%
普段交流の機会のない遠方の施設との演習や情報交換を通じて新たな気づきを得た	207 21.4%	362 37.4%	304 31.4%	72 7.4%	22 2.3%
自宅や施設の会議室等からでも問題なく受講できた（通信環境、PC操作、端末手配等）	531 54.9%	314 32.4%	90 9.3%	19 2.0%	12 1.2%
移動が不要になり施設運営への影響を最小限に抑えることができた	602 62.2%	263 27.2%	87 9.0%	11 1.1%	4 0.4%
移動が不要になり交通費・宿泊費等の出費を抑えることができた	688 71.1%	210 21.7%	63 6.5%	3 0.3%	4 0.4%

図表 5-1-108 オンラインによる研修の受講効果 特養（従来型のみ）

	特養（従来型のみ）				
	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
合計	60	60	60	60	60
事前学習の動画視聴等にあたり、すき間時間を効率的に活用できた	16 26.7%	20 33.3%	17 28.3%	4 6.7%	3 5.0%
受講後に講義内容を繰り返し復習できた	13 21.7%	20 33.3%	18 30.0%	6 10.0%	3 5.0%
集合形式と比べて受講時に集中して受講できた	13 21.7%	19 31.7%	22 36.7%	4 6.7%	2 3.3%
集合形式と比べて受講時に内容の理解が進んだ	9 15.0%	16 26.7%	28 46.7%	4 6.7%	3 5.0%
集合形式と同様にグループワークを進行できた	8 13.3%	18 30.0%	24 40.0%	8 13.3%	2 3.3%
チャット等の活用により講義中の講師への質問がしやすかった	2 3.3%	17 28.3%	29 48.3%	10 16.7%	2 3.3%
普段交流の機会のない遠方の施設との演習や情報交換を通じて新たな気づきを得た	12 20.0%	19 31.7%	20 33.3%	7 11.7%	2 3.3%
自宅や施設の会議室等からでも問題なく受講できた（通信環境、PC操作、端末手配等）	34 56.7%	17 28.3%	8 13.3%	1 1.7%	0 0.0%
移動が不要になり施設運営への影響を最小限に抑えることができた	38 63.3%	18 30.0%	3 5.0%	0 0.0%	1 1.7%
移動が不要になり交通費・宿泊費等の出費を抑えることができた	43 71.7%	13 21.7%	4 6.7%	0 0.0%	0 0.0%

図表 5-1-109 オンラインによる研修の受講効果（老健）

	老健				
	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
合計	70	70	70	70	70
事前学習の動画視聴等にあたり、すき間時間を効率的に活用できた	21 30.0%	26 37.1%	14 20.0%	5 7.1%	4 5.7%
受講後に講義内容を繰り返し復習できた	15 21.4%	27 38.6%	20 28.6%	6 8.6%	2 2.9%
集合形式と比べて受講時に集中して受講できた	13 18.6%	29 41.4%	22 31.4%	6 8.6%	0 0.0%
集合形式と比べて受講時に内容の理解が進んだ	10 14.3%	23 32.9%	29 41.4%	8 11.4%	0 0.0%
集合形式と同様にグループワークを進行できた	5 7.1%	29 41.4%	23 32.9%	12 17.1%	1 1.4%
チャット等の活用により講義中の講師への質問がしやすかった	10 14.3%	14 20.0%	28 40.0%	15 21.4%	2 2.9%
普段交流の機会のない遠方の施設との演習や情報交換を通じて新たな気づきを得た	24 34.3%	29 41.4%	12 17.1%	5 7.1%	0 0.0%
自宅や施設の会議室等からでも問題なく受講できた（通信環境、PC操作、端末手配等）	40 57.1%	23 32.9%	7 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
移動が不要になり施設運営への影響を最小限に抑えることができた	37 52.9%	24 34.3%	5 7.1%	4 5.7%	0 0.0%
移動が不要になり交通費・宿泊費等の出費を抑えることができた	44 62.9%	18 25.7%	6 8.6%	2 2.9%	0 0.0%

図表 5-1-110 オンラインによる研修の受講効果（介護医療院）

	介護医療院				
	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
合計	3	3	3	3	3
事前学習の動画視聴等にあたり、すき間時間を効率的に活用できた	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
受講後に講義内容を繰り返し復習できた	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
集合形式と比べて受講時に集中して受講できた	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
集合形式と比べて受講時に内容の理解が進んだ	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
集合形式と同様にグループワークを進行できた	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
チャット等の活用により講義中の講師への質問がしやすかった	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
普段交流の機会のない遠方の施設との演習や情報交換を通じて新たな気づきを得た	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
自宅や施設の会議室等からでも問題なく受講できた（通信環境、PC操作、端末手配等）	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
移動が不要になり施設運営への影響を最小限に抑えることができた	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
移動が不要になり交通費・宿泊費等の出費を抑えることができた	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

4. ユニットリーダー研修受講者に期待する役割、受講後の研修効果

(1) ユニットリーダー研修受講者に期待する役割

ユニットリーダー研修受講者に期待する役割として「とても期待している」と回答した割合は、種別全体で、「個別ケア、生活支援技術（食事、排泄、入浴、睡眠等）の実践」が51.5%、「ユニット内の職員の指導やチームの運営（マネジメント）」が50.6%、「入居者の生活の質の向上に向けたケア計画の見直し」が46.9%であった。

図表 5-1-111 ユニットリーダー研修受講者に期待する役割（全体）

	種別全体				
	とても期待している	やや期待している	どちらともいえない	あまり期待していない	全く期待していない
合計	2,655	2,655	2,655	2,655	2,655
個別ケア、生活支援技術（食事、排泄、入浴、睡眠等）の実践	1366 51.5%	779 29.3%	435 16.4%	16 0.6%	59 2.2%
入居者の生活の質の向上に向けたケア計画の見直し	1245 46.9%	881 33.2%	451 17.0%	19 0.7%	59 2.2%
重度化（医療処置、看取り、認知症等）した入居者への対応	908 34.2%	968 36.5%	678 25.5%	38 1.4%	62 2.3%
ユニット内の職員の指導やチームの運営（マネジメント）	1344 50.6%	773 29.1%	453 17.1%	22 0.8%	62 2.3%
入居者・家族とのコミュニケーション	971 36.6%	969 36.5%	619 23.3%	32 1.2%	62 2.3%
他職種との連携	1097 41.3%	936 35.3%	537 20.2%	23 0.9%	61 2.3%
地域との連携	519 19.5%	794 29.9%	1067 40.2%	177 6.7%	95 3.6%

図表 5-1-112 ユニットリーダー研修受講者に期待する
役割 特養（ユニット型あり）

	特養（ユニット型あり）				
	とても期待している	やや期待している	どちらともいえない	あまり期待していない	全く期待していない
合計	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761
個別ケア、生活支援技術（食事、排泄、入浴、睡眠等）の実践	1082 61.4%	579 32.9%	85 4.8%	13 0.7%	2 0.1%
入居者の生活の質の向上に向けたケア計画の見直し	987 56.0%	662 37.6%	96 5.5%	14 0.8%	2 0.1%
重度化（医療処置、看取り、認知症等）した入居者への対応	706 40.1%	738 41.9%	280 15.9%	31 1.8%	5 0.3%
ユニット内の職員の指導やチームの運営（マネジメント）	1063 60.4%	585 33.2%	91 5.2%	18 1.0%	3 0.2%
入居者・家族とのコミュニケーション	761 43.2%	739 42.0%	230 13.1%	24 1.4%	5 0.3%
他職種との連携	856 48.6%	715 40.6%	167 9.5%	18 1.0%	4 0.2%
地域との連携	381 21.6%	600 34.1%	596 33.8%	149 8.5%	32 1.8%

図表 5-1-113 ユニットリーダー研修受講者に期待する
役割 特養（従来型のみ）

	特養（従来型のみ）				
	とても期待している	やや期待している	どちらともいえない	あまり期待していない	全く期待していない
合計	736	736	736	736	736
個別ケア、生活支援技術（食事、排泄、入浴、睡眠等）の実践	184 25.0%	150 20.4%	343 46.6%	2 0.3%	57 7.7%
入居者の生活の質の向上に向けたケア計画の見直し	169 23.0%	158 21.5%	348 47.3%	4 0.5%	57 7.7%
重度化（医療処置、看取り、認知症等）した入居者への対応	141 19.2%	160 21.7%	374 50.8%	4 0.5%	57 7.7%
ユニット内の職員の指導やチームの運営（マネジメント）	183 24.9%	137 18.6%	354 48.1%	3 0.4%	59 8.0%
入居者・家族とのコミュニケーション	139 18.9%	167 22.7%	369 50.1%	4 0.5%	57 7.7%
他職種との連携	157 21.3%	162 22.0%	357 48.5%	3 0.4%	57 7.7%
地域との連携	96 13.0%	136 18.5%	426 57.9%	18 2.4%	60 8.2%

図表 5-1-114 ユニットリーダー研修受講者に期待する役割（老健）

	老健				
	とても期待している	やや期待している	どちらともいえない	あまり期待していない	全く期待していない
合計	153	153	153	153	153
個別ケア、生活支援技術（食事、排泄、入浴、睡眠等）の実践	98 64.1%	47 30.7%	7 4.6%	1 0.7%	0 0.0%
入居者の生活の質の向上に向けたケア計画の見直し	86 56.2%	59 38.6%	7 4.6%	1 0.7%	0 0.0%
重度化（医療処置、看取り、認知症等）した入居者への対応	60 39.2%	67 43.8%	23 15.0%	3 2.0%	0 0.0%
ユニット内の職員の指導やチームの運営（マネジメント）	95 62.1%	49 32.0%	8 5.2%	1 0.7%	0 0.0%
入居者・家族とのコミュニケーション	69 45.1%	60 39.2%	20 13.1%	4 2.6%	0 0.0%
他職種との連携	82 53.6%	56 36.6%	13 8.5%	2 1.3%	0 0.0%
地域との連携	42 27.5%	54 35.3%	44 28.8%	10 6.5%	3 2.0%

図表 5-1-115 ユニットリーダー研修受講者に期待する役割（介護医療院）

	介護医療院				
	とても期待している	やや期待している	どちらともいえない	あまり期待していない	全く期待していない
合計	5	5	5	5	5
個別ケア、生活支援技術（食事、排泄、入浴、睡眠等）の実践	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
入居者の生活の質の向上に向けたケア計画の見直し	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
重度化（医療処置、看取り、認知症等）した入居者への対応	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
ユニット内の職員の指導やチームの運営（マネジメント）	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
入居者・家族とのコミュニケーション	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
他職種との連携	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
地域との連携	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%

(2) 受講後の研修効果

(2) 受講後の研修効果として「とても効果を感じた」と回答した割合は、種別全体で、「個別ケア、生活支援技術（食事、排泄、入浴、睡眠等）の実践」が13.4%、「入居者の生活の質の向上に向けたケア計画の見直し」が10.9%、「ユニット内の職員の指導やチームの運営（マネジメント）」が10.8%であった。

図表 5-1-116 受講後の研修効果（全体）

	種別全体				
	とても効果を感じた	やや効果を感じた	どちらともいえない	あまり効果を感じなかった	全く効果を感じなかった
合計	2,552	2,552	2,552	2,552	2,552
個別ケア、生活支援技術（食事、排泄、入浴、睡眠等）の実践	343 13.4%	1109 43.5%	941 36.9%	83 3.3%	76 3.0%
入居者の生活の質の向上に向けたケア計画の見直し	278 10.9%	1040 40.8%	1062 41.6%	94 3.7%	78 3.1%
重度化（医療処置、看取り、認知症等）した入居者への対応	194 7.6%	800 31.3%	1338 52.4%	133 5.2%	87 3.4%
ユニット内の職員の指導やチームの運営（マネジメント）	276 10.8%	924 36.2%	1142 44.7%	126 4.9%	84 3.3%
入居者・家族とのコミュニケーション	209 8.2%	861 33.7%	1279 50.1%	115 4.5%	86 3.4%
他職種との連携	232 9.1%	933 36.6%	1183 46.4%	119 4.7%	84 3.3%
地域との連携	88 3.4%	366 14.3%	1559 61.1%	331 13.0%	208 8.2%

図表 5-1-117 受講後の研修効果 特養（ユニット型あり）

	特養(ユニット型あり)				
	とても効果を感じた	やや効果を感じた	どちらともいえない	あまり効果を感じなかった	全く効果を感じなかった
合計	1,681	1,681	1,681	1,681	1,681
個別ケア、生活支援技術（食事、排泄、入浴、睡眠等）の実践	271 16.1%	916 54.5%	417 24.8%	67 4.0%	10 0.6%
入居者の生活の質の向上に向けたケア計画の見直し	215 12.8%	864 51.4%	514 30.6%	76 4.5%	12 0.7%
重度化（医療処置、看取り、認知症等）した入居者への対応	159 9.5%	649 38.6%	741 44.1%	114 6.8%	18 1.1%
ユニット内の職員の指導やチームの運営（マネジメント）	221 13.1%	760 45.2%	574 34.1%	108 6.4%	18 1.1%
入居者・家族とのコミュニケーション	153 9.1%	707 42.1%	703 41.8%	96 5.7%	20 1.2%
他職種との連携	174 10.4%	758 45.1%	632 37.6%	98 5.8%	18 1.1%
地域との連携	61 3.6%	279 16.6%	932 55.4%	282 16.8%	127 7.6%

図表 5-1-118 受講後の研修効果 特養（従来型のみ）

	特養（従来型のみ）				
	とても効果を感じた	やや効果を感じた	どちらともいえない	あまり効果を感じなかった	全く効果を感じなかった
合計	725	725	725	725	725
個別ケア、生活支援技術（食事、排泄、入浴、睡眠等）の実践	43 5.9%	115 15.9%	490 67.6%	11 1.5%	66 9.1%
入居者の生活の質の向上に向けたケア計画の見直し	36 5.0%	111 15.3%	501 69.1%	11 1.5%	66 9.1%
重度化（医療処置、看取り、認知症等）した入居者への対応	22 3.0%	98 13.5%	526 72.6%	12 1.7%	67 9.2%
ユニット内の職員の指導やチームの運営（マネジメント）	35 4.8%	98 13.5%	517 71.3%	9 1.2%	66 9.1%
入居者・家族とのコミュニケーション	32 4.4%	100 13.8%	516 71.2%	11 1.5%	66 9.1%
他職種との連携	35 4.8%	103 14.2%	509 70.2%	12 1.7%	66 9.1%
地域との連携	20 2.8%	48 6.6%	558 77.0%	26 3.6%	73 10.1%

図表 5-1-119 受講後の研修効果（老健）

	老健				
	とても効果を感じた	やや効果を感じた	どちらともいえない	あまり効果を感じなかった	全く効果を感じなかった
合計	141	141	141	141	141
個別ケア、生活支援技術（食事、排泄、入浴、睡眠等）の実践	29 20.6%	74 52.5%	33 23.4%	5 3.5%	0 0.0%
入居者の生活の質の向上に向けたケア計画の見直し	26 18.4%	64 45.4%	44 31.2%	7 5.0%	0 0.0%
重度化（医療処置、看取り、認知症等）した入居者への対応	12 8.5%	52 36.9%	68 48.2%	7 5.0%	2 1.4%
ユニット内の職員の指導やチームの運営（マネジメント）	19 13.5%	64 45.4%	49 34.8%	9 6.4%	0 0.0%
入居者・家族とのコミュニケーション	23 16.3%	52 36.9%	58 41.1%	8 5.7%	0 0.0%
他職種との連携	22 15.6%	70 49.6%	40 28.4%	9 6.4%	0 0.0%
地域との連携	7 5.0%	38 27.0%	65 46.1%	23 16.3%	8 5.7%

図表 5-1-120 受講後の研修効果（介護医療院）

	介護医療院				
	とても効果を感じた	やや効果を感じた	どちらともいえない	あまり効果を感じなかった	全く効果を感じなかった
合計	5	5	5	5	5
個別ケア、生活支援技術（食事、排泄、入浴、睡眠等）の実践	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
入居者の生活の質の向上に向けたケア計画の見直し	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%
重度化（医療処置、看取り、認知症等）した入居者への対応	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%
ユニット内の職員の指導やチームの運営（マネジメント）	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
入居者・家族とのコミュニケーション	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
他職種との連携	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
地域との連携	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%

5. ユニットケア研修受講における課題

ユニットケア研修受講における課題は、種別全体で、「実地研修施設までの距離が遠い」が44.7%、「受講費用の負担感が大きい」が36.6%、「ユニットリーダーの役職以外も広く受講することが望ましいが受講する業務上・金銭上の余裕がない」が31.2%であった。

図表 5-1-121 ユニットケア研修受講における課題

	施設種別					
	種別全体	特養			老健	介護医療院
		全体	ユニット型あり	従来型のみ	全体	全体
合計	3,426	3,261	1,843	1,418	160	5
実地研修施設までの距離が遠い	1533 44.7%	1439 44.1%	1237 67.1%	202 14.2%	92 57.5%	2 40.0%
感染対策等の影響で実地研修を受講できていない	873 25.5%	811 24.9%	698 37.9%	113 8.0%	58 36.3%	4 80.0%
受講費用の負担感が大きい	1255 36.6%	1165 35.7%	986 53.5%	179 12.6%	88 55.0%	2 40.0%
オンライン研修の受講環境を用意できない	46 1.3%	42 1.3%	33 1.8%	9 0.6%	4 2.5%	0 0.0%
ユニットリーダーの役職以外も広く受講することが望ましい が受講する業務上・金銭上の余裕がない	1068 31.2%	994 30.5%	821 44.5%	173 12.2%	72 45.0%	2 40.0%
その他	231 6.7%	220 6.7%	97 5.3%	123 8.7%	11 6.9%	0 0.0%
課題は特にならない	435 12.7%	429 13.2%	95 5.2%	334 23.6%	6 3.8%	0 0.0%
無回答	713 20.8%	706 21.6%	59 3.2%	647 45.6%	7 4.4%	0 0.0%

第6節. 施設における感染対策について

1. 施設の新型コロナウイルス感染症感染者の発生状況

(1) 入居者におけるコロナウイルス感染者数

入居者におけるコロナウイルス感染者が発生したと回答した施設における 1 施設あたりの感染者数の平均は、種別全体で、27.3 人であった。

図表 6-1-122 入居者におけるコロナウイルス感染者数

単位：人

		回答数	感染者数	1施設あたり 感染者数
種別全体		3,154	85,999	27.3
特養	全体	3,003	82,726	27.5
	(ユニット型のみ)	1,479	26,827	18.1
	(混合型)	220	6,695	30.4
	(従来型のみ)	1,304	49,204	37.7
老健	全体	146	3,218	22.0
	(ユニット型のみ)	107	1,811	16.9
	(混合型)	39	1,407	36.1
介護医療院	全体	5	55	11.0

(2) クラスターの発生有無

入居者におけるコロナウイルス感染者が発生したと回答した施設におけるクラスターの発生有無は、種別全体で、「あり」が73.0%、「なし」が24.9%であった。

図表 6-1-123 クラスターの発生有無

		合計	あり	なし	無回答
種別全体		3,426	2502 73.0%	853 24.9%	71 2.1%
施設種別	特養 (全体)	3,261	2392 73.4%	799 24.5%	70 2.1%
	(ユニット型のみ)	1,599	1074 67.2%	489 30.6%	36 2.3%
	(混合型)	244	189 77.5%	48 19.7%	7 2.9%
	(従来型のみ)	1,418	1129 79.6%	262 18.5%	27 1.9%
	老健 (全体)	160	108 67.5%	51 31.9%	1 0.6%
	(ユニット型のみ)	114	70 61.4%	44 38.6%	0 0.0%
	(混合型)	46	38 82.6%	7 15.2%	1 2.2%
	介護医療院 (全体)	5	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%

(3) クラスターの発生単位

クラスターの発生単位は、「施設内で収束」が44.6%、「フロア全体で収束」が37.6%、「1ユニット内で収束」が14.3%であった。

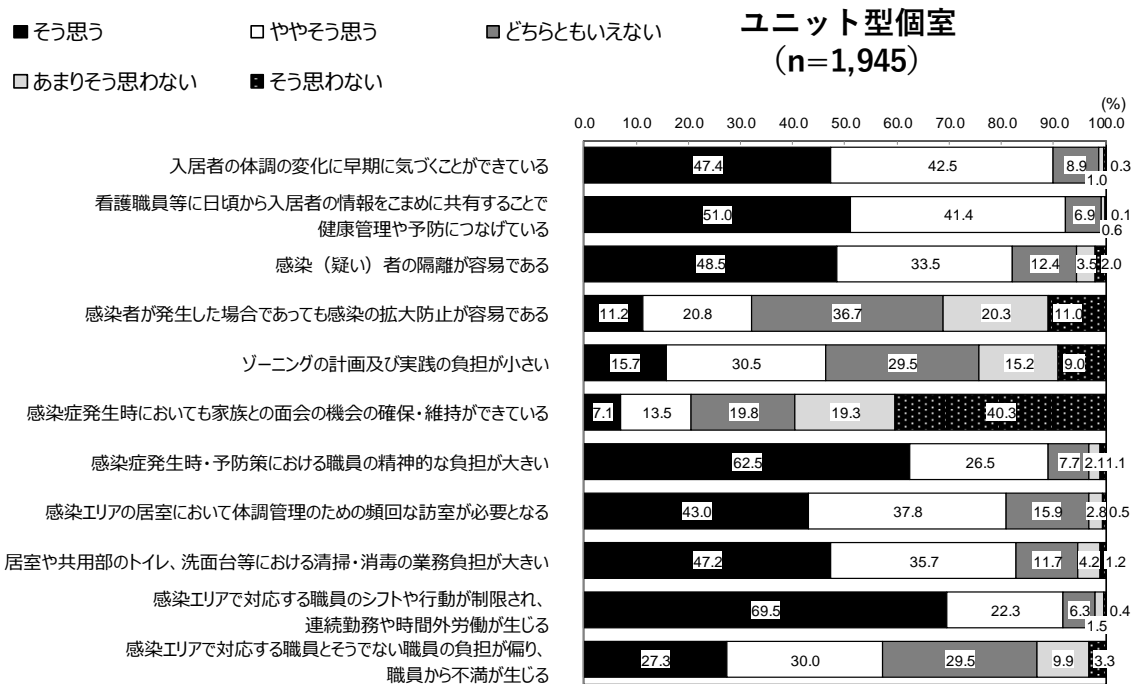
図表 6-1-124 クラスターの発生単位

		合計	1ユニット内で 収束	フロア全体で 収束	施設内で収 束	その他	無回答
種別全体		2,502	359 14.3%	940 37.6%	1115 44.6%	60 2.4%	28 1.1%
施設種別	特養（全体）	2,392	348 14.5%	887 37.1%	1072 44.8%	58 2.4%	27 1.1%
	（ユニット型のみ）	1,074	280 26.1%	441 41.1%	300 27.9%	45 4.2%	8 0.7%
	（混合型）	189	28 14.8%	79 41.8%	76 40.2%	1 0.5%	5 2.6%
	（従来型のみ）	1,129	40 3.5%	367 32.5%	696 61.6%	12 1.1%	14 1.2%
	老健（全体）	108	10 9.3%	53 49.1%	42 38.9%	2 1.9%	1 0.9%
	（ユニット型のみ）	70	7 10.0%	34 48.6%	27 38.6%	1 1.4%	1 1.4%
	（混合型）	38	3 7.9%	19 50.0%	15 39.5%	1 2.6%	0 0.0%
	介護医療院（全体）	2	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

2. 施設における感染対策の実態

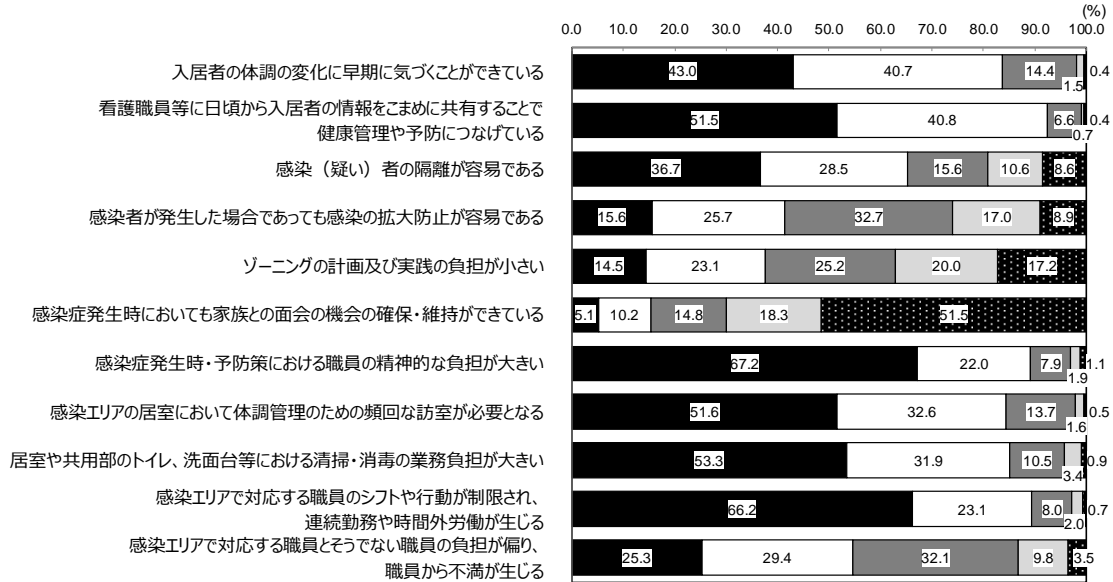
従来型多床室との比較で、ユニット型個室における「そう思う」の割合が10pt以上高い項目は、「感染(疑い)者の隔離が容易である」(ユニット型個室:48.5%、従来型個室:36.7%、従来型多床室:7.5%)、「ゾーニングの計画及び実践の負担が小さい」(ユニット型個室:15.7%、従来型個室:14.5%、従来型多床室:3.7%)であった。

図表 6-1-125 施設における感染対策の実態 ユニット型と従来型の比較



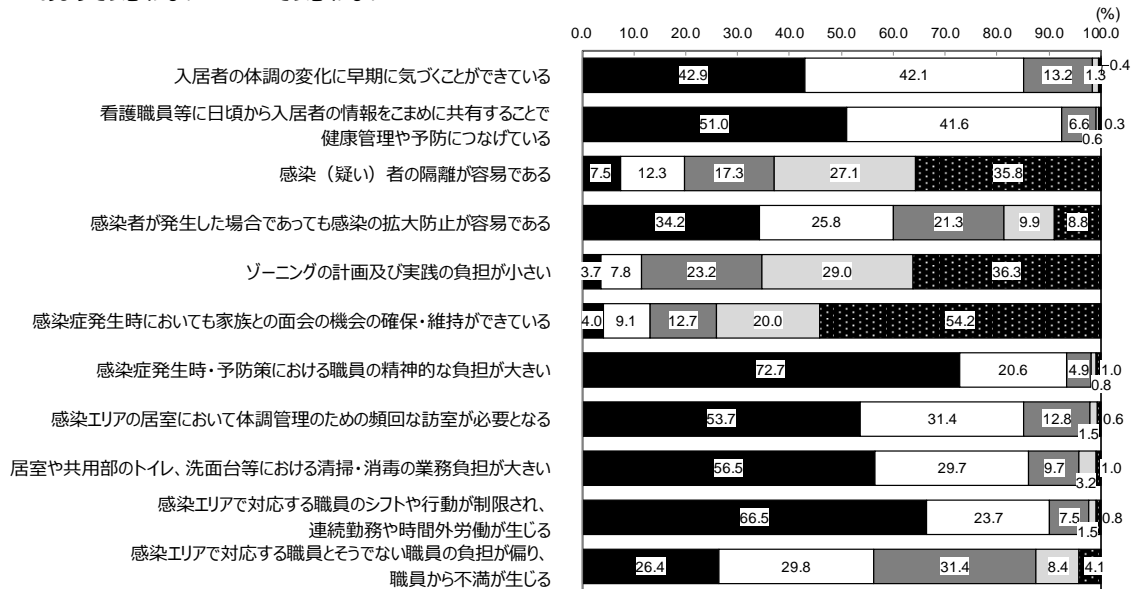
- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- そう思わない

従来型個室 (n=1,069)



- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- そう思わない

従来型多床室 (n=1,026)



ユニット型個室（全体）における感染対策として「そう思う」と回答した割合は、「感染エリアで対応する職員のシフトや行動が制限され、連続勤務や時間外労働が生じる」が 69.5%、「感染症発生時・予防策における職員の精神的な負担が大きい」が 62.5%、「看護職員等に日頃から入居者の情報をこまめに共有することで健康管理や予防につなげている」が 51.0%であった。

図表 6-1-126 施設における感染対策の実態 ユニット型個室（全体）

	種別全体				
	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
合計	1,945	1,945	1,945	1,945	1,945
入居者の体調の変化に早期に気づくことができている	921 47.4%	826 42.5%	173 8.9%	20 1.0%	5 0.3%
看護職員等に日頃から入居者の情報をこまめに共有することで健康管理や予防につなげている	991 51.0%	806 41.4%	134 6.9%	12 0.6%	2 0.1%
感染（疑い）者の隔離が容易である	944 48.5%	652 33.5%	241 12.4%	69 3.5%	39 2.0%
感染者が発生した場合であっても感染の拡大防止が容易である	218 11.2%	405 20.8%	714 36.7%	394 20.3%	214 11.0%
ゾーニングの計画及び実践の負担が小さい	306 15.7%	594 30.5%	573 29.5%	296 15.2%	176 9.0%
感染症発生時においても家族との面会の機会の確保・維持ができている	138 7.1%	263 13.5%	385 19.8%	375 19.3%	784 40.3%
感染症発生時・予防策における職員の精神的な負担が大きい	1216 62.5%	516 26.5%	150 7.7%	41 2.1%	22 1.1%
感染エリアの居室において体調管理のための頻回な訪室が必要となる	837 43.0%	735 37.8%	309 15.9%	54 2.8%	10 0.5%
居室や共用部のトイレ、洗面台等における清掃・消毒の業務負担が大きい	918 47.2%	695 35.7%	227 11.7%	82 4.2%	23 1.2%
感染エリアで対応する職員のシフトや行動が制限され、連続勤務や時間外労働が生じる	1352 69.5%	433 22.3%	123 6.3%	30 1.5%	7 0.4%
感染エリアで対応する職員とそうでない職員の負担が偏り、職員から不満が生じる	531 27.3%	583 30.0%	574 29.5%	193 9.9%	64 3.3%

ユニット型個室的多床室(全体)における感染対策として「そう思う」と回答した割合は、「感染症発生時・予防策における職員の精神的な負担が大きい」が62.5%、「看護職員等に日頃から入居者の情報をこまめに共有することで健康管理や予防につなげている」が62.5%、「感染エリアで対応する職員のシフトや行動が制限され、連続勤務や時間外労働が生じる」が54.2%であった。

図表 6-1-127 施設における感染対策の実態 ユニット型個室的多床室(全体)

	種別全体				
	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
合計	24	24	24	24	24
入居者の体調の変化に早期に気づくことができている	11 45.8%	12 50.0%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%
看護職員等に日頃から入居者の情報をこまめに共有することで健康管理や予防につなげている	15 62.5%	7 29.2%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
感染(疑い)者の隔離が容易である	4 16.7%	10 41.7%	5 20.8%	1 4.2%	4 16.7%
感染者が発生した場合であっても感染の拡大防止が容易である	7 29.2%	2 8.3%	9 37.5%	3 12.5%	3 12.5%
ゾーニングの計画及び実践の負担が小さい	4 16.7%	7 29.2%	6 25.0%	3 12.5%	4 16.7%
感染症発生時においても家族との面会の機会の確保・維持ができている	3 12.5%	3 12.5%	3 12.5%	4 16.7%	11 45.8%
感染症発生時・予防策における職員の精神的な負担が大きい	15 62.5%	9 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
感染エリアの居室において体調管理のための頻回な訪室が必要となる	12 50.0%	9 37.5%	3 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
居室や共用部のトイレ、洗面台等における清掃・消毒の業務負担が大きい	12 50.0%	10 41.7%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
感染エリアで対応する職員のシフトや行動が制限され、連続勤務や時間外労働が生じる	13 54.2%	9 37.5%	0 0.0%	1 4.2%	1 4.2%
感染エリアで対応する職員とそうでない職員の負担が偏り、職員から不満が生じる	6 25.0%	7 29.2%	9 37.5%	1 4.2%	1 4.2%

従来型個室における感染対策として「そう思う」と回答した割合は、「感染症発生時・予防策における職員の精神的な負担が大きい」が67.2%、「感染エリアで対応する職員のシフトや行動が制限され、連続勤務や時間外労働が生じる」が66.2%、「居室や共用部のトイレ、洗面台等における清掃・消毒の業務負担が大きい」が53.3%であった。

図表 6-1-128 施設における感染対策の実態 従来型個室

	種別全体				
	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
合計	1,069	1,069	1,069	1,069	1,069
入居者の体調の変化に早期に気づくことができている	460 43.0%	435 40.7%	154 14.4%	16 1.5%	4 0.4%
看護職員等に日頃から入居者の情報をこまめに共有することで健康管理や予防につなげている	551 51.5%	436 40.8%	71 6.6%	7 0.7%	4 0.4%
感染（疑い）者の隔離が容易である	392 36.7%	305 28.5%	167 15.6%	113 10.6%	92 8.6%
感染者が発生した場合であっても感染の拡大防止が容易である	167 15.6%	275 25.7%	350 32.7%	182 17.0%	95 8.9%
ゾーニングの計画及び実践の負担が小さい	155 14.5%	247 23.1%	269 25.2%	214 20.0%	184 17.2%
感染症発生時においても家族との面会の機会の確保・維持ができている	55 5.1%	109 10.2%	158 14.8%	196 18.3%	551 51.5%
感染症発生時・予防策における職員の精神的な負担が大きい	718 67.2%	235 22.0%	84 7.9%	20 1.9%	12 1.1%
感染エリアの居室において体調管理のための頻回な訪室が必要となる	552 51.6%	349 32.6%	146 13.7%	17 1.6%	5 0.5%
居室や共用部のトイレ、洗面台等における清掃・消毒の業務負担が大きい	570 53.3%	341 31.9%	112 10.5%	36 3.4%	10 0.9%
感染エリアで対応する職員のシフトや行動が制限され、連続勤務や時間外労働が生じる	708 66.2%	247 23.1%	85 8.0%	21 2.0%	8 0.7%
感染エリアで対応する職員とそうでない職員の負担が偏り、職員から不満が生じる	270 25.3%	314 29.4%	343 32.1%	105 9.8%	37 3.5%

従来型多床室における感染対策として「そう思う」と回答した割合は、「感染症発生時・予防策における職員の精神的な負担が大きい」が72.7%、「感染エリアで対応する職員のシフトや行動が制限され、連続勤務や時間外労働が生じる」が66.5%、「居室や共用部のトイレ、洗面台等における清掃・消毒の業務負担が大きい」が56.5%であった。

図表 6-1-129 施設における感染対策の実態 従来型多床室

	種別全体				
	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
合計	1,540	1,540	1,540	1,540	1,540
入居者の体調の変化に早期に気づくことができる	661 42.9%	649 42.1%	204 13.2%	20 1.3%	6 0.4%
看護職員等に日頃から入居者の情報をこまめに共有することで健康管理や予防につなげている	785 51.0%	640 41.6%	101 6.6%	9 0.6%	5 0.3%
感染（疑い）者の隔離が容易である	115 7.5%	189 12.3%	267 17.3%	418 27.1%	551 35.8%
感染者が発生した場合であっても感染の拡大防止が容易である	526 34.2%	398 25.8%	328 21.3%	152 9.9%	136 8.8%
ゾーニングの計画及び実践の負担が小さい	57 3.7%	120 7.8%	358 23.2%	446 29.0%	559 36.3%
感染症発生時においても家族との面会の機会の確保・維持ができています	62 4.0%	140 9.1%	196 12.7%	308 20.0%	834 54.2%
感染症発生時・予防策における職員の精神的な負担が大きい	1120 72.7%	317 20.6%	75 4.9%	13 0.8%	15 1.0%
感染エリアの居室において体調管理のための頻回な訪室が必要となる	827 53.7%	484 31.4%	197 12.8%	23 1.5%	9 0.6%
居室や共用部のトイレ、洗面台等における清掃・消毒の業務負担が大きい	870 56.5%	457 29.7%	149 9.7%	49 3.2%	15 1.0%
感染エリアで対応する職員のシフトや行動が制限され、連続勤務や時間外労働が生じる	1024 66.5%	365 23.7%	116 7.5%	23 1.5%	12 0.8%
感染エリアで対応する職員とそうでない職員の負担が偏り、職員から不満が生じる	406 26.4%	459 29.8%	483 31.4%	129 8.4%	63 4.1%

3. 感染対策に当たり、活用した補助金・支援策

感染対策に当たり、活用した補助金・支援策は、種別全体で、「特になし」が30.4%、「その他」が23.5%、「簡易陰圧装置の設置に係る経費支援（居室等に簡易陰圧装置を設置又は簡易陰圧装置を据えるとともに簡易的なダクト工事等）」が21.9%であった。

図表 6-1-130 感染対策に当たり、活用した補助金・支援策

	施設種別								
	種別全体	特養				老健			介護医療院
	全体	ユニットのみ	混合型	従来型のみ	全体	ユニットのみ	混合型	全体	
合計	3,426	3,261	1,599	244	1,418	160	114	46	5
簡易陰圧装置の設置に係る経費支援（居室等に簡易陰圧装置を設置又は簡易陰圧装置を据えるとともに簡易的なダクト工事等）	751	712	315	55	342	39	22	17	0
ユニット型施設の各ユニットへの玄関室設置によるローニング経費支援（各ユニットの共同生活室の入口に玄関室を設置する等により、消毒や防護服の着脱等を行うためのスペース設置）	346	315	260	30	25	30	22	8	1
従来型個室・多床室のローニング経費支援（感染者と非感染者の動線を分離することを目的として従来型個室・多床室の改修）	242	236	30	34	172	6	0	6	0
家族面会室の整備等経費支援（感染症の感染拡大防止のために必要な家族面会室の整備）	505	472	240	42	190	32	18	14	1
多床室の個室化に要する改修費支援（感染が疑われる利用者同士のスペースを空間的に分離できるよう、多床室を個室化するための改修）	96	94	11	16	67	2	0	2	0
その他	804	776	364	62	350	28	23	5	0
特になし	1,041	989	488	72	429	49	40	9	3
わからない	170	156	86	10	60	13	8	5	1
無回答	178	175	92	8	75	3	2	1	0

4. 個室ユニット整備・推進において自治体に求める支援内容

個室ユニット整備・推進において自治体に求める支援内容は、種別全体で、「施設整備（新規開設、増築、改築等）に関する補助金の補助率・補助上限額の引上げ」が55.0%、「開設準備や運営に関する補助金の補助率・補助上限額の引上げ」が37.7%、「ユニット型施設の経営（内部管理、業務改善等）の効果的な事例の共有」が35.3%であった。

図表 6-1-131 個室ユニット整備・推進において自治体に求める支援内容

	施設種別								
	種別全体	特養				老健			介護医療院
	全体	ユニットのみ	混合型	従来型のみ	全体	ユニットのみ	混合型	全体	
合計	3,426	3,261	1,599	244	1,418	160	114	46	5
施設整備（新規開設、増築、改築等）に関する補助金の補助率・補助上限額の引上げ	1,885	1,798	894	150	754	83	53	30	4
開設準備や運営に関する補助金の補助率・補助上限額の引上げ	1,291	1,246	620	97	529	42	31	11	3
一部ユニット型施設等における許認可手続きの簡略化	508	488	199	47	242	20	13	7	0
ユニット型施設職員向け研修の実施（法定研修以外）	997	932	660	89	183	62	47	15	3
ユニット型施設のケアの質向上の好事例の共有	1,087	1,022	750	90	182	62	49	13	3
ユニット型施設の経営（内部管理、業務改善等）の効果的な事例の共有	1,209	1,138	804	103	231	68	53	15	3
ユニット型施設の感染症対策の好事例の共有	1,078	1,006	720	95	191	70	57	13	2
その他	194	185	106	10	69	9	7	2	0
特に支援は求めていない	460	441	106	23	312	19	11	8	0
無回答	328	324	76	5	243	4	3	1	0

第3章. 自治体票の結果

第1節. 自治体の概要

1. 指定・許可している施設数及び床数

(1) 特養

施設数及び床数について、全体として、「令和2年度末」時点で 8,713 施設・594,135 床、うちユニット型施設は 3,677 施設・253,149 床であった。「令和5年度末」時点で 9,106 施設・632,465 床、うちユニット型施設は 3,926 施設・272,962 床であった。

図表 1-1-132 指定・許可している施設数及び床数（特養）

		施設数		床数	
		令和2年度末	令和5年度末	令和2年度末	令和5年度末
全体 (n=122)	特養全て	8,713	9,106	594,135	632,465
	うち、ユニット型施設	3,677	3,926	253,149	272,962
	特養全てにおけるユニット型施設の割合	42.2%	43.1%	42.6%	43.2%
	ユニット型施設のうち、個室的多床室	146	154	10,261	10,349
	ユニット型施設のうち、従来型併設施設	473	492	26,321	27,637
都道府県 (n=47)	特養全て	6,268	6,540	404,345	431,371
	うち、ユニット型施設	2,585	2,738	167,655	179,431
	特養全てにおけるユニット型施設の割合	41.2%	41.9%	41.5%	41.6%
	ユニット型施設のうち、個室的多床室	63	63	2,983	2,983
	ユニット型施設のうち、従来型併設施設	271	277	15,466	16,020
政令指定都市・ 中核市 (n=75)	特養全て	2,445	2,566	189,790	201,094
	うち、ユニット型施設	1,092	1,188	85,494	93,531
	特養全てにおけるユニット型施設の割合	44.7%	46.3%	45.0%	46.5%
	ユニット型施設のうち、個室的多床室	83	91	7,278	7,366
	ユニット型施設のうち、従来型併設施設	202	215	10,855	11,617

(2) 地域密着

施設数及び床数について、全体として、「令和2年度末」時点で 1,953 施設・51,476 床、うちユニット型施設は 1,722 施設・45,785 床であった。「令和5年度末」時点で 3,502 施設・54,295 床、うちユニット型施設は 1,811 施設・48,222 床であった。

図表 1-1-133 指定・許可している施設数及び床数（地域密着）

		施設数		床数	
		令和2年度末	令和5年度末	令和2年度末	令和5年度末
全体 (n=993)	地域密着全て	1,953	3,502	51,476	54,295
	うち、ユニット型施設	1,722	1,811	45,785	48,222
	地域密着全てにおけるユニット型施設の割合	88.2%	51.7%	88.9%	88.8%
	ユニット型施設のうち、個室的多床室	203	219	4,506	4,840
	ユニット型施設のうち、従来型併設施設	158	162	3,446	3,533
政令指定都市・ 中核市 (n=76)	地域密着全て	806	851	21,707	22,969
	うち、ユニット型施設	753	791	20,452	21,493
	地域密着全てにおけるユニット型施設の割合	93.4%	92.9%	94.2%	93.6%
	ユニット型施設のうち、個室的多床室	27	35	718	906
	ユニット型施設のうち、従来型併設施設	78	80	1,840	1,900
その他市区町村 (n=917)	地域密着全て	1,147	2,651	29,769	31,326
	うち、ユニット型施設	969	1,020	25,333	26,729
	地域密着全てにおけるユニット型施設の割合	84.5%	38.5%	85.1%	85.3%
	ユニット型施設のうち、個室的多床室	176	184	3,788	3,934
	ユニット型施設のうち、従来型併設施設	80	82	1,606	1,633

(3) 老健

施設数及び床数について、全体として、「令和2年度末」時点で 4,311 施設・356,940 床、うちユニット型施設は 483 施設・25,620 床であった。「令和5年度末」時点で 4,393 施設・370,466 床、うちユニット型施設は 482 施設・28,129 床であった。

図表 1-1-134 指定・許可している施設数及び床数（老健）

		施設数		床数	
		令和2年度末	令和5年度末	令和2年度末	令和5年度末
全体 (n=123)	老健全て	4,311	4,393	356,940	370,466
	うち、ユニット型施設	483	482	25,620	28,129
	老健全てにおけるユニット型施設の割合	11.2%	11.0%	7.2%	7.6%
	ユニット型施設のうち、個室的多床室	21	21	959	959
	ユニット型施設のうち、従来型併設施設	145	151	5,855	5,976
都道府県 (n=47)	老健全て	2,949	3,017	231,250	243,360
	うち、ユニット型施設	300	291	13,935	15,876
	老健全てにおけるユニット型施設の割合	10.2%	9.6%	6.0%	6.5%
	ユニット型施設のうち、個室的多床室	13	13	493	493
	ユニット型施設のうち、従来型併設施設	82	86	3,359	3,573
政令指定都市・ 中核市 (n=76)	老健全て	1,362	1,376	125,690	127,106
	うち、ユニット型施設	183	191	11,685	12,253
	老健全てにおけるユニット型施設の割合	13.4%	13.9%	9.3%	9.6%
	ユニット型施設のうち、個室的多床室	8	8	466	466
	ユニット型施設のうち、従来型併設施設	63	65	2,496	2,403

(4) 介護医療院

施設数及び床数について、全体として、「令和2年度末」時点で 565 施設・34,426 床、うちユニット型施設は 5 施設・405 床であった。「令和5年度末」時点で 872 施設・49,450 床、うちユニット型施設は 10 施設・544 床であった。

図表 1-1-135 指定・許可している施設数及び床数（介護医療院）

		施設数		床数	
		令和2年度末	令和5年度末	令和2年度末	令和5年度末
全体 (n=123)	介護医療院全て	565	872	34,426	49,450
	うち、ユニット型施設	5	10	405	544
	介護医療院全てにおけるユニット型施設の割合	0.9%	1.1%	1.2%	1.1%
	ユニット型施設のうち、個室的多床室	0	1	0	19
	ユニット型施設のうち、従来型併設施設	2	2	228	168
都道府県 (n=47)	介護医療院全て	372	594	21,075	31,664
	うち、ユニット型施設	0	4	0	159
	介護医療院全てにおけるユニット型施設の割合	0.0%	0.7%	0.0%	0.5%
	ユニット型施設のうち、個室的多床室	0	1	0	19
	ユニット型施設のうち、従来型併設施設	0	0	0	0
政令指定都市・ 中核市 (n=76)	介護医療院全て	193	278	13,351	17,786
	うち、ユニット型施設	5	6	405	385
	介護医療院全てにおけるユニット型施設の割合	2.6%	2.2%	3.0%	2.2%
	ユニット型施設のうち、個室的多床室	0	0	0	0
	ユニット型施設のうち、従来型併設施設	2	2	228	168

第2節. 基準の内容

1. 1ユニットの定員に関する基準の有無

1ユニットの定員に関する基準について、自治体種別全体として、「あり」と回答したのは、「特養」が74.0%、「地域密着」が47.6%、「老健」が43.1%、「介護医療院」が43.1%であった。

図表 2-1-136 1ユニットの定員に関する基準の有無

		合計	あり	無し	無回答
自治体種別全体	特養	123	91 74.0%	32 26.0%	0 0.0%
	地域密着	1049	499 47.6%	517 49.3%	33 3.1%
	老健	123	53 43.1%	70 56.9%	0 0.0%
	介護医療院	123	53 43.1%	70 56.9%	0 0.0%
	都道府県	47	35 74.5%	12 25.5%	0 0.0%
都道府県	老健	47	19 40.4%	28 59.6%	0 0.0%
	介護医療院	47	20 42.6%	27 57.4%	0 0.0%
	政令都市・中核都市	76	56 73.7%	20 26.3%	0 0.0%
政令都市・中核都市	特養	76	56 73.7%	20 26.3%	0 0.0%
	地域密着	76	56 73.7%	20 26.3%	0 0.0%
	老健	76	34 44.7%	42 55.3%	0 0.0%
	介護医療院	76	33 43.4%	43 56.6%	0 0.0%
その他市区町村	地域密着	973	443 45.5%	497 51.1%	33 3.4%

2. 厚生労働省令と比較した場合の自治体の基準内容

① 令和2年度以前

厚生労働省令と比較した場合の自治体の基準内容について、自治体種別全体として、「同一」と回答したのは、「特養」が75.8%、「地域密着」が83.6%、「老健」が88.7%、「介護医療院」が90.6%であった。

図表 2-1-137 厚生労働省令と比較した場合の自治体の基準内容（令和2年度以前）

		合計	同一	異なる	無回答
自治体種別全体	特養	91	69 75.8%	20 22.0%	2 2.2%
	地域密着	499	417 83.6%	80 16.0%	2 0.4%
	老健	53	47 88.7%	5 9.4%	1 1.9%
	介護医療院	53	48 90.6%	5 9.4%	0 0.0%
都道府県	特養	35	23 65.7%	11 31.4%	1 2.9%
	老健	19	16 84.2%	3 15.8%	0 0.0%
	介護医療院	20	17 85.0%	3 15.0%	0 0.0%
政令都市・中核都市	特養	56	46 82.1%	9 16.1%	1 1.8%
	地域密着	56	47 83.9%	9 16.1%	0 0.0%
	老健	34	31 91.2%	2 5.9%	1 2.9%
	介護医療院	33	31 93.9%	2 6.1%	0 0.0%
その他市区町村	地域密着	443	370 83.5%	71 16.0%	2 0.5%

② 令和3年度以降

厚生労働省令と比較した場合の自治体の基準内容について、自治体種別全体として、「同一」と回答した自治体が大半を占めており、「同一」と回答したのは、「特養」が93.4%、「地域密着」が95.0%、「老健」が92.5%、「介護医療院」が94.3%であった。

図表 2-1-138 厚生労働省令と比較した場合の自治体の基準内容（令和3年度以降）

		合計	同一	異なる	無回答
自治体種別全体	特養	91	85 93.4%	4 4.4%	2 2.2%
	地域密着	499	474 95.0%	15 3.0%	10 2.0%
	老健	53	49 92.5%	4 7.5%	0 0.0%
	介護医療院	53	50 94.3%	3 5.7%	0 0.0%
都道府県	特養	35	32 91.4%	2 5.7%	1 2.9%
	老健	19	18 94.7%	1 5.3%	0 0.0%
	介護医療院	20	19 95.0%	1 5.0%	0 0.0%
政令都市・中核都市	特養	56	53 94.6%	2 3.6%	1 1.8%
	地域密着	56	53 94.6%	2 3.6%	1 1.8%
	老健	34	31 91.2%	3 8.8%	0 0.0%
	介護医療院	33	31 93.9%	2 6.1%	0 0.0%
その他市区町村	地域密着	443	421 95.0%	13 2.9%	9 2.0%

3. 条例等で定める個室ユニット型施設の1ユニットあたりの最大の定員数

① 令和2年度以前

1ユニットあたりの最大の定員数について、自治体種別全体として、「10人」と回答した割合がどのサービス種別でも最も多く、特養が60.0%、地域密着が72.5%、老健が80.0%、介護医療院が80.0%であった。

図表 2-1-139 条例等で定める個室ユニット型施設の
1ユニットあたりの最大の定員数（令和2年度以前）

		合計	10人	11人	12人	13人	14人	15人	その他	無回答
自治体種別全体	特養	20	12 60.0%	0	6 30.0%	0	0	0	2 10.0%	0
	地域密着	80	58 72.5%	0	11 13.8%	0	0	0	10 12.5%	1 1.3%
	老健	5	4 80.0%	0	0	0	0	0	1 20.0%	0
	介護医療院	5	4 80.0%	0	0	0	0	0	1 20.0%	0
都道府県	特養	11	7 63.6%	0	3 27.3%	0	0	0	1 9.1%	0
	老健	3	3 100.0%	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	3	3 100.0%	0	0	0	0	0	0	0
政令都市・中核都市	特養	9	5 55.6%	0	3 33.3%	0	0	0	1 11.1%	0
	地域密着	9	5 55.6%	0	3 33.3%	0	0	0	1 11.1%	0
	老健	2	1 50.0%	0	0	0	0	0	1 50.0%	0
	介護医療院	2	1 50.0%	0	0	0	0	0	1 50.0%	0
その他市区町村	地域密着	71	53 74.6%	0	8 11.3%	0	0	0	9 12.7%	1 1.4%

② 令和3年度以降

1ユニットあたりの最大の定員数について、自治体種別全体として、特養では「15人」が50.0%、地域密着では「12人」が33.3%、老健では「10人」が50.0%、介護医療院では「10人」が66.7%であった。

図表 2-1-140 条例等で定める個室ユニット型施設の
1ユニットあたりの最大の定員数（令和3年度以降）

		合計	10人	11人	12人	13人	14人	15人	その他	無回答
自治体種別全体	特養	4	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	地域密着	15	4 26.7%	0 0.0%	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 20.0%	3 20.0%	0 0.0%
	老健	4	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
	介護医療院	3	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
都道府県	特養	2	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	老健	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	介護医療院	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
政令都市・中核都市	特養	2	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	地域密着	2	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	老健	3	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
	介護医療院	2	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他市区町村	地域密着	13	3 23.1%	0 0.0%	5 38.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	3 23.1%	0 0.0%

4. 運営指導の実施状況

(5) 令和3年度介護報酬改定の内容に関する運営指導の実施状況

③ 個室ユニット型施設の1ユニットの定員に関する改正

1ユニットの定員に関する改正について、自治体種別全体として「特に実施していない」が65.4%、「集団指導の際に関連情報を周知している」が16.5%、「ホームページで改定内容を紹介している」が7.8%であった。

図表 2-1-141 個室ユニット型施設の1ユニットの定員に関する改正

	自治体種別			
	種別全体	都道府県	政令都市・ 中核都市	その他 市区町村
合計	1,096	47	76	973
説明会を実施している	19 1.7%	5 10.6%	3 3.9%	11 1.1%
集団指導の際に関連情報を周知している	181 16.5%	19 40.4%	30 39.5%	132 13.6%
個別指導の際に関連情報を周知している	45 4.1%	6 12.8%	5 6.6%	34 3.5%
ホームページで改定内容を紹介している	86 7.8%	21 44.7%	23 30.3%	42 4.3%
改定内容に関する専用の相談窓口を設置している	2 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%
基準等に係る説明資料を作成している	27 2.5%	10 21.3%	4 5.3%	13 1.3%
その他	33 3.0%	2 4.3%	3 3.9%	28 2.9%
特に実施していない	717 65.4%	7 14.9%	24 31.6%	686 70.5%
無回答	63 5.7%	0 0.0%	2 2.6%	61 6.3%

④ 従来型・ユニット型併設の場合の介護・看護職員の兼務に関する改正

従来型・ユニット型併設の場合の介護・看護職員の兼務に関する改正について、自治体種別全体として「特に実施していない」が65.6%、「集団指導の際に関連情報を周知している」が16.3%、「ホームページで改定内容を紹介している」が7.6%であった。

図表 2-1-142 従来型・ユニット型併設の場合の介護・看護職員の兼務に関する改正

	自治体種別			
	種別全体	都道府県	政令都市・ 中核都市	その他 市区町村
合計	1,096	47	76	973
説明会を実施している	18 1.6%	4 8.5%	3 3.9%	11 1.1%
集団指導の際に関連情報を周知している	179 16.3%	19 40.4%	28 36.8%	132 13.6%
個別指導の際に関連情報を周知している	46 4.2%	6 12.8%	6 7.9%	34 3.5%
ホームページで改定内容を紹介している	83 7.6%	19 40.4%	22 28.9%	42 4.3%
改定内容に関する専用の相談窓口を設置している	2 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%
基準等に係る説明資料を作成している	24 2.2%	7 14.9%	4 5.3%	13 1.3%
その他	35 3.2%	3 6.4%	4 5.3%	28 2.9%
特に実施していない	719 65.6%	8 17.0%	25 32.9%	686 70.5%
無回答	64 5.8%	0 0.0%	3 3.9%	61 6.3%

⑤ 10人を超えるユニットを有する施設に対する自治体起点での運営指導の実施状況

10人を超えるユニットを有する施設に対する自治体起点での運営指導の実施状況について、自治体種別全体として「該当無し」が67.3%、「特に実施していない」が22.4%、「その他」が6.1%であった。

図表 2-1-143 10人を超えるユニットを有する施設に対する自治体起点での運営指導の実施状況

	自治体種別			
	種別全体	都道府県	政令都市・ 中核都市	その他 市区町村
合計	1,096	47	76	973
10人を超えるユニットを有する施設のみを対象として、重点的に個別指導を実施している	15 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	15 1.5%
10人を超えるユニットを有する施設のみを対象として、重点的に集団指導を実施している	9 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	9 0.9%
その他	67 6.1%	3 6.4%	14 18.4%	50 5.1%
特に実施していない	245 22.4%	35 74.5%	38 50.0%	172 17.7%
該当無し	738 67.3%	9 19.1%	22 28.9%	707 72.7%
無回答	28 2.6%	0 0.0%	2 2.6%	26 2.7%

第3節. ユニット型施設の整備に向けた支援

1. 自治体で実施している施設整備費補助事業（介護療養型医療施設からの転換や設備に関する補助を除く）

(1) ユニット型・従来型施設の整備費補助事業の補助内容の相違点

① 新規創設

ユニット型・従来型施設の整備費補助事業の補助内容の相違点（新規創設）について、「ユニット型の方が従来型より補助単価等が高い」又は「ユニット型のみ補助対象としている」と回答した割合は、都道府県においては、特養が38.3%、老健が21.3%、介護医療院が4.3%、政令指定都市・中核市においては特養が15.8%、地域密着が31.6%、老健が11.9%、介護医療院が2.6%、その他市区町村においては地域密着が5.8%であった。

図表 3-1-144 ユニット型・従来型施設の整備費補助事業の補助内容の相違点（新規創設）

	自治体種別全体				都道府県			政令指定都市・中核都市				その他市区町村
	特養	地域密着	老健	介護医療院	特養	老健	介護医療院	特養	地域密着	老健	介護医療院	地域密着
合計	123	1,049	123	123	47	47	47	76	76	76	76	973
ユニット型と従来型の補助単価等が同一	65 52.8%	304 29.0%	48 39.0%	38 30.9%	25 53.2%	27 57.4%	21 44.7%	40 52.6%	39 51.3%	21 27.6%	17 22.4%	265 27.2%
ユニット型の方が従来型より補助単価等が高い	17 13.8%	12 1.1%	8 6.5%	1 0.8%	12 25.5%	3 6.4%	0 0.0%	5 6.6%	4 5.3%	5 6.6%	1 1.3%	8 0.8%
ユニット型の方が従来型より補助単価等が低い	2 1.6%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%
ユニット型のみ補助対象としている	13 10.6%	69 6.6%	11 8.9%	3 2.4%	6 12.8%	7 14.9%	2 4.3%	7 9.2%	20 26.3%	4 5.3%	1 1.3%	49 5.0%
従来型のみ補助対象としている	2 1.6%	3 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.3%
施設整備費補助事業を実施していない	23 18.7%	614 58.5%	53 43.1%	79 64.2%	4 8.5%	10 21.3%	24 51.1%	19 25.0%	13 17.1%	43 56.6%	55 72.4%	601 61.8%
無回答	1 0.8%	46 4.4%	3 2.4%	2 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	3 3.9%	2 2.6%	46 4.7%

② 改築等

ユニット型・従来型施設の整備費補助事業の補助内容の相違点（改築等）について、「ユニット型の方が従来型より補助単価等が高い」又は「ユニット型のみ補助対象としている」と回答した割合は、都道府県においては特養が34.0%、老健が14.9%、介護医療院が2.1%、政令指定都市・中核市においては特養が11.8%、地域密着が15.8%、老健が9.2%、介護医療院が2.6%、その他市区町村においては地域密着が6.5%であった。

図表 3-1-145 ユニット型・従来型施設の整備費補助事業の
補助内容の相違点（改築等）

	自治体種別全体				都道府県			政令都市・中核都市				その他 市区町村
	特養	地域密着	老健	介護医療院	特養	老健	介護医療院	特養	地域密着	老健	介護医療院	地域密着
合計	123	1,049	123	123	47	47	47	76	76	76	76	973
ユニット型と従来型の補助単価等が同一	65	259	45	35	30	26	21	35	29	19	14	230
	52.8%	24.7%	36.6%	28.5%	63.8%	55.3%	44.7%	46.1%	38.2%	25.0%	18.4%	23.6%
ユニット型の方が従来型より補助単価等が高い	15	20	7	2	12	3	1	3	4	4	1	16
	12.2%	1.9%	5.7%	1.6%	25.5%	6.4%	2.1%	3.9%	5.3%	5.3%	1.3%	1.6%
ユニット型の方が従来型より補助単価等が低い	2	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1
	1.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
ユニット型のみ補助対象としている	10	56	7	1	4	4	0	6	8	3	1	48
	8.1%	5.3%	5.7%	0.8%	8.5%	8.5%	0.0%	7.9%	10.5%	3.9%	1.3%	4.9%
従来型のみ補助対象としている	2	4	1	1	0	0	0	2	1	1	1	3
	1.6%	0.4%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	1.3%	1.3%	1.3%	0.3%
施設整備費補助事業を実施していない	27	661	60	81	1	14	25	26	33	46	56	628
	22.0%	63.0%	48.8%	65.9%	2.1%	29.8%	53.2%	34.2%	43.4%	60.5%	73.1%	64.5%
無回答	2	48	3	3	0	0	0	2	1	3	3	47
	1.6%	4.6%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	1.3%	3.9%	3.9%	4.8%

2. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（ユニット型）に対する施設整備費補助事業の財源

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（ユニット型）に対する施設整備費補助事業の財源について、自治体種別全体として、創設では「地域医療介護総合確保基金」が50.8%、改築等では「地域医療介護総合確保基金」が47.1%であった。

図表 3-1-146 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（ユニット型）に
対する施設整備費補助事業の財源

		合計	地域医療介護総合確保基金	責自治体の一般財源	その他	無回答
自治体種別全体	創設	1,049	533	102	104	361
			50.8%	9.7%	9.9%	34.4%
改築等		1,049	494	96	99	405
			47.1%	9.2%	9.4%	38.6%
政令都市・中核都市	創設	76	63	11	4	8
			82.9%	14.5%	5.3%	10.5%
改築等		76	47	9	5	21
			61.8%	11.8%	6.6%	27.6%
その他市区町村	創設	973	470	91	100	353
			48.3%	9.4%	10.3%	36.3%
改築等		973	447	87	94	384
			45.9%	8.9%	9.7%	39.5%

3. 整備目標

(1) 施設整備に関する指針

施設整備に関する指針について、自治体種別全体として、「ユニット型のみ整備を認めている」と回答した割合は、特養が23.6%、地域密着が17.9%、老健が12.2%、介護医療院が6.5%であった。

図表 3-1-147 施設整備に関する指針

	自治体種別全体				都道府県			政令都市・中核都市				その他 市区町村
	特養	地域密着	老健	介護医療院	特養	老健	介護医療院	特養	地域密着	老健	介護医療院	地域密着
合計	123	1,049	123	123	47	47	47	76	76	76	76	973
ユニット型のみ整備を認めている	29 23.6%	188 17.9%	15 12.2%	8 6.5%	6 12.8%	3 6.4%	1 2.1%	23 30.3%	39 51.3%	12 15.8%	7 9.2%	149 15.3%
特に条件は定めず、従来型の整備も認めている	46 37.4%	539 51.4%	67 54.5%	73 59.3%	20 42.6%	31 66.0%	34 72.3%	26 34.2%	24 31.6%	36 47.4%	39 51.3%	515 52.9%
貴自治体の定める条件を満たした場合、従来型の整備を認めている	42 34.1%	163 15.5%	27 22.0%	24 19.5%	21 44.7%	12 25.5%	9 19.1%	21 27.6%	12 15.8%	15 19.7%	15 19.7%	151 15.5%
無回答	6 4.9%	159 15.2%	14 11.4%	18 14.6%	0 0.0%	1 2.1%	3 6.4%	6 7.9%	1 1.3%	13 17.1%	15 19.7%	158 16.2%

(2) 令和5年度末時点の整備目標

令和5年度末時点の整備目標について、自治体種別全体として、特養では284施設・410,293床、地域密着では262施設・12,258床、老健では190施設・212,380床、介護医療院では70施設・25,188床であった。

図表 3-1-148 令和5年度末時点の整備目標

自治体種別	施設種別	回答数	令和5年度末時点の整備目標	
			施設数	床数
全体	特養	115	284	410,293
	地域密着	987	262	12,258
	老健	110	190	212,380
	介護医療院	112	70	25,188
都道府県	特養	47	109	350,997
	老健	44	112	181,128
	介護医療院	44	32	18,037
政令指定都市・ 中核市	特養	68	175	59,296
	地域密着	66	99	7,322
	老健	66	78	31,252
	介護医療院	68	38	7,151
その他市区町村	地域密着	921	163	4,936

(3) ユニット化率の目標設定

③ 目標

ユニット化率の目標設定(目標)について、自治体種別全体として、「設定していない」自治体が大半を占め、特養では「設定していない」が88.6%、地域密着では「設定していない」が93.8%、老健では「設定していない」が91.1%、介護医療院では「設定していない」が91.1%であった。都道府県においては、特養のユニット化率の目標設定を「51%以上」と回答した割合が14.9%であった。

図表 3-1-149 ユニット化率の目標設定（目標）

		合計	設定していない	~50%	51%以上	無回答
自治体種別全体	特養	123	109 88.6%	1 0.8%	9 7.3%	4 3.3%
	地域密着	1,049	984 93.8%	0 0.0%	6 0.6%	59 5.6%
	老健	123	112 91.1%	6 4.9%	0 0.0%	5 4.1%
	介護医療院	123	112 91.1%	4 3.3%	0 0.0%	7 5.7%
都道府県	特養	47	37 78.7%	1 2.1%	7 14.9%	2 4.3%
	老健	47	40 85.1%	5 10.6%	0 0.0%	2 4.3%
	介護医療院	47	40 85.1%	4 8.5%	0 0.0%	3 6.4%
政令都市・中核都市	特養	76	72 94.7%	0 0.0%	2 2.6%	2 2.6%
	地域密着	76	73 96.1%	0 0.0%	1 1.3%	2 2.6%
	老健	76	72 94.7%	1 1.3%	0 0.0%	3 3.9%
	介護医療院	76	72 94.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 5.3%
その他市区町村	地域密着	973	911 93.6%	0 0.0%	5 0.5%	57 5.9%

④ 目標の達成期限

ユニット化率の目標設定（目標の達成期限）について、自治体種別全体として、特養では「令和5年度末まで」と「令和7年度末まで」が40.0%、地域密着では「その他」が66.7%、老健では「令和7年度末まで」が66.7%、介護医療院では「令和7年度末まで」が100.0%であった。

図表 3-1-150 ユニット化率の目標設定（目標の達成期限）

		合計	令和5年度 未まで	令和6年度 未まで	令和7年度 未まで	その他	無回答
自治体種別全体	特養	10	4 40.0%	0 0.0%	4 40.0%	2 20.0%	0 0.0%
	地域密着	6	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%
	老健	6	1 16.7%	0 0.0%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%
	介護医療院	4	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
都道府県	特養	8	4 50.0%	0 0.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	老健	5	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%
	介護医療院	4	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
政令都市・中核都市	特養	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
	地域密着	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	老健	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	介護医療院	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他市区町村	地域密着	5	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%

4. 公募状況および実績

(4) 令和3年度

公募状況（令和3年度）について、自治体種別全体として、特養ではユニット型が59.1%、地域密着では68.6%、老健では0.0%、介護医療院では28.6%であった。

実績（令和3年度）について、自治体種別全体として、ユニット型が55.2%、地域密着では83.7%、老健では0.0%、介護医療院では16.7%であった。

図表 3-1-151 公募状況および実績（令和3年度）

施設数		公募数			実績数		
		総数	ユニット型	ユニット型率	総数	ユニット型	ユニット型率
全体 (n=967)	特養	44	26	59.1%	87	48	55.2%
	地域密着	86	59	68.6%	49	41	83.7%
	老健	5	0	0.0%	5	0	0.0%
	介護医療院	7	2	28.6%	12	2	16.7%
都道府県 (n=31)	特養	14	11	78.6%	50	32	64.0%
	老健	1	0	0.0%	1	0	0.0%
	介護医療院	0	0	0.0%	5	0	0.0%
政令指定都市・中核市 (n=56)	特養	30	15	50.0%	37	16	43.2%
	地域密着	35	24	68.6%	16	12	75.0%
	老健	4	0	0.0%	4	0	0.0%
	介護医療院	7	2	28.6%	7	2	28.6%
その他市区町村 (n=880)	地域密着	51	35	68.6%	33	29	87.9%

公募状況(令和3年度)について、自治体種別全体として、特養ではユニット型が35.0%、地域密着では75.3%、老健では0.0%、介護医療院では1.8%であった。

実績(令和3年度)について、自治体種別全体として、ユニット型が56.4%、地域密着では92.8%、老健では0.0%、介護医療院では4.0%であった。

床数		公募数			実績数		
		総数	ユニット型	ユニット型率	総数	ユニット型	ユニット型率
全体 (n=967)	特養	6,783	2,373	35.0%	5,445	3,071	56.4%
	地域密着	2,715	2,044	75.3%	1,102	1,023	92.8%
	老健	1,165	0	0.0%	466	0	0.0%
	介護医療院	1,471	26	1.8%	655	26	4.0%
都道府県 (n=31)	特養	2,870	450	15.7%	3,081	1,726	56.0%
	老健	780	0	0.0%	110	0	0.0%
	介護医療院	755	0	0.0%	218	0	0.0%
政令指定都市・中核市 (n=56)	特養	3,913	1,923	49.1%	2,364	1,345	56.9%
	地域密着	1,642	1,178	71.7%	438	360	82.2%
	老健	385	0	0.0%	356	0	0.0%
	介護医療院	716	26	3.6%	437	26	5.9%
その他市区町村 (n=880)	地域密着	1,073	866	80.7%	664	663	99.8%

(5) 令和4年度

公募状況(令和4年度)について、自治体種別全体として、特養ではユニット型が74.2%、地域密着では65.8%、老健では0.0%、介護医療院では20.0%であった。

実績(令和4年度)について、自治体種別全体として、ユニット型が61.3%、地域密着では90.0%、老健では20.0%、介護医療院では20.0%であった。

図表 3-1-152 公募状況および実績(令和4年度)

施設数		公募数			実績数		
		総数	ユニット型	ユニット型率	総数	ユニット型	ユニット型率
全体 (n=967)	特養	31	23	74.2%	75	46	61.3%
	地域密着	79	52	65.8%	30	27	90.0%
	老健	2	0	0.0%	5	1	20.0%
	介護医療院	10	2	20.0%	10	2	20.0%
都道府県 (n=32)	特養	16	14	87.5%	33	22	66.7%
	老健	1	0	0.0%	4	1	25.0%
	介護医療院	3	1	0.0%	3	1	33.3%
政令指定都市・中核市 (n=61)	特養	15	9	60.0%	42	24	57.1%
	地域密着	42	25	59.5%	15	13	86.7%
	老健	1	0	0.0%	1	0	0.0%
	介護医療院	7	1	14.3%	7	1	14.3%
その他市区町村 (n=874)	地域密着	37	27	73.0%	15	14	93.3%

公募状況(令和4年度)について、自治体種別全体として、特養ではユニット型が37.1%、地域密着では74.6%、老健では0.0%、介護医療院では3.8%であった。

実績(令和4年度)について、自治体種別全体として、ユニット型が71.7%、地域密着

では 88.5%、老健では 31.7%、介護医療院では 23.0%であった。

床数		公募数			実績数		
		総数	ユニット型	ユニット型率	総数	ユニット型	ユニット型率
全体 (n=967)	特養	6,265	2,323	37.1%	4,678	3,352	71.7%
	地域密着	2,224	1,659	74.6%	619	548	88.5%
	老健	889	0	0.0%	533	169	31.7%
	介護医療院	1,585	60	3.8%	697	160	23.0%
都道府県 (n=32)	特養	2,954	518	17.5%	2,465	1,541	62.5%
	老健	620	0	0.0%	289	30	10.4%
	介護医療院	1,068	60	0.0%	161	60	37.3%
政令指定都市・中核市 (n=61)	特養	3,311	1,805	54.5%	2,213	1,811	81.8%
	地域密着	1,555	1,133	72.9%	343	299	87.2%
	老健	269	0	0.0%	244	139	57.0%
	介護医療院	517	0	0.0%	536	100	18.7%
その他市区町村 (n=874)	地域密着	669	526	78.6%	276	249	90.2%

(6) 令和 5 年度

公募状況(令和 5 年度)について、自治体種別全体として、特養ではユニット型が 88.9%、地域密着では 56.4%、老健では 33.3%、介護医療院では 12.5%であった。

実績(令和 5 年度)について、自治体種別全体として、ユニット型が 60.0%、地域密着では 100.0%、老健では 0.0%、介護医療院では 0.0%であった。

図表 3-1-153 公募状況および実績(令和 5 年度)

施設数		公募数			実績数		
		総数	ユニット型	ユニット型率	総数	ユニット型	ユニット型率
全体 (n=951)	特養	18	16	88.9%	25	15	60.0%
	地域密着	39	22	56.4%	6	6	100.0%
	老健	3	1	33.3%	6	0	0.0%
	介護医療院	8	1	12.5%	2	0	0.0%
都道府県 (n=31)	特養	9	8	88.9%	21	14	66.7%
	老健	1	1	100.0%	3	0	0.0%
	介護医療院	2	0	0.0%	1	0	0.0%
政令指定都市・中核市 (n=54)	特養	9	8	88.9%	4	1	25.0%
	地域密着	25	15	60.0%	4	4	100.0%
	老健	2	0	0.0%	3	0	0.0%
	介護医療院	6	1	16.7%	1	0	0.0%
その他市区町村 (n=866)	地域密着	14	7	50.0%	2	2	100.0%

公募状況(令和 5 年度)について、自治体種別全体として、特養ではユニット型が 28.3%、地域密着では 48.4%、老健では 3.4%、介護医療院では 2.2%であった。

実績(令和 5 年度)について、自治体種別全体として、ユニット型が 37.2%、地域密着では 100.0%、老健では 0.0%、介護医療院では 0.0%であった。

床数		公募数			実績数		
		総数	ユニット型	ユニット型率	総数	ユニット型	ユニット型率
全体 (n=951)	特養	3,458	980	28.3%	1,463	544	37.2%
	地域密着	956	463	48.4%	167	167	100.0%
	老健	849	29	3.4%	278	0	0.0%
	介護医療院	1,319	29	2.2%	66	0	0.0%
都道府県 (n=31)	特養	2,262	210	9.3%	1,093	224	20.5%
	老健	759	29	3.8%	259	0	0.0%
	介護医療院	744	0	0.0%	48	0	0.0%
政令指定都市・中核市 (n=54)	特養	1,196	770	64.4%	370	320	86.5%
	地域密着	667	261	39.1%	140	140	100.0%
	老健	90	0	0.0%	19	0	0.0%
	介護医療院	575	29	5.0%	18	0	0.0%
その他市区町村 (n=866)	地域密着	289	202	69.9%	27	27	100.0%

5. 令和3年度以降のユニット型施設の整備情報

(1) 新規創設

⑤ 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績有無

令和3年度以降のユニット型施設の整備実績有無について、自治体種別全体として、「あり」と回答したのは、特養が37.4%、地域密着が7.5%、老健が4.9%、介護医療院が9.8%であった。

図表 3-1-154 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績有無（新規創設）

		合計	あり	無し	無回答
自治体種別全体	特養	123	46 37.4%	72 58.5%	5 4.1%
	地域密着	1,049	79 7.5%	905 86.3%	65 6.2%
	老健	123	6 4.9%	112 91.1%	5 4.1%
	介護医療院	123	12 9.8%	105 85.4%	6 4.9%
都道府県	特養	47	20 42.6%	27 57.4%	0 0.0%
	老健	47	3 6.4%	43 91.5%	1 2.1%
	介護医療院	47	7 14.9%	38 80.9%	2 4.3%
政令都市・中核都市	特養	76	26 34.2%	45 59.2%	5 6.6%
	地域密着	76	28 36.8%	47 61.8%	1 1.3%
	老健	76	3 3.9%	69 90.8%	4 5.3%
	介護医療院	76	5 6.6%	67 88.2%	4 5.3%
その他市区町村	地域密着	973	51 5.2%	858 88.2%	64 6.6%

⑥ 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設・床数

令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設・床数（新規創設）について、自治体種別全体として、特養では166施設・14,009、地域密着では104施設・2,934床、老健では5施設・414床、介護医療院では16施設・730床であった。

図表 3-1-155 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設・床数（新規創設）

		新規創設	
		施設数	床数
全体 (n=98)	特養	166	14,009
	地域密着	104	2,934
	老健	5	414
	介護医療院	16	730
都道府県 (n=20)	特養	95	7,662
	老健	2	180
	介護医療院	11	401
政令指定都市・中核市 (n=27)	特養	71	6,347
	地域密着	48	1,342
	老健	3	234
	介護医療院	5	329
その他市区町村 (n=51)	地域密着	56	1,592

⑦ 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設のうち、10人を超えるユニットがある施設数

令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設のうち、10人を超えるユニットがある施設数（新規創設）について、自治体種別全体として、特養では64施設、地域密着では31施設、老健・介護医療院では1施設であった。

図表 3-1-156 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設のうち、10人を超えるユニットがある施設数（新規創設）

	特養	地域密着	老健	介護医療院
全体 (n=92)	64	31	1	1
都道府県 (n=17)	33		0	0
政令指定都市・中核市 (n=26)	31	9	1	1
その他市区町村 (n=49)		22		

(2) 改築等

① 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績有無

令和3年度以降のユニット型施設の整備実績有無（改築等）について、自治体種別全体として、「あり」と回答したのは、特養が27.6%、地域密着が0.6%、老健が1.6%、介

護医療院が1.6%であった。

図表 3-1-157 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績有無（改築等）

		合計	あり	無し	無回答
自治体種別全体	特養	123	34 27.6%	82 66.7%	7 5.7%
	地域密着	1,049	6 0.6%	944 90.0%	99 9.4%
	老健	123	2 1.6%	113 91.9%	8 6.5%
	介護医療院	123	2 1.6%	111 90.2%	10 8.1%
都道府県	特養	47	18 38.3%	29 61.7%	0 0.0%
	老健	47	1 2.1%	44 93.6%	2 4.3%
	介護医療院	47	0 0.0%	44 93.6%	3 6.4%
政令都市・中核都市	特養	76	16 21.1%	53 69.7%	7 9.2%
	地域密着	76	2 2.6%	68 89.5%	6 7.9%
	老健	76	1 1.3%	69 90.8%	6 7.9%
	介護医療院	76	2 2.6%	67 88.2%	7 9.2%
その他市区町村	地域密着	973	4 0.4%	876 90.0%	93 9.6%

② 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設・床数

令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設・床数（改築等）について、自治体種別全体として、特養では84施設・4,371床、地域密着では7施設・137床、老健では2施設・45床、介護医療院では2施設・55床であった。

図表 3-1-158 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設・床数（改築等）

		改築等	
		施設数	床数
全体 (n=38)	特養	84	4,371
	地域密着	7	137
	老健	2	45
	介護医療院	2	55
都道府県 (n=18)	特養	59	3,103
	老健	1	30
	介護医療院	0	0
政令指定都市・中核市 (n=16)	特養	25	1,268
	地域密着	3	48
	老健	1	15
	介護医療院	2	55
その他市区町村 (n=4)	地域密着	4	89

- ③ 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設のうち、10人を超えるユニットがある施設数

令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設のうち、10人を超えるユニットがある施設数（改築等）について、自治体種別全体として、特養では23施設、地域密着では2施設、老健では0、介護医療院では1施設であった。

図表 3-1-159 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設のうち、10人を超えるユニットがある施設数（改築等）

	特養	地域密着	老健	介護医療院
全体 (n=36)	23	2	0	1
都道府県 (n=17)	16		0	0
政令指定都市・中核市 (n=15)	7	0	0	1
その他市区町村 (n=4)		2		

- (3) ユニット化改修

- ① 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績有無

令和3年度以降のユニット型施設の整備実績有無（ユニット化改修）について、自治体種別全体として、「あり」と回答したのは、特養が8.9%、地域密着が0.3%、老健が0.8%、介護医療院が0であった。

図表 3-1-160 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績有無（ユニット化改修）

		合計	あり	無し	無回答
自治体種別全体	特養	123	11 8.9%	106 86.2%	6 4.9%
	地域密着	1,049	3 0.3%	944 90.0%	102 9.7%
	老健	123	1 0.8%	115 93.5%	7 5.7%
	介護医療院	123	0 0.0%	115 93.5%	8 6.5%
都道府県	特養	47	7 14.9%	40 85.1%	0 0.0%
	老健	47	0 0.0%	46 97.9%	1 2.1%
	介護医療院	47	0 0.0%	45 95.7%	2 4.3%
政令都市・中核都市	特養	76	4 5.3%	66 86.8%	6 7.9%
	地域密着	76	0 0.0%	69 90.8%	7 9.2%
	老健	76	1 1.3%	69 90.8%	6 7.9%
	介護医療院	76	0 0.0%	70 92.1%	6 7.9%
その他市区町村	地域密着	973	3 0.3%	875 89.9%	95 9.8%

② 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設・床数

令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設・床数（ユニット化改修）について、自治体種別全体として、特養では13施設・580床、地域密着では3施設・59床、老健では1施設・36床、介護医療院では0であった。

図表 3-1-161 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設・床数（ユニット化改修）

		ユニット化改修	
		施設数	床数
全体 (n=14)	特養	13	580
	地域密着	3	59
	老健	1	36
	介護医療院	0	0
都道府県 (n=7)	特養	9	320
	老健	0	0
	介護医療院	0	0
政令指定都市・中核市 (n=4)	特養	4	260
	地域密着	0	0
	老健	1	36
	介護医療院	0	0
その他市区町村 (n=3)	地域密着	3	59

- ③ 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設のうち、10人を超えるユニットがある施設数

令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設のうち、10人を超えるユニットがある施設数（ユニット化改修）について、自治体種別全体として、特養では5施設、地域密着では2施設、老健では1施設、介護医療院では0であった。

図表 3-1-162 令和3年度以降のユニット型施設の整備実績施設のうち、10人を超えるユニットがある施設数（ユニット化改修）

	特養	地域密着	老健	介護医療院
全体 (n=12)	5	2	1	0
都道府県 (n=5)	2		0	0
政令指定都市・中核市 (n=4)	3	0	1	0
その他市区町村 (n=3)		2		

- (4) 「10人を超えるユニットを有する施設」の整備にあたって、特に重視して施設と協議している内容

「10人を超えるユニットを有する施設」の整備にあたって、特に重視して施設と協議している内容について、自治体種別全体として、「特になし（ユニット定員による差異を設けていない）」が58.9%、「その他」が9.7%、「職員の勤務体制」が8.9%であった。

図表 3-1-163 「10人を超えるユニットを有する施設」の整備にあたって、
特に重視して施設と協議している内容

	自治体種別			
	種別全体	都道府県	政令都市・ 中核都市	その他 市区町村
合計	1,096	47	76	973
入所時アセスメント	30 2.7%	1 2.1%	1 1.3%	28 2.9%
施設ケアプラン及びケア計画	50 4.6%	2 4.3%	4 5.3%	44 4.5%
入所者へのケア（食事・入浴・排泄等）	95 8.7%	8 17.0%	11 14.5%	76 7.8%
入所者間のコミュニケーション	17 1.6%	3 6.4%	2 2.6%	12 1.2%
既存入所者の移行計画	25 2.3%	0 0.0%	5 6.6%	20 2.1%
職員の勤務体制	98 8.9%	13 27.7%	15 19.7%	70 7.2%
職員間のコミュニケーション	11 1.0%	1 2.1%	2 2.6%	8 0.8%
特になし（ユニット定員による差異を設けていない）	645 58.9%	29 61.7%	39 51.3%	577 59.3%
その他	106 9.7%	4 8.5%	12 15.8%	90 9.2%
無回答	228 20.8%	4 8.5%	11 14.5%	213 21.9%

6. 個室ユニットの「ユニット定員の増加」に関する施設との協議状況

(1) 「ユニット定員の増加」に関する協議や事前相談の有無

「ユニット定員の増加」に関する協議や事前相談の有無について、自治体種別全体として、特養では「無し」が90.2%、地域密着では「無し」が94.2%、老健では「無し」が97.6%、介護医療院では「無し」が96.7%であった。

図表 3-1-164 「ユニット定員の増加」に関する協議や事前相談の有無

		合計	あり	無し	無回答
自治体種別全体	特養	123	9 7.3%	111 90.2%	3 2.4%
	地域密着	1,049	7 0.7%	988 94.2%	54 5.1%
	老健	123	0 0.0%	120 97.6%	3 2.4%
	介護医療院	123	0 0.0%	119 96.7%	4 3.3%
都道府県	特養	47	6 12.8%	39 83.0%	2 4.3%
	老健	47	0 0.0%	45 95.7%	2 4.3%
	介護医療院	47	0 0.0%	44 93.6%	3 6.4%
政令都市・中核都市	特養	76	3 3.9%	72 94.7%	1 1.3%
	地域密着	76	1 1.3%	74 97.4%	1 1.3%
	老健	76	0 0.0%	75 98.7%	1 1.3%
	介護医療院	76	0 0.0%	75 98.7%	1 1.3%
その他市区町村	地域密着	973	6 0.6%	914 93.9%	53 5.4%

(2) 協議や事前相談を受けた施設数

協議や事前相談を受けた施設数について、自治体種別全体として、特養では 11 施設、地域密着では 6 施設、老健・介護医療院では 0 であった。

図表 3-1-165 協議や事前相談を受けた施設数

	特養	地域密着	老健	介護医療院
全体 (n=15)	11	6	0	0
都道府県 (n=6)	8		0	0
政令指定都市・中核市 (n=3)	3	1	0	0
その他市区町村 (n=6)		5		

(3) 「協議や事前相談を受けた施設」のうち、ユニット定員の増員を認めた施設数

「協議や事前相談を受けた施設」のうち、ユニット定員の増員を認めた施設数について、自治体種別全体として、特養では 6 施設、地域密着では 3 施設、老健・介護医療院では 0 であった。

図表 3-1-166 「協議や事前相談を受けた施設」のうち、
ユニット定員の増員を認めた施設数

	特養	地域密着	老健	介護医療院
全体 (n=13)	6	3	0	0
都道府県 (n=5)	4		0	0
政令指定都市・中核市 (n=3)	2	1	0	0
その他市区町村 (n=5)		2		

第4節. ユニット型施設の整備促進に向けた取組

1. ユニット型施設の整備促進に関する制度上・運用上の課題

ユニット型施設の整備促進に関する制度上・運用上の課題について、自治体種別全体として、「特に無し」が50.8%、「従来型と比較して、居室の費用負担が大きい」が33.8%、「多床室施設から変更する場合、ハード面での大幅な改修が困難」が20.7%であった。

図表 4-1-167 ユニット型施設の整備促進に関する制度上・運用上の課題

	自治体種別			
	種別全体	都道府県	政令都市・ 中核都市	その他 市区町村
合計	1,096	47	76	973
従来型と比較して、居室の費用負担が大きい	370 33.8%	32 68.1%	55 72.4%	283 29.1%
多床室施設から変更する場合、ハード面での大幅な改修が困難	227 20.7%	19 40.4%	33 43.4%	175 18.0%
一部ユニット型施設の許認可手続きが煩雑	36 3.3%	0 0.0%	4 5.3%	32 3.3%
施設整備・設備・運営等に関する補助が不十分	103 9.4%	7 14.9%	12 15.8%	84 8.6%
ユニット型施設のケアや経営、感染症対策等に関する情報発信が不十分	28 2.6%	2 4.3%	2 2.6%	24 2.5%
ユニット型施設職員向け研修（法定研修以外）が実施できていない	37 3.4%	0 0.0%	1 1.3%	36 3.7%
自治体職員向け研修が実施できていない	85 7.8%	0 0.0%	4 5.3%	81 8.3%
他の入所者との相互の人間関係を築きにくいという声がある	14 1.3%	2 4.3%	2 2.6%	10 1.0%
その他	43 3.9%	7 14.9%	3 3.9%	33 3.4%
特に無し	557 50.8%	9 19.1%	13 17.1%	535 55.0%
無回答	51 4.7%	1 2.1%	2 2.6%	48 4.9%

第5節. ユニットケア研修の実施状況

1. 「ユニットリーダー研修」及び「ユニットケア施設管理者研修」の実施状況

(1) 令和5年度の実施状況（予定を含む）

① 令和5年度におけるユニットケア研修の開催有無

令和5年度におけるユニットケア研修の開催有無について、自治体種別全体として、ユニットリーダーでは「あり」が95.7%、施設管理者では「あり」が94.1%であった。

図表 5-1-168 令和5年度におけるユニットケア研修の開催有無（令和5年度）

		合計	あり	無し
自治体種別全体	ユニットリーダー	69	66 95.7%	3 4.3%
	施設管理者	68	64 94.1%	4 5.9%
都道府県	ユニットリーダー	47	46 97.9%	1 2.1%
	施設管理者	47	45 95.7%	2 4.3%
政令都市・中核都市	ユニットリーダー	22	20 90.9%	2 9.1%
	施設管理者	21	19 90.5%	2 9.5%

② 研修の委託有無

研修の委託有無について、自治体種別全体として、ユニットリーダーでは「あり」が94.0%、施設管理者では「あり」が92.5%であった。

図表 5-1-169 研修の委託有無（令和5年度）

		合計	あり	無し	無回答
自治体種別全体	ユニットリーダー	67	63 94.0%	2 3.0%	2 3.0%
	施設管理者	67	62 92.5%	2 3.0%	3 4.5%
都道府県	ユニットリーダー	47	43 91.5%	2 4.3%	2 4.3%
	施設管理者	47	43 91.5%	2 4.3%	2 4.3%
政令都市・中核都市	ユニットリーダー	20	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	施設管理者	20	19 95.0%	0 0.0%	1 5.0%

③ 研修の委託先団体数

研修の委託先団体数について、自治体種別全体として、ユニットリーダーでは「2つ」が65.1%、施設管理者では「2つ」が61.3%であった。

図表 5-1-170 研修の委託先団体数（令和5年度）

		合計	1つ	2つ	3つ以上	無回答
自治体種別全体	ユニットリーダー	63	14 22.2%	41 65.1%	1 1.6%	7 11.1%
	施設管理者	62	13 21.0%	38 61.3%	2 3.2%	9 14.5%
都道府県	ユニットリーダー	43	12 27.9%	27 62.8%	0 0.0%	4 9.3%
	施設管理者	43	11 25.6%	25 58.1%	1 2.3%	6 14.0%
政令都市・中核都市	ユニットリーダー	20	2 10.0%	14 70.0%	1 5.0%	3 15.0%
	施設管理者	19	2 10.5%	13 68.4%	1 5.3%	3 15.8%

④ 研修の委託先名称

研修の委託先名称について、自治体種別全体として、ユニットリーダーでは「日本ユニットケア推進センター」が 95.2%、施設管理者では「日本ユニットケア推進センター」が 96.8%であった。

図表 5-1-171 研修の委託先名称（令和5年度）

		合計	日本ユニットケア推進センター	全国個室ユニット型施設推進協議会	その他	無回答
自治体種別全体	ユニットリーダー	63	60 95.2%	49 77.8%	2 3.2%	0 0.0%
	施設管理者	62	60 96.8%	49 79.0%	2 3.2%	0 0.0%
都道府県	ユニットリーダー	43	42 97.7%	31 72.1%	1 2.3%	0 0.0%
	施設管理者	43	42 97.7%	32 74.4%	1 2.3%	0 0.0%
政令都市・中核都市	ユニットリーダー	20	18 90.0%	18 90.0%	1 5.0%	0 0.0%
	施設管理者	19	18 94.7%	17 89.5%	1 5.3%	0 0.0%

(2) 過年度の実施状況

過年度の実施状況について、自治体種別全体として、ユニットリーダー研修では 3,266 回・9,259 人、施設管理者研修では 869 回・1,040 人であった。

図表 5-1-172 過年度の実施状況

	ユニットリーダー研修		左記のうち実地研修 未受講者数	施設管理者研修	
	回数	受講者数		回数	受講者数
全体 (n=60)	3,266	9,259	3,579	869	1,040
都道府県 (n=42)	2,289	8,272	3,051	676	975
政令指定都市・中核市 (n=18)	977	987	528	193	65

2. ユニットケア研修の受講を促進するために実施していること

ユニットケア研修の受講を促進するために実施していることについて、自治体種別全体として「特に実施していない」が74.5%、「その他」が10.3%、「ホームページで募集している」が4.2%であった。

図表 5-1-173 ユニットケア研修の受講を促進するために実施していること

	自治体種別			
	種別全体	都道府県	政令都市・ 中核都市	その他 市区町村
合計	1,096	47	76	973
説明会を実施している	1 0.1%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%
集団指導の際に周知している	22 2.0%	1 2.1%	2 2.6%	19 2.0%
個別指導の際に周知している	14 1.3%	0 0.0%	1 1.3%	13 1.3%
ホームページで募集している	46 4.2%	27 57.4%	14 18.4%	5 0.5%
補助金活用の条件としている	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%
オンライン研修の推進等、コロナ禍に配慮した取り組み	11 1.0%	8 17.0%	2 2.6%	1 0.1%
その他	113 10.3%	15 31.9%	18 23.7%	80 8.2%
特に実施していない	816 74.5%	8 17.0%	37 48.7%	771 79.2%
無回答	96 8.8%	0 0.0%	7 9.2%	89 9.1%

3. ユニットケア研修の受講促進にあたっての課題

ユニットケア研修の受講促進にあたっての課題について、自治体種別全体として「特に無し」が76.8%、「実地研修施設の設置数が少ない」が8.1%、「感染対策等の影響で実地研修を実施できていない・制限している」が3.1%であった。

図表 5-4-174 ユニットケア研修の受講促進にあたっての課題

	自治体種別			
	種別全体	都道府県	政令都市・ 中核都市	その他 市区町村
合計	1,096	47	76	973
実地研修施設の設置数が少ない	89 8.1%	24 51.1%	9 11.8%	56 5.8%
実地研修施設の設置場所に偏りがある	28 2.6%	7 14.9%	6 7.9%	15 1.5%
オンライン研修の実施環境が整備されていない	19 1.7%	0 0.0%	1 1.3%	18 1.8%
研修実施（公費負担分）の予算が充分ではない	22 2.0%	1 2.1%	2 2.6%	19 2.0%
感染対策等の影響で実地研修を実施できていない・制限している	34 3.1%	12 25.5%	7 9.2%	15 1.5%
その他	28 2.6%	2 4.3%	1 1.3%	25 2.6%
特に無し	842 76.8%	14 29.8%	53 69.7%	775 79.7%
無回答	100 9.1%	0 0.0%	7 9.2%	93 9.6%

第3部 ヒアリング調査

第1章 研修受託団体ヒアリング調査結果

ユニットケア研修受託団体に対するヒアリング調査結果は以下のとおり。

ヒアリング項目	ヒアリング結果 (研修受託団体ごとのヒアリング結果を箇条書きで記載)
コロナ前後の受講状況の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ以降はすべてオンラインで座学研修を実施。2018年頃から実施していた対面開催（地域に特化した内容を盛り込んだ研修）は中断している。 ・ 2020年度は全面的にユニットケア研修を中止したが、徐々に受講者を増やし、今年度は以前の水準にほぼ戻った。実地研修未修了者もほぼいない状況。 ・ コロナ禍で講義・演習の受講者数を少し減らしていたが、現在は全面的に再開し、以前の水準に戻りつつある。
ユニットケア研修受講促進に向けて実施している取組（実地研修未修了者の解消の見込み、および修了に向けた取組）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実地研修未修了者に対して個別にメールで催促および受講時期の確認に関するアンケート調査を実施。また、実地研修受入施設に対して、受入枠拡大を依頼。さらに、受講者の利便性を考慮し、希望施設を選択できるように運用。しかし、施設から反応がない場合や、未受講者がすでに施設を退職している場合が少なくない。 ・ 今年度5月から実地研修を再開。2020年度から2022年度までの実地研修未修了者のうち、現時点では4分の1程度が受講済となっており、順次対応している。 ・ 実地研修施設が不足している点が課題。特に今年度は実地研修への募集に対する申し込みが倍近くあり、受講を断ったケースがあった。実地研修施設数の拡大を目指して候補施設に対する打診を進めているが、コロナの影響もあり調整が難航している。 ・ 実地研修施設がない、もしくは少ない自治体において新規開拓を進めており、順調に実地研修施設数が拡大している。コロナ禍で持ち越しになっていた実地研修未修了者の受講は来年度にはおおむね完了する見込み。
ユニットケア研修の受講促進に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講対象者において、ユニットケアそのものやユニットケア研修の受講意義等に関する理解を深めてもらうことが必要だと思われる。

	<ul style="list-style-type: none">・ 地域の特性に応じた実地研修の実施や、実地研修修了者に対するアフターフォローの充実の観点から、実地研修施設数の拡大を検討している。しかし、実地研修施設の質の担保を重視しているため、すぐに実地施設数を拡大することは難しい（3年に1回、更新調査を実施し、質を担保している）。・ ユニットケア管理者研修の受講促進が必要。また、実地研修受入施設が何らかのメリットを受けられるような仕組みがあれば、実地研修施設が増え、結果的に研修受講促進につながると考える。・ 実地研修施設の拡大は継続的な課題と認識している。コロナ禍で講義・演習から実地研修まで受講の間隔が空いてしまうケースもあり、講義・演習から事後報告までの研修のサイクルに支障が生じている。研修修了者と、修了者が在籍している施設の紐づけがなされていないことから、過去に在籍した施設で発行した修了証明書の位置づけが曖昧となっている。
--	---

第2章. 施設ヒアリング調査結果

定員数 11 人以上のユニットと定員数 10 人ユニットが同一施設にある介護老人福祉施設に対し、ユニット定員の違いに伴うケアの質・業務負担の違いや工夫に関するヒアリング調査を実施した。なお、ヒアリング対象施設は、令和3年度の改定以前から定員数 11 人以上のユニットを有していた施設である。

調査対象	ユニット定員数別のユニットの構成
特別養護老人ホーム A	定員数 10 人・14 人ユニットが同一施設にある
特別養護老人ホーム B	定員数 10 人・12 人・14 人ユニットが同一施設にある
特別養護老人ホーム C	定員数 9 人・10 人・12 人・13 人・14 人ユニットが同一施設にある
特別養護老人ホーム D	定員数 10 人・15 人ユニットが同一施設にある
特別養護老人ホーム E	定員数 8 人・10 人・12 人・13 人ユニットが同一施設にある

ユニット間で業務の質・負担の差異が出ないようにするための工夫として、職員の技術レベルや経験の違いを加味した職員配置、業務ひっ迫時におけるユニット間の人員応援、ユニットに紐づかないフリーの職員によるヘルプ対応等が挙げられた。

ヒアリング項目ごとの結果は以下のとおりである。

1. 10 人ユニットとそれ以外の定員数のユニットにおける入居者の特徴の違い

調査対象	ヒアリング結果
特別養護老人ホーム A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10 人・14 人ユニットで入居者の特徴に違いはない。 ・ ユニット単位ではなく、フロア単位で入居者の特徴を考慮している。
特別養護老人ホーム B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の状態に応じたユニット編成は行っていないが、空いた居室に順次入居してもらっているため、結果としてユニット間で入居者の特徴に差が出る場合はある。
特別養護老人ホーム C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の状態（要介護度等）に応じたユニット編成は行っていない。ベッドに空きができた際に、その空き床に新しい方を入居してもらっている。
特別養護老人ホーム D	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の状態に応じたユニット編成は行っていない。居室の変更は認知症の入居者の負担となるため、頻りに居室を変えない方が良いと考えている。
特別養護老人ホーム E	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の状態に応じたユニット編成は行っていない。

2. ユニット定員数の違いに伴う工夫

(1) 業務の質や工夫

調査対象	ヒアリング結果
特別養護老人 ホーム A	<p><直接ケア業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状ではある程度職員数が確保できているため、直接ケア（特に個別ケア）の実施に関する業務の質や負担感の差異は生じていない。 ・ ただし、当施設の定員 14 人ユニットは、10 人ユニットと比較してユニットの端から端までの物理的距離が長いいため、職員と利用者とのコミュニケーションの頻度は少なくなりがちな印象がある。 <p><周辺業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フロアの 2 ユニットの 1 単位（10 人ユニット・14 人ユニットの組み合わせ）として運用しているため、業務の質に差は出ていない。
特別養護老人 ホーム B	<p><直接ケア業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ユニット人数に応じて、入浴タイミングや食事時間等の多少のずれはあるが業務負担は大きく変わらない。 ・ レクリエーションや外出についても、ユニット単位で計画・実施しており、ユニット人数の影響はあまりない。 <p><周辺業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務の質や負担感に差は出ていない。
特別養護老人 ホーム C	<p><直接ケア業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ユニット間で職員配置に大きな差がないようにシフトを工夫しているため、入居者のケア（職員・利用者間コミュニケーション等を含む）に支障がない。 ・ ただ、朝 6～8 時の時間帯は、早番職員出勤まで 1 人で対応しなければならず、14 名ユニットを 1 人で対応するのは負担が大きい。 <p><周辺業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺業務について、定員数による相違はない。
特別養護老人 ホーム D	<p><直接ケア業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20 人単位で運用している他ユニットと比較すると、15 人ユニットは相対的に余裕があるため、15 人ユニットから他ユニットへの応援は日常的に行っている。入浴や食事は、比較的応援で対応しやすい業務と思う。
特別養護老人 ホーム E	<p><直接ケア業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 名ユニットと比較すると、13 名・12 名ユニットのほうが 1 日あたりの入浴人数が多いため、負担感がある。移乗介助も 13 名・12 名ユニットのほうが負担感が大きい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10名ユニットと13名・12名ユニットでは、業務負担に大きな違いはない <p><周辺業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記録業務について、定員数による相違はない。
--	---

(2) 職員配置の工夫

調査対象	ヒアリング結果
特別養護老人ホーム A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10人と14人の組み合わせで運用しており、職員は日常的に双方を行き来しながら対応している。 ・ 日中は10人ユニットが職員1名で対応する一方、14人ユニットは職員1.5～2人程度となっている。2名配置となるのは、三大介助（朝昼晩の食事、排泄、入浴）の時間帯である。 ・ 14名ユニットでも、日中1名対応となる曜日や時間帯があり、その場合は業務が回りにくい印象はある。
特別養護老人ホーム B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14人ユニットには職員を多く配置している。 ・ 食事の時間帯は、14人ユニットには3人、10～12人ユニットには2人の職員を配置している。 ・ 食事以外の時間帯は適宜ユニットに紐づかないフリーの職員がヘルプで対応している。
特別養護老人ホーム C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構造上、9人～11人ユニットと12～14ユニットの2つのブロックに分けて運用している。夜勤時に仮眠を確保するため、ブロック内で適宜応援に入っている。
特別養護老人ホーム D	<ul style="list-style-type: none"> ・ フロア単位ではなく、施設全体で調整している。1階から3階まですべての職員で割り振るようにしている。 ・ 基本的に10人ユニットを2ユニット単位で運用しているが、施設運営の都合上、一部15人ユニットとして運用している。
特別養護老人ホーム E	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員を多く配置しているユニットから入浴時間帯に応援要員を出している。

(3) ユニット運営の工夫

調査対象	ヒアリング結果
特別養護老人ホーム A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各職員の技術レベルや経験の違いを加味しながら、10人ユニットと14人ユニットで業務負担の偏りがないように工夫している。
特別養護老人ホーム B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者と職員の相性、職員間の相性等を踏まえ、各ユニットの主任、2ユニットを統括する係長を中心に業務や配置を調整している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務がひっ迫する時間帯は適宜ユニットに紐づかないフリーの職員がヘルプ対応している。
特別養護老人ホームC	<ul style="list-style-type: none"> ・ スキルのある職員を配置できるように、正規職員数とパート職員を組み合わせで配置している。
特別養護老人ホームD	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月職員のシフト作成を行う際に、配置を計画している。 ・ 15人ユニットには（配置上相対的に余裕があるため）外国人に入ってもらったこともあり、教育的な観点で活用している面もある。
特別養護老人ホームE	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別ユニットへ応援に行っても情報共有が円滑になるよう、利用者の薬剤情報等を一覧化している。 ・ 当日業務をホワイトボードに書きだして可視化し、職員同士で共有しやすい体制づくりを試みているユニットもある。

第4部 本事業のまとめ

本事業では、1ユニットの定員が10人を超えるものも含めたユニット型施設について、地域における整備状況やケアの提供体制を含めた運営状況、従来型施設と併設する場合の職員の兼務の活用状況、ユニットケア研修等に関する実態把握を行い、検討に資する基礎資料を作成することを目的として、介護保険施設および自治体に対するアンケート調査およびヒアリング調査を行った。併せて、ユニットケア研修受託団体に対するヒアリング調査を行ったところ以下の結論を得た。

○地域における整備状況および運営状況

1ユニットの定員数11人以上のユニットを設置している施設は、ユニット型個室またはユニット型個室の多床室を算定している施設の約1割であった。また、定員数10人以下ユニットと比べた場合における定員数11人以上ユニットの職員が行うケア内容や業務負担等について、「変わらない」とする回答が最も多かった。さらに、ヒアリング調査において、ユニット間で業務の質・負担の差異が出ないようにするための工夫として、職員の技術レベルや経験の違いを加味した職員配置、業務ひっ迫時におけるユニット間の人員応援、ユニットに紐づかないフリーの職員によるヘルプ対応等が行われていることが明らかとなった。

一方で、業務の実態に関しては各業務を担当する職員の主観に基づくものであり、また、配置職員数（夜勤配置数含む）等の影響を別途考慮する必要がある点に留意する必要がある。

自治体に対するアンケート調査では、個室ユニット型施設の1ユニットの定員に関する改正に関する運営指導の実施状況について、「特に実施していない」と回答した割合が約6割、「集団指導の際に関連情報を周知している」が約2割であることが明らかとなった。

○ユニットケア研修の実態

新型コロナウイルス感染症の影響により、ユニットリーダー研修のうち実地研修の未受講者への受講勧奨を進めているものの施設から反応がない場合があることや、未受講者がすでに施設を退職している場合があること、過去に在籍した施設で発行した研修修了証明書の位置づけが曖昧となっていること、また、実地研修施設が不足していることが明らかとなった。

なお、上記調査の限界として、ユニットの定員数を変更して施設運営を行う場合、自治体への指定申請や変更の届出、施設の増改築等が必要となるため、令和3年度介護報酬改定を受けて定員数を変更した施設ではケアが実践されるまで数年程度かかることが挙げられる。そのため、今回の調査で得られた今後の設置意向等の結果も踏まえながら、定期的にユニット型施設の整備状況等を把握する必要がある。

別添
調査票

施設票：特養

**令和5年度 介護報酬改定検証・研究調査（厚生労働省委託調査）
個室ユニット型施設の整備・運営状況に関する調査研究事業**

※本調査は、ユニット型個室・ユニット型個室の多床室を保有していない施設も回答対象となりますので、**従来型施設の皆様におかれましてはご回答にご協力のほどお願い申し上げます。**
 ※本調査票は、**貴施設の施設長の方が**ご記入ください。なお記入にあたっては必要に応じて各ご担当者に確認のうえご記入ください。
 ※回答の際は、**あてはまる番号に対応する○もしくは□にチェック（√）を入れてください。**○は単一回答（あてはまるものを1つ選択）、□は複数回答（あてはまるものを複数選択）を表しています。
 ※**具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入ください。分からない場合は「-」とご記入ください。**
 ※調査時点は、令和5年6月1日または、質問に記載している期間とします。

1. 貴施設の概要についてお伺いします。

記入内容について確認させていただく場合がございます。貴施設を運営する法人名貴施設名、お電話番号をご記載ください。

貴施設を運営する法人名		貴施設名				貴施設のお電話番号					
(1) 所在地	都道府県	市区町村	(2) 開設年月			西暦	年	月			
(3) 施設種別 (介護報酬上の届出) (1つ選択してください)	<input type="radio"/> 1. 広域型特別養護老人ホーム <input type="radio"/> 2. 地域密着型特別養護老人ホーム (サテライト型を除く) <input type="radio"/> 3. サテライト型特別養護老人ホーム			(4) 運営主体 (1つ選択してください)		<input type="radio"/> 1. 社会福祉法人 <input type="radio"/> 2. 自治体 <input type="radio"/> 3. その他 ()					
(5) 居室タイプ別 定員数及び 入居者数	居室の有無		有の場合 →	入所定員		入居者数		(6) ユニット型に移行した時期			
	有	無						西暦	年	月	
	1. 従来型個室	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	人	人	※設問(5)で「3.ユニット型個室」または「4.ユニット型個室の多床室」を選択した場合に、(6)をご回答ください。				
	2. 従来型多床室	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	人	人	※平成15年度の制度化以前に独自でユニットを導入している場合はその時期をご回答ください。				
	3. ユニット型個室	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	人	人	※転換した年月が複数ある場合は最も古い時期をご回答ください。				
4. ユニット型個室の多床室	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	人	人	※開設当初からユニット型の場合は、設問(2)開設年月と同じ数字をご記入ください。						

2. 貴施設における勤務体制や業務の状況についてお伺いします。

(7) -① 施設全体の職員数				(7) -② 夜勤職員配置加算の算定状況 (1つ選択)											
施設全体の実人数		常勤換算人数		深夜(24時台)の職員数(実人数)		算定なし		(I)		(II)		(III)		(IV)	
介護職員	人	人	人	人	人	(イ)	(ロ)	(イ)	(ロ)	(イ)	(ロ)	(イ)	(ロ)	(イ)	(ロ)
看護職員	人	人	人	人	人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

< (7) -① 常勤換算の計算方法 >

常勤換算にあたっては、「直近1週間に当該施設で従事した勤務時間」を就業規則により規定された「施設の通常の勤務時間」で除した数値を算出してください。

なお、小数点第二位を切り捨ててください。また、配置がある場合で得られた結果が0.1に満たない場合は0.1と記入してください。

例：就業規則により規定された「施設の通常の勤務時間（＝常勤の従業員が勤務すべき時間数）」が32時間/週の場合

・1日7.5時間×週5日（計37.5時間）勤務する職員A・B → 常勤（常勤換算1.0）2名

・1日7.5時間×週3日（計22.5時間）勤務する職員C → 非常勤1名

・1日4時間×週5日（計20時間）勤務する職員D → 非常勤1名

合計すると、【常勤A・B】2 + 【非常勤C・D】1 = (22.5 + 20) / 32 = 3.33となり、小数点第二位を切り捨て、常勤換算で3.3人の配置

(8) 貴施設におけるシフト調整の方法として、当てはまるものを1つ選択してください。

- 1. 施設全体で調整
- 2. フロア単位で調整
- 3. 複数のユニットで調整
- 4. 1ユニットごとに調整
- 5. その他

(9) 貴施設における1日の勤務形態として、当てはまるものを1つ選択してください。

- 1. 2交代制
- 2. 3交代制
- 3. その他

(10) 職員配置や役割分担を検討する際に配慮していることとして、当てはまるものをすべて選択してください。

- 1. 介護職員が直接介助に注力できるよう、間接業務を主に対応する職員を配置している
- 2. 入浴等の負担が大きい業務への対応のため一時的に配置が手厚くなる時間帯を設定している ()
- 3. ユニット間の支援等を行うことを見据えてユニットに紐づかないフリーな職員を配置している
- 4. 各時間帯においてメインで対応する業務について事前に役割分担を決めている
- 5. その他
- 6. 特に配慮していることはない

(11) -① (設問(5)で「3.ユニット型個室」又は「4.ユニット型個室の多床室」を「有」と回答した場合に回答)

貴施設では定員数11人以上のユニットを設置していますか。当てはまるものを1つ選択してください。

- 1. はい ⇒ 設問(11) -②~④及び設問(15) -④~⑧ (I) にご回答ください。
- 2. いいえ

(11) -② ((11) -①で、「1.はい」を選択した場合に回答)

貴施設が11人以上のユニットを設置した経緯は、令和3年度の報酬改定を踏まえたものですか。当てはまるものを1つ選択してください。

- 1. はい
- 2. いいえ

(11) -③ ((11) -①で、「1.はい」を選択した場合に回答)

1ユニット定員数を11人以上とした理由として当てはまるものをすべて選択してください。

- 1. 経営の観点から入居者数を増加させるため
- 2. 入居者数増加に対する地域のニーズが大きかったため
- 3. 施設内の余剰スペースを有効利用したいと考えたため
- 4. 開設時や改築時等の施設構造上やむを得なかったため
- 5. その他 ()

(11) -④ ((11) -①で、「1.はい」を選択した場合に回答)		多い ／ 大きい	／ やや 大きい	／ やや 多い	／ やや 小さい	／ やや 少ない	／ 少 ない	わ か ら な い
10人以下のユニットと比べて、11人以上のユニットの業務の実態として当てはまるものを各項目1つずつ選択してください。 ※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。 ※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。								
入居者に対するケアの内容	1. 入居者1人当たりにかかる情報収集やコミュニケーションの時間	a	b	c	d	e	f	
	2. 入居者の生活リズムに沿ったケア提供を行うことができる場面の頻度	a	b	c	d	e	f	
	3. 入浴、排泄等人手がかかる介助をスムーズに行うことができる場面の頻度	a	b	c	d	e	f	
職員間の連携、教育	4. 見守りや急変が生じた場合に他の職員に助けを求める際の負担	a	b	c	d	e	f	
	5. ユニットリーダーにおけるユニット職員に対する教育・管理の負担	a	b	c	d	e	f	
入居者・職員の管理	6. ユニットにおける職員の勤務シフト作成に関する負担	a	b	c	d	e	f	
	7. 入居者の相性を踏まえたユニット間や居室の調整に関する負担	a	b	c	d	e	f	
職員における業務負担	8. 職員1人当たりの業務時間（時間外労働の時間も含む）	a	b	c	d	e	f	
	9. 事故予防に関する職員における緊張感や不安感	a	b	c	d	e	f	

(12) 入居者へのケアの質向上に向けてどのような点を意識して取り組んでいますか。各項目1つずつ選択してください。
なお、従来型居室とユニット型居室をいずれも保有する場合は、それぞれの状況をご回答ください。

【ユニット型個室またはユニット型個室的多床室の場合】

		そう 思う	や や そう 思う	い え な い	ど ち ら と も	そ う 思 わ な い	あ ま り	そ う 思 わ な い
アセスメント・モニタリング	1. 入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている	a	b	c	d	e		
施設ケアプラン及びケア計画	2. 入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している	a	b	c	d	e		
日常のケア	起床・離床、着替え	3. 入居者の状態像に応じた起床介助や、着替えて居室以外の場所で過ごすための支援等を行っている	a	b	c	d	e	
		4. 経口での食事が困難になっても、食べる楽しみを得られるよう、多職種で協力して支援している	a	b	c	d	e	
	食事、摂食、水分摂取	5. 入居者の食器や補食の持ち込みを認めるなど食事に関する意向を実現できている	a	b	c	d	e	
		6. 所定の日数以外にも入浴・清拭のニーズがある場合は、対応できる体制をとっている	a	b	c	d	e	
	入浴、排せつ	7. 入居者がゆったりできる入浴方法（入浴時間やマンツーマン方法等）に取り組んでいる	a	b	c	d	e	
		8. 24時間を通じた排泄のアセスメントを踏まえ、入居者の生活の質を維持しながら排泄を支援している	a	b	c	d	e	
	リハビリ・機能訓練等	9. 入居者の意向を踏まえたレクリエーションやアクティビティ、個別的な外出支援等を行っている	a	b	c	d	e	
	家族とのコミュニケーション	10. 入居者の施設内の生活ぶりや施設の利用等に関する情報を家族に定期的に共有している	a	b	c	d	e	
		11. 職員のペースでのケア提供や日課の消化にならないよう、その方の生活習慣等に沿った支援をしている	a	b	c	d	e	
	入居者の意思の尊重	12. 入浴・排泄等の際、入居者の気持ちを尊重し、同性介助等に配慮している	a	b	c	d	e	
		13. 日頃の介護を通して入居者のわずかな変調等にも気づき、多職種に情報連携する体制を構築できている	a	b	c	d	e	
	非常時のケア	14. 日常的な介護事故の発生を防ぐために十分な体制をとっている	a	b	c	d	e	
コミュニケーション・情報共有	15. ユニット・フロア内の職員間において業務上円滑なコミュニケーションを取ることができている	a	b	c	d	e		
	16. 支援する全職員が入居者に関する計画や記録を共有できるようにしている	a	b	c	d	e		
介護ロボット・ICTの利活用	17. 入居者の生活の質確保と介護職員の負担軽減とともに図れるよう介護ロボット・ICTを活用している	a	b	c	d	e		
医療的ケア・ターミナルケア	18. 入居者・家族の意向を踏まえ必要に応じて喀痰吸引や点滴などを実施している	a	b	c	d	e		
	19. 事前にターミナル期を迎えたときにどのようなケアをしてほしいかを入居者や家族と話し合っている	a	b	c	d	e		
	20. 看取りケアに力を入れている	a	b	c	d	e		

【従来型個室または従来型多床室の場合】

		そう 思う	や や そう 思う	い え な い	ど ち ら と も	そ う 思 わ な い	あ ま り	そ う 思 わ な い
アセスメント・モニタリング	1. 入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている	a	b	c	d	e		
施設ケアプラン及びケア計画	2. 入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している	a	b	c	d	e		
日常のケア	起床・離床、着替え	3. 入居者の状態像に応じた起床介助や、着替えて居室以外の場所で過ごすための支援等を行っている	a	b	c	d	e	
		4. 経口での食事が困難になっても、食べる楽しみを得られるよう、多職種で協力して支援している	a	b	c	d	e	
	食事、摂食、水分摂取	5. 入居者の食器や補食の持ち込みを認めるなど食事に関する意向を実現できている	a	b	c	d	e	
		6. 所定の日数以外にも入浴・清拭のニーズがある場合は、対応できる体制をとっている	a	b	c	d	e	
	入浴、排せつ	7. 入居者がゆったりできる入浴方法（入浴時間やマンツーマン方法等）に取り組んでいる	a	b	c	d	e	
		8. 24時間を通じた排泄のアセスメントを踏まえ、入居者の生活の質を維持しながら排泄を支援している	a	b	c	d	e	
	リハビリ・機能訓練等	9. 入居者の意向を踏まえたレクリエーションやアクティビティ、個別的な外出支援等を行っている	a	b	c	d	e	
	家族とのコミュニケーション	10. 入居者の施設内の生活ぶりや施設の利用等に関する情報を家族に定期的に共有している	a	b	c	d	e	
		11. 職員のペースでのケア提供や日課の消化にならないよう、その方の生活習慣等に沿った支援をしている	a	b	c	d	e	
	入居者の意思の尊重	12. 入浴・排泄等の際、入居者の気持ちを尊重し、同性介助等に配慮している	a	b	c	d	e	
		13. 日頃の介護を通して入居者のわずかな変調等にも気づき、多職種に情報連携する体制を構築できている	a	b	c	d	e	
	非常時のケア	14. 日常的な介護事故の発生を防ぐために十分な体制をとっている	a	b	c	d	e	
コミュニケーション・情報共有	15. ユニット・フロア内の職員間において業務上円滑なコミュニケーションを取ることができている	a	b	c	d	e		
	16. 支援する全職員が入居者に関する計画や記録を共有できるようにしている	a	b	c	d	e		
介護ロボット・ICTの利活用	17. 入居者の生活の質確保と介護職員の負担軽減とともに図れるよう、介護ロボット・ICTを活用している	a	b	c	d	e		
医療的ケア・ターミナルケア	18. 入居者・家族の意向を踏まえ必要に応じて喀痰吸引や点滴などを実施している	a	b	c	d	e		
	19. 事前にターミナル期を迎えたときにどのようなケアをしてほしいかを入居者や家族と話し合っている	a	b	c	d	e		
	20. 看取りケアに力を入れている	a	b	c	d	e		

(13) 貴施設における介護職員・看護職員の離職の状況、年次有給休暇の付与・取得の状況、休憩時間及び時間外労働時間の実態についてご回答ください。

※回答対象は、すべて令和4年度の実績とし、対象期間は令和4年4月1日から令和5年3月31日までとします。

※正規職員に加えて、非正規職員（パートタイム労働者等）についても集計対象とします。

※休憩時間及び時間外労働時間については、業務日報や勤務簿等の集計等に基づく概算で構いません。

	離職の状況		年次有給休暇の付与・取得の状況			
	令和4年度離職者数	令和3年3月31日時点の在籍者数	付与日数（施設全体の合計）		取得日数（施設全体の合計）	
介護職員	人	人	日	日	日	日
看護職員	人	人	日	日	日	日
日勤（休憩時間を含めて8時間以上のシフトの場合）の休憩時間（職員1人当たり1日平均）（介護職員・看護職員それぞれ1つ選択）						
介護職員	○ 1. 30分未満 ○ 2. 30分以上40分未満 ○ 3. 40分以上50分未満 ○ 4. 50分以上60分未満 ○ 5. 60分以上70分未満 ○ 6. 70分以上					
看護職員	○ 1. 30分未満 ○ 2. 30分以上40分未満 ○ 3. 40分以上50分未満 ○ 4. 50分以上60分未満 ○ 5. 60分以上70分未満 ○ 6. 70分以上					
時間外労働時間（職員1人当たり1週間平均）（介護職員・看護職員それぞれ1つ選択）						
介護職員	○ 1. 残業なし ○ 2. 5時間未満 ○ 3. 5時間以上10時間未満 ○ 4. 10時間以上15時間未満 ○ 5. 15時間以上20時間未満 ○ 6. 20時間以上					
看護職員	○ 1. 残業なし ○ 2. 5時間未満 ○ 3. 5時間以上10時間未満 ○ 4. 10時間以上15時間未満 ○ 5. 15時間以上20時間未満 ○ 6. 20時間以上					

3.各ユニットの運用状況や今後の設置意向等についてお伺いします。

(14)～(16)は設問(5)で「3.ユニット型個室」又は「4.ユニット型個室の多床室」を「有」と選択した方にお伺いします。

(17)は設問(5)で「1.従来型個室」又は「2.従来型多床室」を「有」と選択した方にお伺いします。

(14) 貴施設における各ユニットの定員数ごとのユニットの数を回答してください。該当がない場合はユニットの欄に「0」を記入してください。

1. 8人ユニット	ユニット	3. 10人ユニット	ユニット	5. 12人ユニット	ユニット	7. 14人ユニット	ユニット	9. その他	ユニット
2. 9人ユニット	ユニット	4. 11人ユニット	ユニット	6. 13人ユニット	ユニット	8. 15人ユニット	ユニット		

(15) -①～(15) -⑧について、(14)で1つ以上であると回答した定員数のユニットすべてについてご回答ください。

※例えば、10人ユニットが10ユニット、12人ユニットが2ユニットであると回答した場合は、(15) -③及び(15) -⑤にご回答ください。

(15) -① 貴施設の一般的な8人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、**最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）**を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（特定の1つのユニットにおける人数）

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務

回答の際は、**各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入**してください。

「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担を感じない」、「4.全く負担を感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に担当する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(15) -② 貴施設の一般的な9人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（特定の1つのユニットにおける人数）

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務

回答の際は、各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入してください。

「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担を感じない」、「4.全く負担を感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に担当する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(15) -③ 貴施設の一般的な10人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（特定の1つのユニットにおける人数）

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務

回答の際は、各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入してください。

「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担を感じない」、「4.全く負担を感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に担当する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(15) -④ 貴施設の一般的な11人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、**最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数(実人数)**を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝 (6時台～8時台)	午前 (9時台～11時台)	昼 (12時台～13時台)	午後 (14時台～16時台)	夜間 (17時台～21時台)
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳 (特定の1つのユニットにおける人数)

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中(※)
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務

回答の際は、各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入してください。

「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種(事務職員や間接業務を主に対応する介護助手等)における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝 (6時台～8時台)	午前 (9時台～11時台)	昼 (12時台～13時台)	午後 (14時台～16時台)	夜間 (17時台～21時台)
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)					
身の回りの世話					
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)					
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)					

(エ) (設問(11)-①)で「1.はい」を選択した場合に回答)

10人のユニットと比べて11人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを1つ選択してください。

※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。

※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い 2. 10人ユニットと変わらない 3. わからない

(15) -⑤ 貴施設の一般的な12人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、**最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数(実人数)**を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝 (6時台～8時台)	午前 (9時台～11時台)	昼 (12時台～13時台)	午後 (14時台～16時台)	夜間 (17時台～21時台)
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳 (特定の1つのユニットにおける人数)

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中(※)
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務

回答の際は、各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入してください。

「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種(事務職員や間接業務を主に対応する介護助手等)における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝 (6時台～8時台)	午前 (9時台～11時台)	昼 (12時台～13時台)	午後 (14時台～16時台)	夜間 (17時台～21時台)
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)					
身の回りの世話					
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)					
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)					

(エ) (設問(11)-①)で「1.はい」を選択した場合に回答)

10人のユニットと比べて12人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを1つ選択してください。

※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。

※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い 2. 10人ユニットと変わらない 3. わからない

(15) -⑥ 貴施設の一般的な**13人ユニット**における入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。
 ※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置
 ※以下4つのそれぞれの時間帯において、**最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）**を記載してください。
 ※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（**特定の1つのユニット**における人数）
 ※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務
 回答の際は、**各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入**してください。
「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担を感じない」、「4.全く負担を感じない」、「5.実施していない」
 ※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に対応する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(エ) **（設問（11）-①で「1.はい」を選択した場合に回答）**
 10人のユニットと比べて13人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを**1つ**選択してください。
 ※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。
 ※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い 2. 10人ユニットと変わらない 3. わからない

(15) -⑦ 貴施設の一般的な**14人ユニット**における入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。
 ※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置
 ※以下4つのそれぞれの時間帯において、**最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）**を記載してください。
 ※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（**特定の1つのユニット**における人数）
 ※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務
 回答の際は、**各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入**してください。
「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担を感じない」、「4.全く負担を感じない」、「5.実施していない」
 ※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に対応する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(エ) **（設問（11）-①で「1.はい」を選択した場合に回答）**
 10人のユニットと比べて14人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを**1つ**選択してください。
 ※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。
 ※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い 2. 10人ユニットと変わらない 3. わからない

(15) -⑥ 貴施設の一般的な**15人ユニット**における入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。
※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置
※以下4つのそれぞれの時間帯において、**最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数(実人数)**を記載してください。
※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝 (6時台～8時台)	午前 (9時台～11時台)	昼 (12時台～13時台)	午後 (14時台～16時台)	夜間 (17時台～21時台)
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳 (**特定の1つのユニット**における人数)
※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中(※)
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担に感じる業務
回答の際は、**各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入**してください。
「1.とても負担に感じる」、「2.やや負担に感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」
※介護・看護職員以外の職種(事務職員や間接業務を主に対応する介護助手等)における業務負担感を含めず回答してください。

業務	朝 (6時台～8時台)	午前 (9時台～11時台)	昼 (12時台～13時台)	午後 (14時台～16時台)	夜間 (17時台～21時台)
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)					
身の回りの世話					
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)					
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)					

(エ) (設問(11)-①で「1.はい」を選択した場合に回答)
10人のユニットと比べて15人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを**1つ**選択してください。
※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。
※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い 2. 10人ユニットと変わらない 3. わからない

(16) ユニットにおける入居者の調整に当たり配慮している内容として当てはまるものを**すべて**選択してください。また、配慮している場合は、それぞれのユニット数の合計(定員数問わず)を回答してください。

	選択した場合	左記に配慮しているユニット数(施設全体での合計)
<input type="checkbox"/> 1. 職員の男女比を踏まえて男性入居者(もしくは女性入居者)の割合が高いユニットを設けている	⇒	ユニット
<input type="checkbox"/> 2. 要介護度や認知症の程度を踏まえて重度の入居者(もしくは軽度の入居者)の割合が高いユニットを設けている	⇒	ユニット
<input type="checkbox"/> 3. 医療的ケアが必要な入居者の割合が高いユニットを設けている	⇒	ユニット
<input type="checkbox"/> 4. 上記いずれも該当しない		

(17) 設問(5)で「1.従来型個室」又は「2.従来型多床室」を「有」と選択した方にお伺いします。

(17) -① 多床室もしくは従来型個室から個室への今後の転換意向について、当てはまるものを**1つ**選択してください。
※選択肢中の「多床室」は、「従来型多床室」及び「ユニット型個室的多床室」の総称とします。

1. 多床室から従来型個室への転換を予定している 4. 転換する意向はない ⇒設問(17)-③へ

2. 多床室からユニット型個室への転換を予定している 5. わからない

3. 従来型個室からユニット型個室への転換を予定している ⇒設問(17)-②へ

(17) -② (設問(17)-①で、2～3を選択した場合に回答) ユニット型個室への転換に向けて、現在の状況として当てはまるものを**1つ**選択してください。

1. 法人内で建替え・改修に関する方針を検討している 4. 建替え・改修工事が完了し自治体の指定・許可を待っている

2. 自治体に建替え・改修に関する事前相談・手続きをしている 5. その他

3. 建替え・改修工事に着手している ()

(17) -③ (設問(17)-①で、「4.転換する意向はない」を選択した場合に回答) ユニット型個室に転換する意向がない理由として、当てはまるものを**すべて**選択してください。

1. 現状の施設の居室タイプで十分なケアが提供できているため 6. 転換に伴う工事費用の捻出が難しいため

2. ユニット型個室への転換のメリットを感じていないため 7. 転換後のユニットリーダーの確保が難しいため

3. 入居者やその家族からユニット型個室への展開に対する要望がないため 8. ユニット型を運営するための職員の人材確保が難しいため

4. 施設を運営しながらの転換工事が難しいため 9. その他

5. 現在の施設構造上、改修等での対応が難しく、建替えや移転が必要となるため ()

4. 令和3年度報酬改定による影響等についてお伺いします。

(18) 貴施設を運営する同一法人の運営するサービス種別として当てはまるものを**すべて**選択してください。

<「貴施設との距離」の定義>

- ・同一建物…同じ建物内に、別の事業・サービスがある場合
- ・近接…同一敷地内、または隣接する敷地内に、別のサービス・事業がある場合
- ・近隣…移動手段は問わず、移動時間がおおむね20分以内の場所に、別の事業・サービスがある場合

※同一のサービスを提供している施設・事業所が複数あり、それぞれの距離が異なる場合は、当てはまる距離の施設すべてをご回答ください。

※「同一建物」「近接」「近隣」にあっても貴法人が運営していない場合、または貴法人が運営していても「同一建物」「近接」「近隣」にない場合は空欄で結構です。

		貴施設との距離		
		同一建物	近接	近隣
特別養護老人ホーム（サテライト型を除く）	従来型	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ユニット型	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特別養護老人ホーム（サテライト型）	従来型	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ユニット型	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
短期入所生活介護（ショートステイ）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<貴施設が「ユニット型」の場合>

「従来型」を「同一建物」または「近接」で選択した場合、設問（19）-①△

<貴施設が「従来型」の場合>

「ユニット型」を「同一建物」または「近接」で選択した場合、設問（19）-①△

(19) -①（貴施設が「ユニット型」で「従来型」を併設（「同一建物」または「近接」を選択）している場合、もしくは、貴施設が「従来型」で「ユニット型」を併設している場合に回答）

介護保険施設の従来型とユニット型を併設する場合の介護職員・看護職員の兼務状況について、当てはまるものを**それぞれ1つずつ**選択してください。

	兼務している	兼務していない
介護職員	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
看護職員	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

⇒「兼務している」を選択した場合、設問（19）-②、③をご回答ください。

⇒「兼務している」を選択した場合、設問（19）-②、③をご回答ください。

(19) -②（問19-①で介護職員を兼務しているとした場合に回答）介護職員を兼務とした理由として当てはまるものを**すべて**選択してください。

- | | |
|--|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 新たな職員の確保が難しいため | <input type="checkbox"/> 4. その他 |
| <input type="checkbox"/> 2. 職員側からの希望があったため | () |
| <input type="checkbox"/> 3. キャリアアップや人材育成の観点で施設長等から当人に対して提案があったため | <input type="checkbox"/> 5. わからない |

(19) -③（問19-①で介護職員を兼務しているとした場合に回答）従来型とユニット型を併設する場合の介護職員の兼務による影響や課題として当てはまるものを**すべて**選択してください。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 入居者1人当たりにかかる情報収集やコミュニケーションの時間が減少した | <input type="checkbox"/> 7. 兼務職員の業務負担（時間外労働時間等）が増加した |
| <input type="checkbox"/> 2. 入居者の生活リズムに沿ったケア提供が難しくなるケースが増加した | <input type="checkbox"/> 8. その他 |
| <input type="checkbox"/> 3. 看護職員や多職種とのコミュニケーションの機会が減少した | () |
| <input type="checkbox"/> 4. 本体事業所以外の入居者・職員とのコミュニケーションを通じて技術や知識が向上した | <input type="checkbox"/> 9. 影響や課題は特にない |
| <input type="checkbox"/> 5. 人員確保に要する時間や費用を抑えることができた | <input type="checkbox"/> 10. わからない |
| <input type="checkbox"/> 6. 従来型とユニット型でケアの方針等が異なり、職員において戸惑いが見られた | |

(19) -④（問19-①で看護職員を兼務しているとした場合に回答）看護職員を兼務とした理由として当てはまるものを**すべて**選択してください。

- | | |
|--|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 新たな職員の確保が難しいため | <input type="checkbox"/> 4. その他 |
| <input type="checkbox"/> 2. 職員側からの希望があったため | () |
| <input type="checkbox"/> 3. . キャリアアップや人材育成の観点で施設長等から当人に対して提案があったため | <input type="checkbox"/> 5. わからない |

(19) -⑤（問19-①で看護職員を兼務しているとした場合に回答）従来型とユニット型を併設する場合の看護職員の兼務による影響や課題として当てはまるものを**すべて**選択してください。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 健康管理上の観察等を介護職にも対応してもらうようにした | <input type="checkbox"/> 7. 兼務職員の業務負担（時間外労働時間等）が増加した |
| <input type="checkbox"/> 2. 医療ニーズがある方へのケアや看取り時の対応に集中できるようになった | <input type="checkbox"/> 8. その他 |
| <input type="checkbox"/> 3. 介護職員や多職種とのコミュニケーションの機会が減少した | () |
| <input type="checkbox"/> 4. 本体事業所以外の入居者・職員とのコミュニケーションを通じて技術や知識が向上した | <input type="checkbox"/> 9. 影響や課題は特にない |
| <input type="checkbox"/> 5. 人員確保に要する時間や費用を抑えることができた | <input type="checkbox"/> 10. わからない |
| <input type="checkbox"/> 6. 従来型とユニット型でケアの方針等が異なり、職員において戸惑いが見られた | |

6. 貴施設における感染対策についてお伺いします。

(25) 直近3か年（令和2年4月1日から令和5年3月31日まで）における、貴施設の新型コロナウイルス感染症感染者の発生状況

①入居者における感染者数 (延べ人数)		人	②クラスター（※）の発生有無 ※クラスターとは、同時に5人以上の 感染者が発生した状態を指す	○ 1. 有 →③へ ○ 2. 無	③クラスターの発生単位 ※②で「有」を選択した 場合に回答	○ 1. 1ユニット内で収束 ○ 2. フロア全体で収束 ○ 3. 施設内で収束 ○ 4. その他
------------------------	--	---	--	----------------------	-------------------------------------	--

(26) 貴施設における感染対策の実態として、当てはまるものをそれぞれ1つ選択してください。なお、複数の居室タイプを有する場合は、保有するすべての居室タイプの回答欄にご記入ください。
(例えば、ユニット型個室と従来型個室の2タイプの居室を保有する場合は、下記①及び③の表にご記入ください。)

	①ユニット型個室の場合					②ユニット型個室的多床室の場合									
	そう 思う	やや そう 思う	い え な い	ど ち ら と も	そ う あ ま り 思 わ な い	そ う 思 わ な い	そ う 思 う	やや そ う 思 う	い え な い	ど ち ら と も	そ う あ ま り 思 わ な い	そ う 思 わ な い			
1. 入居者の体調の変化に早期に気づくことができる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
2. 看護職員等に日頃から入居者の情報をこまめに共有することで健康管理や予防につなげている	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
3. 感染（疑い）者の隔離が容易である	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
4. 感染者が発生した場合であっても感染の拡大が容易である	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
5. ゾーニングの計画及び実践の負担が小さい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
6. 感染症発生時においても家族との面会の機会の確保・維持ができています	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
7. 感染症発生時・予防策における職員の精神的な負担が大きい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
8. 感染エリアの居室において体調管理のための頻回な訪室が必要となる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
9. 居室や共用部のトイレ、洗面台等における清掃・消毒の業務負担が大きい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
10. 感染エリアで対応する職員のシフトや行動が制限され、連続勤務や時間外労働が生じる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
11. 感染エリアで対応する職員とそうでない職員の負担が偏り、職員から不満が生じる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e

	③従来型個室の場合					④従来型多床室の場合									
	そ う 思 う	や や そ う 思 う	い え な い	ど ち ら と も	そ う あ ま り 思 わ な い	そ う 思 う	や や そ う 思 う	い え な い	ど ち ら と も	そ う あ ま り 思 わ な い	そ う 思 わ な い				
1. 入居者の体調の変化に早期に気づくことができる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
2. 看護職員等に日頃から入居者の情報をこまめに共有することで健康管理や予防につなげている	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
3. 感染（疑い）者の隔離が容易である	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
4. 感染者が発生した場合であっても感染の拡大が容易である	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
5. ゾーニングの計画及び実践の負担が小さい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
6. 感染症発生時においても家族との面会の機会の確保・維持ができています	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
7. 感染症発生時・予防策における職員の精神的な負担が大きい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
8. 感染エリアの居室において体調管理のための頻回な訪室が必要となる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
9. 居室や共用部のトイレ、洗面台等における清掃・消毒の業務負担が大きい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
10. 感染エリアで対応する職員のシフトや行動が制限され、連続勤務や時間外労働が生じる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
11. 感染エリアで対応する職員とそうでない職員の負担が偏り、職員から不満が生じる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e

(27) 感染対策に当たり、活用した補助金・支援策として当てはまるものをすべて選択してください。

- ※感染対策の対象は新型コロナウイルス感染症以外も含みます。
※選択肢中の「多床室」は、「従来型多床室」及び「ユニット型個室的多床室」の総称とします。
- 1. 簡易陰圧装置の設置に係る経費支援（居室等に簡易陰圧装置を設置又は簡易陰圧装置を据えるとともに簡易的なダクト工事等）
 - 2. ユニット型施設の各ユニットへの玄関室設置によるゾーニング経費支援（各ユニットの共同生活室の入口に玄関室を設置する等により、消毒や防護服の着脱等を行うためのスペース設置）
 - 3. 従来型個室・多床室のゾーニング経費支援（感染者と非感染者の動線を分離することを目的として従来型個室・多床室の改修）
 - 4. 家族面会室の整備等経費支援（感染症の感染拡大防止のために必要な家族面会室の整備）
 - 5. 多床室の個室化に要する改修費支援（感染が疑われる利用者同士のスペースを空間的に分離できるよう、多床室を個室化するための改修）
 - 6. その他（ ）
 - 7. 特になし
 - 8. わからない

7. 個室ユニット整備に関する国・自治体に対しての要望等についてお伺いします。

(28) 個室ユニット整備・推進において自治体に求める支援として、当てはまるものをすべて選択してください。

- 1. 施設整備（新規開設、増築、改築等）に関する補助金の補助率・補助上限額の引上げ
- 2. 開設準備や運営に関する補助金の補助率・補助上限額の引上げ
- 3. 一部ユニット型施設等における許認可手続きの簡略化
- 4. ユニット型施設職員向け研修の実施（法定研修以外）
- 5. ユニット型施設のケアの質向上の好事例の共有
- 6. ユニット型施設の経営（内部管理、業務改善等）の効果的な事例の共有
- 7. ユニット型施設の感染症対策の好事例の共有
- 8. その他（ ）
- 9. 特に支援は求めていない（ ）

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(11) -④ ((11) -①で、「1.はい」を選択した場合に回答)		多い ／ 大きい	やや 多い	変 わ ら な い	や ／ よ さ い	少 ／ な い	わ か ら な い
10人以下のユニットと比べて、11人以上ユニットの業務の実態として当てはまるものを各項目1つずつ選択してください。 ※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。 ※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。							
入居者に対するケアの内容	1. 入居者1人当たりにかける情報収集やコミュニケーションの時間	a	b	c	d	e	f
	2. 入居者の生活リズムに沿ったケア提供を行うことができる場面の頻度	a	b	c	d	e	f
	3. 入浴、排泄等人手がかかる介助をスムーズに行うことができる場面の頻度	a	b	c	d	e	f
職員間の連携、教育	4. 見守りや急変が生じた場合に他の職員に助けを求める際の負担	a	b	c	d	e	f
	5. ユニットリーダーにおけるユニット職員に対する教育・管理の負担	a	b	c	d	e	f
入居者・職員の管理	6. ユニットにおける職員の勤務シフト作成に関する負担	a	b	c	d	e	f
	7. 入居者の相性を踏まえたユニット間や居室の調整に関する負担	a	b	c	d	e	f
職員における業務負担	8. 職員1人当たりの業務時間（時間外労働の時間も含む）	a	b	c	d	e	f
	9. 事故予防に関する職員における緊張感や不安感	a	b	c	d	e	f

(12) 入居者へのケアの質向上に向けてどのような点を意識して取り組んでいますか。各項目1つずつ選択してください。
なお、従来型居室とユニット型居室をいずれも保有する場合は、それぞれの状況をご回答ください。

【ユニット型個室またはユニット型個室の多床室の場合】

		そ う 思 う	や や そ う 思 う	い え な い	ど ち ら と も	そ う 思 わ な い	あ ま り	そ う 思 わ な い	
アセスメント・モニタリング	1. 入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている	a	b	c	d	e			
施設ケアプラン及びケア計画	2. 入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している	a	b	c	d	e			
日常のケア	起床・離床、着替え	3. 入居者の状態像に応じた起床介助や、着替えて居室以外の場所で過ごすための支援等を行っている	a	b	c	d	e		
	食事、摂食、水分摂取	4. 経口での食事が困難になっても、食べる楽しみを得られるよう、多職種で協力して支援している	a	b	c	d	e		
		5. 入居者の食器や補食の持ち込みを認めるなど食事に関する意向を実現できている	a	b	c	d	e		
	入浴、排せつ	6. 所定の日数以外にも入浴・清拭のニーズがある場合は、対応できる体制をとっている	a	b	c	d	e		
		7. 入居者がゆったりできる入浴方法（入浴時間やマンツーマン方法等）に取り組んでいる	a	b	c	d	e		
	リハビリ・機能訓練等	8. 24時間を通じた排泄のアセスメントを踏まえ、入居者の生活の質を維持しながら排泄を支援している	a	b	c	d	e		
	家族とのコミュニケーション	9. 入居者の意向や心身機能を踏まえ、在宅復帰につながるリハビリテーションを提供している	a	b	c	d	e		
		10. 入居者の施設内の生活ぶりや施設の取組等に関する情報を家族に定期的に共有している	a	b	c	d	e		
入居者の意思の尊重	11. 職員のベースでのケア提供や日課の消化にならないよう、その方の生活習慣等に沿った支援をしている	a	b	c	d	e			
	12. 入浴・排泄等の際、入居者の気持ちを尊重し、同性介助等に配慮している	a	b	c	d	e			
非常時のケア	13. 日頃の介護を通して入居者のわずかな変調等にも気づき、多職種に情報連携する体制を構築できている	a	b	c	d	e			
	14. 日常的な介護事故の発生を防ぐために十分な体制をとっている	a	b	c	d	e			
コミュニケーション・情報共有	15. ユニット・フロア内の職員間において業務上円滑なコミュニケーションを取ることができている	a	b	c	d	e			
	16. 支援する全職員が入居者に関する計画や記録を共有できるようにしている	a	b	c	d	e			
介護ロボット・ICTの利活用	17. 入居者の生活の質確保と介護職員の負担軽減とともに図れるよう介護ロボット・ICTを活用している	a	b	c	d	e			
医療的ケア・ターミナルケア	18. 入居者・家族の意向を踏まえ必要に応じて喀痰吸引や点滴などを実施している	a	b	c	d	e			
	19. 事前にターミナル期を迎えたときにどうケアしてほしいかを入居者や家族と話し合っている	a	b	c	d	e			
	20. 看取りケアに力を入れている	a	b	c	d	e			

【従来型個室または従来型多床室の場合】

		そ う 思 う	や や そ う 思 う	い え な い	ど ち ら と も	そ う 思 わ な い	あ ま り	そ う 思 わ な い	
アセスメント・モニタリング	1. 入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている	a	b	c	d	e			
施設ケアプラン及びケア計画	2. 入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している	a	b	c	d	e			
日常のケア	起床・離床、着替え	3. 入居者の状態像に応じた起床介助や、着替えて居室以外の場所で過ごすための支援等を行っている	a	b	c	d	e		
	食事、摂食、水分摂取	4. 経口での食事が困難になっても、食べる楽しみを得られるよう、多職種で協力して支援している	a	b	c	d	e		
		5. 入居者の食器や補食の持ち込みを認めるなど食事に関する意向を実現できている	a	b	c	d	e		
	入浴、排せつ	6. 所定の日数以外にも入浴・清拭のニーズがある場合は、対応できる体制をとっている	a	b	c	d	e		
		7. 入居者がゆったりできる入浴方法（入浴時間やマンツーマン方法等）に取り組んでいる	a	b	c	d	e		
	リハビリ・機能訓練等	8. 24時間を通じた排泄のアセスメントを踏まえ、入居者の生活の質を維持しながら排泄を支援している	a	b	c	d	e		
	家族とのコミュニケーション	9. 入居者の意向や心身機能を踏まえ、在宅復帰につながるリハビリテーションを提供している	a	b	c	d	e		
		10. 入居者の施設内の生活ぶりや施設の取組等に関する情報を家族に定期的に共有している	a	b	c	d	e		
入居者の意思の尊重	11. 職員のベースでのケア提供や日課の消化にならないよう、その方の生活習慣等に沿った支援をしている	a	b	c	d	e			
	12. 入浴・排泄等の際、入居者の気持ちを尊重し、同性介助等に配慮している	a	b	c	d	e			
非常時のケア	13. 日頃の介護を通して入居者のわずかな変調等にも気づき、多職種に情報連携する体制を構築できている	a	b	c	d	e			
	14. 日常的な介護事故の発生を防ぐために十分な体制をとっている	a	b	c	d	e			
コミュニケーション・情報共有	15. ユニット・フロア内の職員間において業務上円滑なコミュニケーションを取ることができている	a	b	c	d	e			
	16. 支援する全職員が入居者に関する計画や記録を共有できるようにしている	a	b	c	d	e			
介護ロボット・ICTの利活用	17. 入居者の生活の質確保と介護職員の負担軽減とともに図れるよう、介護ロボット・ICTを活用している	a	b	c	d	e			
医療的ケア・ターミナルケア	18. 入居者・家族の意向を踏まえ必要に応じて喀痰吸引や点滴などを実施している	a	b	c	d	e			
	19. 事前にターミナル期を迎えたときにどうケアしてほしいかを入居者や家族と話し合っている	a	b	c	d	e			
	20. 看取りケアに力を入れている	a	b	c	d	e			

(13) 貴施設における介護職員・看護職員の離職の状況、年次有給休暇の付与・取得の状況、休憩時間及び時間外労働時間の実態についてご回答ください。
 ※回答対象は、すべて2022年度の実績とし、対象期間は2022年4月1日から2023年3月31日までとします。
 ※正規職員に加えて、非正規職員（パートタイム労働者等）についても集計対象とします。
 ※休憩時間及び時間外労働時間については、業務日報や勤務簿等の集計等に基づく概算で構いません。

	離職の状況		年次有給休暇の付与・取得の状況			
	令和4年度離職者数	令和3年3月31日時点の在籍者数	付与日数（施設全体の合計）		取得日数（施設全体の合計）	
介護職員	人	人	日	日	日	日
看護職員	人	人	日	日	日	日

日勤（休憩時間を含めて8時間以上のシフトの場合）の休憩時間（職員1人当たり1日平均）（介護職員・看護職員それぞれ1つ選択）

介護職員	○ 1. 30分未満 ○ 2. 30分以上40分未満 ○ 3. 40分以上50分未満 ○ 4. 50分以上60分未満 ○ 5. 60分以上70分未満 ○ 6. 70分以上					
看護職員	○ 1. 30分未満 ○ 2. 30分以上40分未満 ○ 3. 40分以上50分未満 ○ 4. 50分以上60分未満 ○ 5. 60分以上70分未満 ○ 6. 70分以上					

時間外労働時間（職員1人当たり1週間平均）（介護職員・看護職員それぞれ1つ選択）

介護職員	○ 1. 残業なし ○ 2. 5時間未満 ○ 3. 5時間以上10時間未満 ○ 4. 10時間以上15時間未満 ○ 5. 15時間以上20時間未満 ○ 6. 20時間以上					
看護職員	○ 1. 残業なし ○ 2. 5時間未満 ○ 3. 5時間以上10時間未満 ○ 4. 10時間以上15時間未満 ○ 5. 15時間以上20時間未満 ○ 6. 20時間以上					

3.各ユニットの運用状況や今後の設置意向等についてお伺いします。

(14) ～ (16) は設問 (5) で「**3.ユニット型個室**」又は「**4.ユニット型個室的多床室**」を「有」と選択した方にお伺いします。
 (17) は設問 (5) で「**1.従来型個室**」又は「**2.従来型多床室**」を「有」と選択した方にお伺いします。

(14) 貴施設における各ユニットの定員数ごとのユニットの数を回答してください。該当がない場合はユニットの欄に「0」を記入してください。

1. 8人ユニット	ユニット	3. 10人ユニット	ユニット	5. 12人ユニット	ユニット	7. 14人ユニット	ユニット	9. その他	ユニット
2. 9人ユニット	ユニット	4. 11人ユニット	ユニット	6. 13人ユニット	ユニット	8. 15人ユニット	ユニット		

(15) -①～ (15) -⑧について、(14) で1つ以上あると回答した定員数のユニットすべてについてご回答ください。
 ※例えば、10人ユニットが10ユニット、12人ユニットが2ユニットあると回答した場合は、(15) -③及び (15) -⑤にご回答ください。

(15) -① 貴施設の一般的な**8人ユニット**における入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。
 ※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置
 ※以下4つのそれぞれの時間帯において、**最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）**を記載してください。
 ※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一次的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（**特定の1つのユニット**における人数）
 ※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担に感じる業務
 回答の際は、**各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入**してください。
「1.とても負担に感じる」、「2.やや負担に感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」
 ※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に担当する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
リハビリテーション関連業務					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(15) -② 貴施設の一般的な9人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（特定の1つのユニットにおける人数）

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務

回答の際は、各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入してください。

「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に対応する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
リハビリテーション関連業務					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(15) -③ 貴施設の一般的な10人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（特定の1つのユニットにおける人数）

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務

回答の際は、各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入してください。

「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に対応する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
リハビリテーション関連業務					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(15) -④ 貴施設の一般的な**11人ユニット**における入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。
※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置
※以下4つのそれぞれの時間帯において、**最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）**を記載してください。
※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（**特定の1つのユニット**における人数）
※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務
回答の際は、**各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入**してください。
「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」
※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に担当する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
リハビリテーション関連業務					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(エ) **（設問（11）-①で「1.はい」を選択した場合に回答）**
10人のユニットと比べて11人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを**1つ**選択してください。
※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。
※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い 2. 10人ユニットと変わらない 3. わからない

(15) -⑤ 貴施設の一般的な**12人ユニット**における入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。
※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置
※以下4つのそれぞれの時間帯において、**最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）**を記載してください。
※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（**特定の1つのユニット**における人数）
※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務
回答の際は、**各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入**してください。
「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」
※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に担当する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
リハビリテーション関連業務					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(エ) **（設問（11）-①で「1.はい」を選択した場合に回答）**
10人のユニットと比べて12人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを**1つ**選択してください。
※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。
※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い 2. 10人ユニットと変わらない 3. わからない

(15) -⑥ 貴施設の一般的な13人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（特定の1つのユニットにおける人数）

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担に感じる業務

回答の際は、各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入してください。

「1.とても負担に感じる」、「2.やや負担に感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に担当する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
リハビリテーション関連業務					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(エ)（設問（11）-①で「1.はい」を選択した場合に回答）

10人のユニットと比べて13人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを1つ選択してください。

※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。

※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い 2. 10人ユニットと変わらない 3. わからない

(15) -⑦ 貴施設の一般的な14人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（特定の1つのユニットにおける人数）

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担に感じる業務

回答の際は、各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入してください。

「1.とても負担に感じる」、「2.やや負担に感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に担当する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
リハビリテーション関連業務					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(エ)（設問（11）-①で「1.はい」を選択した場合に回答）

10人のユニットと比べて14人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを1つ選択してください。

※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。

※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い 2. 10人ユニットと変わらない 3. わからない

(15) -⑧ 貴施設の一般的な15人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。
 ※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置
 ※以下4つのそれぞれの時間帯において、最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）を記載してください。
 ※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数					
	最も人数が少ない時点での人数					
看護職員	最も人数が多い時点での人数					
	最も人数が少ない時点での人数					

(イ) 入居者の要介護度別内訳（特定の1つのユニットにおける人数）
 ※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担に感じる業務
 回答の際は、各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入してください。
 「1.とても負担に感じる」、「2.やや負担に感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」
 ※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に担当する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
リハビリテーション関連業務					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(I) (設問 (11) -①で「1.はい」を選択した場合に回答)
 10人のユニットと比べて15人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを1つ選択してください。
 ※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。
 ※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い 2. 10人ユニットと変わらない 3. わからない

(16) ユニットにおける入居者の調整に当たり配慮している内容として当てはまるものをすべて選択してください。また、配慮している場合は、それぞれのユニット数の合計（定員数問わず）を回答してください。

	選択した場合	左記に配慮しているユニット数（施設全体での合計）
<input type="checkbox"/> 1. 職員の男女比を踏まえて男性入居者（もしくは女性入居者）の割合が高いユニットを設けている	⇒	ユニット
<input type="checkbox"/> 2. 要介護度や認知症の程度を踏まえて重度の入居者（もしくは軽度の入居者）の割合が高いユニットを設けている	⇒	ユニット
<input type="checkbox"/> 3. 医療的ケアが必要な入居者の割合が高いユニットを設けている	⇒	ユニット
<input type="checkbox"/> 4. 上記いずれも該当しない		

(17) 設問 (5) で「1.従来型個室」又は「2.従来型多居室」を「有」と選択した方にお伺いします。

(17) -① 多居室もしくは従来型個室から個室への今後の転換意向について、当てはまるものを1つ選択してください。
 ※選択肢中の「多居室」は、「従来型多居室」及び「ユニット型個室的多居室」の総称とします。

1. 多居室から従来型個室への転換を予定している 4. 転換する意向はない ⇒設問 (17) -③へ

2. 多居室からユニット型個室への転換を予定している 5. わからない

3. 従来型個室からユニット型個室への転換を予定している } ⇒設問 (17) -②へ

(17) -② (設問 (17) -①で、2.～3.を選択した場合に回答) ユニット型個室への転換に向けて、現在の状況として当てはまるものを1つ選択してください。

1. 法人内で建替え・改修に関する方針を検討している 4. 建替え・改修工事が完了し自治体の指定・許可を待っている

2. 自治体に建替え・改修に関する事前相談・手続きをしている 5. その他

3. 建替え・改修工事に着手している ()

(17) -③ (設問 (17) -①で、「4.転換する意向はない」を選択した場合に回答) ユニット型個室に転換する意向がない理由として、当てはまるものをすべて選択してください。

1. 現状の施設の居室タイプで十分なケアが提供できているため 6. 転換に伴う工事費用の捻出が難しいため

2. ユニット型個室への転換のメリットを感じていないため 7. 転換後のユニットリーダーの確保が難しいため

3. 入居者やその家族からユニット型個室への展開に対する要望がないため 8. ユニット型を運営するための職員の人材確保が難しいため

4. 施設を運営しながらの転換工事が難しいため 9. その他

5. 現在の施設構造上、改修等での対応が難しく、建替えや移転等が必要となるため ()

4. ユニットケア研修の受講状況等についてお伺いします。

(18) 貴施設におけるユニットリーダー研修及びユニットケア施設管理者研修の受講状況について教えてください。

ユニットの数 (施設全体の合計)	ユニット	ユニットリーダー研修の受講者数		人	ユニットケア施設管理者研修の受講者数	人
		うち、実地研修の未受講者数		人		

(19) 貴施設はユニットケア研修における実地研修の受入れ施設ですか。1つ選択してください。

1. はい 2. いいえ

(20) -① 貴施設のユニットリーダーはユニットリーダー研修の講義・演習（実地研修を除く）をオンラインで受講しましたが。当てはまるものを1つ選択してください。

1. ユニットリーダー全員がオンラインで受講している
 2. 一部のユニットリーダーがオンラインで受講している
 3. ユニットリーダー全員が対面・集合形式で受講している
 4. わからない

(20) -② (20) -①で「1.ユニットリーダー全員がオンラインで受講している」または「2.一部のユニットリーダーがオンラインで受講している」を選択した場合に回答。

オンラインによる研修の受講の効果として当てはまるものを各項目1つずつ選択してください。

		そ う 思 う	や や そ う 思 う	い え な い と も	そ う 思 わ な い	あ ま り 効 果 が あ ら な い	そ う 思 わ な い
動画の活用	1. 事前学習の動画視聴等にあたり、空き時間時間を効率的に活用できた	a	b	c	d	e	
	2. 受講後に講義内容を繰り返し復習できた	a	b	c	d	e	
講義・演習の進め方	3. 集合形式と比べて受講時に集中して受講できた	a	b	c	d	e	
	4. 集合形式と比べて受講時に内容の理解が進んだ	a	b	c	d	e	
	5. 集合形式と同様にグループワークを進行できた	a	b	c	d	e	
講師・受講者とのコミュニケーション	6. チャット等の活用により講義中の講師への質問がしやすかった	a	b	c	d	e	
	7. 普段交流の機会のない遠方の施設との演習や情報交換を通じて新たな気づきを得た	a	b	c	d	e	
受講環境	8. 自宅や施設の会議室等からでも問題なく受講できた（通信環境、PC操作、端末手配等）	a	b	c	d	e	
受講負担	9. 移動が不要になり施設運営への影響を最小限に抑えることができた	a	b	c	d	e	
	10. 移動が不要になり交通費・宿泊費等の出費を抑えることができた	a	b	c	d	e	

(21) 貴施設における (A) ユニットリーダー研修受講者に期待する役割と、(B) 当該項目に対して受講後に研修の効果を感じたかについて、当てはまるものを各項目1つずつ選択してください。

	(A) ユニットリーダー研修受講者に期待する役割					(B) 左記の項目に対して研修の効果を感じたか				
	期 待 し て い る	期 や し て い る	い え な い と も	期 待 し て い ない	全 く 期 待 し ない	効 果 を 感 じ た	感 じ た 効 果 を	い え な い と も	感 じ な い 効 果 を	全 く 効 果 を 感 じ な い
1. 個別ケア、生活支援技術（食事、排泄、入浴、睡眠等）の実践	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
2. 入居者の生活の質の向上に向けたケア計画の見直し	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
3. 重度化（医療処置、看取り、認知症等）した入居者への対応	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
4. ユニット内の職員の指導やチームの運営（マネジメント）	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
5. 入居者・家族とのコミュニケーション	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
6. 他職種との連携	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
7. 地域との連携	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e

(22) ユニットケア研修受講における課題として当てはまるものをすべて選択してください。

1. 実地研修施設までの距離が遠い
 2. 感染対策等の影響で実地研修を受講できていない
 3. 受講費用の負担感が大きい
 4. オンライン研修の受講環境を用意できない
 5. ユニットリーダーの役職以外にも広く受講することが望ましいが受講する業務上・金銭上の余裕がない
 6. その他 ()
 7. 課題は特にない

5. 貴施設における感染対策についてお伺いします。

(23) 直近3か年（令和2年4月1日から令和5年3月31日まで）における、貴施設の新型コロナウイルス感染症感染者の発生状況

①入居者における感染者数 (延べ人数)	人	②クラスター（※）の発生有無 ※クラスターとは、同時に5人以上の感染者が発生した状態を指す	○ 1 . 有 →③へ ○ 2 . 無	③クラスターの発生単位 ※②で「有」を選択した場合に回答	○ 1 . 1ユニット内で収束 ○ 2 . フロア全体で収束 ○ 3 . 施設内で収束 ○ 4 . その他
------------------------	---	--	------------------------	---------------------------------	--

(24) 貴施設における感染対策の実態として、当てはまるものをそれぞれ1つ選択してください。なお、複数の居室タイプを有する場合は、保有するすべての居室タイプの回答欄にご記入ください。
(例えば、ユニット型個室と従来型個室の2タイプの居室を保有する場合は、下記①及び③の表にご記入ください。)

	①ユニット型個室の場合					②ユニット型個室的多床室の場合				
	そ う 思 う	や や そ う 思 う	い え な ら い と も	そ あ う ま り わ な い	そ う 思 わ な い	そ う 思 う	や や そ う 思 う	い え な ら い と も	そ あ う ま り わ な い	そ う 思 わ な い
1. 入居者の体調の変化に早期に気づくことができる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
2. 看護職員等に日頃から入居者の情報をこまめに共有することで健康管理や予防につなげている	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
3. 感染（疑い）者の隔離が容易である	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
4. 感染者が発生した場合であっても感染の拡大が容易である	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
5. ゾーニングの計画及び実践の負担が小さい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
6. 感染症発生時においても家族との面会の機会の確保・維持ができています	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
7. 感染症発生時・予防策における職員の精神的な負担が大きい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
8. 感染エリアの居室において体調管理のための頻回な訪室が必要となる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
9. 居室や共用部のトイレ、洗面台等における清掃・消毒の業務負担が大きい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
10. 感染エリアで対応する職員のシフトや行動が制限され、連続勤務や時間外労働が生じる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
11. 感染エリアで対応する職員とそうでない職員の負担が偏り、職員から不満が生じる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e

	③従来型個室の場合					④従来型多床室の場合				
	そ う 思 う	や や そ う 思 う	い え な ら い と も	そ あ う ま り わ な い	そ う 思 わ な い	そ う 思 う	や や そ う 思 う	い え な ら い と も	そ あ う ま り わ な い	そ う 思 わ な い
1. 入居者の体調の変化に早期に気づくことができる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
2. 看護職員等に日頃から入居者の情報をこまめに共有することで健康管理や予防につなげている	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
3. 感染（疑い）者の隔離が容易である	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
4. 感染者が発生した場合であっても感染の拡大が容易である	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
5. ゾーニングの計画及び実践の負担が小さい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
6. 感染症発生時においても家族との面会の機会の確保・維持ができています	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
7. 感染症発生時・予防策における職員の精神的な負担が大きい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
8. 感染エリアの居室において体調管理のための頻回な訪室が必要となる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
9. 居室や共用部のトイレ、洗面台等における清掃・消毒の業務負担が大きい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
10. 感染エリアで対応する職員のシフトや行動が制限され、連続勤務や時間外労働が生じる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
11. 感染エリアで対応する職員とそうでない職員の負担が偏り、職員から不満が生じる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e

(25) 感染対策に当たり、活用した補助金・支援策として当てはまるものをすべて選択してください。
※感染対策の対象は新型コロナウイルス感染症以外も含みます。
※選択肢中の「多床室」は、「従来型多床室」及び「ユニット型個室的多床室」の総称とします。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 簡易陰圧装置の設置に係る経費支援（居室等に簡易陰圧装置を設置又は簡易陰圧装置を据えるとともに簡易的なダクト工事等） | <input type="checkbox"/> 4. 家族面会室の整備等経費支援（感染症の感染拡大防止のために必要な家族面会室の整備） |
| <input type="checkbox"/> 2. ユニット型施設の各ユニットへの玄関室設置によるゾーニング経費支援（各ユニットの共同生活室の入口に玄関室を設置する等により、消毒や防護服の着脱等を行うためのスペース設置） | <input type="checkbox"/> 5. 多床室の個室化に要する改修費支援（感染が疑われる利用者同士のスペースを空間的に分離できるよう、多床室を個室化するための改修） |
| <input type="checkbox"/> 3. 従来型個室・多床室のゾーニング経費支援（感染者と非感染者の動線を分離することを目的とした従来型個室・多床室の改修） | <input type="checkbox"/> 6. その他（ ） |
| | <input type="checkbox"/> 7. 特になし |
| | <input type="checkbox"/> 8. わからない |

6. 個室ユニット整備に関する国・自治体に対しての要望等についてお伺いします。

(26) 個室ユニット整備・推進において自治体に求める支援として、当てはまるものをすべて選択してください。

<input type="checkbox"/> 1. 施設整備（新規開設、増築、改築等）に関する補助金の補助率・補助上限額の引上げ	<input type="checkbox"/> 6. ユニット型施設の経営（内部管理、業務改善等）の効果的な事例の共有
<input type="checkbox"/> 2. 開設準備や運営に関する補助金の補助率・補助上限額の引上げ	<input type="checkbox"/> 7. ユニット型施設の感染症対策の好事例の共有
<input type="checkbox"/> 3. 一部ユニット型施設等における許認可手続きの簡略化	<input type="checkbox"/> 8. その他（ ）
<input type="checkbox"/> 4. ユニット型施設職員向け研修の実施（法定研修以外）	<input type="checkbox"/> 9. 特に支援は求めていない（ ）
<input type="checkbox"/> 5. ユニット型施設のケアの質向上の好事例の共有	

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(11) -④ ((11) -①で、「1.はい」を選択した場合に回答)		多い／大きい	／やや大きい	やが多い	変わらない	／やや小さい	やや小さい	／小さい	少ない	わからない
10人以下のユニットと比べて、11人以上ユニットの業務の実態として当てはまるものを各項目1つずつ選択してください。 ※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。 ※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。										
入居者に対するケアの内容	1. 入居者1人当たりにかかる情報収集やコミュニケーションの時間	a	b	c	d	e	f			
	2. 入居者の生活リズムに沿ったケア提供を行うことができる場面の頻度	a	b	c	d	e	f			
	3. 入浴、排泄等人手がかかる介助をスムーズに行うことができる場面の頻度	a	b	c	d	e	f			
職員間の連携、教育	4. 見守りや急変が生じた場合に他の職員に助けを求める際の負担	a	b	c	d	e	f			
	5. ユニットリーダーにおけるユニット職員に対する教育・管理の負担	a	b	c	d	e	f			
入居者・職員の管理	6. ユニットにおける職員の勤務シフト作成に関する負担	a	b	c	d	e	f			
	7. 入居者の相性を踏まえたユニット間や居室の調整に関する負担	a	b	c	d	e	f			
職員における業務負担	8. 職員1人当たりの業務時間（時間外労働の時間も含む）	a	b	c	d	e	f			
	9. 事故予防に関する職員における緊張感や不安感	a	b	c	d	e	f			

(12) 入居者へのケアの質向上に向けてどのような点を意識して取り組んでいますか。各項目1つずつ選択してください。

なお、従来型居室とユニット型居室をいずれも保有する場合は、それぞれの状況をご回答ください。

【ユニット型個室またはユニット型個室的多居室の場合】

		そう思う	ややそう思う	いえならないとも	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
アセスメント・モニタリング	1. 入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている	a	b	c	d	e	
施設ケアプラン及びケア計画	2. 入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している	a	b	c	d	e	
日常のケア	起床・離床、着替え	3. 入居者の状態像に応じた起床介助や、着替えて居室以外の場所で過ごすための支援等を行っている	a	b	c	d	e
		4. 経口での食事が困難になっても、食べる楽しみを得られるよう、多職種で協力して支援している	a	b	c	d	e
	食事、摂食、水分摂取	5. 入居者の食器や補食の持ち込みを認めるなど食事に関する意向を実現できている	a	b	c	d	e
		6. 所定の日数以外にも入浴・清拭のニーズがある場合は、対応できる体制をとっている	a	b	c	d	e
	入浴、排せつ	7. 入居者がゆったりできる入浴方法（入浴時間やマンツーマン方法等）に取り組んでいる	a	b	c	d	e
		8. 24時間を通じた排泄のアセスメントを踏まえ、入居者の生活の質を維持しながら排泄を支援している	a	b	c	d	e
	リハビリ・機能訓練等	9. 入居者の意向を踏まえたレクリエーションやアクティビティ、個別的な外出支援等を行っている	a	b	c	d	e
	家族とのコミュニケーション	10. 入居者の施設内の生活ぶりや施設の取組等に関する情報を家族に定期的に共有している	a	b	c	d	e
	入居者の意思の尊重	11. 職員のペースでのケア提供や日課の消化にならないよう、その方の生活習慣等に沿った支援をしている	a	b	c	d	e
		12. 入浴・排泄等の際、入居者の気持ちを尊重し、同性介助等に配慮している	a	b	c	d	e
	非常時のケア	13. 日頃の介護を通して入居者のわずかな変調等にも気づき、多職種に情報連携する体制を構築できている	a	b	c	d	e
		14. 日常的な介護事故の発生を防ぐために十分な体制をとっている	a	b	c	d	e
コミュニケーション・情報共有	15. ユニット・フロア内の職員間において業務上円滑なコミュニケーションを取ることができている	a	b	c	d	e	
	16. 支援する全職員が入居者に関する計画や記録を共有できるようにしている	a	b	c	d	e	
介護ロボット・ICTの利活用	17. 入居者の生活の質確保と介護職員の負担軽減とともに図れるよう介護ロボット・ICTを活用している	a	b	c	d	e	
医療的ケア・ターミナルケア	18. 入居者・家族の意向を踏まえ必要に応じて喀痰吸引や点滴などを実施している	a	b	c	d	e	
	19. 事前にターミナル期を迎えたときにどうケアしてほしいかを入居者や家族と話し合っている	a	b	c	d	e	
	20. 看取りケアに力を入れている	a	b	c	d	e	

【従来型個室または従来型多居室の場合】

		そう思う	ややそう思う	いえならないとも	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
アセスメント・モニタリング	1. 入居者の生活習慣や意向を把握するために日常的にコミュニケーションや観察を行っている	a	b	c	d	e	
施設ケアプラン及びケア計画	2. 入所者の意向や心身機能の状態を踏まえたケアプランやケア計画を作成している	a	b	c	d	e	
日常のケア	起床・離床、着替え	3. 入居者の状態像に応じた起床介助や、着替えて居室以外の場所で過ごすための支援等を行っている	a	b	c	d	e
		4. 経口での食事が困難になっても、食べる楽しみを得られるよう、多職種で協力して支援している	a	b	c	d	e
	食事、摂食、水分摂取	5. 入居者の食器や補食の持ち込みを認めるなど食事に関する意向を実現できている	a	b	c	d	e
		6. 所定の日数以外にも入浴・清拭のニーズがある場合は、対応できる体制をとっている	a	b	c	d	e
	入浴、排せつ	7. 入居者がゆったりできる入浴方法（入浴時間やマンツーマン方法等）に取り組んでいる	a	b	c	d	e
		8. 24時間を通じた排泄のアセスメントを踏まえ、入居者の生活の質を維持しながら排泄を支援している	a	b	c	d	e
	リハビリ・機能訓練等	9. 入居者の意向を踏まえたレクリエーションやアクティビティ、個別的な外出支援等を行っている	a	b	c	d	e
	家族とのコミュニケーション	10. 入居者の施設内の生活ぶりや施設の取組等に関する情報を家族に定期的に共有している	a	b	c	d	e
	入居者の意思の尊重	11. 職員のペースでのケア提供や日課の消化にならないよう、その方の生活習慣等に沿った支援をしている	a	b	c	d	e
		12. 入浴・排泄等の際、入居者の気持ちを尊重し、同性介助等に配慮している	a	b	c	d	e
	非常時のケア	13. 日頃の介護を通して入居者のわずかな変調等にも気づき、多職種に情報連携する体制を構築できている	a	b	c	d	e
		14. 日常的な介護事故の発生を防ぐために十分な体制をとっている	a	b	c	d	e
コミュニケーション・情報共有	15. ユニット・フロア内の職員間において業務上円滑なコミュニケーションを取ることができている	a	b	c	d	e	
	16. 支援する全職員が入居者に関する計画や記録を共有できるようにしている	a	b	c	d	e	
介護ロボット・ICTの利活用	17. 入居者の生活の質確保と介護職員の負担軽減とともに図れるよう、介護ロボット・ICTを活用している	a	b	c	d	e	
医療的ケア・ターミナルケア	18. 入居者・家族の意向を踏まえ必要に応じて喀痰吸引や点滴などを実施している	a	b	c	d	e	
	19. 事前にターミナル期を迎えたときにどうケアしてほしいかを入居者や家族と話し合っている	a	b	c	d	e	
	20. 看取りケアに力を入れている	a	b	c	d	e	

(13) 貴施設における介護職員・看護職員の離職の状況、年次有給休暇の付与・取得の状況、休憩時間及び時間外労働時間の実態についてご回答ください。

※回答対象は、すべて2022年度の実績とし、対象期間は2022年4月1日から2023年3月31日までとします。

※正規職員に加えて、非正規職員（パートタイム労働者等）についても集計対象とします。

※休憩時間及び時間外労働時間については、業務日報や勤務簿等の集計等に基づく概算で構いません。

	離職の状況				年次有給休暇の付与・取得の状況			
	令和4年度離職者数		令和3年3月31日時点の在籍者数		付与日数（施設全体の合計）		取得日数（施設全体の合計）	
介護職員	人		人		日		日	
看護職員	人		人		日		日	
日勤（休憩時間を含めて8時間以上のシフトの場合）の休憩時間（職員1人当たり1日平均）（介護職員・看護職員それぞれ1つ選択）								
介護職員	○ 1. 30分未満 ○ 2. 30分以上40分未満 ○ 3. 40分以上50分未満 ○ 4. 50分以上60分未満 ○ 5. 60分以上70分未満 ○ 6. 70分以上							
看護職員	○ 1. 30分未満 ○ 2. 30分以上40分未満 ○ 3. 40分以上50分未満 ○ 4. 50分以上60分未満 ○ 5. 60分以上70分未満 ○ 6. 70分以上							
時間外労働時間（職員1人当たり1週間平均）（介護職員・看護職員それぞれ1つ選択）								
介護職員	○ 1. 残業なし ○ 2. 5時間未満 ○ 3. 5時間以上10時間未満 ○ 4. 10時間以上15時間未満 ○ 5. 15時間以上20時間未満 ○ 6. 20時間以上							
看護職員	○ 1. 残業なし ○ 2. 5時間未満 ○ 3. 5時間以上10時間未満 ○ 4. 10時間以上15時間未満 ○ 5. 15時間以上20時間未満 ○ 6. 20時間以上							

3.各ユニットの運用状況や今後の設置意向等についてお伺いします。

(14)～(16)は設問(5)で「**3.ユニット型個室**」又は「**4.ユニット型個室的多床室**」を「有」と選択した方にお伺いします。

(17)は設問(5)で「**1.従来型個室**」又は「**2.従来型多床室**」を「有」と選択した方にお伺いします。

(14) 貴施設における各ユニットの定員数ごとのユニットの数を回答してください。該当がない場合はユニットの欄に「0」を記入してください。

1. 8人ユニット	ユニット	3. 10人ユニット	ユニット	5. 12人ユニット	ユニット	7. 14人ユニット	ユニット	9. その他	ユニット
2. 9人ユニット	ユニット	4. 11人ユニット	ユニット	6. 13人ユニット	ユニット	8. 15人ユニット	ユニット		

(15) -①～(15) -⑧について、(14)で1つ以上あると回答した定員数のユニットすべてについてご回答ください。

※例えば、10人ユニットが10ユニット、12人ユニットが2ユニットあると回答した場合は、(15) -③及び(15) -⑥にご回答ください。

(15) -④ 貴施設の一般的な**8人ユニット**における入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、**最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）**を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

	朝（6時台～8時台）		午前（9時台～11時台）		昼（12時台～13時台）		午後（14時台～16時台）		夜間（17時台～21時台）	
	介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（**特定1つのユニット**における人数）

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務

回答の際は、**各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入**してください。

「**1.とても負担を感じる**」、「**2.やや負担を感じる**」、「**3.あまり負担を感じない**」、「**4.全く負担を感じない**」、「**5.実施していない**」

※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に対応する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(15) -② 貴施設の一般的な9人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、**最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）**を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（**特定の1つのユニット**における人数）

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担に感じる業務

回答の際は、**各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入**してください。

「1.とても負担に感じる」、「2.やや負担に感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に対応する介護助手等）における業務負担感を含めずに回答してください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(15) -③ 貴施設の一般的な10人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、**最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）**を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（**特定の1つのユニット**における人数）

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担に感じる業務

回答の際は、**各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入**してください。

「1.とても負担に感じる」、「2.やや負担に感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に対応する介護助手等）における業務負担感を含めずに回答してください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア （喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業 （介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(15) -④ 貴施設の一般的な11人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、**最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）**を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（**特定の1つのユニット**における人数）

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務

回答の際は、**各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入**してください。

「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に担当する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業（介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(エ) **（設問（11）-①で「1.はい」を選択した場合に回答）**

10人のユニットと比べて11人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを**1つ**選択してください。

※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。

※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い 2. 10人ユニットと変わらない 3. わからない

(15) -⑤ 貴施設の一般的な12人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、**最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数（実人数）**を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳（**特定の1つのユニット**における人数）

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中（※）
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務

回答の際は、**各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入**してください。

「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種（事務職員や間接業務を主に担当する介護助手等）における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝（6時台～8時台）	午前（9時台～11時台）	昼（12時台～13時台）	午後（14時台～16時台）	夜間（17時台～21時台）
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養、点滴等）					
身の回りの世話					
事務作業（介護記録等の書類作成を含む）					
間接業務 （掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務）					

(エ) **（設問（11）-①で「1.はい」を選択した場合に回答）**

10人のユニットと比べて12人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを**1つ**選択してください。

※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。

※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い 2. 10人ユニットと変わらない 3. わからない

(15) -⑥ 貴施設の一般的な13人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数(実人数)を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝 (6時台～8時台)	午前 (9時台～11時台)	昼 (12時台～13時台)	午後 (14時台～16時台)	夜間 (17時台～21時台)
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳 (特定の1つのユニットにおける人数)

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中(※)
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務

回答の際は、各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入してください。

「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種(事務職員や間接業務を主に担当する介護助手等)における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝 (6時台～8時台)	午前 (9時台～11時台)	昼 (12時台～13時台)	午後 (14時台～16時台)	夜間 (17時台～21時台)
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア(喀痰吸引、経管栄養、点滴等)					
身の回りの世話					
事務作業(介護記録等の書類作成を含む)					
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)					

(エ) (設問(11)-①で「1.はい」を選択した場合に回答)

10人のユニットと比べて13人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを1つ選択してください。

※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。

※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

○ 1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い ○ 2. 10人ユニットと変わらない ○ 3. わからない

(15) -⑦ 貴施設の一一般的な14人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数(実人数)を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝 (6時台～8時台)	午前 (9時台～11時台)	昼 (12時台～13時台)	午後 (14時台～16時台)	夜間 (17時台～21時台)
介護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人
看護職員	最も人数が多い時点での人数	人	人	人	人	人
	最も人数が少ない時点での人数	人	人	人	人	人

(イ) 入居者の要介護度別内訳 (特定の1つのユニットにおける人数)

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中(※)
人	人	人	人	人	人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務

回答の際は、各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入してください。

「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種(事務職員や間接業務を主に担当する介護助手等)における業務負担感を含めずにご回答ください。

業務	朝 (6時台～8時台)	午前 (9時台～11時台)	昼 (12時台～13時台)	午後 (14時台～16時台)	夜間 (17時台～21時台)
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア(喀痰吸引、経管栄養、点滴等)					
身の回りの世話					
事務作業(介護記録等の書類作成を含む)					
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)					

(エ) (設問(11)-①で「1.はい」を選択した場合に回答)

10人のユニットと比べて14人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを1つ選択してください。

※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。

※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

○ 1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い ○ 2. 10人ユニットと変わらない ○ 3. わからない

(15) -⑧ 貴施設の一般的な15人ユニットにおける入居者と職員配置の状況、業務負担について回答してください。

※「一般的なユニット」とは、入居者の入居状況や職員の配置・シフト等のパターンが最もよくあるユニットを指します。また、本設問の回答対象とするユニットは任意で選定いただいて構いません。

(ア) 時間帯別の職員の配置

※以下4つのそれぞれの時間帯において、最も人数が多い時点での人数及び最も人数が少ない時点での人数(実人数)を記載してください。

※夜間の人員配置基準「2ユニットに1人」に準じて、ユニットに常駐する職員が一時的に不在になる時点が存在する場合は「0人」とご回答ください。

		朝 (6時台～8時台)		午前 (9時台～11時台)		昼 (12時台～13時台)		午後 (14時台～16時台)		夜間 (17時台～21時台)	
介護職員	最も人数が多い時点での人数		人		人		人		人		人
	最も人数が少ない時点での人数		人		人		人		人		人
看護職員	最も人数が多い時点での人数		人		人		人		人		人
	最も人数が少ない時点での人数		人		人		人		人		人

(イ) 入居者の要介護度別内訳 (特定の1つのユニットにおける人数)

※「申請中」には、区分変更中の場合や、入所時点で区分未決定の場合を含みます。

要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		申請中(※)	
	人		人		人		人		人		人

(ウ) 介護・看護職員において負担を感じる業務

回答の際は、各時間帯について、以下の選択肢に対応する番号をいずれか1つずつ記入してください。

「1.とても負担を感じる」、「2.やや負担を感じる」、「3.あまり負担に感じない」、「4.全く負担に感じない」、「5.実施していない」

※介護・看護職員以外の職種(事務職員や間接業務を主に対応する介護助手等)における業務負担感を含めずに回答してください。

業務	朝 (6時台～8時台)	午前 (9時台～11時台)	昼 (12時台～13時台)	午後 (14時台～16時台)	夜間 (17時台～21時台)
入浴介助					
排泄介助					
食事介助					
医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養、点滴等)					
身の回りの世話					
事務作業 (介護記録等の書類作成を含む)					
間接業務 (掃除、洗濯等、利用者に直接触れない業務)					

(エ) (設問(11)-①で「1.はい」を選択した場合に回答)

10人のユニットと比べて15人ユニットの職員数に違いはありますか。当てはまるものを1つ選択してください。

※令和3年度改定で11人以上のユニットを設置した場合は改定前後での比較、そうでない場合は他の10人以下のユニットと比較してください。

※10人のユニットがない場合、10人以下のユニットのうち、最も定員数が多いユニットと比較してください。

1. 10人ユニットよりも1ユニット当たりの職員数が多い 2. 10人ユニットと変わらない 3. わからない

(16) ユニットにおける入居者の調整に当たり配慮している内容として当てはまるものをすべて選択してください。また、配慮している場合は、それぞれのユニット数の合計(定員数問わず)を回答してください。

	選択した場合	左記に配慮しているユニット数(施設全体での合計)		
<input type="checkbox"/> 1. 職員の男女比を踏まえて男性入居者(もしくは女性入居者)の割合が高いユニットを設けている	➔	<table border="1"><tr><td></td><td>ユニット</td></tr></table>		ユニット
	ユニット			
<input type="checkbox"/> 2. 要介護度や認知症の程度を踏まえて重度の入居者(もしくは軽度の入居者)の割合が高いユニットを設けている	➔	<table border="1"><tr><td></td><td>ユニット</td></tr></table>		ユニット
	ユニット			
<input type="checkbox"/> 3. 医療的ケアが必要な入居者の割合が高いユニットを設けている	➔	<table border="1"><tr><td></td><td>ユニット</td></tr></table>		ユニット
	ユニット			
<input type="checkbox"/> 4. 上記いずれも該当しない				

(17) 設問(5)で「1.従来型個室」又は「2.従来型多床室」を「有」と選択した方にお伺いします。

(17)-① 多床室もしくは従来型個室から個室への今後の転換意向について、当てはまるものを1つ選択してください。

※選択肢中の「多床室」は、「従来型多床室」及び「ユニット型個室的多床室」の総称とします。

1. 多床室から従来型個室への転換を予定している 4. 転換する意向はない ⇒設問(17)-③へ
2. 多床室からユニット型個室の転換を予定している 5. わからない
3. 従来型個室からユニット型個室の転換を予定している } ⇒設問(17)-②へ

(17)-② (設問(17)-①で、2.～3.を選択した場合に回答) ユニット型個室への転換に向けて、現在の状況として当てはまるものを1つ選択してください。

1. 法人内で建替え・改修に関する方針を検討している 4. 建替え・改修工事が完了し自治体の指定・許可を待っている
2. 自治体に建替え・改修に関する事前相談・手続きをしている 5. その他
3. 建替え・改修工事に着手している ()

(17)-③ (設問(17)-①で、「4.転換する意向はない」を選択した場合に回答) ユニット型個室に転換する意向がない理由として、当てはまるものをすべて選択してください。

1. 現状の施設の居室タイプで十分なケアが提供できているため 6. 転換に伴う工事費用の捻出が難しいため
2. ユニット型個室への転換のメリットを感じていないため 7. 転換後のユニットリーダーの確保が難しいため
3. 入居者やその家族からユニット型個室への展開に対する要望がないため 8. ユニット型を運営するための職員の人材確保が難しいため
4. 施設を運営しながらの転換工事が難しいため 9. その他
5. 現在の施設構造上、改修等での対応が難しく、建替えや移転等が必要となるため ()

5. 貴施設における感染対策についてお伺いします。

(23) 直近3か年（令和2年4月1日から令和5年3月31日まで）における、貴施設の新型コロナウイルス感染症感染者の発生状況

①入居者における感染者数 (延べ人数)	人	②クラスター（※）の発生有無 ※クラスターとは、同時に5人以上の 感染者が発生した状態を指す	○ 1. 有 →③へ ○ 2. 無	③クラスターの発生単位 ※②で「有」を選択した 場合に回答	○ 1. 1ユニット内で収束 ○ 2. フロア全体で収束 ○ 3. 施設内で収束 ○ 4. その他
------------------------	---	--	----------------------	-------------------------------------	--

(24) 貴施設における感染対策の実態として、当てはまるものを**それぞれ1つ**選択してください。なお、複数の居室タイプを有する場合は、保有するすべての居室タイプの回答欄にご記入ください。
(例えば、ユニット型個室と従来型個室の2タイプの居室を保有する場合は、下記①及び③の表にご記入ください。)

	①ユニット型個室の場合					②ユニット型個室的多床室の場合						
	そう 思う	やや そう 思う	い え な い	ど ち ら と も	そ う あ ま り 思 わ な い	そ う 思 わ な い	そう 思う	やや そう 思う	い え な い	ど ち ら と も	そ う あ ま り 思 わ な い	そ う 思 わ な い
1. 入居者の体調の変化に早期に気づくことができる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
2. 看護職員等に日頃から入居者の情報をこまめに共有することで健康管理や予防につなげている	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
3. 感染（疑い）者の隔離が容易である	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
4. 感染者が発生した場合であっても感染の拡大が容易である	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
5. ソーニングの計画及び実践の負担が小さい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
6. 感染症発生時においても家族との面会の機会の確保・維持ができています	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
7. 感染症発生時・予防策における職員の精神的な負担が大きい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
8. 感染エリアの居室において体調管理のための頻回な訪室が必要となる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
9. 居室や共用部のトイレ、洗面台等における清掃・消毒の業務負担が大きい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
10. 感染エリアで対応する職員のシフトや行動が制限され、連続勤務や時間外労働が生じる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
11. 感染エリアで対応する職員とそうでない職員の負担が偏り、職員から不満が生じる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
	③従来型個室の場合					④従来型多床室の場合						
	そう 思う	やや そう 思う	い え な い	ど ち ら と も	そ う あ ま り 思 わ な い	そ う 思 わ な い	そう 思う	やや そう 思う	い え な い	ど ち ら と も	そ う あ ま り 思 わ な い	そ う 思 わ な い
1. 入居者の体調の変化に早期に気づくことができる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
2. 看護職員等に日頃から入居者の情報をこまめに共有することで健康管理や予防につなげている	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
3. 感染（疑い）者の隔離が容易である	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
4. 感染者が発生した場合であっても感染の拡大が容易である	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
5. ソーニングの計画及び実践の負担が小さい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
6. 感染症発生時においても家族との面会の機会の確保・維持ができています	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
7. 感染症発生時・予防策における職員の精神的な負担が大きい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
8. 感染エリアの居室において体調管理のための頻回な訪室が必要となる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
9. 居室や共用部のトイレ、洗面台等における清掃・消毒の業務負担が大きい	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
10. 感染エリアで対応する職員のシフトや行動が制限され、連続勤務や時間外労働が生じる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		
11. 感染エリアで対応する職員とそうでない職員の負担が偏り、職員から不満が生じる	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e		

(25) 感染対策に当たり、活用した補助金・支援策として当てはまるものを**すべて**選択してください。

※感染対策の対象は新型コロナウイルス感染症以外も含みます。

※選択肢中の「多床室」は、「従来型多床室」及び「ユニット型個室的多床室」の総称とします。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 簡易陰圧装置の設置に係る経費支援（居室等に簡易陰圧装置を設置又は簡易陰圧装置を据えらるとともに簡易的なダクト工事等） | <input type="checkbox"/> 4. 家族面会室の整備等経費支援
(感染症の感染拡大防止のために必要な家族面会室の整備) |
| <input type="checkbox"/> 2. ユニット型施設の各ユニットへの玄関室設置によるソーニング経費支援
(各ユニットの共同生活室の入口に玄関室を設置する等により、消毒や防護服の着脱等を行うためのスペース設置) | <input type="checkbox"/> 5. 多床室の個室化に要する改修費支援（感染が疑われる利用者同士のスペースを空間的に分離できるよう、多床室を個室化するための改修） |
| <input type="checkbox"/> 3. 従来型個室・多床室のソーニング経費支援
(感染者と非感染者の動線を分離することを目的とした従来型個室・多床室の改修) | <input type="checkbox"/> 6. その他
() |
| | <input type="checkbox"/> 7. 特になし |
| | <input type="checkbox"/> 8. わからない |

6. 個室ユニット整備に関する国・自治体に対しての要望等についてお伺いします。

(26) 個室ユニット整備・推進において自治体に求める支援として、当てはまるものを**すべて**選択してください。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 施設整備（新規開設、増築、改築等）に関する補助金の補助率・補助上限額の引上げ | <input type="checkbox"/> 6. ユニット型施設の経営（内部管理、業務改善等）の効果的な事例の共有 |
| <input type="checkbox"/> 2. 開設準備や運営に関する補助金の補助率・補助上限額の引上げ | <input type="checkbox"/> 7. ユニット型施設の感染症対策の好事例の共有 |
| <input type="checkbox"/> 3. 一部ユニット型施設等における許認可手続きの簡略化 | <input type="checkbox"/> 8. その他
() |
| <input type="checkbox"/> 4. ユニット型施設職員向け研修の実施（法定研修以外） | <input type="checkbox"/> 9. 特に支援は求めていない
() |
| <input type="checkbox"/> 5. ユニット型施設のケアの質向上の好事例の共有 | |

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

令和5年度 介護報酬改定検証・研究調査（厚生労働省委託調査）

個室ユニット型施設の整備・運営状況に関する調査研究事業

※ 1 本調査票は、ユニット型施設の整備・運営指導の御担当者の方が御回答ください。

※ 2 回答の際は、あてはまる番号や記号を○で囲んでください。

※ 3 具体的な数値等を御記入いただく部分もあります。該当がない場合には「0」、分からない場合には「-」と御記入ください。

※ 4 調査時点は、**令和5年6月1日時点**または、質問に記載している期間とします。

※ 5 それぞれの所管事務に基づき、以下の項目へ御回答をお願いいたします。

都道府県：「★」を除く、全ての設問に御回答ください。

指定都市：全ての設問に御回答ください。 **中核市**：（12）（13）を除く、全ての設問に御回答ください。

指定都市・中核市以外の市町村：「★」及び【※対象：全都道府県・市町村（中核市・政令指定都市を含む）】の設問に御回答ください。

1. 貴自治体の概要についてお伺いします。

(1) 自治体名		都道府県		市町村
(2) 部署名		(3) 電話番号		

(4) 貴自治体が指定・許可している施設数及び床数

	令和2年度末時点			令和5年度末時点 ※令和5年6月1日時点の見込み数		
	施設	床		施設	床	
1. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)						
うち、ユニット型施設	施設	床		施設	床	
ユニット型施設のうち、 個室的多床室	施設	床		施設	床	
ユニット型施設のうち、 従来型併設施設	施設	床		施設	床	
★ 2. 地域密着型介護老人 福祉施設入所者生活介護	施設	床		施設	床	
うち、ユニット型施設	施設	床		施設	床	
ユニット型施設のうち、 個室的多床室	施設	床		施設	床	
ユニット型施設のうち、 従来型併設施設	施設	床		施設	床	
3. 介護老人保健施設	施設	床		施設	床	
うち、ユニット型施設	施設	床		施設	床	
ユニット型施設のうち、 個室的多床室	施設	床		施設	床	
ユニット型施設のうち、 従来型併設施設	施設	床		施設	床	
4. 介護医療院	施設	床		施設	床	
うち、ユニット型施設	施設	床		施設	床	
ユニット型施設のうち、 個室的多床室	施設	床		施設	床	
ユニット型施設のうち、 従来型併設施設	施設	床		施設	床	

2. 基準の内容についてお伺いします。

(5) 個室ユニット型施設の1ユニットの定員に関する基準の有無（以下の選択肢からサービスごとに1つ○をつけてください）

※条例等（施行規則等も含む）で定めている場合、「01.有」を選択してください。

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	01.有 →設問(5)-①へ	02.無 →設問(6)へ
★ 2. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	01.有 →設問(5)-①へ	02.無 →設問(6)へ
3. 介護老人保健施設	01.有 →設問(5)-①へ	02.無 →設問(6)へ
4. 介護医療院	01.有 →設問(5)-①へ	02.無 →設問(6)へ

(5) で「01.有」とお答えの自治体にお伺いします。

(5) -① 厚生労働省令と比較した場合、貴自治体の基準の内容（以下の選択肢からサービスごとに1つ○をつけてください）

※厚生労働省令（「原則としておおむね10人以下とし、15人を超えないものとする。」）と原則の定員数及び最大定員数が同じ場合、「01.同一」を選択してください。

	1) 令和2年度以前		2) 令和3年度以降	
1. 介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	01.同一	02.異なる	01.同一	02.異なる
★ 2. 地域密着型介護老人 福祉施設入所者生活介護	01.同一	02.異なる	01.同一	02.異なる
3. 介護老人保健施設	01.同一	02.異なる	01.同一	02.異なる
4. 介護医療院	01.同一	02.異なる	01.同一	02.異なる

(5) -① 1) 2) で「02.異なる」を選択した自治体にお伺いします。

(5) -② 条例等で定める個室ユニット型施設の1ユニットあたりの最大の定員数（以下の選択肢からサービスごとに1つ○をつけてください）

※例えば、「原則としておおむね10人以下とし、13人を超えないものとする。」と定めている場合、「04.13人」を選択してください。

1) 令和2年度以前	
1. 介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	01.10人 02.11人 03.12人 04.13人 05.14人 06.15人 07.その他
★ 2. 地域密着型介護老人 福祉施設入所者生活介護	01.10人 02.11人 03.12人 04.13人 05.14人 06.15人 07.その他
3. 介護老人保健施設	01.10人 02.11人 03.12人 04.13人 05.14人 06.15人 07.その他
4. 介護医療院	01.10人 02.11人 03.12人 04.13人 05.14人 06.15人 07.その他
2) 令和3年度以降	
1. 介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	01.10人 02.11人 03.12人 04.13人 05.14人 06.15人 07.その他
★ 2. 地域密着型介護老人 福祉施設入所者生活介護	01.10人 02.11人 03.12人 04.13人 05.14人 06.15人 07.その他
3. 介護老人保健施設	01.10人 02.11人 03.12人 04.13人 05.14人 06.15人 07.その他
4. 介護医療院	01.10人 02.11人 03.12人 04.13人 05.14人 06.15人 07.その他

★ (7) -② 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（ユニット型）に対する施設整備費補助事業の財源
 （当てはまるものすべてに○をつけてください）

1) 創設	01 地域医療介護総合確保基金 02 貴自治体の一般財源 03 その他（ ）
2) 改築等	01 地域医療介護総合確保基金 02 貴自治体の一般財源 03 その他（ ）

(8) 整備目標について、お伺いします。

(8) -①施設整備に関する指針（当てはまるものに120をつけてください。）

1 . 介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	01 ユニット型のみ整備を認めている 02 特に条件は定めず、従来型の整備も認めている 03 貴自治体の定める条件を満たした場合、従来型の整備を認めている
★ 2 . 地域密着型介護老人 福祉施設入所者生活介護	01 ユニット型のみ整備を認めている 02 特に条件は定めず、従来型の整備も認めている 03 貴自治体の定める条件を満たした場合、従来型の整備を認めている
3 . 介護老人保健施設	01 ユニット型のみ整備を認めている 02 特に条件は定めず、従来型の整備も認めている 03 貴自治体の定める条件を満たした場合、従来型の整備を認めている
4 . 介護医療院	01 ユニット型のみ整備を認めている 02 特に条件は定めず、従来型の整備も認めている 03 貴自治体の定める条件を満たした場合、従来型の整備を認めている

(8) -②第8期計画における令和5年度末時点の整備目標

※従来型・ユニット型の内訳を設定していない場合や、整備目標自体を設定していない場合は「0」と記入ください。

	整備目標			うち、従来型			うち、ユニット型		
	施設	床		施設	床		施設	床	
1 . 介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）									
★ 2 . 地域密着型介護老人 福祉施設入所者生活介護									
3 . 介護老人保健施設									
4 . 介護医療院									

(8) -③ユニット化率の目標設定 ※設定していない場合、「0」と記入ください。

	1) ユニット化率の目標		2) 1) ユニット化率の目標を定めている場合、その目標の達成期限 （当てはまるものに120をつけてください。）		
		%	01 令和5年度末まで 04 その他（ ）	02 令和6年度末まで 03 令和7年度末まで	
1 . 介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）		%	01 令和5年度末まで 04 その他（ ）	02 令和6年度末まで 03 令和7年度末まで	
★ 2 . 地域密着型介護老人 福祉施設入所者生活介護		%	01 令和5年度末まで 04 その他（ ）	02 令和6年度末まで 03 令和7年度末まで	
3 . 介護老人保健施設		%	01 令和5年度末まで 04 その他（ ）	02 令和6年度末まで 03 令和7年度末まで	
4 . 介護医療院		%	01 令和5年度末まで 04 その他（ ）	02 令和6年度末まで 03 令和7年度末まで	

(9) 令和3年度以降の公募状況について、お伺いします。
 ※令和5年度公募状況について、調査回答日時点で締め切り前の場合、②実績施設数・床数に「-」と記入ください。

1) 令和3年度公募状況	①公募数		うち、ユニット型施設		②実績数		うち、ユニット型施設		①公募数		うち、ユニット型施設		②実績数		うち、ユニット型施設	
1. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		施設		施設		施設		施設		床		床		床		床
★ 2. 地域密着型介護老人福祉施設 施設入所者生活介護		施設		施設		施設		施設		床		床		床		床
3. 介護老人保健施設		施設		施設		施設		施設		床		床		床		床
4. 介護医療院		施設		施設		施設		施設		床		床		床		床
2) 令和4年度公募状況	①公募数		うち、ユニット型施設		②実績数		うち、ユニット型施設		①公募数		うち、ユニット型施設		②実績数		うち、ユニット型施設	
1. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		施設		施設		施設		施設		床		床		床		床
★ 2. 地域密着型介護老人福祉施設 施設入所者生活介護		施設		施設		施設		施設		床		床		床		床
3. 介護老人保健施設		施設		施設		施設		施設		床		床		床		床
4. 介護医療院		施設		施設		施設		施設		床		床		床		床
3) 令和5年度公募状況	①公募数		うち、ユニット型施設		②実績数		うち、ユニット型施設		①公募数		うち、ユニット型施設		②実績数		うち、ユニット型施設	
1. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		施設		施設		施設		施設		床		床		床		床
★ 2. 地域密着型介護老人福祉施設 施設入所者生活介護		施設		施設		施設		施設		床		床		床		床
3. 介護老人保健施設		施設		施設		施設		施設		床		床		床		床
4. 介護医療院		施設		施設		施設		施設		床		床		床		床

(10) 令和3年度以降のユニット型施設の整備状況について、お伺いします。

(10) -①令和3年度以降のユニット型施設の整備実績（予定を含む）

(以下の選択肢からサービスごとに1つ○をつけて、「01.有」の場合、整備実績をご記入ください)

※以下①～③の整備実績について、令和5年6月1日時点で貴自治体との協議が完了し、着工予定の施設も含んで御回答ください。

	1.介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)				★ 2.地域密着型介護老人福祉施設 施設入所者生活介護				3.介護老人保健施設				4.介護医療院			
①新規創設	01.有		02.無		01.有		02.無		01.有		02.無		01.有		02.無	
1) 01.有の場合、 整備施設数・床数		施設		床		施設		床		施設		床		施設		床
2) 01.有の場合、10人を 超えるユニットがある施設数				施設				施設				施設				施設
②改築等	01.有		02.無		01.有		02.無		01.有		02.無		01.有		02.無	
1) 01.有の場合、 整備施設数・床数		施設		床		施設		床		施設		床		施設		床
2) 01.有の場合、10人を 超えるユニットがある施設数				施設				施設				施設				施設
③ユニット化改修	01.有		02.無		01.有		02.無		01.有		02.無		01.有		02.無	
1) 01.有の場合、 整備施設数・床数		施設		床		施設		床		施設		床		施設		床
2) 01.有の場合、10人を 超えるユニットがある施設数				施設				施設				施設				施設

(10) -② (10) -①において「10人を超えるユニットを有する施設」の整備にあたって、特に重視して、施設と協議している内容
 (特に重視している内容を3つ選んでください) 【※対象：全都道府県・市町村(中核市・政令指定都市を含む)】

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 入所時アセスメント | <input type="checkbox"/> 6. 職員の勤務体制 |
| <input type="checkbox"/> 2. 施設ケアプラン及びケア計画 | <input type="checkbox"/> 7. 職員間のコミュニケーション |
| <input type="checkbox"/> 3. 入所者へのケア(食事・入浴・排泄等) | <input type="checkbox"/> 8. 特になし(ユニット定員による差異を設けていない) |
| <input type="checkbox"/> 4. 入所者間のコミュニケーション | <input type="checkbox"/> 9. その他 |
| <input type="checkbox"/> 5. 既存入所者の移行計画 | () |

(10) -③個室ユニットの「ユニット定員の増加」に関する施設との協議状況【※対象：全都道府県・市町村(中核市・政令指定都市を含む)】
 ※なお、令和3年度報酬改定に伴うものに関して、御回答ください。

	1) 既存のユニット型施設からの「ユニット定員の増加」に関する協議や事前相談の有無	2) 協議や事前相談を受けた施設数	3) 2)「協議や事前相談を受けた施設」のうち、ユニット定員の増員を認めた施設数
1. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	01.有 → 2) 3) ^ 02.無	施設	施設
★ 2. 地域密着型介護老人福祉施設 設入所者生活介護	01.有 → 2) 3) ^ 02.無	施設	施設
3. 介護老人保健施設	01.有 → 2) 3) ^ 02.無	施設	施設
4. 介護医療院	01.有 → 2) 3) ^ 02.無	施設	施設

4. ユニット型施設の整備促進に向けた取組についてお伺いします。

(11) ユニット型施設の整備促進に関する制度上・運用上の課題(当てはまるものをすべて選択してください)
 【※対象：全都道府県・市町村(中核市・政令指定都市を含む)】

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 従来型と比較して、居室の費用負担が大きい |
| <input type="checkbox"/> 2. 多床室施設から変更する場合、ハード面での大幅な改修が困難 |
| <input type="checkbox"/> 3. 一部ユニット型施設の許認可手続きが煩雑 |
| <input type="checkbox"/> 4. 施設整備・設備・運営等に関する補助が不十分 |
| <input type="checkbox"/> 5. ユニット型施設のケアや経営、感染症対策等に関する情報発信が不十分 |
| <input type="checkbox"/> 6. ユニット型施設職員向け研修(法定研修以外)が実施できていない |
| <input type="checkbox"/> 7. 自治体職員向け研修が実施できていない |
| <input type="checkbox"/> 8. 他の入所者との相互の人間関係を築きにくいという声がある |
| <input type="checkbox"/> 9. その他 |
| () |
| <input type="checkbox"/> 10. 特に無し |

5. ユニットケア研修の実施状況についてお伺いします。

(12) (13) について、都道府県・指定都市の御担当者の方にお伺いします。

※例年6月に実施している国調査（「ユニットリーダー研修」及び「ユニットケア施設管理者研修」の実施状況報告）に代わる設問です。

(12) 「ユニットリーダー研修」及び「ユニットケア施設管理者研修」の実施状況について、お伺いします。

(12) -① 令和5年度の実施状況（予定を含む）※委託している研修受託団体が開催する場合も「01.有」を選択ください。

※新型コロナウイルスの影響で一時的に開催を見合わせている場合も「01.有」を選択ください。

	1) ユニットリーダー研修	2) ユニットケア施設管理者研修
1. 開催の有無	01.有 02.無	01.有 02.無
2. 委託の有無	01.有 → 3・4へ 02.無	01.有 → 3・4へ 02.無
3. 委託先団体数	団体	団体
4. 委託先名称 (当てはまるものすべてに○をつけてください)	1. 日本ユニットケア推進センター 2. 全国個室ユニット型施設推進協議会 3. その他 ()	1. 日本ユニットケア推進センター 2. 全国個室ユニット型施設推進協議会 3. その他 ()

(12) -② 過年度の実施状況

※1. 令和3年度及び令和4年度の開催回数及び受講者数に関しては、令和3年度及び令和4年度の実績の「合計値」を記入ください。

※2. 実地研修未受講者数に関しては、令和5年6月1日現在の該当者数を記入ください。

	1) ユニットリーダー研修	1) ユニットケア施設管理者研修
1. 令和3年度及び令和4年度の開催回数及び受講者数（合計）	回 人	回 人
2. ユニットリーダー研修受講者数のうち、実地研修未受講者数	人	

(13) ユニットリーダー研修実地施設の指定状況

※委託している研修受託団体が指定している場合も含む。 ※令和5年5月末時点の状況を記入ください。

※法人格に関しては、社会福祉法人は（社福）、医療法人は（医）等の略称にて記入ください。

※研修受託団体について、委託している研修受託団体が指定している場合は、(12) -① 4. 委託先名称の番号（1～3）を記入ください。

	所在地（都道府県）	所在地（市町村）	法人名	施設名	受託団体
1	都道府県	市町村			
2	都道府県	市町村			
3	都道府県	市町村			
4	都道府県	市町村			
5	都道府県	市町村			
6	都道府県	市町村			
7	都道府県	市町村			
8	都道府県	市町村			
9	都道府県	市町村			
10	都道府県	市町村			
11	都道府県	市町村			
12	都道府県	市町村			

(14) ユニットケア研修の受講を促進するために実施していること（当てはまるものをすべて選択してください）

【※対象：全都道府県・市町村（中核市・政令指定都市を含む）】

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 説明会を実施している | <input type="checkbox"/> 6. オンライン研修の推進等、コロナ禍に配慮した取り組み |
| <input type="checkbox"/> 2. 集団指導の際に周知している | <input type="checkbox"/> 7. その他 |
| <input type="checkbox"/> 3. 個別指導の際に周知している | () |
| <input type="checkbox"/> 4. ホームページで募集している | <input type="checkbox"/> 8. 特に実施していない |
| <input type="checkbox"/> 5. 補助金活用の条件としている | |

(15) ユニットケア研修の受講促進にあたっての課題（当てはまるものをすべて選択してください）

【※対象：全都道府県・市町村（中核市・政令指定都市を含む）】

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 実地研修施設の設置数が少ない | <input type="checkbox"/> 5. 感染対策等の影響で実地研修を実施できていない・制限している |
| <input type="checkbox"/> 2. 実地研修施設の設置場所に偏りがある | <input type="checkbox"/> 6. その他 |
| <input type="checkbox"/> 3. オンライン研修の実施環境が整備されていない | () |
| <input type="checkbox"/> 4. 研修実施（公費負担分）の予算が充分ではない | <input type="checkbox"/> 7. 特に無し |

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。